

自他楽会資料（一）

基幹研究「十九世紀の出版と流通」研究班

本編は、国文学研究資料館が「文学資源の総合研究」というテーマの下に二〇〇六年度より新たに開始した基幹研究の一つである「十九世紀の出版と流通」の研究成果として、青森県弘前市の弘前図書館に所蔵される、明治中期から大正にかけて弘前で活動した読書会「自他楽会」が残したさまざまな資料を、その活動時期によって二つに分けて翻刻掲載する第一回であり、会が創設された明治二十二年から明治三十四年までの期間の資料を収める。

弘前でもっとも早く作られた読書会である自他楽会は、明治二十二年二月に、十五名の会員によって作られた。会の名はジタラクカイと読み、周囲から自堕落とみなされるまでに本を読みふけることを楽しもうとする姿勢を表明するとともに、そうした楽しみを他人と分かち合おうとする志向を宛字により示している。会の発足に際して作られた規約の冒頭には、読書による会員の知識の発達と並んで、将来「書籍館」を創設することを会の目的として掲げていた。

設立されて間もない頃、会員たちの所持していた本を融通しあって読んでいた自他楽会は、すぐにその活動の中心を新刊本の購入とその回覧へと移す。会員を二部に分けて行われた回覧では、書籍の一点ごとに定められた所要日数に従い、それぞれ回覧順を工夫しながら複数の本を同時に回すという、斬新で巧妙な方式が採用され、こうした方式により、各会員にはつねに何らかの本が回覧中であつたと推測される。回覧の期間を守れない会員には罰が課され、また、規約により会員数が二十名までに限定されていたのは、こうした複雑な回覧方式を維持するためだつたと思われる。

会員が毎月納める一人当り十銭の会費をもとに、会は新刊本を購入していった。どの本を購入するかは、毎月一度会員が集まって多数決により決定された。当初から「書籍館」の設立を目指していた自他楽会は、多様なジャンルの本を購入することを心がけており、かれらが作成した分類目録には、明治三十五年の時点で、「哲学及宗教」「政治及経済」「科学」「文学及随筆」「歴史及伝記」「地理及紀行」「小説」「雑書」の八門に、全部で約五百六十点の書籍が掲げられている。

会は互選された一名の理事によって運営され、毎月の例会の他に、年末には総会を開き、その年の会計や購入書籍についての克明な報告を理事が行った。理事は、書籍の購入を含む詳細な会計記録を作成しており、そこには、それぞれの書籍を、いつ、いくらで買ったのかが記されていて、書物の流通に関する第一級の資料となっている。

会による書籍の購入先は、当初は、弘前にあった宮本甚兵衛商店や野崎九兵衛商店など、書籍以外の品物も手広く扱う店であったが、明治二十年代の半ばになると、今泉書店を主に近松書店や桂華堂など弘前に新しくできた書店となる。資料のなかには、これらの店に代金を仕払った際の領取書が何点か含まれ、また、今泉書店との間で用いられた通い帳も残されている。

会が目標に掲げた図書館の設立は、明治三十年代半ばに現実に動きだし、明治三十六年には私立弘前図書館が設立され、同じく三十九年にはそれが弘前市へと移管され現在も保存されている洋館の建物が落成することになる。こうした過程に会は積極的に関与するとともに、所有していた書籍の多くを寄贈し、設立間もない図書館を支えた。それ以降寄贈されたものも含め、弘前図書館には自他楽会が所蔵していた本が多数現存している。

自他楽会は、弘前でもっとも早く開校した公立の小学校の一つである和徳尋常小学校の青年教師とその学区の有志者により発足した。学区民の寄附によって四層の楼をもつ洋風の新校舎が完成したばかりの和徳尋常小学校に、自他楽会は「事務所」を置き、書籍もそこに保管していくことになる。明治二十二年当時の同校の教師は、校長であった三上徳之助以下八名で、そのうち、三浦武三郎・高山亀代作・山中嵯峨之助は発足時からの会員、岩庭為世・三上徳之助も発足から半年ほどのうちに入会し、会に占める和徳小学校教師の比重は格段に増した。発足時の短期間理事を務めた古川寿平を除き、その後を継いだ高山亀代作・三浦武三郎・山中嵯峨之助・三上

敬三の歴代理事はいずれも和徳小学校のスタッフである。明治三十年に定員を二十五名に増やした会は、明治三十二年よりそれまでの二部体制から、和徳小学校・弘前高等小学校・青森県第一中学校からなる三部へと移行するが、これは、会員が和徳からこれらの学校へ移っていったことに伴う措置であると推定され、以降も引き続き和徳小学校のメンバーが会の中樞を占めていたことに変わりはない。会費未納により除名となったり、勤務の関係で弘前を離れたりして会を去る者が多く、創立以来の累計の会員数は、明治四十二年の時点で八十一名に達していた。

自他楽会がいつまでその活動を継続したのか、会の解散に関する記録が残っておらず、はっきりとしたことは分らない。大正七年一月の日付をもつ三上敬三理事による会計報告が会の最後の記録であり、このころまで会が存続していたことは間違いない。

ここに翻刻する自他楽会の資料は、わが国における近代的な出版・流通の確立期にあつて、書物の首都となつていった東京から遠く離れた弘前の地において、出版されつづけるさまざまなジャンルの書物の中から知識青年たちがどのような書物を選択し、どのようにして読んでいったのか、近代という時代が産み出したユニークな読書行為を伝える、他に類をみない貴重な記録である。

自他楽会資料は、一月から始まる一年間の会の活動を項目ごとに日を追って記録した記録簿と会計簿、一年単位で会の活動を概括した書類を綴じ合わせていった記録綴、会員への書籍貸し出しの記録である書籍貸付簿、および書籍目録よりなり、その他、書店から書籍を購入する際の通い帳と、書籍の領取書類を雑纂したものが残されている。

これらのうち、明治二十二年から明治三十四年までの十三冊が残されて

いる記録簿は、それぞれの本をどのように回覧したのかを記録した「書籍廻達簿」（名称は代表的なもの。以下、同じ）と、集会における議事と決定事項を簡潔に記録した「記事」からなり、ときに、回覧する際に本に貼付した書き付けなどが綴じ込まれている。

明治二十二年から明治三十四年まで十三冊作成された会計簿は、月ごとの会費納入を会員別に記録した「会費納収表」、収入を日を追って記録した「日計簿」、書籍の購入時期と価格とを記録した「購求書籍記入ノ部」、記録作成に用いた半紙などの購入を記録した「雑費仕払帳」、月ごとの収支を総括した「月計簿」からなり、書店から本を購入した際の領収書などが綴じ込まれていることがある。なお、明治三十五年からは記録簿と会計簿を一つにまとめて記録及会計簿となる。

明治二十四年から大正二年までの十八冊が残されている書籍貸付簿は、その年に貸し出した本を会員ごとに記載したものであり、記録簿や会計簿が理事によつて書かれたのに対し、これは会員自らが記入している。

これらは年ごとに表紙を付けて綴じられており、表紙には「明治二十四季／記録簿／自他楽会」などと表題が記されている。

年に一冊ずつ作成されたこれらの簿冊とは違い、明治二十二年から大正六年までの記録を一冊に綴じ合わせた記録綴には、年間の活動をまとめた記事、決算報告、購入書籍の報告など、毎年の暮れに開かれることになっていた総会において理事が行った諸種の報告が収められている。

これらの簿冊は、半紙に朱色で刷られた片面十三行の罫紙（明治三十年ごろからは、同じく紺色で刷られた片面十二行または十行の罫紙）を袋綴じにしたものである。記載は墨書を主とし、ときに朱書や鉛筆書きを雑える。

自他楽会資料のなかには書籍目録が三点ある。明治二十二年の『書籍目録乙』は創設当初の会員が持ち寄った本のリストであり、『明治二十七年

季改正書籍目録』は明治三十四年末までに会のものとなった書籍を手に入れた順にならべたリスト、『書籍部類目録』は明治三十五年末時点における蔵書を八門に分類して掲げたものである。これらの目録には、いずれも半紙ではなく美濃紙に類するやや上質の楮紙が用いられている。

これらの資料はもと弘前市の和徳小学校に学事関係の資料とともに保管されていたものが弘前図書館に入ったもので、『弘前図書館郷土資料目録』第十一巻（昭和五六・三）に収められた「和徳小学資料」にその目録が載せられている。翻刻に際し、新たに各資料の細目を作成し、資料番号を付して検索の便を図った（タイトルの記されていない資料については、「」を付して補った）。

資料の翻刻にあたっては、「壹」「廿」などの漢数字を含め漢字は通行の字体に改めることを原則とし、「一」などの合字はすべて仮名に改めた。判読できない文字は〈□〉により示した。書名等の下に付した〈消〉という符号は、墨などで書名等が消されていることを示している。また、項目名などに適宜ゴシック体を用いた。

翻刻は、年度ごとの記録簿・会計簿・書籍貸付簿を一括して、明治二十五年・二十六年を木戸雄一、明治二十七年を佐々木亨、明治二十八年を関肇、明治二十九年を磯部敦、明治三十一年・三十二年を中丸宣明、明治三十三年・三十四年を加藤禎行がそれぞれ分担して行い、残りについては谷川恵一が翻刻し、あわせて全体を編集した。

自他楽会資料 目次

1	記録簿 KBO10-2 (弘前図書館請求記号。以下、同じ。)	
1・01	記録簿 (六月)	
1・01	01 自他楽会申合規約	61
1・01	02 自他楽会書籍廻達簿	62
1・01	03 貸付明細簿	62
1・01	04 雑記	63
1・02	記録簿 (明治二十三年)	
1・02	01 自他楽会書籍廻達簿	65
1・02	02 犯則者記事	66
1・02	03 〔書籍廻達簿 (各部)〕	66
1・02	04 〔書籍廻達簿〕	66
1・02	05 自他楽会記事	67
1・03	記録簿 (明治二十四年)	
1・03	01 書籍廻達簿	68
1・03	02 〔書籍廻達簿 (各部)〕	70
1・03	03 記事	71
1・03	04 〔書籍廻達簿 (各部)〕	72
1・03	05 〔書籍廻達覚〕	72
1・03	06 〔書籍廻達簿 (各部)〕	72
1・04	記録簿 (明治二十五年)	
1・04	01 書籍廻達簿	73
1・04	02 〔書籍廻達簿 (各部)〕	75
1・04	03 自他楽会記事	76
1・05	記録簿 (明治二十六年)	
1・05	01 書籍廻達簿	77
1・05	02 〔書籍廻達簿 (各部)〕	79
1・05	03 記事	81
1・05	04 〔書籍廻達簿〕	81
1・05	05 〔書籍廻達メモ〕	82
1・05	06 〔書籍廻達メモ〕	82
1・05	07 〔書籍廻達メモ〕	83
1・05	08 〔書籍廻達メモ〕	83
1・05	09 〔書籍廻達メモ〕	83
1・05	10 〔書籍廻達メモ〕	83
1・06	記録簿 (明治二十七年)	
1・06	01 〔書籍廻達簿〕	84
1・06	02 〔書籍廻達簿 (各部)〕	85
1・06	03 記事 ※記載なし。	
1・07	記録簿 (明治二十八年)	
1・07	01 〔書籍廻達簿〕	86
1・07	02 〔書籍廻達簿 (各部)〕	88
1・08	記録簿 (明治二十九年)	
1・08	01 〔書籍廻達簿〕	89
1・08	02 〔書籍廻達簿 (各部)〕	91

1	08	03	記事	92
1	09		記録(明治三十年)	
1	09	01	〔書籍廻覧メモ〕	93
1	09	02	書籍廻覧記事	93
1	09	03	記事	96
1	09	04	〔書籍分類表〕	97
1	10		記録(明治三十一年)	
1	10	01	〔書籍廻覧メモ〕	97
1	10	02	書籍廻覧記事	97
1	10	03	〔記事〕	100
1	11		記録簿(明治二十二年)	
1	11	01	書籍回覧順序	101
1	11	02	記事	101
1	12		記録簿(明治二十三年)	
1	12	01	廻覧巡順	102
1	12	02	記事	103
1	13		記録簿(明治二十四年)	
1	13	01	廻覧ノ部	104
1	13	02	〔記事〕	104

2 記録及会計簿 KB0104
※次号掲載予定。

3	02	01	〔書籍廻達メモ〕	106
3	01	03	〔書籍廻達メモ〕	106
3	01	04	〔書籍廻達簿(各部)〕	106
3	01	05	〔書籍廻達簿(各部)〕	106
3	01	06	〔書籍廻達簿(各部)〕	107
3	01	07	〔書籍廻達簿(各部)〕	107
3	01	08	會員収入簿	108
3	01	09	日計簿	109
3	01	10	〔月計簿〕	110
3	01	11	〔領収書〕	111
3	01	12	〔領収書〕	111
3	02		3 02 会計簿(明治二十三年)	
3	02	01	明治二十三年改正会費収入簿	113
3	02	02	日計簿	114
3	02	03	購求書籍及物品目録 日計簿	117
3	02	04	〔月計簿〕	118
3	02	05	仕払簿	118
3	02	06	仕払日計簿	118
3	02	07	領収書	119
3	02	08	領収書	119
3	02	09	領収書	119
3	02	10	領収書	119
3	02	11	領収書	119
3	02	12	領収書	119
3	02	13	領収書	119
3	02	14	領収書	119

3 会計簿 KB010-3

3	01	01	自他案会購求書籍目録	105
---	----	----	------------	-----

4	01	01	自他楽会記事	166	4	01	27	明治二十九年中庶務報告	180
4	01	01	自他楽会記事	166	4	01	26	雜費明細表	179
4	01	01	自他楽会記事	166	4	01	25	明治二十八年中自他楽会購求書籍	179
3	10	01	自他楽会々費納収表	156	4	01	24	明治二十八年自他楽会決算報告	178
3	10	02	収入日計簿	157	4	01	23	雜費明細表	178
3	10	03	支払日計簿	158	4	01	22	明治二十七年中自他楽会購求書籍	178
3	10	04	収入支払大帳	158	4	01	21	明治二十七年自他楽会決算報告	177
3	10	05	購求書籍記入簿	158	4	01	20	明治二十七年自他楽会購求報告	177
3	11	01	會費納収表	160	4	01	19	〔書籍貸付調〕	177
3	11	02	収入日計簿	161	4	01	18	明治二十七年自他楽会記事	177
3	11	03	支払日計簿	161	4	01	17	明治二十六年自他楽会會計決算報告	175
3	11	04	収入支払大帳	162	4	01	16	明治二十六年自他楽会記事	175
3	11	05	購求書籍記入簿	162	4	01	15	雜費明細表	175
3	12	01	會費納収表	163	4	01	14	明治二十五年中自他楽会購求書籍	174
3	12	02	収入日計簿	164	4	01	13	〔會計報告〕	173
3	12	03	支払日計簿	164	4	01	12	明治二十五年中自他楽会購求書籍	173
3	12	04	収入支払大帳	165	4	01	11	二十五年記事	173
3	12	05	購求書籍記入簿	165	4	01	10	明治二十四年中自他楽会購求書籍	173
3	09	02	収入日計簿	153	4	01	09	自他楽会會計報告	172
3	09	03	支払日計簿	154	4	01	08	二十四年記事	172
3	09	04	収入支払大帳	154	4	01	07	〔自他楽会規則〕	170
3	09	05	購求書籍記入簿	154	4	01	06	自他楽会二十三年度決算書	170
3	09	02	収入日計簿	153	4	01	05	自他楽会二十三年度決算書	169
3	09	03	支払日計簿	154	4	01	04	二十三年記事	169
3	09	04	収入支払大帳	154	4	01	03	大正六年購求書籍報告	169
3	09	02	収入日計簿	153	4	01	02	自他楽会購求書籍	168
3	09	03	支払日計簿	154	4	01	01	自他楽会二十二年中庶務報告	167

4	01	80	大正元年会計報告	206
4	01	81	購求書籍報告	207
4	01	82	会計報告	207
4	01	83	購求書籍報告	208
4	01	84	大正三年会計報告	208
4	01	85	大正三年購求書籍報告	209
4	01	86	大正四年会計報告	209
4	01	87	購求書籍報告	210
4	01	88	大正六年会計報告	210
4	01	89	購求書籍報告	210
4	01	90	大正六年会計報告	211

5 書籍目録

5	01	書籍部類目録 KB020-4	212
5	02	書籍目録乙(明治二十二年) KB020-2	221
5	03	書籍目録(明治二十七年) KB020-3	222

6 書籍貸附簿 KB010-5

6	01	書籍貸附簿(明治二十四年一月)	233
6	02	書籍貸附簿(明治二十四年)	235
6	02	01 書籍貸附簿	235
6	02	02 (借用証)	237
6	03	書籍貸付簿(明治二十五年)	237
6	03	01 書籍貸付簿	237
6	03	02 (借用証)	241
6	04	書籍貸附簿(明治二十六年)	242

6	05	書籍貸附簿(明治二十七年)	246
6	06	書籍貸附簿(明治二十八年)	250
6	07	書籍貸附簿(明治二十九年)	254
6	08	書籍貸附簿(明治三十年)	259
6	09	書籍貸附簿(明治三十一年)	266
6	10	書籍貸附簿(明治三十二年)	270
6	11	書籍貸附簿(明治三十三年)	273
6	12	書籍貸附簿(明治三十四年)	276

※以下、「書籍貸附簿(大正二年)」まで、次号掲載予定。

7 書籍通 KB010-7

※次号掲載予定。

8 その他

8	01	自他業会雜書類 KB010-8	279
8	01	01 [書籍検閲表]	279
8	01	02 [書籍返却督促]	279
8	01	03 新書籍	280
8	01	04 [書籍一覽]	281
8	01	05 [書籍返却督促]	281
8	01	06 [書籍寄贈願]	282
8	01	07 [書籍検閲表]	282
8	01	08 [会費納入表(明治四十年度)]	282
8	01	09 [書籍一覽]	283
8	01	10 [会費納入届]	283
8	01	11 [書籍一覽]	283

8・02 青森県知事感謝状(明治四十四年) KBO106……………

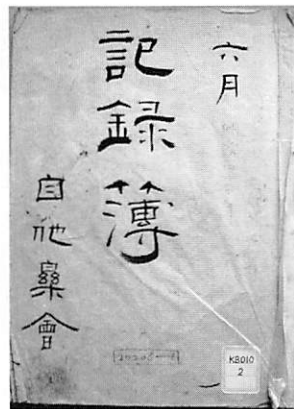
289

8・01・31	(領収書(今泉本店))……………	289
8・01・30	(領収書(今泉))……………	288
8・01・29	(領収書(今泉))……………	288
8・01・28	(領収書(野崎))……………	288
8・01・27	(領収書(今泉))……………	288
8・01・26	(領収書(今泉))……………	288
8・01・25	(領収書(今泉))……………	288
8・01・24	(領収書(宮本商店))……………	287
8・01・23	(領収書(宮本商店))……………	287
8・01・22	(領収書(宮本商店))……………	287
8・01・21	(領収書(角三))……………	287
8・01・20	(領収書(野崎))……………	287
8・01・19	(領収書(野崎))……………	287
8・01・18	(領収書(今泉))……………	286
8・01・17	(領収書)……………	286
8・01・16	(領収書)……………	286
8・01・15	(領収書)……………	286
8・01・14	(領収書(今泉))……………	286
8・01・13	(書籍回覧簿)……………	285
8・01・12	(書籍貸付簿)……………	285

1・01 記録簿(六月)

【表紙】

六月／記録簿／自他楽会



【本文】

1・01・01 自他楽会申合規約

自他楽会申合規約

第一章 目的及組織

第一条 本会ハ各自所有ノ書籍ヲ交換シ更ニ新著訳書雑誌ヲ購読シテ智識ノ発達ヲ計リ尚後來書籍館ヲ設立スルヲ以テ目的トス

第二条 本会ハ同志二十名ヲ限リ組織ス

第二章 会名及位置

第三条 本会ハ自他楽会ト称ス

第四条 本会事務所ヲ和徳尋常小学校内ニ置ク

第三章 役員及職制任期

第五条 本会ニ理事一名審査委員五名ヲ置ク

第一項 理事ハ会計及其他一切ノ庶務ヲ所理スルモノトス其任期ハ無限トス

但シ時宜ニ依リ会員ノ協議ニテ変スルコトアルベシ

第二項 理事ハ毎年末ニ於テ会計報告書ヲ造ルモノトス

※「会計報告書ハ年末ノ会ニテ理事之ヲ報告スルモノトス」を訂正。

第三項 審査委員ハ毎月購求ノ書籍目録ヲ制シ会員ノ決議ニ附スルモノトス

トス

但シ議決ハ凡テ多数ヲ用ユ

第四項 理事ノ任期ノ無限 審査委員ノ任期ハ半年トス

第四章 会費及義務

第六条 本会員ハ会費トシテ各自金十錢ヲ毎月五日迄ニ及義務トシテ各自所蔵ヲ随時理事ニ出スベシ

第五項 書籍購求廻覧及借用手續

第五章 書籍購求廻覧及借用手續

第七条 書籍購求手續ハ会員ノ決議ニ依リ理事之ヲ行フ

第八条 本会員ヲ第一第二ノ二部ニ分チ適宜ニ廻覧セシム 其日数ハ理事之ヲ定ム

第九条 日数ヲ遷延スルモノヲ其人ノ責任ト為シ書籍ノ廻覧ヲ後ニスルモノトス

第十条 会員廻覧済ノ購求書籍及各自所ノ書籍ハ会員中実ニ日数ヲ限リ借用スルヲ得

第十一条 一人ニテ同時ニ一冊ヲ借用スルコト

第十二条 会員ハ毎月第一火曜日ニ集会シ購求書籍ヲ決議スルモノトス

第十三条 審査委員ハ随時必要アル毎ニ理事之ヲ召集ス

第十四条 各自所有ノ書籍ハ必要ノ時情アルトキハ随意取戻スコトヲ得

会員外ニ貸用スルヲ許サス

附則

1・01・02 自他楽会書籍廻達簿

※到着日の上などに「たかやま」または「高山」の朱印を捺す。一部を鉛筆で書く。
自他楽会書籍廻達簿

番名	到着	廻達日数及到着日ヲ記スベキコト	第一回	第二回	第三回	人数
(1) 東洋遺稿上	〇	△	八月三日	八月七日	八月十日	二人
(2) 東洋遺稿下	〇	△	八月三日	八月七日	八月十日	二人
(3) 大政三遷史	〇	△	八月三日	八月七日	八月十日	二人
(4) 直税及関税	〇	△	八月三日	八月七日	八月十日	二人
(5) 万物退化新説	六ノ七	六ノ八日(木)	六月八日	七月一日	七月四日	三人
(6) 動物進化論	六ノ七	同(和田)	六月八日	七月一日	七月四日	三人
(7) 国憲汎論	七ノ三	七月四日	七月四日	七月十五日	七月四日	二人
(8) 日清文明論	同	同	七月四日	七月十五日	七月四日	二人
(9) 欧洲大勢論	同	同	七月四日	七月十五日	七月四日	二人
(10) 簡明論理学	同	同	七月四日	七月十五日	七月四日	二人
(11) 薩長土肥	同	同	七月四日	七月十五日	七月四日	二人
(12) 新著百種一	同	同	七月四日	七月十五日	七月四日	二人
(13) 同二	同	同	七月四日	七月十五日	七月四日	二人
(14) 自由略論	八月六日	八月七日ヨリ	八月六日	八月七日	八月十日	二人
(15) 美辞学前	八月九日	八月十日ヨリ	八月九日	八月十日	八月十三日	二人
(16) 美辞学後	八月九日	八月十日ヨリ	八月九日	八月十日	八月十三日	二人
(17) 新著百種三	九月五日	九月六日ヨリ	九月五日	九月六日	九月九日	二人
(18) 同四号同	九月五日	九月六日ヨリ	九月五日	九月六日	九月九日	二人

(19) 宗教革命論	同	(九月十一日)	〇	藤田	十月二十六日	木村	四日
(20) 仏教活論	九月八日	(九月十日)	〇	木村	十月四日	〇	七日
(21) 我国内政外交	△	(九月十九日)	〇	斎藤	十月一日	〇	二日
(22) 国憲汎論	△	十一月九日ヨリ	〇	〇	〇	〇	〇
(23) 鴻雪録	十一月五日	十一月十六日	(金)	〇	〇	〇	五日
(24) 普通貿易	十一月十五日	十一月十五日	(〇)	〇	〇	〇	十日
(25) 新篇紫史 上ノ一	十二月十三日	十二月十三日	(古川)	〇	〇	〇	四日
(26) 新篇紫史 上二	十二月十七日	十二月十七日	〇	〇	〇	〇	〇
(27) 新篇紫史 下二	十二月六日	(高山)	〇	木村	〇	〇	〇
(28) 新篇紫史 下二	十二月二日	(斎藤)	〇	〇	〇	〇	〇
(29) 新著百種	十二月二十日	十二月二十日	〇	〇	〇	〇	二日
(30) 如温武雷土伝	十二月八日	十二月九日	〇	〇	〇	〇	三日
(31) 財政学	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
(32) クラストン公伝	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
(33) 弥児頓伝	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
(34) 新著百種	十二月一日	(西館)	〇	〇	〇	〇	〇
(35) 国憲汎論	十二月二日	(西館)	〇	〇	〇	〇	〇

1・01・03 貸付明細簿

※「△」「〇」などの符丁を書名の上(一部は除外)に記す。「返戻月日」欄などに「たかやま」の朱印を捺す。

貸付明細簿	冊数	貸付月日	返戻月日	人名
大英近代史	下一	不詳		三浦武三郎
上古史	一	同		一戸席之助

中古史	同	未也	齋藤竹次郎
△ 論理実習	同	六ノ二十五	小和田武司
論理学	同		古川寿平
代議政体論	同		齋藤竹次郎
△ 文明要論	同	六月七日	一戸寅之助
△ 国家教育策	同		小和田武司
△ 文	同	入	東海武一
△ 社会平権論	同	大月〇八日	古川寿平
△ 国家教育策	同		西館徳一
△ 哲学汎論	同	六ノ二十五	小和田武司
○ 論理実習	同	六ノ二十五	三浦武三郎
△ 英雄ノ肝膽	同	六ノ二十五	岩庭為世
、 社会論	同		”
新著百種 一	同	八月二日	一戸厩之助
△ 国家教育策	同	八月二日	高山〇〇 笹森〇〇
△ 大政三遷史	同	不詳	一戸寅之助
△ 東洋遺稿	同	不詳	齋藤徹
滑稽家列伝	同	不詳	一戸寅之助
△ 動物進化論	同		藤田未類〇
△ 万物退化論	同		同
△ 政体論	同		三浦武三郎
△ 文明要論	同	十月一日	齋藤徹
新著百種	同		一戸寅之助
憲法論〔消〕	同		三浦
△ 新著百種	同		岩庭為世
理財学	同		同

政体論	同		東海武一
憲法論	同		同
紫史	同		同
国家教育策	同		三上徳之助
直税間税	同		齋藤徹
英雄ノ肝膽〔消〕	同	十一月四日	西館君
金〔消〕	同	同	同
美辞学〔消〕	同	十一月八日	高山
△ 美辞学	同		古川君
動物進化論	同		三上徳之助
万物退化論	同		高山君
美辞学	同		市川君
△ 東洋遺稿	同		古川君
三酔人経緯問答	同		前小屋泰〇
新著百種	同	十二月十日	三上氏
妹背貝	同		一戸厩之助
我国ノ内政外交	同		一戸厩之助
自由略論	同		同
宗教革命論	同		同

1・01・04 雑記

- 六月 第一会(火曜日)ニ於テ左事項ヲ議〇ス
 (1)事務所ヲ和徳尋常小学校ニ移シ高山氏ニ理事ヲ托スルコト
 (2)第一金曜日ニ於テ集会ヲナシ退会者処分法ヲナスコト
 (3)左ノ書籍ヲ購求ノコト

簡明論理学 歐洲大勢論

新著百種 日清文明論

國憲汎論

候補書籍

經濟調和論 支那内治要論

演說文章組立法 日本
現在 國家哲學

倫理学 (菅了法)

六月七日 臨時大会ヲ開キ左ノ事項ヲ決議ス

(1) 退会セルモノハ該会ニ於テ無關係ノモノトス

(2) ママ

七月二日 常集会ヲ開ク 来会五人左ノ事項ヲ決議ス

(1) 左ノ書籍ヲ購求スルコト

我國ノ内政外交 破邪活論

美辞学 薩長土肥

候補 鴻雪録 英国美談

鉄道論 自由略論

七月三日 書籍購求方仕払上ニ付臨時大会ヲ開ク 来会者七人

(1) 書籍料ハ五円六十銭余ニシテ□金□七月分迄悉皆取テハ調度四円二十銭

トナス 然ルトキハ一円五十銭ノ不足ナリ 如何ナル方法ヲ以テ之ヲ処分

スベキヤト 之ニ対シ左ノ□「案カ」ヲ得タリ 然レドモ之ヲ輿論ニ徴ス

ベキモノナリトシテ廻章ヲ以テ意見ヲ聞クコトニ決セリ

(1) 七月分ヲ二十銭トナス

(2) 八月ニ於テ書籍ノ購求ヲナサス □ヲ以テ仕払スルコト

七月四日 古川源八氏ヨリ退会ノ届出タリ

八月二日 臨時会ヲ開ク 左ノ事項ヲ ママ

一 國憲汎論ノ代価八十□「日カ」ノ□「日カ」賦トス但シ八月ハ二ヶ月分

一新著百種・自由略論

一 竹内式部勸皇論

九月十一日 例会ヲ開キ左ノ書籍ヲ購求スルニ決ス

一 鴻雪録

候補一新篇紫史 一 日本華文

一 岡本子 一 日本地文学

十月一日 例会ヲ開キ左ノ書籍ヲ決□ス

一 普通心理学 一 新著百種 出版 通号

十一月四日 例会ヲ開ク 会スルモノ九名 左ノ事項ヲ決議ス

一 フライト伝 一 クラントスン公伝

一 財政学 一 ミルトン伝

十二月三日 例会ヲ開キ会スルモノ十一名 左ノ事項ヲ決議ス

一 哲学涓滴 一 埃及近世史

候補 婦納法論理学 南洋時事

平民政治 自由保護兩党活劇史

亡友録 法律解釈学

東洋学芸雜誌 進化原論

1-02 記録簿(明治二十三年)

【表紙】

明治二十三年改正ノ記録簿ノ自他楽会

【本文】

1-02-01 自他楽会書籍廻達簿

自他楽会書籍廻達簿

回数	書名	第一回	第二回	著者	日数	書名	著者	日数	著者
(1)	国憲汎論	十一月二十八日	十二月二十六日	末順	二日間	赤穂義士	三浦	五月五日	木村
(2)	普通心理学	十一月二十五日	十二月二十六日	末順	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村
(3)	鴻雪録	十一月二十三日	十二月二十六日	末順	二日間	嘸之旅行	三浦	五月五日	木村
(4)	残菊	十一月十六日	十二月二十六日	末順	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村
(5)	如温武雷土伝	十一月八日	十二月二十六日	末順	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村
(6)	財政学	十一月九日	十二月二十六日	末順	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村
(7)	クラントストン公伝	十一月五日	十二月二十六日	末順	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村
(8)	弥児頓伝	十一月九日	十二月二十六日	末順	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村
(9)	風流伝	十一月二十四日	十二月二十六日	末順	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村
(10)	埃及近世史	十二月三十一日	十二月二十六日	末順	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村
(11)	哲学消滴	十二月三十一日	十二月二十六日	末順	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村
(12)	平民政治	十二月十七日	十二月二十六日	末順	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村
(13)	同	十二月十七日	十二月二十六日	末順	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村
(14)	フランクリン自叙伝	二月九日	二月二十六日	末順	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村
(15)	国憲汎論	二月十日	二月二十六日	末順	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村
(16)	芳李	五月五日	五月二十六日	末順	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村
(17)	松花録	五月五日	五月二十六日	末順	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村
(18)	埃及惨状	七月十一日	七月二十六日	末順	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村
(19)	赤穂義士	五月五日	六月十日	木村	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村
(20)	平民政治	五月五日	五月二十五日	三浦	二日間	嘸之旅行	三浦	五月五日	木村
(21)	嘸之旅行	五月二十一日	五月二十五日	三浦	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村
(22)	平民政治	五月五日	五月二十五日	三浦	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村
(23)	平民政治	五月五日	五月二十五日	三浦	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村
(24)	——	五月五日	五月二十五日	三浦	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村
(25)	小楠遺稿	五月十四日	五月二十五日	三浦	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村
(26)	理、浩武伝	七月三日	七月七日	三浦	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村
(27)	科学ノ原理	五月十四日	五月二十五日	三浦	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村
(28)	小説史稿	五月十四日	五月二十五日	三浦	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村
(29)	浮世物語	六月九日	六月十日	三浦	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村
(30)	船納論理学	七月二十日	七月二十五日	三浦	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村
(31)	進化原論	七月二十日	七月二十五日	三浦	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村
(32)	暁之光輝	八月五日	八月十日	三浦	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村
(33)	船納学二	七月二十八日	七月三十日	三浦	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村
(34)	観風遊説	九月十八日	九月二十日	三浦	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村
(35)	経世危言	九月十八日	九月二十日	三浦	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村
(30)	掃省	九月十八日	九月二十日	三浦	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村
(31)	万国歴史	十月三日	十月五日	三浦	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村
(32)	日本歴史	十月三日	十月五日	三浦	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村
(33)	日曜講義	十月三日	十月五日	三浦	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村
(34)	南洋時事	十月三日	十月五日	三浦	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村
(35)	仏教活論	十月三日	十月五日	三浦	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村
(36)	出版月評	十月十九日	十月二十日	三浦	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村
(37)	岡本子	十二月一日	十二月三日	三浦	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村
(38)	星界記	十二月三十一日	十二月三十日	三浦	二日間	平民政治	三浦	五月五日	木村

(39) 德育鎮定論 十二月三十一日 高山
 (40) 政教日記 十二月三十一日 木村
 (41) " 二十四年一 木村
 (42) 日本文学史

1-02-02 犯則者記事

木村残菊
 岩庭君 クラントストン氏伝 一月十日
 金氏 新篇紫史 下ノ二ニテ (十日間)
 工藤東三郎
 小和田 齋藤竹次郎) 松花録ニ於テ

1-02-03 (書籍廻達簿 (各部))

第一部
 埃及近世史 三十一日 一戸 岩庭
 ミルトン論 齋藤
 風流仏 高山
 犯則ニ付後ニス 木村
 財政学 三浦
 平民政治国憲 山中
 平民政治平民 棟方
 犯則 岩庭
 フラ——伝 四月二日 齋藤

第二部
 国憲汎論 十二月二十日 和田
 哲学涓滴 三十一日 西館
 犯則 金
 生キ平民政治 東海
 平民政治 前小屋
 普通心理学 齋藤
 フランクリン自叙伝 小和田
 西館 和田
 毛口

高山
 木村
 三浦
 クラットストン伝
 埃及近世史
 金
 東海
 前小屋
 齋藤
 毛内
 土藤
 齋藤
 小和田
 和田
 毛内
 東海
 金
 齋藤
 工藤
 前小屋

1-02-04 (書籍廻達簿)

※書名に「たかやま」の朱印を捺す。
 十日改
 順序
 芳李 埃及惨状
 埃及惨状
 平民政治
 ※梓外に「小説史稿」と記載。
 唾之旅行
 小楠遺稿

五日改
 順序
 赤穂義士
 松花録
 芳李 埃及惨状
 唾之旅行
 小楠遺稿

和
 東海
 和
 東海
 和
 毛内
 金

平民政治
松花録

浮城物語

赤穂義士実話

浩武電伝

進化原論

○□□○

埃及慘状

觀風叢話

綿省

綿納
南洋時事

○□□○

出版月評

日本歴史

犯則

綿納
政教日記

綿納十編論二
○□□

日本文学史下

南洋時事
○□□○

○□□○

○□□○

○□□○

○□□○

○□□○

○□□○

岩庭 科学ノ原理

齋藤 芳李

木村 嘔之旅行

高山

三浦 平民政治三

山中 平民政治五

棟方 平民政治四

伊藤 小説史稿

高山

三浦

山中 平民政治

棟方 小楠遺稿

伊藤 綿納論理

岩庭 浮城物語

齋藤 ○遊記

木村 経世危言

高山 万国歴史

三浦 日曜講義

山中 進化原論

棟方 綿省

伊藤 仏教活論

岩庭 ○□

齋藤 南洋時事

木村 岡本子

高山 觀風叢話

三浦 星界想遊記

齋藤典治

木村 ○□

前小屋

齋竹

小和田

和田

東海

毛内

金

齋藤

○□

前小屋

齋藤

小和田

和田

東海

毛内

金

齋藤

森

前小屋

齋竹

小和田

和田

山中

岡本子
日本歴史
日本学史

東海

毛内

金

齋藤典

森

1-02-05 自他楽会記事

自他楽会記事

一月七日 例会ノ処会員少数ニ付キ休会セリ

一月十四 例会ヲ開キ決算報告シ併セテ左ノ事項ヲ決議ス

一 平民政治 毎月出版ノ都度

二月三日 例会

フランクリン自叙

四月一日 例会

財政学。平民政治、新著百種

九の崎へ依託ノコト

赤穂義士実話、嘔之旅行、埃及慘状、小楠遺稿、浩武電伝、

五月 常集会ニ於テ議決スル事項左ノ如シ

科学ノ原理 17 小説史稿 12 浮城物語 50

六月十一日 例会ヲ開キ

綿納論理学

進化原論

候補 ○□のあた波と経世危言

七月

綿省 経世危言 觀風叢話

九月

唾之旅行二、南洋時事、日本歴史、万国歴史、日曜講義

十月例会ノ決議

□□ 閱覽日限ヲ定ムルコト

日本文学史、顕正活論

十一月十一日 例会ヲ開キ左ノ書籍ヲ決議ス

道德鎮定論 国史眼 岡本子 政教日記 星界想遊記

其他候補

万国地理 大久□□物語

十一月二十日頃（十二月二十三日を以テ大集会ヲ開ク廻文ヲ発セリ

十二月二日 第一火曜日例会ヲ開ク 会スル者無慮六名 左ノ書籍購求ノ

儀ヲ決定セリ

格郎究、蘇丹令 五大国漫遊 第九統計年鑑

十二月二十三日 午後三時ヨリ臨時總會ヲ開キ書籍ヲ検査シ並ニ規則ヲ議

定シ会計ノ報告ヲナス

○規則中遠方会員ニ□付キ議論沸騰セリ

○書籍十六冊ノ修膳ハ小和田ノ好意ニ由リ依托セリ

○風流仏ハ借人不见ナリ

○会計報告中本明日中ニ入会シタルモノヲ命シ且□今月中ノ未払ノモノヲ

ベキ論□セリ

1.03 記録簿（明治二十四年）

【表紙】

明治二十四季ノ記録簿ノ自他楽会

【本文】

1.03.01 書籍廻達簿

回数	書名	第一回	第二回	未順
(1)	観風叢話	十月三日	二十三年十一月ヨリ	未順 齋藤
(2)	万国歴史	二十四年一月二十二日	二月十日	未順 小和田
(3)	日本歴史	○	四月二十日	未順 木村
(4)	南洋時事	○	十二月二十日	未順 和田
(5)	仏教活論	十月三十日	十二月三日	未順 森
(6)	出版月評	○	十二月二十六日	未順 金

※廻達期間の日数は枠外に記す。「未順」欄の会員名に「たかやま」の朱印を捺す。

書籍廻達簿

(7) 岡本子	十一月	前小屋	五月二十日	□	□	七日間	(33) 百科説林三	三月二十日	□	□
(8) 星界想遊記	十二月三十一日	齋竹	二月四日	棟方	□	七日間	(34) 温知叢書二			
(9) 徳育鎮定論	十二月三十一日	高山	一月五日			七日間	(35) 温知叢書三			
(10) 政教日記	十二月三十一日	木村	一月五日			七日間	(36) 百家説林四	四月二十二日	○	六月十日
(11) 同	二十四年	木村	一月五日			七日間	(37) 印度奇観	五月三十日		金
(12) 日本文学史	十二月	東海				七日間	(38) 濠州		森	七月二十日
(13) 同下	□	三浦	二月二十四日			二日間	(39) 日本人	五月十二日	高山	
(14) 蘇丹令	□	山中				二日間	(40) 温智四	七月七日	木村	
(15) 五大国漫遊	六月一日	□	二月二十二日			二日間	(41) 朝野人物評	十二月	山中	□六日
(16) 出版月評	一月十七日	岩庭	三月二十二日	和田		二日間	(42) 朝野人物評	二十日	山中	二十三日
(17) 格朗究	三月十日	高山	三月十九日ヨリ	森		(七日間)	(43) 日本教育論	二十四日	山中	十四日
(18) 平民政治	三月十八日マテ	□	四月二十日			(八日間)	(44) 普通教育論	二十七日		
(19) 巴波川	三月十九日	森	三月二十七日			(五日間)	(45) 今世名家文鈔	五月二十六日		
(20) 露小袖	三月八日	毛内				(四日間)	(46) 唾ノ旅行	五月二十二日	三上	八月二十八日
(21) 墨染桜	三月八日	棟方				二日間	(47) 出版月評	六月十二日		十六日
(22) 妾薄命	三月五日	岩庭	三月十三日			(七日間)	(48) 温智叢書(五)	六月十九日	木村	
(23) 財政学	三月五日	小和田				(五十)	(50) 百家説林(五)	六月二十九日	木村	七月三十日
(24) 南洋世界周遊記	三月十九日	三浦	四月二日ヨリ	和田		(五日間)	(51) 戦袍日記	六月二十六日		金
(25) 温知叢書一	三月十九日	齋徹	六月七日	東海		(三日間)	(52) 大福帳	六月二十二日	齋竹	七月二十一日
(26) 百家説林(1)	四月八日	齋竹				(五日間)	(53) 御伽草子上	六月二十六日		
(27) 百家説林(2)	四月八日	木村				(五日間)	(54) 御伽草子下	八月十一日		
(28) 路錫	四月八日	齋竹				(十日間)	(55) 南洋ノ口波	六月二十二日	木村	八月十二日
(29) 切経国論	三月十九日	高木	六月二十三日	佐		(七日間)	(56) 温智叢書	七月三十日		佐藤
(30) 普通論理学	三月十三日	金				(七日間)	(51) 東方策	八月二十八日		
(31) 仏教序論	三月十三日					(七日間)	(52) 百家 六	九月十日		
(32) 国史眼	三月十日		五月一日			二日間	(53) 出版月評 39	十一月二十五日	東海	
	三月十日							二十八日	和田	

二日問 (54) 出版月評40 九月十二日 十一月二十日 今

(55) 百家七 十一月十一日 小和田

(56) 白河楽翁 十一月十一日

(57) 倫理学一 十一月十一日 岩庭

(58) 同二 十二月五日マテ 十月〇日 齋〇 二月〇〇日 和田

(59) 倫理学三 同 森

五日問 (60) 同四 同 金 二十五年

(61) 高等経済原論 十月二十七日 佐藤

(62) 泰西一 二十五一年一月二十日 高山 二十五年

(63) 泰西二 十二月五日 〇〇 二十五年一月十五日 佐藤

(64) 泰西三 十二月十日 齋典

(65) 文章組立法 十二月二十一日 木村 二月十二日 東海

(66) 文つかひ 十一月十二日 棟方 十一月二十二日 今

(67) 山吹塚 十一月二十二日 三浦 十一月二十八日 森

(68) 長者鑑 十一月十三日 齋竹 十一月二十二日 木村

(69) 新世帯 十一月十三日 三上 十二月十六日 金

(70) はなれ燕 十一月十三日 和田 十二月十九日 岩庭

(71) 〇新集 十一月二十四日 〇〇 二十五年

1・03・02 (書籍廻達簿(各部))

※書名に「たかやま」の朱印を捺す。

第一部

蘇丹令 棟方

星界想遊記 岩庭

出版月評 齋藤

第二部

五大国漫遊 金

出版月評 齋藤典

森

万国歴史 木村 政教日記 齋藤竹

格朗究 高山 德育鎮定論 和田

世界周遊記 三浦 蘇丹令 東海

〇教仏物〇論二 山中 出版月評 小和田

墨染桜 岩庭 露小袖 毛内

妾薄命 木村 路錫 齋藤典

日本経世論 木村 巴波川 前〇

百家説林(2) 高山 平民政治 〇中

温知叢書 棟方 百家説林(2) 和田

倫理〇〇 岩庭 日本文明〇 東海

岡本子 齋藤 妾薄命 〇〇

つゆこそで 木村 墨染桜 毛内

温智 高山 国史眼 齋藤

巴波川 三浦 路錫 前小屋

温智〇後 山中 〇〇〇 齋藤

日本文明史 棟方 ルーナル 和田

路錫 岩庭 くらんー 和庭

仏教活論 齋藤 世界周遊記 東海

日本人 木村 温知叢書 小和田

印度濠州 高山 百家説林(3) 毛内

百家説林〇 山中 印度〇〇 金

国史眼 棟方

朝野人物評 岩庭

啞ノ旅行	齋藤	温智	齋藤
普通□□学	木村		前小屋
出版月評	一戸		齋藤
百家説林	高山		和田
百家説林ノ五	三浦		
戦袍日記	山中	倫理	東海
御伽草子	棟方	□□□	小和田
百家説林	岩庭	□□□□	毛内
今□	齋藤	□□□□	森
印度奇観	木村	日本人	金
□□□	高山	温智	齋藤
□□□	一戸	温智	前小屋
東方策	三浦		齋藤
出版月評	山中	朝野人一	和田
日本教育論	棟方	百家説林二	東海
	岩庭	出版月評 三十八	小和田
	齋藤	朝や人物□ 二	毛内
	木村		森
	高山	温智ノ六	金
	一戸	濠州	□□
	三浦	日本経国論	齋藤典
	山中	御伽子	齋藤
		大福帳	和田

一未夕到着セザル書籍ハ

国史眼 統計年鑑 格朗究 平民政治 新著百種ノ十一 財政学

一左ノ書籍ヲ議定セリ(十月二十三日)

百家説林 ルーデル 日本経国論

一二月三日 本会総会ニ於テ左ノ書籍ヲ議定セリ

普通倫理学 温知叢書 五十銭 世界周遊実記 仏教活論序論

三月 休会

四月七日 例会ヲ開キ左事項ヲ決ス

一 佐藤兵馬君入会ノ件

一 三宅日本人 印度奇観 濠州及印度 朝野人物評

五月五日 例会ヲ開キ左ノ書籍ヲ決定ス

啞ノ旅行 教育学 日本教育論 新体日本地誌 今世名家文鈔 後補書

今世名家文鈔 日本書紀 大福帳

六月三日 例会ヲ開キ左ノ書籍ヲ決定ス

戦袍日記 大福帳 御伽草子 大波瀾

候補書

社会進化論 氏□教授術 文章□□□

六月十日 出版月評社ヨリ三十八号ヲ寄贈セラレタリ

七月 例会ヲ欠ク 欠席多ヲ以テナリ

八月 例会ニ於テ左ノ通□ス

東方策 偽悪観ノ日本人

九月 例会ヲ欠ク

十月六日 例会ヲ開キ左ノ事項ヲ行フ

書籍点檢ス不明ノモノ左ノ如シ
 文明要論 文覚上人観 風流仏 国家教育策 日本文学史 巴波川

左ノ書籍ヲ議決ス

維新豪傑物語 十五大決戦史 文章組立法 高等經濟原論

候補書籍

地口発育史 近時政論考 新日本人

田沢口口、口口良太郎ノ口口口口口口

新体支那史 史海 文章口口口

今助次郎君 相馬文太郎君 入会ス

十一月 例会ヲ止ム

十二月 例会ニ於テ左ノ件ヲ議定ス

(1)藤田未類二君入会

(2)新編地質学。東方策第二編ノ購求ノコト

1・03・04 (書籍廻達簿(各部))

教育学 東海

百家五 小和田 ※「たかやま」の朱印を捺す。

御伽 毛内

御伽草子 森

御伽草子 金

戦袍日記 佐藤

南洋時事 小和田

百家説林 齋藤

唾 和田

出版月評 東海

東方策 小和田

森口

金森

佐藤

齋藤

齋藤

和田

東海

1・03・05 (書籍廻達覚)

72 経国策 十一月十九日

73 剪燈史 十一月十九日

74 百家ノ七 十二月二十五日

※「百家ノ七」の項の枠外に「七日」と記載。

1・03・06 (書籍廻達簿(各部))

※二段に記載。

白河 岩庭 百家七

倫理学 齋藤 出版月評 四十

文章組立法 木村 倫理学

□□一 高山 倫理学

□□二 棟方 高等経

□□三 棟方 □□三

文つかひ 三浦 長者鑑「酒」

新世帯 山中 はなれをし

十市

維豪

小和田

今

森

金

佐藤

齋藤

齋藤

和田

東海

犯則	岩庭	剪燈史	今
ハナレヲシ	齋藤	文つかひ	森
経国策	木村	山吹ツカ	金
長者鑑	高山	新世帯	佐藤
倫理書四	相馬	十五決戦史	齋藤
維新	棟方	倫理ノ一	齋藤
小地質学	三浦	百家ノ八	和田
泰西下	山中	泰西上	東海
		文章組	□□
		倫理 二	今
			森
			金
			佐藤
			齋藤
			小和田
			和田
			東海
			和田

※「新世帯 山中」の項の枠外に「山吹塚 三上」と記載。

1・04 記録簿（明治二十五年）

【表紙】

明治二十五季／記録簿／自他楽会

【本文】

1・04・01 書籍廻達簿

※「末願」欄に「たかやま」の朱印を捺す。

書籍廻達簿

回数	書名	第一回	末願	第二回	末願
(1)	白河楽翁卜徳川	○	○		□
(2)	倫理学ノ一	○			
(3)	同ノ二	○			
(4)	同ノ三	十二月五日	森	二月二十一日	和田
(5)	同ノ四	○		四月十六日	岩庭
(6)	高等経済原論	二十五年一月二十日	□	二月二十一日	高山
(7)	泰西十五大決戦史	○			和田
(8)	二	○			佐藤
(9)	三	○			三浦
(10)	文章組立法	○		二月十二日	東海
(11)	維新家傑伝	○		二十五年	
(12)	経国策				
(13)	剪燈史談				
(14)	百家説林ノ八				
(15)	地質学	二十四年	棟方	五月七日	金
(16)	百家説林ノ九	二十五年ノ八	山中	三月九日	佐藤
(17)	百家説林ノ十	五月二十日	齋藤典	五月十二日	

(18)	豪雄少年	三月三十一日	齋藤	六月十九日	相馬	(〇日間)	(44)	明治紳士録二	九月十三日	今
(19)	丈夫ノ本領	五月六日	齋藤	七月二十九日	齋藤	(七日間)	(45)	西比垂鉄道論	九月二十一日	東海
(20)	文学一斑	六月十四日	齋藤	八月二十日	齋藤	(七日間)	(46)	東方策二	十月三十日	山中
(21)	活気ノ焰	六月十六日	小和田	九月四日	岩庭	(七日間)	(47)	海国	九月二十日	今
(22)	経世偉略	七月十日	木村	九月二十九日	齋藤	(四日間)	(48)	海国	九月五日	上
(23)	春ノ家漫筆	七月十六日	東海	八月二十一日	山中	(七日間)	(49)	海国	九月二十日	成田
(24)	明治闊秀美譚	六月十六日	三浦	八月二十二日	小和田	(〇日間)	(50)	明治政史二	九月二十三日	岩庭
(25)	日本漂流譚	七月七	棟方	八月二十五日	東海	(七日間)	(51)	平の次郎	九月二十四日	齋藤
(26)	井筒女之助	七月七	佐藤	九月一日	相馬	(七日間)	(52)	相思恋愛之現象	九月十七日	成田
(27)	開国始末	七月七	森	九月十二日	三浦	(七日間)	(53)	動物学	九月二十四日	東海
(28)	神皇正統記(1)	七月七	成田	九月十日	岩庭	(七日間)	(54)	植物学	十月二十	齋藤
(29)	読書法	七月七	齋藤	十一月十六日	齋藤	(七日間)	(55)	動物学	十月二十	木村
(30)	死及死後	七月七	齋藤	十一月十五日	齋藤	(七日間)	(56)	新日本史上	十月二十	成田
(31)	倫理摘要	七月七	木村	八月十八日	東海	(三日間)	(57)	開口笑話	十月二十	八戸
(32)	支那開化小史	七月七	山中	九月二十二日	成田	(七日間)	(58)	東方策統編	十月二十	岩庭
(33)	神皇正統記(2)	七月七	齋藤	九月十七日	棟方	(四日間)	(59)	日本外史(1)	十月二十	相馬
(34)	神皇正統記(3)	七月七	齋藤	九月二十九日	齋藤	(五日間)	(60)	徳川十五代史	十一月十日	齋藤
(35)	千代田	七月七	成田	九月二十九日	小和田	(三日間)	(61)	那破爺ノ一	十一月十日	齋藤
(36)	明治政史	七月七	高山	九月二十九日	小和田	(四日間)	(62)	我觀小景	十一月十日	齋藤
(37)	明治政史	七月七	高山	九月二十九日	小和田	(四日間)	(63)	小公子	十一月十日	齋藤
(38)	奴の小方	七月七	相馬	九月二十六日	今	(五日間)	(64)	明治政史四	十一月十日	高山
(39)	物理学	七月七	〇田	九月二十九日	今	(五日間)	(65)	明治政史五	十一月十日	小和田
(40)	物理学	七月七	東海	九月二十九日	齋藤	(五日間)	(66)	明治政史六	十一月十日	成田
(41)	南洋探検	七月七	東海	九月二十九日	齋藤	(五日間)	(67)	罪卜罰	十一月十日	東海
(42)	明治紳士録一	七月七	成田	九月二十九日	森	(五日間)	(68)	万国史綱	十一月十日	〇田
(43)	まほろし	七月七	成田	九月二十九日	三浦	(五日間)	(69)	クラットストーン伝	十一月十日	東海

(五日間)(70) 徳川十五代史二

十二月九日
十二月十五日

八戸

(71) 安政記事

十一月十五日
十二月十八日

齋藤竹

※(71)と(72)の間に線を引き、その上方に「二十六年一月一日四〇入」と記す。

(72) 帝国史略上

二月十七日

齋竹

(73) 同 下

二月二十五日

齋竹

(74) 大疑獄

二月十七日

成田

(75) 荒海実一

一月二十六日

棟方

(76) 鬼奴

一月十七日

三浦

(77) 風の糸目

一月十二日

小和田

1・04・02 (書籍廻達簿(各部))

第一部

※書名に「たかやま」の朱印を捺す。

第二部

百家説林ノ九	岩庭	地質学	佐藤
倫理学	齋藤	百家九	齋藤
丈夫の本願	木村	百家十	齋藤竹
活気ノ焰	高山	豪雄	小和田
	相馬		和田
豪雄少年	棟方	文学一斑	東海
高等原論	三浦	経世偉略	成田
閩秀美譚	山中	日本漂流記	今
春の廻漫筆			森
支那小史	岩庭		今
閩秀美譚(通)	齋藤		齋藤
読書法			
死及死後	齋藤		佐藤

倫理摘要	高山	〇〇〇〇	齋藤
明治政史二	相馬	開国始末	齋藤竹
奴ノ小万	棟方	神皇正統記	小和田
南洋探検	三浦	千代田	東海
明治紳士録	山中	物理二	成田
経世偉略	岩庭	物理ノ一	今
文学一斑	齋藤	〇〇〇	〇
〇	木村	〇〇〇	齋藤
明治〇〇記	高山	〇〇〇	
〇	相馬	丈夫ノ本領	小和田
紳士ノ二	棟方	春の屋漫筆	成田
	三浦	まほろし	東海
神皇	山中	倫理通論	成田
東方策	岩庭	国〇〇〇	今
明治政史	齋藤	奴の小万	森
平の次郎	木村	明治紳士録	齋藤
千代田	高山	読書法	齋藤
〇	相馬	活気焰	小和田
新編物理学下	棟方	明治政史	成田
	三浦	支那史	東海
〇	山中	西比利亜	藤田
まほろし	岩庭	海国下	今
物理学五	齋藤	海国上	森
東方策統編	木村	〇〇〇	齋藤
植物学	高山	〇〇〇	小和田
植物学	相馬	南洋探検	成田
海国		明治紳士ノ二	

新日本外史	棟方	平の次郎	□□〔東海カ〕
相思恋愛 □□□	三浦	動物学	藤田
海国	山中	新日本史	八戸
西比利亞鉄道	岩庭	開口笑話	今
海国始末	齋藤	明治政史	森
那破崙	木村	東方策	齋藤
我国の前途	高山	(小公子)	小和田
明治政史 四	相馬	徳川十五代史	齋藤
万国史	棟方	明治政史五	成田
動物学	三浦	明治政史六	東海
鬼奴	山中	罪ト罰	藤田
東方策	岩庭	クラントストーン伝	八戸
この眼	齋藤	徳川十五代史	今
	木村	日本外史	森
	高山	安政記事	齋藤
	相馬	東方策	齋藤
	棟方	帝国上下	小和田
	三浦	嵐の糸目	成田
	山中	大塚の糸目	東海
		大塚の糸目	藤田
		大塚の糸目	八戸
		大塚の糸目	今

二十五年一月 例会ヲ止ム
 同二月 例会ヲ止ム(人員少キヲ以テナリ)
 同月十八日 書籍検閲ヲ行フ 左ノ書籍ハ不明ナリ
 乙女心。掘出モノ。色懺悔 赤穂義士実話 □□□
 二月二十八日 本会記念茶話□□□ヲ開ク 其他是迄ノ通り
 三月 例会ニ於テ左ノ通記
 開国始末 豪勇少年 社会学ノ原理
 四月 例会ニ於テ左ノ通決議ス
 休会ノコト
 四月二十七日東京本□元町二丁目六十七番地小柳方古川寿平氏ヨリ寄贈
 国文第一第四第三ノ三冊ヲ寄贈セラル
 第二第五ノ二冊ヲ同人ヨリ寄送セラル ※梓外に「四月二十八日」と記す。
 六月 例会休会セリ
 一丈夫ノ本領 一冊、一活氣ノ焰、一冊
 購求ス、
 七月
 文学一斑、外四冊購求ス
 七月五日 例会ヲ開キ左決議定
 倫理摘要、支那開化小史、神皇正統記 死及死後、読書法
 右購求ノコト
 其他臨時委員派出書籍四部購求ス
 八月二日 例会ニ於テ左ノ件ヲ議了ス
 成田武衛君入会許諾ノコト
 十月五日 例会ニ於テ左ノ件ヲ決議セリ
 一八戸市太郎君入会許諾ノ件
 一左ノ書籍購求ノコト

新日本史 植物学 鉱物学 動物学 開口笑語 東方策後編
 十一月六日 例会ニ於テ左ノ件ヲ決議ス
 一左ノ書籍購求ノコト

万国史綱 罪卜罰 小公子 徳川十五代記 新日本外史 我観小景
 人物管見

十二月六日 例会ニ於テ左ノ書籍ヲ決議ス
 日本帝国史略 鬼奴 桜痴放言 日本史 新説 天竺徳兵衛 大疑獄
 十二月二十五日 総集会ニテ書籍検閲ヲ行フ□□トスル 左ノ書籍不見
 妹背貝 財政学上 仏教活論序論 国会解散 明治紳士録

1・05 記録簿(明治二十六年)
 【表紙】
 明治二十六年ノ記録簿ノ自他楽会

【本文】

1・05・01 書籍廻達簿

※「回数」欄の記載なし。書名の上の日数は枠外に記されたもの。「末順」欄に「たかやま」または「高山」の朱印を捺す。

書籍廻達簿

回数	第一回	第二回	末順
七日間	植物学	一月十七日	斎藤 一月十三日
七日間	鉱物学	十二月十二日	木村 二月十四日
七日間	新日本史上	十二月二十日	棟方 一月十二日ヨリ
三日間	開口笑語	十一月十五日	十七日
七日間	新日本史中	十二月二十七日	棟方 一月十七日ヨリ
四日間	新日本外史	十二月二十七日	一月二十日
(五日間)	徳川十五代史四	十一月十八日	
		十二月二十五日	
(三日間)	那破翁一		二十七日
(三日間)	我観小景	十二月二十日	一月二十二日
(四日間)	小公子	一月二日	二月八日
(五日間)	明治政史四	一月十七日	斎竹 二月二十日
(五日間)	明治政史五	一月十七日	高山 二月十九日
(五日間)	明治政史六	一月十七日	小和田 一月十七日
(二日間)	罪卜罰	一月十七日	成田
(五日間)	万国史綱	一月七日	東海 二月十六日
(五日間)	クラットストン伝	一月十二日	相馬 三月十三日
			東海 四月十六日
			山中
			八戸
			相馬
			三浦
			小和田
			八戸
			今
			森
			末順

(五日間) 德川十五代史二	一月二十九日	八戸	三月三十日	木村	(五日間) 德川十五代史四	二月十三日	東海	五月十六日	棟方
(五日間) 安政記事	二月十日	森	十一月二十日	藤田	(四日間) 日本外史四	二月二十五日	齋徹	六月十三日	藤田
(六日間) 帝国史略上	二月十七日	齋竹	四月二十二日	相馬	(五日間) 桜痴放言	四月六日	小和田	六月十五日	齋藤
(六日間) 同下	二月二十三日	齋藤	四月二十五日	相馬	(五日間) 懷旧	四月十日	齋典	五月八日	山中
(五日間) 大疑獄	二月十七日	成田	四月十五日	相馬	(十日間) 社会平權論	五月二十六日	東海	五月二十七日	棟方
(二日間) 荒海実一	二月二十二日	棟方	三月三日	森	(四日間) 若葉	四月十二日	木村	五月二十九日	齋藤
(三日間) 鬼奴	一月十七日	三浦	二月二十一日	小和田	(五日間) 三大航記	五月二十二日	相馬	八月十六日	齋藤
(二日間) この眼	一月十日	岩庭	二月二十七日	今	(七日間) 益軒十訓	五月二十六日	森	九月三十日	山中
(二日間) 風の糸目	一月十二日	小和田	二月十七日	相馬	(五日間) 破太鼓	四月二十七日	小和田	六月七日	相馬
(三日間) 日本史学新説	十八日	東海	二月一日	高田	(五日間) 罪と罰下	五月二日	今	七月十五日	齋藤
(五日間) 千代田大輿	二月十一日	齋徹	二月二十一日	森	(五日間) 德川ノ六	四月十七日	藤田	六月三十日	高山
(四日間) 日本外史二		高田	四月八日	森	(四日間) 闇黒ノ一	五月十八日	三浦	七月三日	今
(五日間) 警使者	一月十七日	森	四月十二日	八戸	(五日間) 明治政史九	五月二十日	相馬		
(七日間) "	二月十七日	今		三浦	(五日間) 德川十五代史五	五月二十日	八戸	六月十日	山中
(四日間) 天竺徳兵衛	二月二十二日	高典		八戸	(七日間) 大疑獄ノ二	六月七日	成田	九月十日	木村
(四日間) 練絹新三郎	二月十九日	山中	四月十二日	八戸	(三日間) 宗教骸骨	七月二十日	成田	六月二十日	齋藤
(七日間) 今古雅譚	二月十九日	岩庭	三月二十日	八、	(七日間) 万国史綱ノ下	七月二十日	齋藤	九月二十日	三上
(七日間) 日本通史	三月十九日	棟方	六月二日	東海	(四日間) 闇黒ノ二	五月二十三日	齋藤	七月十九日	森
(七日間) 相馬大作	四月五日	齋徹	四月十二日	今	(四日間) 同ノ三	五月二十三日	森	八月二十九日	森
(四日間) 新撰日本外史三	二月七日	山中	三月十日	八戸	(四日間) 日本歴史評林二	六月二十七日			
(五日間) 德川十五代史三	三月十四日	東海	三月十五日	八戸	(四日間) 同三	六月二十七日			
(五日間) 墨西亜記	三月十七日	小和田	六月五日	今	(五日間) 德川十五代史七	五月二十三日	東海	八月五日	齋藤
(四日間) 日本評林一	三月十日	齋典	四月三日	齋藤	(五日間) 教育ノ衝突	六月二十七日	東海	十月五日	山中
(五日間) 明治政史七	三月十八日	藤田	四月三十日	岩庭	(五日間) 宗教關係	七月十日	岩庭	二月二十六日	三上
(五日間) 明治政史八	三月十八日	相馬		藤田	(五日間) 耶蘇教	六月二十七日	藤田		木村
(五日間) 活文字	二月六日	棟方		藤田	(五日間) 明治政史十	六月二十六日	成田	九月二十日	山中
	二月二十六日					八月二日			

(五日間) 同十一	八月五日	八戸	三浦	(六日間) 四十年日本一	十月三日	八戸	小和田
(五日間) 同十二	八月五日	相馬	棟方	(三日間) 相馬家	十月三日	高山	今
(七日間) 万国地理一	十月三日	齋藤竹	齋典	(三日間) 四十年日本二	十月六日	八戸	小和田
(四日間) 山岡鉄舟	八月十七日	木村	今	○(七日間) 宗教進化論	十一月十六日	齋藤徹	
" 貧天地	八月十七日	岩庭	森	" 万国地理ノ下	十一月十六日	齋藤竹	成田
" 富強策	八月十七日	高山	齋典	" 日本通史下	十一月十六日	相馬	
(七日間) 東亜ノ大勢	九月五日	森	高山	(十日間) 倫理学之口	十二月二十日	三浦	
(四日間) 偽哲学	八月十二日	今	山中	(七日間) 帝国史略	十二月二十日	小和田	
" 怪男児	八月十二日	齋藤	齋藤				
四日間 日本歴史評林五	八月十七日	藤田	棟方				
四日間 闇黒ノ四	八月二十五日	三浦	三上				
四日間 闇黒ノ五	八月二十五日	三浦	藤田				
(四日間) 新日本外史五	八月十七日	東海	三浦	1・05・02 (書籍廻達簿(各部))			
○" "六	八月十七日	相馬		※二段に記す。下段は「第二部」と推定される。書名の上に「高山」の朱印を捺す。			
○" "七	八月二十二日	木村	東海	第一部			
(四日間) 日本歴史評林四	八月十七日	八戸	高山	千代田ノ下	木村	史学新説	藤田
(四日間) 徳川十五代十	九月八日	東海	木村	開口笑語	高山	那破翁	相馬
(四日間) 歴史評林ノ七	九月八日	齋典	齋藤竹	日本外史	三浦	那破翁	八戸
(七日間) 社会進化論	九月八日	藤田	齋徹	新日本外史	棟方	我観小景	成田
(四日間) 歴林六	九月十日	小和田	小和田	夙ノ糸目	山中	替使者下	森
" 徳川九	九月十日	岩庭	○	練絹新三郎	小和田	桜痴放言	今
" 徳川ノ八	九月一日	齋徹	岩庭	明治政史五	棟方	替使者上	齋藤典
(二日間) 春日局	九月	木村	棟方	日本通史	岩庭	天竺徳兵衛	東海
(七日間) 世界之哲人	十二月二十四日	相馬	藤田	小公子	齋藤	今古雅譚	藤田
(三日間) 孔夫子		高山	八戸	相馬大作	木村		相馬
(七日間) 族制	十一月十三日	成田		徳川十五代	高山	明治政史	八戸
				日本史学「消」	齋藤竹	鬼奴	成田
				罪と罰	三浦	あら海夷一	森

明治政史六	山中	あら海	今	万国史綱	三浦	若葉	東海
新日本外史ノ三	小和田	花相撰	齋藤	二、三、闇黒亜フリカ一	山中	相馬大作	藤田
墨西古探検記	棟方	日本評林	東海	徳川十五代ノ五	小和田	日本外史四	相馬
活文学	岩庭	徳川十五代史	藤田	社会平権論〔消〕	棟方	破太鼓	八戸
徳川十五代	齋藤	明治政史七	相馬	社会平権論	岩庭	徳川十五代	成田
新撰日本外史	木村	明治政史八	八戸	宗教関係論	齋藤	歴史評林ノ二	森
若葉	高山	万国史綱	成田	罪卜罰	木村	同三	今
社会平権論〔消〕	齋藤竹	徳川十五代	今	山岡鉄舟	高山	闇黒ノ一	齋藤
大疑獄	三浦	千代田大奥	齋藤	三週航記	齋藤	宗教骸	藤田
警使者	山中	日本外史二	齋藤	万国地理ノ一	三浦	衝突史	藤田
明治政史七	小和田	懐旧	東海	徳川ノ七	山中	耶蘇教	相馬
クラントスン〔消〕	棟方	社会平権論	藤田	大疑獄	小和田	明治十二	八戸
今古雅譚	岩庭	三大航記	相馬	大獄	棟方	、十一	成田
帝國史略一(二)	齋藤	新日本外三	八戸	明治政史九〔消〕	岩庭	、十	木村
桜痴放言〔消〕	木村	相馬大作	成田	貧天地	齋藤	東亞ノ勢力	今
歴史評林	高山	益軒	森	富強策〔消〕	木村	怪男児	齋藤
明治政史八	齋藤	罪と罰二	今	日本外史ノ七	高山	日本外史ノ五	東海
桜痴放言	三浦	桜痴放言	齋藤	富強策	齋藤	歴史評林ノ五	藤田
天竺徳兵衛	山中	通史ノ一	東海	歴史評林ノ三	三浦	日本外史六	相馬
懐旧	小和田	徳川六	成田	闇黒ノ四、五、	山中	歴史評林四	八戸
破太鼓	棟方	明治九	相馬	明治政史ノ十	小和田	闇黒ノ二〔消〕	成田
徳川四	岩庭	徳川十五ノ五	八戸	歴史評林ノ六	棟方	闇黒ノ二三	森
安政記事	齋藤	大獄ノ二	成田	徳川九	岩庭	万国史ノ二	今
宗教骸	高山	墨西	今	徳川八	齋藤	歴史評林ノ六	三上
徳川十五代六	齋藤徹		齋藤	徳川八	木村	徳川十五代ノ十	東海
						進化論	藤田
							相馬

天□□□	高山	世界ノ哲人	八戸
相馬家	齋藤	四十年	成田
怪男児	三浦		木村
新日本史ノ五	山中	族制	今
教育ト宗教ノ衝突	小和田	山岡鉄舟 日本外史ノ七	東海 三上
耶蘇教	棟方	闇黒ノ四	齋藤
明治政史ノ十二	岩庭	万地ノ一	森 東海
相馬闇世の中	齋藤	探險記	藤田
万国地理指要	木村	闇黒ノ五	相馬
	木村	日本通史ノ下	八戸
徳川十五代八〔消〕	高山	徳川ノ八、九	成田
日本歴史評林ノ四	齋藤		森
宗教進化論	三浦	徳川ノ九	今
倫理学元良	山中	闇の世の中	東海
排仏教論	小和田	社会乃原理一八マデ	三上
徳川十五代九〔消〕	棟方	□原□□	齋藤
四十年後ノ日本	岩庭	富強策	森
評林三〔消〕	齋藤	春田庵	藤田
同五	同ノ七	春日局	相馬
	徳川ノ第十	孔夫〔消〕	八戸
	東亜ノ大勢	孔夫子	成田
文□補□	三浦	万国地理ノ下	今
明治政史十一	山中	王陽明	東海
	小和田		三上
□進化論	棟方		齋藤
世□□□			森

1・05・03 記事

記事

十二月 総集会ニテ書籍詮議ノ部

(妹背貝) (財政学) 仏教序論

国会解散 明治紳士録

※粹外に「二月紀念会ノ三月常集ノ四月常集ノ五月常集」と記す。

六月 常集会ヲ開ク

八月 三上寿吉氏入会ス

十月 日常集会ヲ開ク

八月二日 書籍検閲セシニ左ノ書籍ハ詮議ノ分也

我国内政外交 赤穂四十七実話

□□□□□□□□

木村良太郎 三冊間

(五日間) 社会学ノ原理 十二月十五日 東海

1・05・04 (書籍廻達簿)

※二段に記載するように線が引かれているが上段にしか記入なし。

(五日間) 社会学ノ原理 一 十二月□□ 東海

(五日間) 二 十二月十日 東海

(五日間) 三 十二月十五日 東海

(五日間) 四 十二月二十日 東海

(五日間) 五 □月二十五日 東海

(五日間) 六 十二月三十日 東海

(五日間) 七 一月五日 東海

(五日間)

八 一月十日

東海

七日間

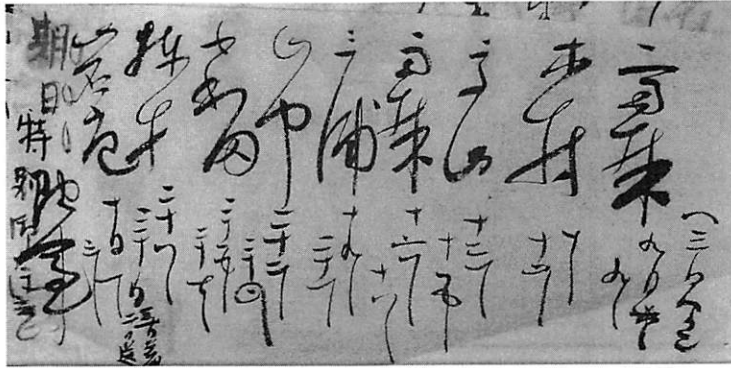
(日本戦史一
同図)

三上

七日間

(同文書
同補任)

齋藤



1・05・05 (書籍廻達×モ)

※以下、回覧する書籍に付されていた回覧期日を記した紙片。理事名で出されたものが回収され、簿冊の末尾に重ねて貼られている。

(三日間)

齋藤 九月七日 九日

木村 十月 十二日

高山 十三日 十五日

齋藤 十六日 十八日

三浦 十九日 二十一日

山中 二十二日 二十四日

小和田 二十五日 二十七日

棟方 二十八日 三十日

岩庭 十月一日 三日

三十日着
二日送

理事

期日特別御注意

※「期日特別御注意」は朱で書す。

1・05・06 (書籍廻達×モ)

(四日間)

相馬 七月十六日十九日

八戸 二十日 二十三日

成田 二十四日 二十七日

森 二十八日 八月一日

今 二日 五日

九月十八日□

齋藤 六日 九日

東海 十日 十三日
藤田 十四日 十七日

理事

1・05・07 (書籍廻達×モ)
(四日間)

齋藤 九月七日
森 十一日

藤田 十五日

相馬 十九日

八戸 二十三日

成田 二十七日

今 十月一日

東海 五日

三上 九日 十三日

理事

※冒頭の「四日間」及び回覧の日付は朱書。但し、東海の項の下の付記は鉛筆書き。

十月七日着
九日次へ

高山 二十七日 三月三日

三浦 四日 八日

山中 九日 十三日

相馬 十四日 十八日

棟方 十九日 二十三日

岩庭 二十四日 二十八日

理事

1・05・09 (書籍廻達×モ)

□氏五日間

木村 三月七日より

□庭 十三日より

□藤 十八日より

□方 二十三日より

□山 二十八日より 四月一日

□馬 二日より

□浦 七日より

□□ 十二日より 十六日まで

理事

1・05・10 (書籍廻達×モ)

相馬大作 (五日間)

木村 一月 二十四日 二十八日

高山 二十九日 二月二日 三月十八日到着

齋藤 三日 七日

三浦 八日 十二日

山中 十三日 十七日

小和田 十八日 二十七日

棟方 二十三日 二十七日

岩庭 二十八日 三月四日

□藤 五日 九日

理事

期日御注意

※「期日御注意」は朱書。

1-06 記録簿 (明治二十七年)

【表紙】

明治二十七年 / 記録簿 / 自他楽会

【本文】

1-06-01 (書籍廻達簿)

※回数欄の記載はない。日数の記載は枠外。「末順」の項に「高山」の朱印を捺す。

回数	書名	日数	末順	日数	末順	備考	日数	末順	備考
	新撰日本外史六		相馬			(七日間)	吉田松陰		三月二十八日
	同	七	東海			(三日間)	新撰日本外史八		三月二十一日
	春日局		齋藤	〇	×		〃		三月二十一日
	孔夫子		〃竹	〇			〃		三月二十一日
	族制進化論		成田				〃		三月二十二日
	日本通史ノ下		相馬				〃		三月二十二日
	社会学ノ原理一	二	東海		齋竹		帝國史略		六月十二日
		三	東海				闇黒アフリカ		六月二十日
		四	東海				懷往事談		六月十一日
		五	東海				馬鹿趙高		六月十一日
		六	東海				排仏教		六月五日
		七	東海				盲詩人		七月一日
		八	東海				我國の前途		七月二十四日
	東亜ノ大勢		東海				今世国家論		八月十四日
	社会進化論		東海				今世國務論上		十月六日
	世界ニ於ケル日本人		高山				新攘夷論		十月五日
			小和田				支那文明論		十月十日
			山中				政治及經濟		十月十日
			齋口	五月九日	齋典		宋学概論		十月十日
							權利競争論		十月十日
							補付		五月九日
							王陽明		五月九日
							齋竹		五月九日
							齋竹		五月九日
							今		七月十六日
							棟方		三月二十日
							齋徹		三月十三日
							木村		三月十三日
							齋藤徹		七月二十一日
							相馬		七月二十一日
							八戸		十二月十二日
							三浦		十二月十二日
							成田		十月十日
							東海		十月十日
							三上		十月十日
							相馬		十月十日
							齋徹		十月十日
							齋竹		十月十日
							齋藤徹		十二月十四日
							八戸		十二月十四日
							齋竹		十一月十五日
							齋藤典		十一月三日
							木村		十二月十五日
							岩庭		十二月六日
							三浦		十二月六日
							今		十二月六日
							齋竹		十二月六日
							小和田		十二月六日
							三浦		十二月六日
							相馬		十二月六日
							齋竹		十二月六日
							成田		十二月六日
							今		十二月六日

(三日間)	日本漂流譚	十月二日	山中	日本戦史	齋藤	帝国史略ノ下	三上
(五日間)	藩翰譜ノ一	十月十七日	今	日本外史ノ八	木村	日本戦史 文書口	齋藤
(五日間)	今世国務論ノ下	十月二十二日	東海	日本外史ノ九	高山	宗教進化論 二月七日	山口
(十日間)	支那彙報	十一月三十日	山口齋藤竹	日本外史ノ十	齋藤	倫理学	成田
(五日間)	朝鮮——	十二月七日	三上	社会学ノ原理	三浦	日本外史ノ十	相馬
(五日間)	鯨幾太郎	十一月十二日	齋藤口	族制進化論	木村	日本外史ノ十一	八戸
(十日間)	強者の権利	十二月口日	相馬	王陽明	小和田	日本外史ノ八	成田
(五日間)	西郷隆盛伝	十月十二日	口口	排仏教	棟方	懷往事談	今
(五日間)	藩翰譜ノ二	十一月二日	齋典	日本外史ノ十一	岩庭	日本外史九	東海
(五日間)	同三	十一月七日	齋典	宋学概論	齋藤	馬鹿趙高	三上
(三日間)	めをと	十月二十四日	高山	盲詩人	山口	盲詩人	齋藤
(五日間)	西郷隆盛伝ノ二	十月二十日	岩庭	新攘夷論	三浦	支那文明論	成田
(五日間)	憲法比較論	十二月二十四日	八戸	学教史論	木村	今世国家論	相馬
(五日間)	藩翰譜ノ四	十二月二十五日	今	政治及経済	山中	我國の前途	八戸
(五日間)	徳川政教史上	十二月十五日	高山	日本漂流譚ノ二	小和田	今世国務論	成田
(十日間)	学教史論	二十八年	齋徹	帝国史略下ノ二	棟方	排仏教	今
(五日間)	日本風景論	十二月三十日	三上寿	支那彙報	岩庭	藩翰譜一	東海
(三日間)	新小説		齋竹	下 鯨幾太郎	齋竹	今世国務論ノ下	三上
(七日間)	日本外史ノ十二		三上	上 隆盛伝口口	高山	朝鮮彙報	齋藤
(五日間)	歐洲新政史ノ上	一月三十日	岩庭	めをと	齋藤		成田
(五日間)	西郷隆盛伝ノ三	一月二十五日	八戸	支那文明論	三浦	藩譜ノ二三	相馬
				朝鮮ノ報	木村	強者の権利	八戸
				藩ノ一	山中	比較憲法論	棟方
					小和田	藩翰譜	成田
					三上	政治及経済	今
					岩庭	宋学概論	東海
						徳川政教ノ上	

1-06-02 (書籍廻達簿 (各部))

吉田松陰 岩庭 王陽明 東海

憲法論

齋藤 めをと

三上

学教史論

高山 日本風景論

齋藤

徳川政教考下

齋竹 日本外史ノ十二

相馬

我國の前途
新小説

三浦 新撰夷

八戸

国口ノ上

木村 欧州新政史

棟方

藩ノ二、三

山中 西郷隆盛ノ一
□々ノ二

成田

小和田 新小説

今

三上

東海

西郷隆盛ノ三

岩庭

三上

齋竹

高山

1・06・03 記事
記事

※記載なし。

※「書籍廻達簿(各部)」の前に、額面四十銭の為替「受領証書(活版印刷)」を
扶む。「振出日附印」には「二十七年十一月二十九日/弘前郵便電報局」の印を捺し、
「差出人宿所氏名」および「受取人宿所氏名」の欄はいずれも空白。

1・07 記録簿(明治二十八年)

【表紙】

明治二十八年度/記録簿/自他楽会

【本文】

1・07・01 (書籍廻達簿)

※氏名を記した欄に「高山」の朱印を捺す。

十日間 吉田松陰

○ 四月五日

今

排仏教

十月十日

成田 ○

盲詩人

十月十日

齋徹 ○

我國の前途

齋竹 □

今世国家論

十二月十五日

小和田 ○

今世国務論上

二十八年
一月十六

三浦 ○

新撰夷論

十一月十五日

相馬 ○

宋学概論

十二月三日

今 ○

權利競争論

十月十日

三浦 三月十二日

八戸

日本漂流譚二

十月二日

山中 二月九日

三寿

今世国務論下

—— 東海 二月二十日

三浦

支那彙報

一月三十日

齋竹 ○

朝鮮彙報

一月二十日

三浦 ○

鯨幾太郎

十一月十二日

齋藤徹 二月二十日

齋典

強者ノ權利

—— ○ 四月ノ二日

□□

西郷隆盛伝ノ一

一月二十七日

棟方 ○

藩翰ノ二

十月二日

齋典 ○

三

十一月七日

齋典 ○

木村

西郷隆盛伝ノ二

岩庭

藩翰ノ四	十一月二十七日	棟方	木村	五日間	佐久間象山	七月三十日	三浦	十月十日	〇
(五日間) 徳川政教考	十二月二十五日	今	相馬	五日間	英国海戦史	七月二十五日	成田	二十九年一月二十三日	齋徹
(五日間) 下	十二月十五日	高山	木村	五日間	コサツク東方史	七月二十五日	今	九月二十日	三浦
学教史論	二十八日	齋徹	〇	三日間	桜の御所上下	七月八日	東海	十二月二日	齋竹
日本風景論	十二月三十日	三寿	齋藤	三日間	下	七月十一日	東海	十二月七日	齋竹
新小説	一月十一日	成田	〇	四日間	半月城	八月三日	小和田	十二月二十日	〇
日本外史ノ三	十二月二十七日	齋典	〇	十日間	大隈昔日譚	九月二日	岩庭		
欧州新政史一	一月三十日	八戸	小和田	三日間	聖徳太子	七月十一日	三浦	九月三十日	八戸
西郷隆盛三	一月二十五日	八戸	棟方	三日間	徳川光圀	七月二十四日	三上		三寿
日韓古史断	三月二十四日	東海	〇	(四日間) 波斯ノ旅		八月四日	三浦	十月五日	山中
西郷隆盛伝四	二月三十日	齋竹	棟方	(十日間) 日本西教上		十月二十日	〇		
今世海軍	三月十七日	山中	〇	(十日間) 下			棟方		
(十日間) 大原論	五月一日	齋藤	八戸	(三日間) 衣笠城		十二月二日	〇		
(五日間) 支那処分案	三月二十五日	棟方	〇	(三日間) 台湾陣		八月二十七日	木村		成田
〃	四月十日	東海	〇	(三日間) 不言不語		八月二十四日	成田	十月十四日	〇
〃	四月十日	今	高山	後ノ三日月		九月八日	今	十一月二十四日	三浦
〃	四月十五日	今	高山	国語ノため		九月十一日	山中		
〃	四月二十日	今	高山	後ノ海賊		二十八日 十月十五日	山中	一月十日	
(五日間) 新政史二	四月三十日	東海	小和田	日蓮記		十月六日	三寿	十一月二十一日	木村
(五日間) 新政史四	四月三十日	三上寿八月二十日	〇	十二時会稽曾我		十月六日	東海	十一月二十七日	三浦
(五日間) 陣中日記	五月十日	三敬 七月十一日	三上寿	関原普凱歌		十月十五日	木村		
(五日間) 西郷隆盛伝五	六月十三日	三上 八月二十五日	〇	東鑑拝賀卷		十月六日	齋典	十月二十九日	三上
(五日間) 孟亜聖	七月五日	小和田	〇	古賀市		十月六日	〇		
(三日間) 海賊	六月二十日	八戸 八月十木申	山冊	記憶法		十一月三十日	岩庭	二十九年二月二十日	今
十日間 日本風俗史	八月十七日	相馬	高山	日本文学集覽		十一月三十日	齋徹		
三日間 教育者の精神	六月二十四日	齋藤	〇	浅田宗伯伝		十月三十日	小和田		

伏魔殿	十月二十一日	今	齋藤	教育者ノ精神	高山	欧州新政史ノ二四	齋藤
近松一斑	十二月二十五日	八戸	相馬	大奥の女中	齋藤	欧州新政史ノ二四	齋藤
瀧口入道	十一月八日	小和田	二十九 年一月二日	支那処分案	三浦	日本風俗史	相馬
藩翰譜五	十二月十日	相馬	三上	佐久間象山	木村	海賊	八戸
同 六	十二月十五日	相馬	成田	桜の御所 □□□□	山中	道徳大原論	棟方
露西亞帝國	二月五日	棟方	今	国語ノため	小和田	□□ノ四卷	成田
親鸞聖人	十二月三十日	高山	東海	半月城	三上	英国海戦史	今
栢陰存稿	十二月九日	齋竹	三上	徳川光圀	岩庭	コッサク東方侵略史	東海
同 下	十二月十二日	齋竹	齋藤	大隈昔日譚	齋藤	桜の御所	三上
名誉実録上	一月二十五日	成田	齋藤	聖徳太子	高山	陣中日記	齋藤
同 下	二月五日	木村	齋藤	新政史四	三浦	海賊〔消〕	相馬
風雲漫録	二十九 年一月二十五日	小和田	三浦	日韓古史断	木村	波斯ノ旅	八戸
日本風俗史下	二十九 年二月二十八日	相馬	山中	コッサク東方史	木村	西郷五	棟方
			今	関原菅	山中	日本西教史	成田
			東海	後ノ海賊	小和田	後ノ三日月	今
			三上	宗伯伝	三上	十二時	三上
			齋藤	欧州新政史〔消〕	岩庭	日蓮記	齋藤
			東海	記憶法	齋藤	東鑑拝賀卷	相馬
			三上	日本文学集覽	高山	佐久間	八戸
			齋藤	日本風俗史	齋藤	聖徳太子	棟方
			相馬	古賀市	三浦	半月城	成田
			八戸	後ノ三日月	木村	台湾陣	今
			棟方	日蓮記	山中	伏魔殿	東海
			成田	不言不語	小和田	関原菅	三上
			今	瀧口入道	三上	光圀	齋藤
			東海	東鑑	岩庭	衣笠城	齋藤
			三上				三浦

桜の御所 齋藤 藩翰譜五、六
 英国海戦史 高山 近松一斑
 親鸞聖人 齋藤 露亜帝国
 梧桐存稿上下 三浦 名替実録上
 十二時曾我 木村 記憶法
 名替実録ノ下 山中
 波斯ノ旅 小和田 瀧口入道
 風雲漫録 三上 齋藤
 岩庭 日本風俗史
 齋藤 八戸

1・08 記録簿（明治二十九年）
 【表紙】
 明治二十九年ノ記録簿ノ自他楽会

【本文】

1・08・01（書籍廻達箋）

※冒頭の枠外に「回覧最終ノ期日」と記す。書名の上の「五日間」などは枠外の記載。

（五日間）孟亜聖

英国海戦史 岩庭 二月十九日 入り棟方
 桜の御所上 成田 一月二十三日 入齋徹

同 下 東海 齋竹
 大隈昔日譚 岩庭 七月十九日 八戸

陣中日記 三上敬 入り三上寿
 海賊 岩 入り山中

聖徳太子 齋徹 八戸
 波斯の旅 相馬 山中

日本西教史上 棟方 四月十五日 入岩庭
 同 下 棟方 八月七日 入岩庭

衣笠城 齋典 二月十一日 未小和田
 台湾陣 木村 終

後ノ三日月 今 三浦
 後ノ海賊 山中 入東海

日蓮記 三上寿 木村
 十二時會稽曾我 東海 三浦

関原登凱歌 木村 終
 東鑑拝賀卷 齋典 三上

(十日間) 古賀市	齋竹	二月四日	八戸	(三日間) 林子平	四月二十四日	山中	十月八日	阿保
記憶法	岩庭	今	今	(三日間) 近世女風俗考	五月二日	清野	九月二十八日	高山
(十日間) 日本文学集覽	齋徹	四月十四日	今	(十日間) 生物始原	七月十七日	八戸	十二月四日	清野
浅田宗伯伝	小和田	三月二十八日	棟方	(五日間) 軍隊	六月二日	今	九月二十六日	八戸
伏魔殿	今	十二月二十三日	岩庭	(五日間) 佐藤信淵伝	六月二日	八戸	十二月二十日	木村
近松一斑	八戸	五月十二日	入高山	(五日間) 蒲生君平	六月二十二日	三浦	十二月二十日	八戸
瀧口入道	小和田	十月二日	入三上	(六日間) 小説家	七月四日	山中	三十年一月十五日	小和田
藩翰譜五	相馬	五月二日	小和田	(三日間) 伊東仁齋	七月八日	清野	十二月四日	今義勇
同 六	相馬	六月五日	小和田	(四日間) 断雲流水	七月十七日	成田	九月十七日	今
露西亞帝國	棟方	四月十五日	八戸	(十日間) 二千五百年史	九月九日	成田	十二月十二日	東海
親鸞聖人	高山	三月十一日	未八戸	(三日間) 世界將來之海王	八月十七日	三上敬	十一月十三日	山中
梧陰存稿	齋竹	三月十四日	八戸	(三日間) 平野国臣	九月九日	相馬	三月二十一日	高山
同 下	齋竹	十一月十日	齋藤竹	(四日間) 坂本龍馬	十月七日	東海	十一月二十八日	高山
名菴実録	成田	五月十四日	成田	(三日間) さんさしくれ	九月二十九日	木村	三月二十一日	高山
同 下	木村	六月十六日	八戸	(五日間) 平壤包圍攻撃	十月十七日	齋藤竹次郎	三月二十一日	高山
風雲漫録	小和田	十二月十九日	三浦	(十日間) 婚姻進化論	十月十七日	齋藤竹次郎	三月二十一日	高山
(十日間) 日本風俗史下	相馬	六月二日	八戸	(三日間) 近藤重蔵	十月十七日	齋藤竹次郎	三月二十一日	高山
(五日間) 北水洋洲見聞録	齋藤徹	六月二日	八戸	(四日間) 平賀源内	十月十七日	今	一月十四日	成田
凱旋紀念帖	天末 三浦	五月七日	天末 三浦	(四日間) 文学者となる法	〃二十六日	小和田	一月十日	齋藤徹
(五日間) おかめ八目	三月一日	東海	四月二十三日	(十日間) 近松時代浄瑠璃	十二月十八日	成田		
(五日間) 海戦日録	三月六日	岩庭	六月四日	(三日間) 平田篤胤	十二月十八日	成田		
(四日間) 桐一葉	四月七日	齋竹	九月一日	(七日間) 文学其折々	十二月十八日	成田		
(十日間) 十九世紀史	五月二十日	八戸	十二月四日	(四日間) 内政外教衝突史	十二月十八日	成田		
(三日間) 西郷大将遺書	四月二十四日	八戸	九月二十日	(七日間) 朝鮮王国	十二月十八日	成田		
		主上寿		(四日間) 小弦集	十二月二十日	三上		
				(十日) 昨夢紀事	三月十八日	今		

(五日間) カント批判解説 一月三十日 棟方
 (三日間) 東洋分国史 一月七日 八戸
 (四日間) 由比正雪 一月十五日 木村
 (四日間) 小堀遠州 一月二十五日 東海
 本阿弥光悦

1-08-02 (書籍廻達簿(各部))

※日数は「回覧最始ノ期日」で、枠外に記す。

(三日間) 衣笠城 岩庭
 (五日間) 海戦日録 齋藤徹
 (五日間) 北水洋 今
 (十日間) 近松一斑 齋藤竹
 (四日間) 桐一葉 三浦 古賀市
 (七日間) 凱旋帖 木村 孟聖聖
 おか目八目 山中 凱旋帖
 小和田
 (三日間) 林子平 小和田 日本文学集覽
 (三日間) 近世女風俗考 三上
 (五日間) 藩翰譜五六 岩庭
 (三日間) 西教史下 齋藤徹 梧陰存稿
 (五日間) 軍隊 今 浅田宗伯伝
 齋藤竹 十九世紀史
 三浦 親鸞聖人
 木村 西郷大将遺書
 蒲生君平 山中 北水洋アラスカ
 凱旋帖地ノ部 小和田
 小説家六ノ十三号 清野 生物始原
 伊藤仁齋六ノ十二号三上 佐藤信淵伝

高山 相馬 八戸 棟方 成田 東海 三上 相馬 小和田 三上 城田

世界将来之海王 上ノ三ノ号 岩庭
 断雲流水「消」 齋徹 大隈伯昔日譚
 断雲流水 今 海戦日録 阿保
 断雲流水 齋藤竹 風雲漫録 三上
 名譽実録上 三浦
 西郷南洲遺訓 木村 断雲流水「消」 齋田
 断雲流水六ノ十二 棟方
 さんさしくれ九ノ二 山中 桐一葉七ノ二十八 相馬
 ※「岩ノ九ノ十四」(枠外)。

平壤包囲攻撃 上ノ九ノ七 清野 平野国臣 八戸
 下ノ九ノ七
 生物始原九ノ三 三上 軍隊 高山
 ※「高上ノ九ノ22 下ノ九ノ27」(枠外)。
 ※「今ノ14」(枠外)。

十九世紀史九ノ四 岩庭 近世女風俗考九ノ二 東海
 ※「齋竹十ノ15」(枠外)。

中 齋徹 坂本龍馬九ノ二 阿保
 中 今 林子平九ノ十二 三上
 平賀源内九ノ二十四 齋竹 婚姻進化論九ノ十六 小和田
 ※「相馬ハ後廻シ」(枠外)。

(三日間) 近藤重蔵九ノ二十四 三浦 四日間 文学者となる法九ノ二十 成田
 (十日間) 風俗史下九ノ二十 木村 十日間 近松時代浄瑠璃九ノ二十 棟方
 佐藤信淵翁 山中 平野国臣 清野 相馬
 平野国臣 清野 平田篤胤 十月二十五日 八戸 棟方
 朝鮮王国十二月十五日 三上 蒲生君平十一ノ一 高山
 小弦集同 岩庭 さんさ時雨十ノ二十一 今

伏魔殿十一月十八日 齋藤徹 伊藤仁齋 東海
 文学者となる法 今 世界将来ノ海王十一月十三日 阿保

昨夢紀事 三浦 文学その折々十一月十五日 三上
東西遊記 木村 内政外教衝突史 同 小和田
由井正雪 山中 小説家十二月二十二 成田

平賀源内 棟方
カント批判解説一卷 八戸相馬
東洋分國史一卷 高山
平壤包圍攻撃十二月二十日 今義勇
小堀遠州 十二月十三 阿保
本阿弥光悦

十二月十九日 今義勇君ヨリ戦後の日本トイフ書籍ヲ寄贈セラレタリ

※梓外に左記の事項を記載する。

一月 書籍四部購求

二月 ナシ

三月 四部

四月

五月

六月

小説家

伊藤仁斎

二千五百年史

断雲流水

1.08.03 記事
記事

※目頭から何も記載せず白紙のまま改訂する。

二月二十二日 紀念会挙行 会スルモノ十二名

阿保庸雄君本日ヲ以テ入会ス

三月十三日 清野八之助君入会ス

齋藤典治君台湾行ニ付退会

五月廿八日 三浦理事中学校ニ転任ニ付仮リニ山中ヲ以テ理事ノ職ヲ執ラシム

八月十三日 午後一時ヨリ書籍調ヲナセリ

九月十日 黄海大勝紀念日ヲナシ書冊三百部ノ祝賀ヲナセリ 会スルモノ

十名 九時頃解散セリ

九月二十八日 今義勇君入会セリ

十二月十二日 齋藤徹君ノ紹介ニヨリ古川寿平君入会セリ 蓋シ同君ハ本

会創主員ニシテ中シカモ理事ノ職ヲ執リシコトアリ

1・09 記録(明治三十年)

【表紙】

明治三十年一月／記録／自他楽会

【本文】

1・09・01 (書籍廻覧メモ)

※簿冊の見返しに記す。漢数字はもと「正」字を用いて数えたもの。

乙部

甲部

- 六 今 木村 六
- 六 阿保 山中 六
- 六 八戸 齋藤常 六
- 二 相馬 岩庭 六
- 六 高山 齋藤徹 六
- 六 小和田 古川 三
- 六 三上 三上 六
- 六 成田 齋藤竹次郎 五
- 五 東海 三浦 六
- 五 棟方 清野 五

1・09・02 書籍廻覧記事

書籍廻覧記事

- 部 回覧 書名 月日人名 回覧始 回覧済 月日人名 月日人名 月日人名 月日人名 月日人名
- 属 期限 署名 月日人名 回覧始 回覧済 月日人名 月日人名 月日人名 月日人名 月日人名
- 甲 伏魔殿 二十九日 岩庭 四月二十日 四月二十日
- 乙 梧陰存稿 三月十一日 八戸 一月二十七日 三月十一日
- 甲 日本風俗史 十二月十九日 三浦 二月二十三日 三月十一日

乙 北水洋見聞録

甲 十九世紀史

乙 林子平

甲 生物始原

乙 軍隊

乙 蒲生君平

乙 小説家

乙 平壤包圍攻撃

乙 平賀源内

甲 文学者となる法

甲 坂本龍馬

甲 内政外交衝突突史

乙 二千五百年史

甲 婚姻進化論

乙 近藤重蔵

甲 近藤重蔵

乙 近松時代浄瑠璃

甲 平田篤胤

乙 文学其折々

甲 七 文学其折々

乙 七 朝鮮王国

甲 七 朝鮮王国

乙 七 朝鮮王国

甲 七 朝鮮王国

乙 七 朝鮮王国

六月二日 八戸 入り

七月四日 三上 一月二十日

十月八日 阿保 二月二十日

四月二十八日 山中 六月一日

九月二十六日 八戸 一月十八日

十二月二十日 八戸 四月十三日

一月十五日 小和田 二月二十一日

三月二十一日 高山 二月二十五日

一月十四日 成田 三月十日

一月十日 齋藤徹 二月二十一日

十二月二十九日 齋藤徹 二月十日

岩庭 齋藤徹 四月十二日

岩庭 成田 一月二十二日

一月二十五日 小和田 九月九日

一月二十五日 木村 五月六日

一月二十五日 山中 四月二十五日

九月十六日 小和田 十二月五日

九月二十四日 齋藤 十月十七日

一月二十六日 三上 三月七日

一月二十五日 岩庭 五月六日

九月二十日 棟方 十二月十八日

一月二十六日 三上 三月六日

十月二十五日 八戸 二十九日

六月二十三日 齋藤竹次郎 八月二十四日

十一月十五日 三上 一月二十八日

十一月十五日 三上 一月二十一日

六月一日 八戸 八月二日

甲 四 小弦集	十一月十五日 岩庭	二十九年十二月二十日	三上	一月十日	甲 四 さゝ舟	一月十四日	清野	二月二十三日	三浦	三月八日
乙	一月十五日 今	二月二十三日	棟方	六月十三日	甲 四 高田嘉へ衛	三月十日	三上	四月十八日	小和田	五月二十八日
甲 十 作夢紀事上	十一月十八日 三浦	三月十八日	今	四月二十三日	乙	三月二十九日	成田	五月七日	清野	三月二十七日
乙 東西遊記〔消〕	四月二十六日 成田	八月三日	三上	八月十三日	乙 四 青ふだう	三月二十九日	成田	五月七日	三上	七月十日
乙 五 カント批判解	十一月二十日 八戸	一月三十日	棟方	三月十七日	乙	三月一日	三浦	四月九日	齋藤竹	五月十四日
甲	二月十九日 岩庭	三月九日	齋藤徹	六月二十四日	乙 四 提督ヘルリ	一月十五日	東海	二月二十日	成田	二月二十六日
甲 四 東西遊記	十一月十八日 木村	一月七日	三浦	一月二十五日	乙	四月十一日	三上	五月十六日	古川	七月二十七日
乙	一月二十六日 成田	三月七日	三上	三月十六日	乙 七 黄海大海戦下	一月十一日	棟方	二月十九日	東海	四月五日
甲 三 東洋分国史上	一月二十九日 齋藤竹	二月二十七日	三上	六月七日	乙	五月二十日	三浦	七月二十日	齋藤竹	八月十三日
乙	十一月二十日 高山	一月七日	八戸	一月二十七日	甲 三 鬼あさみ	一月二十五日	三上	四月四日	小和田	五月十九日
甲 四 由比正雪	十二月十八日 山中	一月十五日	木村	一月二十日	乙	一月二十六日	山中	二月二十四日	小和田	六月十三日
乙	一月二十三日 阿保	三月三日	今	四月十五日	甲 五 十文字	四月十七日	三上	五月十六日	小和田	六月十三日
甲 四 小堀遠州 本阿弥光悦	二月二十三日 今	四月三日	岩庭	五月十四日	甲 三 金売吉次	一月二十六日	今	三月十六日	岩庭	四月十日
乙	十二月十三日 阿保	一月二十五日	東海	二月二十一日	乙 四	四月十七日	小和田	六月五日	高山	上六ノ四下 七ノ二十七日
甲 十 哲学新論	五月九日 木村	七月十六日	清野	七月三十日	甲 三 雲の袖	一月二十六日	古川	二月二十四日	今	三月二十五日
乙	十二月二十九日 小和田	四月十日	高山	五月七日	乙 四	三月二十九日	東海	四月二十七日	成田	六月八日
乙 七 黄海大海戦上	四月十七日 三浦	六月十八日	齋藤竹	八月十三日	乙 四	三月九日	岩庭	四月十六日	齋藤徹	六月三十日
乙 三 戦時大探偵	十二月二十九日 三上	三月十一日	小和田	四月十二日	乙 四	一月二十七日	八戸	三月三日	阿保	四月十日
甲 十 支那人気質	十二月二十九日 今	四月十日	岩庭	五月十日	乙 四	三月九日	岩庭	四月二十六日	齋藤徹	六月三十日
甲 四 大塩平八郎	五月十一日 棟方	八月十八日	東海	九月三日	乙 四	一月二十七日	高山	三月三日	八戸	三月一日
甲 三 戦後の日本	十二月二十九日 古川	二月十日	今	三月一日	乙 三 積元恭	五月九日	山中	六月十七日	木村	〇「八カ」 月一日
	三月四日 高山	四月十二日	棟方	六月十三日	甲 四 露西亜帝国	一月二十九日	東海	三月一日	成田	三月十七日
	十二月二十九日 三浦	一月三十日	齋藤 竹次郎	三月八日	甲 四 柳沢吉保	一月三十日	三浦	五月七日	齋藤竹	五月二十四日
	三月十日 成田	四月九日	三上	五月十八日		一月三十日	清野	三月十日	三浦	六月十七日

		六月十八日	高山	七月二十三日	八戸
	白河楽翁	六月二十三日	三浦	七月二十八日	齋藤竹
乙		一月三十日	棟方	三月十日	東海
	近松門左エ門	四月十一日	齋藤竹	五月十六日	三上
乙		二月五日	今	三月十六日	棟方
甲	四十五少年	二月五日	山中	三月十六日	木村
		四月十六日	阿保	五月二十五日	今
甲	三紫式部	二月十二日	齋藤	三月二十三日	山中
		六月十三日	八戸	七月五日	阿保
四	文芸俱樂部	不廻			
乙		二月二十六日	阿保	四月二日	今
甲	三小弓御所	三月二十三日	三上	三月二十四日	古川
		七月五日	東海	七月三十日	成田
乙	三鷺の羽風	六月二日	今	六月二十七日	岩庭
		二月二十四日	八戸	三月二十五日	阿保
乙	河及湖沢	六月二十三日	今	七月十九日	岩庭
乙		二月二十八日	棟方	三月二十九日	八戸
甲	千紫万紅	七月十八日	木村	八月二十二日	清野
乙		三月十日	小和田	四月十八日	高山
甲	四加藤清正	一	清野	一	三浦
		六月十八日	小和田	七月二十三日	高山
甲	三皇陵参拝記	三月十日	木村	四月九日	清野
		五月九日	東海	六月七日	成田
甲	三清少納言	三月十日	齋藤	四月九日	木村
		九月三日	三上	九月二十九日	小和田
甲	四人外境	五月二十日	岩庭	六月二十五日	齋藤
				七月二十日	
		三月十九日	三上	四月二十七日	小和田
甲	十国史大系一	十一月一日	齋常	二月十日	山中
乙		四月一日	棟方	七月九日	東海
甲	十昨夢紀事下	四月十日	古川	七月五日	今
乙		七月八日	今	十月六日	岩庭
甲	三東洋分国史下				棟方
乙		四月十六日	今	五月十五日	棟方
四	新井白石	四月二十日	清野	五月二十五日	三浦
甲	明智光秀	七月十七日	阿保	八月二十一日	今
乙		九月十七日	齋竹	十月二十二日	三上
乙	四六無齋遺草	五月二十三日	今	七月一日	棟方
甲		六月二十三日	三上	七月十九日	今
乙		五月二十三日	阿保	六月二十一日	今
甲	十国史大系二	十一月十日	齋常	二月二十四日	山中
乙		五月二十七日	棟方	八月二十四日	東海
乙	十かけ草	六月二十三日	三上	九月二十一日	小和田
甲		十一月十三日	齋徹	三月五日	岩庭
乙		十一月三日	三上	十二月二十日	今
甲	先秦文学	七月五日	高山	八月十九日	八戸
乙					十一月二日
甲	支那文学史	七月一日	成田	九月二十五日	三上
乙		七月一日	清野	九月二十八日	三浦
甲	十政治汎論				十二月二十五日
乙		十月十八日	清野	十一月十六日	木村
甲	高野長英 渡辺華山	七月六日	棟方	八月二日	東海
乙		八月十四日	山中	九月二十七日	木村

甲五 文天祥 八月十四日 岩庭 九月二十七日 齋藤 十月二十七日

十月二十九日 高山 十二月十二日 八戸

松菊余影

乙五 国史大系三 八月十四日 高山 九月二十七日 八戸

十二月一日 齋常 二月二十八日 山中

乙十 国史大系四 八月十四日 小和田 十一月十三日 東海 十二月二十七日

榎方

乙 九月五日 榎方 十二月一日 東海

甲四 水野越前 九月三日 古川 十月十二日 岩庭

人外境

上十一月十六日 今 上三月二十六日 齋徹

乙四 九月十五日 成田 下十月十四日 三上 十一月十五日

下九月九日 三上 十一月八日 今 十一月二十四日

甲七 多情多恨 十一月二十四日 成田 一月二十八日 三上

甲 南嶋探験 九月十四日 東海 十一月十五日 成田 十二月二十一日

乙七 九月二十日 三浦 十月二十五日 齋竹 十二月二十日

錢屋五兵衛

乙四 九月三十日 榎方 十一月四日 東海

甲三 雞筋 九月三十日 清野 十月二十六日 三浦 十二月二十五日

甲 真木和泉 十月六日 木村 十一月十四日 清野

乙 諸葛武侯 十月七日 今 十一月十一日 榎方

大阪役袖伝

乙 十月二十日 阿保 十二月二十一日 今

同 戦史及図

乙 十月二十日 八戸 十二月四日 阿保

五 小山田与清

乙〇 十一月十日 岩庭 十二月十三日 齋藤常

織田信長後 十一月十四日 三浦 十二月二十三日 齋竹

変局志

七 十二月二十五日 三上 一月二十八日 小和田

1・09・03 記事

記事

一月十七日 一戸寅之助君兼テ借用ノ帛省(五十三号)ヲ紛失セシヲ以テ文芸倶楽部ノ一冊ヲ以テ弁償セリ

昨年未行衛不明ノモノト記セシ梧陰存稿ノ一及聖徳太子、露西亞帝國ノ三冊ヲ一月二十七日八戸君ヨリ廻サレタリ

一月三十一日 榎方君ハ「白河楽翁ト徳川時代」ヲ紛失セシヲ以テ「近松門左エ門」ヲ以テ弁償セリ 二月九日 金ノ代リニ紫式部ヲ以テ弁償セリ

月 日山中氏鬼奴紛失ノ代リニ清少納言ニテ弁償セリ 四月六日 相馬保之進氏ヨリ台湾外記一部^{三十}兵要録一部^五ヲ寄贈セラレ

七月五日 清野八之助君金一円寄贈セリ 八月十三日 書籍大検閲ヲ行ヘリ 前調以後新ニ見サルモノ一冊モナシ

此時十数部ヲ修繕セリ 来会者 東海 古川 木村 齋竹 岩庭ノ諸君ナリ 此日会員五名ヲ増スコト、書物箱一個新調(二人十五錢ツ、収ムルコト)

ノコトヲ議決セリ 九月十三日 今義勇君南島探験一冊寄贈セリ 十月四日 〇〇「齋藤九」常蔵君入会

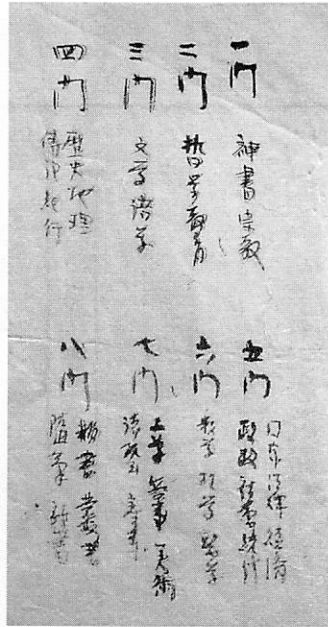
※梓外(上)に左記の事項を追記。

二月 紀念会ヲ開ク 二九会理事木村俊次郎氏来会アリタリ 此時軽ク酒肴ヲ用ヒタリ

1・09・04 (書籍分類表)

※ウラ表紙に書きつける。

- 一門 神書 宗教
- 二門 哲学 教育
- 三門 文学 語学
- 四門 歴史 地理 伝記 紀行
- 五門 国家 法律 経済 政口 社会 統計
- 六門 数学 理学 □学
- 七門 工学 兵事 美術 諸芸 産業
- 八門 雑書 叢書 随筆 新著



1・10 記録 (明治三十一年)

【表紙】

明治三十一年中 / 記録 / 自他楽会

【本文】

1・10・01 (書籍廻覧メモ)

※見返しに記す。漢数字はもと「正」字を用いて数えたもの。

甲	清の [消] 二	阿保	四
	木村	八戸 [消]	一
	山中	高山	三
	齋藤常	小和田	三
	岩庭 [消] 三	三上	三
	齋徹	清の [消] 成田	三
	今 [消]	東海	三
	古川	棟方	三
	三上	今	三
	齋竹		
	三浦		

1・10・02 書籍廻覧記事

※「実際回覧済」欄の「入」は回覧済であることを示す符丁。また、「部属」欄と「回覧期限」欄を一部とり違えて記載する箇所がある。

36201

書籍回覧記事

部	期	回覧	書名	回覧始	回覧終	实际回覧
甲	七	文学其折々	文学其折々	三月六日 齋藤竹	三月八日 三上	三月二十五日
乙	四	柳沢吉保	柳沢吉保	同六月十八日	高山	七月二十三日 三上
甲	三	白川楽翁	白川楽翁	六月二十三日	三浦	七月二十八日 齋藤竹
乙	三	清少納言	清少納言	九月三日	三上	九月二十九日 小和田
甲	十	国史大系一	国史大系一	十一月二日	齋藤常	二月十日 山中
乙	三	東洋分国史下	東洋分国史下	三月四年四月十六日	今	三月五年五月十五日 榎方
乙	四	新井白石	新井白石	三十年七月七日	阿保	三十年八月二十一日 今
甲	四	明智光秀	明智光秀	三十年九月十七日	齋竹	三十年十月二十二日 三上
甲	一	先秦文学史一	先秦文学史一	十一月三日	三上	三十年十二月二十二日 今
甲	十	支那文学史	支那文学史	十二月二十六日	清野	四月十四日 三浦
乙	十一	文天祥	文天祥	三十年十月二十九日	高山	三十年十二月十一日 三浦
甲	十	政治汎論	政治汎論	三十年七月一日	清野	三十年九月二十八日 三浦
甲	一	高野長英	高野長英	三十年十月十八日	山中	三十年十二月十六日 木村

書籍回覧記事

部 期 回覧 書名 回覧始 回覧終 实际回覧

甲 七 文学其折々 文学其折々 三月六日 齋藤竹 三月八日 三上 三月二十五日

乙 四 柳沢吉保 柳沢吉保 同六月十八日 高山 七月二十三日 三上 七月二十八日 齋藤竹

甲 三 白川楽翁 白川楽翁 六月二十三日 三浦 七月二十八日 齋藤竹

乙 三 清少納言 清少納言 九月三日 三上 九月二十九日 小和田

甲 十 国史大系一 国史大系一 十一月二日 齋藤常 二月十日 山中

乙 三 東洋分国史下 東洋分国史下 三月四年四月十六日 今 三月五年五月十五日 榎方

乙 四 新井白石 新井白石 三十年七月七日 阿保 三十年八月二十一日 今

甲 四 明智光秀 明智光秀 三十年九月十七日 齋竹 三十年十月二十二日 三上

甲 一 先秦文学史一 先秦文学史一 十一月三日 三上 三十年十二月二十二日 今

甲 十 支那文学史 支那文学史 十二月二十六日 清野 四月十四日 三浦

乙 十一 文天祥 文天祥 三十年十月二十九日 高山 三十年十二月十一日 三浦

甲 十 政治汎論 政治汎論 三十年七月一日 清野 三十年九月二十八日 三浦

甲 一 高野長英 高野長英 三十年十月十八日 山中 三十年十二月十六日 木村

乙 政治汎論 十二月二十六日 東海 三月二十五日 成田 十二月二十六日

甲 五 威海衛海戦 三十年八月十四日 山中 三十年九月二十七日 木村 入

乙 松菊余影 六月七日 山中 七月二十一日 木村 五ノ三十一

甲 五 松菊余影 三十年八月十四日 高山 三十年九月二十七日 八戸 三十一ノ六月五日

乙 国史大系四 三十年九月二日 榎方 三十年十二月二日 東海 九月三十日

甲 水野越前 三十年九月三 古川 三十年十二月二日 岩庭 六ノ二十九

甲 国史大系二 三十年十月十日 齋常 二月二十日 山中 六月二十日

乙 水野越前「消」 十一月十三日 齋徹 三月五日 岩庭 入七月十二日

甲 十 かけ草 六ノ二十三 三上 三十年七月十九日 今 四月二日

甲 六無齋遺草 十一月十四日 成田 一月二十八日 三上 入

乙 多情多恨 上十一ノ十六 下十九日 今 上十二ノ二十五下 齋徹 二十九日 齋徹 入

甲 七 南嶋探検 十二月二十六日 木村 三月十二日 清野 入

乙 織田信長前 十二月二十三日 榎方 一月三十日 東海 入

甲 錢屋五兵衛 三月一日 齋竹 四月五日 三上 入

乙 四 雞筋 九月三十日 榎方 三十年十一月四日 東海 二月二十七日

甲 雞筋 三十年九月三十日 清野 三十年十月二十六日 三浦 十二月二十五日

乙 真木和泉 十月六日 木村 三十年十一月十四日 清の 四月二十一日

甲 四 真木和泉 四月二十二日 東海 五月二十三日 成田 入

乙 諸葛武侯 十月七日 今 三十年十一月十一日 榎方 一月十二日

甲 大坂役補伝 十二月十五日 齋藤竹 二月二十七日 山中 九月十二日

乙 大坂役補伝 十月二十日 阿保 十二月二十一日 今 十二月十三日

	5	同戦史及図	十二月十六日	三浦	三十二年二月一日	齋藤竹	入
乙			十月二十日	八戸	十一月七日	阿保	十二月十三日
		小山田与清	九月二十四日	岩庭	十一月七日	齋常	入リ
乙			十一月十日	小和田	十二月二十五日	高山	九月二十二日
甲三		津軽信明	十一月十一日	岩庭	十二月十三日	齋常	五月六日
			五月七日	東海	六月三日	成田	九月十八日
甲		織田信長後	十一月十四日	三浦	十二月二十三日	齋竹	七ノ七
七		変国志	三月九日	三浦	五月十日	齋竹	八ノ二十
乙			十一月十五日	三上	一月二十六日	小和田	三月七日
		沢庵和尚全集	三十二年二月二日	三上	二月十四日	古川	入リ
乙五			二月六日ヨリ	八戸	三月二十二日	阿保	十二月十九日
		氷川清話	七月十二日	古川	八月五日	齋徹	入リ
乙三			一	阿保	一	今	七月二日
甲五		鎧のかせ	二月六日	山中	三月二十七日	木村	
乙			七月十三日	齋藤常	八月二十六日	山中	七ノ十三
五		鉄血宰相	二月六日	高山	三月二十二日	八戸	七ノ十
甲三		上杉謙信	二月六日	岩庭	三月五日	齋藤常	九月二十二日
			九月二十八日	三上	九月二十一日	小和田	十二月十三日
甲四		高山彦九郎	二月二十六日	三上	三月二十七日	古川	七ノ十二
			七月十三日	今	八月十八日	榎方	九月三十日
		南征史	七月十三日	岩庭	八月二十六日	齋藤常	入
乙五			二月十六日	小和田	四月一日	高山	七ノ十
		国史大系五	十二月十六日	齋常	三十二年	山中	入
乙			二月十七日	榎方	四月十八日	東海	十一月二十四日
甲10		中東戦紀本末	三月十一日	清野	六月十九日	三浦	八月二十日
			九月十三日	成田	十二月一日	三上	六月二十日
		国史大系六	九月十三日	齋藤常	十二月十一日	山中	入
乙			三月十六日	榎方	六月十五日	東海	八月二十四日
		石川丈山	三十二年	古川	五ノ二十	齋藤徹	入四
乙			三月十六日	三上	四月二十日	小和田	入
乙		世界的日清戦争	七月十五日	齋徹	八月二十六日	岩庭	入五
乙			四月二十一日	成田	五月三十日	三上	七ノ十二
乙		熊沢蕃山	三十二年八月六日	木村	三月二十二日	三浦	入七
甲		太田道灌	五月二十九日	榎方	七月三十一日	清の	十二月二十一日
甲			九月十八日	今	十月十一日	榎方	入リ
甲七		陸奥宗光	十月十七日	三上	九月十八日	古川	入
		哲学大観	一	阿保	一	今	入
乙七			七月十九日	高山	九月十八日	阿保	六月三十日
甲四		ひとりね	七月十九日	齋竹	八月二十三日	三上	入
乙七		近松世話浄瑠璃	一	一	一	一	入
乙七			七月十九日	阿保	九月十八日	今	入
四甲		台湾嶋史	七月二十一日	三浦	八月二十五日	齋竹	五ノ三十一
			六月二日	高等	七月六日		入リ
		幕末小史一	三月一日	齋常三	四月五日	山中	入
乙			七月二十日	小和田	八月二十四日	高山	二月二十六日
三		金色夜叉	十月四日	齋徹	十月三十日	岩庭	入
一乙			八月一日	三上	八月二十七日	小和田	十月一日
十吉甲		幕末外交談	八月一日	木村	十月二十九日	三浦	五ノ三十一
			六月二日	高等	一		入

5 幕末小史二 三月五日 齋藤常 四月十四日 山中 入

10 国史大系七 九月十三日 東海 十月二十一日 成田 二月二十一日入

乙 十月二十六日 齋徹 三十二年三月三日 岩庭

7 支那文学史 九月十三日 棟方 十二月一日 東海 十一月二十四

乙 八月十四日 木村 九月二十三日 三上 入

4 樂天録 九月十六日 高山 十二月二十一日 阿保 入

甲 十月四日 古川 十一月八日 齋徹 十二月二十六日

乙 十月十七日 阿保 三十二年一月二十九日 今 入

5 無名氏 十月四日 三上 十一月十七日 古川 入

乙 高山 阿保 入

世界通史 三十二年一月十日 齋竹 三月二十一日 三上 七月十三日

十 乙 十月五日 東海 十二月二十三日 成田 十二月二十六日

五 乙 日本仏教史綱 十月五日 棟方 十一月十四日 東海 十二月十三日

上 十月十六日 齋藤常 三十二年二月一日 山中 入り

10 甲 大地誌一 十月五日 齋竹 一月七日 三上 入

口 十月十二日 入

10 国史大系八 十月十八日 齋常 四月十七日 山中 入

10 十一月十日 棟方 十月三十日 東海 十二月二十六日

5 甲 東遊記 十一月十二日 木村 十二月二十六日 三浦 入

十月三日 齋竹 入

3 古風土記逸文 二月三日 齋常 二月二十六日 山中 入

十一月十六日 今 十二月九日 棟方 三十二年二月一日

規則ニヨリ当月ヨリ相馬文太郎氏ヲ除名ス

一月 会員今助次郎君死去 本会ヨリ一円ノ香花料ヲ送レリ

二月二十七日 第十紀念会ヲ挙行ス 来会者高山 三浦 東海 棟方 成田 三

上 壽吉 阿保 三上 敬造 岩庭 清の 齋藤常 三 齋藤徹 木村 山中 今 義勇 齋藤

竹次郎ノ十六名ナリ(全費)

三月 八戸逸太郎退会

七月十二日 書籍大檢閲セリ 来会者 木村 三上 岩庭 東海 齋藤常 三 棟方

小和田 成田 山中ノ九氏ナリ

相馬文太郎兼テ借用ノ本七冊紛失ノ為三百諸侯ヲ寄贈セリ

八月二十二日 清野君退会届出

十二月 總會

1・11 記録簿(明治三十二年)

【表紙】

明治三十二年／記録簿／自他案会

【本文】

1・11・01 書籍回覧順序

書籍回覧順序

書名	和徳第一部	高等第二部	中学第三部
日数 金色夜叉〔消〕始	終	始	終
三日 金色夜叉 中	三月二日	八月	二月三日
十日 日本陽明学	六月二十八日	三月一日	二月十日
五日 山鹿素行	一月二十七日	〇四	十月十八日
十日 大地誌二	五月	二月八日	二月十九日
蜀山人	二月	六月五日	二月十九日
伊藤東涯	四月九日	六月五日	二月十九日
五日 信政公	四月一日	四月四日	三月
四日 大久保甲東	三上	四月四日	三月
五日 海舟	四月二十六日	五月	七月
五 仏教史綱下	八月一日	五月	七月
五 心性遺伝論	一月二日	六月	七月
七 威海衛	〃	六月	七月
七 英雄論	一月二十三	六月	七月
五 南島沿革史論	八月	七月	七月
七 欧米漫遊雜記	七月二十	七月	七月
10 北海道史稿	九月	七月	七月
4 幕末小史三	九月十三日	七月	七月

1・11・02 記事

一月十八日 會員岩庭君死去 二十二日葬送
 二月二十五日 午後三時事務所ニ於テ第十一紀念会相開 来会者 東海棟
 方三上寿吉三上敬三齋藤徹 齋藤常三阿保 小和田 今木村 山中ノ十一名
 茶菓ノ催(七錢ツ)アリ 九時頃退散セリ
 三月二十五日 菊池元衛氏ヨリ津輕信政公事蹟一冊寄贈セラル
 四月十一日 齋藤竹三郎氏上京ノ為当分退会スル由申出タリ

5 日本名勝記上	七月上口稅	入	九月八日	入
5 審美綱領	入	入	九月八日	入
5 名勝記 下	十月二十七日	入	十二月	入
5 東湖伝	十月十三日	入	十二月	入
7 エミール抄	七月十三日	入	十月	入
10 国語学小史	三十二年三月	入	十月	入
7 墨水遺稿	齋藤常	入	十月	入
3 達磨	十一月十日	入	十月	入
4 園文中の仏教文学	十一月	入	十月	入
4 滑稽妙文集	十一月	入	十月	入
4 東京風俗志	三十二年六月	入	十月	入
3 にこり水	十一月十六日	入	十月	入
7 森先生伝	七月	入	十月	入
7 五十家訪問録	十二月五日	入	十月	入
4 続当世活人面	三月九日	入	十月	入

八月一日 三上主税入会

八月十二日 夏季書籍調 来会 三上敬三 齋藤常三 三浦武三郎 東海武一

三上寿吉 木村卯太郎 山中理事ノ七名

十二月一日 古川氏ヲ除ク

十二月二十七日 午後総会 来会者 三上敬三 三浦 東海 阿保 今 棟方 三

上寿吉 小和田 齋藤 徹 山中ノ十氏ナリ

※「夏季書籍調」の記事の枠外(上)に左記事項を記載。

不見

荒海夷一

清少納言

格朗究

故西郷大將遺訓

提督彼理

1・12 記録簿(明治三十三年)

【表紙】

明治三十三年ノ記録簿ノ自他楽会

【本文】

1・12・01 廻覧巡順

廻覧巡順

和 德 高 等 中 学

五	近世文学史論	一月十七日	齋藤	三十四日	三十四	三月十九日	三月十七日	入
三	金色夜叉後	三月二十一	日相馬	三月二十一	三月二十一	三月二十一	三月二十一	入
十日	大日本通史	一月二十三	日相馬	三月十四日	三月十四日	三月十四日	三月十四日	入
三日	古戰場	二月二十一	入	二月二十一	二月二十一	二月二十一	二月二十一	入
五日	古風土記	六月十九日	入	六月十九日	六月十九日	六月十九日	六月十九日	入
四日	楊貴妃	五月十五	三上主税	三月十一	三月十一	三月十一	三月十一	入
三日	新建園	三月十六	入	三月十六	三月十六	三月十六	三月十六	入
五日	血涙録	二月二十二	入	二月二十二	二月二十二	二月二十二	二月二十二	入
五日	立身策	四月一日	入	四月一日	四月一日	四月一日	四月一日	入
五日	桶狭間	十一月十四	日木村	八月三日	八月三日	八月三日	八月三日	入
四日	地理学講義	七月一	日木村	五月二十	五月二十	五月二十	五月二十	入
七日	德育史伝	八月十三	入	八月十三	八月十三	八月十三	八月十三	入
七日	漫遊実記	六月十四	入	六月十四	六月十四	六月十四	六月十四	入
五日	中江藤樹	十一月十四	入	十一月十四	十一月十四	十一月十四	十一月十四	入
十日	匏庵遺稿	六月十四	前編	六月十四	六月十四	六月十四	六月十四	入
四日	千嶋探検録	三月十四	入	三月十四	三月十四	三月十四	三月十四	入
三日	金剛石の原野	二月二十四	入	二月二十四	二月二十四	二月二十四	二月二十四	入
3	西比利亞蒙古旅行	八月二十二	三十四	八月二十二	八月二十二	八月二十二	八月二十二	入

十日	英国今代史	七月五日	三十四年五	三月九日	五月二十九日	入
十日	支那哲学史	七册	〇〇〇〇	七月二十七日	三月十五	入
4	菅公伝	九月三十日	三上主税	〇〇〇〇	入	入
4	燕山楚水	三十四年三月	〇月	七月三十日	三十四年二月	入
3	熊本簡城談	八月二十二日	三月十八日	八月二日	八月二日	入
3	ヒマラヤ山探險	三十四年六月	〇〇〇〇	九月九日	九月九日	入
3	サハラ大砂漠	三十四年六月	〇〇〇〇	九月九日	九月九日	入
4	現代女気質	十一月十一日	三十四年五月	十一月十一日	十一月十一日	入
4	金堀少年	十一月十一日	〇〇〇〇	五月二十五日	五月二十五日	入
4	遠征奇談	三十四年六月	〇〇〇〇	十一月十二日	十一月十二日	入
4	二勇少年	三十四年六月	〇〇〇〇	十一月十二日	十一月十二日	入
5	世界宗教一斑	十二月十四日	〇〇〇〇	三月九日	三月九日	入
3	小野小町	十一月十五日	〇〇〇〇	十一月十五日	十一月十五日	入
3	クルーゲル	十二月十七日	〇〇〇〇	十二月十七日	十二月十七日	入
5	白山黒水	三十五年三月	〇〇〇〇	三月十五日	三月十五日	入
7	東邦近世史	三十五年三月	〇〇〇〇	三月十五日	三月十五日	入

※「英国今代史」の項の付近の枠外(上)に「四月二十六日/玉口へ」と記す。
「二十八日/玉口へ」と並べて記載し、その下方に「入」と記す。

新論 二冊 心理学十回講義 一冊
ラッ認識論 一冊 植物学講義 一冊
以上七部十三冊

六月三十日 旧会員齋藤典治氏ヲ招待 茶話会ヲ開キ来会十二名

九月二十一日ヨリ十月二十九日マテ理事山中教育会所用ニテ旅行ニ付三上

敬三氏ニ仮ニ理事事務ヲ委託ス

十月二十九日 会員成田武衛死亡 此日葬送本会ヨリ香花料一円ヲ贈呈シ

会葬セリ

十一月九日 工藤実氏ヨリ世界宗教一斑ヲ寄贈セラル

※冒頭枠外に「記念会ヲ延期セリ」と記載。

1.12.02 記事

記事

一月二日 相馬寛佐藤勝三郎ノ両氏会員トナル

四月十三日 福士未之助君ヨリ左ノ書籍ヲ寄贈セラル

物理学現今ノ進歩 六冊

極氏論理学 一冊 教育精義 一冊

1・13 記録簿(明治三十四年)

【表紙】

明治三十四年一月/記録簿/自他来会

【本文】

1・13・01 廻覧ノ部

廻覧ノ部	和徳	高等	中学
1 日本陽明学派ノ哲学	一月十八日	六月二十三日	六月二十五日
2 社会的教育学	一月十八日	六月二十三日	六月二十五日
3 漂流少年	三月九日	十月二日	二月二十八日
4 決死少年	三月九日	十月二日	二月二十八日
5 伊達行朝勤王事歴	三月九日	十月二日	二月二十八日
6 湖上ノ美人	三月九日	十月二日	二月二十八日
7 米国漫遊雜記	三月九日	十月二日	二月二十八日
8 日本風俗	三月九日	十月二日	二月二十八日
9 朝鮮開化史	三月九日	十月二日	二月二十八日
10 北京籠城	三月九日	十月二日	二月二十八日
11 博覧古言	三月九日	十月二日	二月二十八日
12 海ノ歴史	三月九日	十月二日	二月二十八日
13 殖民少年	三月九日	十月二日	二月二十八日
14 南洋ノ風雲	三月九日	十月二日	二月二十八日
15 雨夜物語	三月九日	十月二日	二月二十八日
16 航海少年	三月九日	十月二日	二月二十八日
17 元禄時口粧	三月九日	十月二日	二月二十八日
18 カーネギ	三月九日	十月二日	二月二十八日

1・13・02 (記事)

1 醉人ノ妻	三十五年一月二十七日	入	三十五年一月二十六日	三十五年一月十七日	三十五年一月二十四日
2 英文学史	六月十三日	入	十月十三日	十月十三日	十月十三日
3 浪仇	七月十三日	入	七月十三日	七月十三日	七月十三日
4 韓退之	九月二十七日	入	七月十日	七月十七日	九月二十七日
5 一年有半	十月二十日	入	十月二十日	十月二十日	十月二十日
6 統一有半	十月二十日	入	十月二十日	十月二十日	十月二十日
7 自然界ノ現象	十一月二十九日	入	十一月二十九日	十一月二十九日	十一月二十九日
8 姉川戦	三十五年三月九日	入	七月七日	七月七日	七月七日
9 俠勇少年	五月十一日	入	三月十五日	三月十五日	三月十五日
10 航海奇談	十一月十二日	入	四月六日	四月六日	四月六日
11 統遠征奇譚	十一月十四日	入	四月八日	四月八日	四月八日
12 朽木の舟	十一月十四日	入	四月八日	四月八日	四月八日
13 旧式唯物論	十一月十四日	入	四月八日	四月八日	四月八日

※各書籍の項の枠外に以下の事項を記載。「玉口入」(日本風俗)。「玉口三十五年三月九日/五月十三日」(朝鮮開化史)。「玉成(五月三日入)(元禄時口粧)」。「玉成(六月十日)(醉人ノ妻)」「玉成(中(五))」(浪仇)。「玉成口」(統一有半)。「五月二十一日玉成入り」(旧式唯物論)。

1・13・02 (記事)

十二月二十七日 総会ヲ開キ 東海 三上敬三 三上寿吉 小和田 相馬 山中 今ノ七氏来会 書籍調ヲナセリ

二月十三日 今義勇君北京籠城一冊寄贈

二月二十六日 木村卯太郎君ヨリ博覧古言一冊寄贈

二月二十八日 紀念会ヲ開キ来会 三浦、高山、東海、小和田、今、棟方、三上敬三 三上主税 相馬 佐藤 山中ノ十一名

3・01 会計簿（明治二十二年）

【表紙】

六月／二十二年度／会計簿／自他來會

【本文】

3・01・01 自他來會購求書籍及物品目錄

※書名の上の番号は枠外に朱書。「代価」の欄に「たかやま」「高山」の朱印を捺す。

自他來會購求書籍及物品目錄

番号	書名	代価	購求月日
(1)	文覚上人觀進帳	二十八錢	同 三月十日
(2)	英雄ノ肝膽	四十五錢	同 同
(3)	哲学汎論	十九錢	同 同
(4)	文明要論	五十二錢五厘	同 四月二十日
(5)	教育策	四十錢	同 同
(6)	洒落哲学	三十一錢	同 同
(7)	東洋遺稿	一円〇二錢	同 同
(8)	文	七錢五厘	同 同
(9)	直税及関稅	二十九錢	玉田
(10)	大政參選史	四十五錢	同 三
(11)	印形 一	十八錢	同 三
	小以金四円十七錢		

※「印形」以下二行分、郵便の切れ端に書き付けたものを貼る。その下に「□物進
化論」「退化新説」という書名が透ける。

(10) 万物退化新説 ノサキ 六月八日
(11) 動物進化論 四十二錢 六月八日

番号	書名	代価	購求月日
(12)	国憲汎論	三円五十錢	一円内払
(13)	日清文明論	一円二十錢	
(14)	欧州大勢論	四十四錢二厘	
(15)	簡明論理学	二十二錢五厘	
(16)	薩長土肥	十錢五厘	
(17)	新著百種 二	二十二錢七厘	二〇〇〇
(18)	自由略論	三十錢	八月六日 竹〇
(19)	美辞学	八十七錢	同
(20)	新著百種 三	十二錢	〇 十月六日 同
(21)	同 四	十二錢	同
(22)	宗教革命論	四十三錢	同
(23)	仏教活論	一円五錢	同
(24)	我国ノ内政外交	十一錢	一円八十四錢 同
(25)	鴻雪録	五十四錢	十一月十四日 同
(26)	普通心理学	一円二十五錢	十一月十四日 同
(27)	新篇紫史	一円四十錢	十二月十八日 同
(28)	新著百種	十二錢	同
※行間の枠外に(29)と記す。			
(29)	如温武雷土伝	十二錢	十二月十一日 同
(30)	財政学三厂	三十四錢	同
(31)	クラントストーン伝	三十錢	同
(32)	弥兒頓伝	二十九錢	同
(33)	新著百種 五	十二錢	同
(34)	一錢一厘 手帖	一錢	同
	六錢 手帖	六錢	同
	一錢 状袋	一錢	同
	二錢 手帖	二錢	同

3・01・02 (書籍廻達メモ)

※以下、3・01・04まで、「書籍廻達簿(各部)」を記した罫紙の枠外に重ねて貼り付けられている紙片。

紫史 二ノ下(三日間)

高山 十一月十六日 十八日

斎藤 十九日 二十一日

木村 二十二日 二十四日(二十八日マテ)

岩庭 二十九日 一日 ※「二十五日 二十七日」を訂正。朱印を捺す。

岩庭 二日 四日 ※「二十八日 三十日」を訂正。

棟方 五日 七日 ※「十二月一日 三日」を訂正。

三浦 八日 十日 ※「四日 六日」を訂正。

右御順達ヲ乞フ

理事

3・01・03 (書籍廻達メモ)

宗教革命論(四日間)

棟方君 十月二十六日 二十九日

岩庭君 三十日 二日

山中君 三日 六日 四日ノ朝来ル

三上君 七日 十日

高山君 十一日 十四日

斎藤君 十五日 十八日

木村君 十九日 二十二日(二十八日迄口期セリ)

三浦君 二十三日 二十六日

右之通御順達被下度

十月二十三日 理事

3・01・04 (書籍廻達メモ)

宗教革命論(四日間)

斎藤 九月十一日 十四日

小和田 十五日 十八日

和田 十九日 二十二日

西館 二十三日 二十六日

金 二十七日 三十日

東海 十月一日 四日 ※「東海」の朱印を捺す。

古川 五日 八日

藤田 九日 十二日

右之通御順達被下度候

九月十一日 理事

3・01・05 (書籍廻達簿(各部))

※冒頭枠外に「第三回」と記す。「我国ノ内政外交」に「高山」の朱印を、「新著百種四号」の「たかやま」の朱印を、それぞれ捺す。

我国ノ内政外交 十月十日 三浦 新著百種四号 十月十日 西館

宗教革命論 十一月二十五日 山中 破邪活論 金

普通心理学 岩庭 鴻雪録 東海

南 主上 新篇紫史 下二 古川

新篇紫史上ノ二 高山 新著百種 前小屋 小和田

新篇紫史四「消」 上二

齋徹

□□木村

一戸

和田
□□□□

新著百種 十八 9 高山

○ 12

古川源君

小和田君

14

齋徹君

一戸君

新著百種 十九日

16

和田君

薩長土肥

進化論 15

木村君

○ 13

16

3・01・06 (書籍廻達簿(各部))

※枠外に「第二回」と記す。書名に「たかやま」の朱印を捺す。

第一部

簡明論理学

三浦 自由略論

西館

自由略論 八月二十七日

山中 美辞学

金

美辞学 八月三十日

榎方 欧州大勢論 八月二十七日

東海

新著百種 四号 九月八日

岩庭 新著百種 三号 九月十一日

古川

仏教活論本論 九月九日

高山 宗教革命論 九月□日

齋竹

日清文明論

齋徹 △我国内政外交 九月九日

小和田

美辞学

一戸 △国憲汎論 九月二十日

和田

新著百種 三号 十月十日

木村 美辞学 十月一日

藤田

3・01・07 (書籍廻達簿(各部))

※枠外に「第一回」と記す。書名に「たかやま」の朱印を捺す。

第一部

動物進化 1

三浦君

進化論 2

西館君

国憲汎論 3

山中君

日清文明論 4

金君

欧州大勢論 5

榎方君

簡明論理学 6

東海君

薩長土肥 7

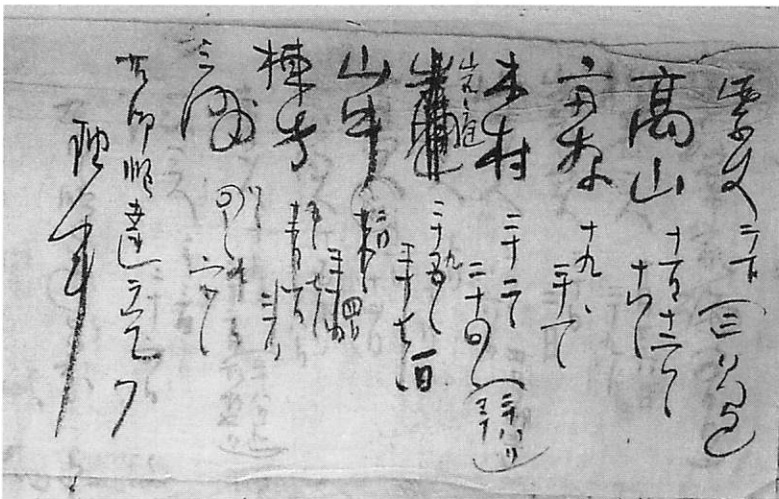
岩庭君

新著百種 十七 8

古川君

退化新説 10

齋竹君



3・01・08 会員収入簿
 会員収入簿

二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	氏名
入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	三浦武三郎
入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	山中嵯峨之助
入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	高山亀代作
入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	一戸寅之助
入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	木村卯太郎
入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	和田慶三郎
入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	小和田武司
入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	東海武一
入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	齋藤徹
入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	古川寿平
入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	齋藤竹次郎
入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	古川源八
入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	西館徳一
入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	棟方悌二
入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	金与惣助
入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	岩庭為世
入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	藤田未頼二
入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	三上徳之助
入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	永井善一郎
入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	角田良三
入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	前小屋泰吉

※入金の日付の上に「たかやま」の朱印を捺す。藤田未頼二・三上徳之助の項は、永井善一郎・角田良三の項の上に墨書した紙片を貼ったもの。

3・01・09 日計簿

月計簿

六ノ五	一金十銭	(六月分)	東海君
六ノ五	一金二十銭	(四五月分)	古川寿平君
六ノ六	一金十銭	(六月分)	棟方君
六ノ六	一金二十銭	(五六月分)	岩庭君
六ノ七	一金二十銭	(五六月分)	小和田君
同	一金二十銭	(五六月分)	西館君
六ノ十五	一金十銭	(六月分)	和田君
六ノ二十四	一金十銭	(七月分)	三浦君
同	一金十銭	(七月分)	山中君
、	一金十銭	(七月分)	岩庭君
、	一金十銭	(七月分)	棟方君
、	一金十銭	(七月分)	高山君
※枠外に「〆一円六十銭」と記す。			
七ノ三	金二十銭	(六七月分)	木村君
	一金十銭	(七月分)	和田君
七ノ四	一金三十銭	(四五六七分)	東海君
七ノ七	一金十銭	(七月分)	東海君
七ノ七	一金二十銭	(五六月分)	金君
七ノ〇	一金十銭	(七月分)	西館君
七ノ二十七	一金十銭	(八月分)	山中君
	一金十銭	(八月分)	岩庭君
	一金十銭	(八月分)	高山君
	一金十銭	(八月分)	棟方君
	一金二十銭	(六七月分)	古川寿平

	一金十銭	(七月份)	小和田君
	一金十銭	(八月份)	和田君
※枠外に「〆一円八十銭」と記す。			
八ノ二	一金二十銭	(六七月分)	〇〇君
八ノ二	一金十銭	(八月份)	東海君
八ノ二	一金十銭	(八月份)	〇〇君
八ノ六	一金十銭	(八月份)	木村君
八ノ二十七	一金十銭	(九月份)	山中君
、	一金十銭	(九月份)	高山
、	一金二十銭	(八九月份)	三浦君
、	一金十銭	(九月份)	棟方君
※枠外に「〆一円」と記す。			
九月一日ヨリ	一金十銭	(九月份)	東海君
九ノ十一	一金十銭	(九月份)	和田君
	一金十銭	(八月份)	小和田君
九ノ二十六	一金二十銭	(九十月分)	岩庭君
同	一金十銭	(十月分)	三浦君
、	一金十銭	(十分)	高山君
	一金十銭	(十月分)	山中君
	一金十銭	(十月分)	三上君
	一金十銭	(〇月分)	棟方君
九ノ二十六	一金二十銭	(八九月份)	西館君
※枠外に「〆一円二十銭」と記す。			
十ノ一	一金三十銭	(七八九月份)	斎徹君
	一金十銭	(〇〇〇)	東海君

十一ノ七	一金三十銭	(七八九月份)	金君
	一金十銭	(十月分)	和田君
	一金二十銭	(八九月份)	□□君
	一金二十銭	(十一月)	三上君
	一金十銭	(十一月分)	三浦君
	一金十銭	(十一月分)	山中君
	一金十銭	(十一月分)	岩庭君
	一金十銭	(十一月分)	高山君
	一金十銭	(十一月分)	棟方君
	一金二十銭	(九十月分)	棟方君
十ノ二十〇	一金十銭	(十一月分)	木村君
十三十一	一金二十銭	(九十月分)	齋藤徹君
	〆二円九十銭	(九ヨリ十二月分)	西館君
十一ノ四	一金四十銭	(十一月分)	東海君
	一金十銭	(同)	金君
	一金十銭	(十一)	和田君
	一金十銭	(十月)	一戸君
	一金十銭	(十一月分)	古川君
十一ノ九	一金四十銭	(六七八九月)	前小屋君
十一ノ十五	一金三十銭	(九十一月分)	山中君
	一金十銭	(十一月分)	高山君
	一金十銭	(十二月分)	岩庭君
	一金十銭	(十二月分)	三浦君
	一金十銭	(十二月分)	棟方君
	一金十銭	(十二月分)	三上君

十二ノ三	一金三十銭	(九ヨリ十一月分)	□□君
	一金十銭	(十二月分)	西館君
	一金十銭	(十二月分)	東海君
	一金十銭	(十一月分)	金君
	一金十銭	(十二月分)	古川君
	一金十銭	(十二月分)	前小屋君
	一金十銭	(十二月分)	和田君
	一金十銭	(十二月分)	齋藤徹君
	一金二十銭	(十一月十二月分)	小和田君
十二ノ二十二	一金十銭	(十二月分)	三浦君
十二ノ二十四	一金十銭	(二月分)	山中君
	一金十銭	(二月分)	高山君
	一金十銭	(二月分)	岩庭君
	一金十銭	(二月分)	棟方君
	一金十銭	(二月分)	三上君
十二月七日ハ(木村)	□□□□ハ三月二十日		
3・01・10	(月計簿)		
□□簿			
記			
六月四日			
一金四円九十銭	六月四日三〇〇君	収入ノ部	
内払			

一金三円九十九銭 書籍料

一金十八銭 印形一箇

一越高金七十三銭

六月三十日

一金一円六十銭 六月入高

一金七十三銭 〇月ヨリ残高

合計二円三十三銭

内払

一金四十二銭 書籍料

越高金一円九十一銭

一金一円八十銭 七月入高

小計三円七十一銭

内払

一金二円三十銭 書籍料

越高金一円四十一銭

一金一円也 八月入高

小計二円四十一銭

一金三十銭 書籍料

一金一円八十口銭 同

越高金二十八銭

未納一円口銭

一金一円二十銭 九月入高

合計一円四十八銭

内口払無

越高一円四十八銭

一金一円九十銭 十月入高

合計二円三十八銭

※枠外に「差引金〇／一円五十八銭」「未納／一円七十銭」と記す。

内口払

一一円八十銭 十月書籍

〇〇〇 八九〇

3・01・11 (領収書)

※簿冊の間に挟み込まれた紙片。

記

一一円二十銭 日清文明論 代

一四十四銭二厘 欧州大勢論

一二二銭七厘 新著百種 一二二部

一二二銭五厘 簡明論理学 一冊

一十銭五厘 薩長土 一冊

〆二円三十銭九厘

右之通り正二口候

十月二十二日 刃

3・01・12 (領収書)

※簿冊の間に挟み込む。印刷された紙に墨書。下部に「弘前土手町野崎活版印刷所」。

証

一金 四十二銭 動物進化論

退化新説 二冊代

右代金正二奉受取候也

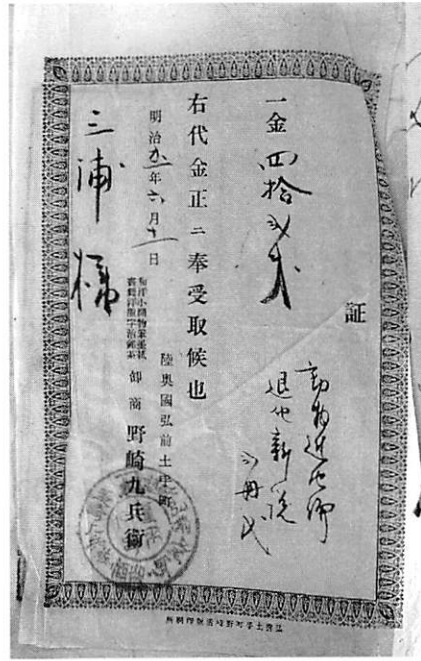
明治二十二年六月十一日

陸奥国弘前土手町

和洋小間物筆墨紙
書籍洋服字治銘茶

卸商 野崎九兵衛

三浦様



一ノ二十七 一ノ二十八 三ノ五 四ノ一 四ノ二十三 五ノ二十六 七ノ一 七ノ三十 九ノ六 九ノ二十七 十二 十二ノ二十七 毛内謙夫
 入三ノ八 三ノ八 四ノ一 六ノ九 六ノ九 ○ ○ 九ノ六 休 休 休 工藤東三郎
 入□□ 五ノ十二 五ノ二十六 □ノ一 八ノ一 九ノ六 九ノ二十七 十二 二十七 十二ノ二十三 斎藤典治
 入六ノ十八 入六ノ十八 七ノ八 八ノ八 九ノ十 十ノ十八 十一ノ十五 十二□□ 伊藤直麿
 十五 森健枝

※入金の日付の上にそれぞれ「たかやま」の朱印を捺す。欄外に以下の事項を記載する。「一ノ十四」（金子惣之助）。「休□」（工藤東三郎）。

3
02
02 日計簿



※冒頭の枠外に「□□□二十三銭九厘」と記す。金額に「たかやま」の朱印を捺す。

一ノ十四	金十銭	金君	一ノ二十七	東海君
	金十銭	東海君	二十銭	金君
	金十銭	和田君	〃	毛内君
	金十銭	西館君	一ノ二十八	〃
	金十銭	前小屋君	一円十銭	齋藤君
一ノ十五	金十銭	三上君	二ノ三	和田君
一ノ二十五	金十銭	岩庭君	二ノ四	十銭
〃	〃	棟方君	二ノ十	十銭
〃	〃	山中君	二ノ十	十銭
〃	〃	三浦君	二ノ二十五	十銭
			二ノ二十五	十銭
				山中君

日計簿

二十ノ二十五	十銭	棟方君	四ノ二十一	十銭	小和田君	六ノ三	十銭	和田君
二ノ二十五	十銭	三浦君	四ノ二十六	十銭	東海君	六ノ九	二十銭	工藤君
二ノ二十五	十銭	岩庭君	〃	十銭	毛内君	六ノ十八	二十銭	伊藤君
一円十銭			四ノ二十八	十銭	高山君	六ノ二十七	十銭	山中君
三ノ四	十銭	和田君	〃	十銭	棟方君	〇〇	二十銭	三上君
三ノ五	十銭	東海君		十銭	三浦君	六十銭		
三ノ五	十銭	毛内君		十銭	岩庭君	七ノ一	十銭	毛内君
三ノ八	十銭	工藤君		十銭	山中君		十銭	東海君
三ノ八	十銭	工藤君	〃	十銭	和田君		十銭	伊藤君
三ノ二十二	二十銭	高山君	五ノ二	四十銭	前小屋君		十銭	齋藤典治
三ノ二十七	十銭	山中君	五ノ五	十銭	同		十銭	金与惣君
		棟方君	五ノ七	十銭	和田君	七ノ八	十銭	伊藤君
		高山君	〃	十銭	高山君	七ノ十八	四十銭	小和田君
		三浦君	五ノ二十六	十銭	山口君	七ノ十九	五十銭	齋竹君
		岩庭君	〃	十銭	三浦君	七ノ二十六	十銭	三上君
		三上君	〃	十銭	棟方君		十銭	山中君
		小和田君	〃	十銭	岩庭君		十銭	棟方君
四ノ一	十銭	工藤君	〃	十銭	〇〇君	七ノ三十	十銭	岩庭君
		齋藤徹君	〃	十銭	三浦君		十銭	東海君
		東海君	〃	十銭	東海君		十銭	毛内君
		金君	〃	十銭	金君		十銭	和田君
		毛内君	〃	十銭	齋典君	八月分	〆二円二十銭	
		齋藤徹君	〃	十銭	毛内君			
四ノ五	十銭	和田君	二十九	十銭	高山君	八ノ九	十銭	伊藤君
			二十九	十銭	〇君	八ノ一	十銭	齋典君

※併外に「四ノ二十五 十銭 木村君」と記す。

※併外に「五ノ十 二十銭 齋典」と記す。

※併外に「二円四十銭」と記す。

九ノ六	十銭	高山君	〆二十銭	齋典君
九ノ七	十銭	山中君	〆二十銭	金君
九ノ八	十銭	三浦君	〆二十銭	伊藤君
九ノ九	十銭	岩庭君	〆二十銭	森君
九ノ一〇	十銭	三上君	〆二十銭	木村君
九ノ一一	十銭	棟方君	〆二十銭	山中君
九ノ一二	十銭	毛内君	〆二十銭	高山君
九ノ一三	十銭	齋典君	〆二十銭	三上君
九ノ一四	十銭	工藤君	〆二十銭	毛内君
九ノ一五	十銭	伊藤君	〆二十銭	岩庭君
九ノ一六	二十銭	金君	〆二十銭	棟方君
九ノ一七	十銭	東海君	〆二十銭	和田君
九ノ一八	六十銭	齋藤君	〆二十銭	東海君
九ノ一九	十銭	山中君	〆二十銭	毛内君
九ノ二〇	十銭	高山君	〆二十銭	金君
九ノ二一	十銭	棟方君	〆二十銭	伊藤君
九ノ二二	十銭	岩庭君	〆二十銭	三上君
九ノ二三	十銭	三浦君	〆二十銭	山中君
九ノ二四	十銭	三上君	〆二十銭	高山君
九ノ二五	十銭	毛内君	〆二十銭	棟方君
九ノ二六	十銭	東海君	〆二十銭	東海君
九ノ二七	四十銭	前小屋君	〆二十銭	毛内君
九ノ二八	十銭	東海君	〆二十銭	齋藤君
九ノ二九	十銭	金君	〆二十銭	金君

※梓外に「九ノ十口 二十銭 和田君」と記す。

日計簿終

※この間、何も記さない一丁を挟む。

〆一円五十銭	口十九	二十銭	木村君
〆一円五十銭	十二ノ六	十銭	和田君
〆一円五十銭	十二ノ七	四十銭	小和田君
〆一円五十銭	十二ノ八	四十銭	齋藤君
〆一円五十銭	十二ノ十	十銭	伊藤君
〆一円五十銭	十二ノ二三	三十銭	前小屋君
〆一円五十銭	十二ノ二三	二十銭	齋藤君
〆一円五十銭	〆一円五十銭	二十銭	齋藤君
〆一円五十銭	〆一円五十銭	二十銭	岩庭君

購求書籍及物品目錄	代價	到着月日	仕払月日	人名
埃及近世史	一円五十銭	十二月三十日	二月二十六日	刃
哲学涓滴	六十三銭	十二月三十日	二月十五日	刃
平民政治	二十銭	一月十五日	三月二十六日	刃
同	二十銭	一月十五日	三月二十六日	刃
フランクリン自叙伝	二十六銭	三月二日	三月二十六日	刃
国憲汎論	二円五十銭		四月四日	刃
赤穂義士	七十八銭			刃
埃及惨状	二十四銭			刃
唾之旅行	十四銭四厘			刃
平民政治	八十六銭四厘			刃
新著百種	二十二銭			刃

書名	代価	到着月日	仕払月日	人名
埃及近世史	一円五十銭	十二月三十日	二月二十六日	刃
哲学涓滴	六十三銭	十二月三十日	二月十五日	刃
平民政治	二十銭	一月十五日	三月二十六日	刃
同	二十銭	一月十五日	三月二十六日	刃
フランクリン自叙伝	二十六銭	三月二日	三月二十六日	刃
国憲汎論	二円五十銭		四月四日	刃
赤穂義士	七十八銭			刃
埃及惨状	二十四銭			刃
唾之旅行	十四銭四厘			刃
平民政治	八十六銭四厘			刃
新著百種	二十二銭			刃

浩武電伝	十六銭八厘	五月十四日	五月二十六日	刃
小楠遺稿	一円	五月十四日		刃
科学ノ原理	四十九銭	五月十四日	同日	刃
小説史稿	四十銭	五月十四日	同日	刃
浮城物語	六十七銭	五月三十日	六月十六日	刃
帰納論理学	一円五十五銭	七月十九日	七月	刃
進化原論	五十九銭	七月十九日	七月	刃
亜ノ光輝	十六銭七厘	七月十九日	七月	刃
觀風叢話	四十五銭	九月十六日	九月十六日	刃
経世危言	三十七銭	九月		刃
帰省	十五銭			刃
万国歴史	一円十銭	内二冊 十月二十七	九月	刃
日本歴史	八十銭			刃
南洋時事	五十銭			刃
日曜講義	十八銭			刃
仏教活論二	四十三銭			刃
出版月評	六十銭	六冊分	十一月十七日	刃
星界口遊記	二十六銭	十二月七日		刃
岡本子	六十五銭	十二月七日		刃
德育鎮定論	二十六銭			刃
政教日記	二十五銭			刃
日本文学史	一円八十五銭			刃

3・02・04 (月計簿)

一月二十五銭九厘前年度残り

月	収入高	仕払高	不足高	残金
一	一円五十銭	一円		一月七十五銭九厘
二	一円十銭	二円十三銭		七十二銭九厘
三	一円四十銭	二円十六銭	三銭一厘	
四	二円四十銭	二円	五十六銭	三十六銭九厘
五	二円十銭	二円五十九銭	十二銭一厘	
六	八十銭	七十二銭三厘	四銭四厘	
七	二円二十銭	二円三十銭五厘	十四銭九厘	
八	二十銭	〇		五銭一厘
九	二円七十銭	八十七銭		一円八十銭一厘
十	二円十銭	二円		一円九十八銭二厘
十一	一円五十銭	一円六十八銭		一円八十銭一厘
十二	一円五十銭	二十五銭		三円〇五銭一厘
〇十二	五十銭	三円三十七銭		三十五銭一厘

3・02・05 仕払簿

仕払簿

月 仕払金額

未払金額

一	一円	三円六十三銭
二	二円十三銭	
三	二円十六銭	〇〇〇〇〇
四	二円	四十四銭

※以下、五月以降の欄は未記入。

3・02・06 仕払日計簿

仕払日計簿

一月七日	一金一円	国憲汎論ノ内
二月五日	一金一円五十銭	同
二月十三日	一金六十三銭	哲学涓滴
	一金二円十六銭	三冊
四月三十日	一金二円	
	一金一円六十銭	
	一金八十九銭	
六月中		
	一金一銭	はかき
	一金二銭一厘	不足
	一金二銭二厘	半紙二帖
	一金〇〇〇	〇〇
七月分		

十一月中

十一月十七日 一金五銭 郵便為替料

一金二銭二厘 半紙二帖

×十銭〇九厘

金二十五銭 表紙及糸

一金五銭 〇〇

3・02・07 領収書

※以下、領収書を紙綴りで綴じたものを簿冊に挟み込む。

記

一円五十銭也 書物之残金

但国憲ハン論代

右正ニ奉請取候也

二十五日刃野崎

高山様

3・02・10 領収書

記

一 一拾三銭 哲学一部之代

右正ニ□□取候也

二月十五日 刃

【朱印：西洋小問物書籍字治 製茶和商店版印刷所 陸奥

津輕弘前土手町 刃野崎九兵衛】

□□□□

高山亀代作様

3・02・12 領収書

※印刷された受領証。「出版月評」の購読料。

振出日附印：二十三年十一月十七日／陸奥国弘

前郵便局

証書番号 うろ〇八四一七

受領証書

金六十銭

右為替金額及其為替料トモ領収ノ証トシテ此証

書交付候也

差出人宿所氏名：東京□銀座四丁目一番地 月

評社

3・02・08 領収書

記

一円 国憲汎論之代

右正ニ受取申候也

一月七日

高山様 刃□ 九□ 【朱印：小山□】

3・02・11 領収書

記

一 一円十銭 万国史一冊

一 八十銭 日本歴史一冊

一 五十銭 南洋時事一冊

一 十八銭 日曜講義一冊

一 四十三銭 仏法本論一冊

× 三百〇一銭

入二円 十月十三日記□

× 一円〇一銭

右正ニ請取申候也

十一月二十七日 刃□□□七三郎

【朱印：萬】

3・02・13

記

一金二円也 書籍代内

右之通り正ニ受取候也

刃店儀三郎

高山様

3・02・14

記

□八十七銭 掃省 外二冊代

□正ニ受取候也

九月十六日 野崎店代

【朱印：正七】

証

一金二円十六銭

エツフト近世史

平民政治

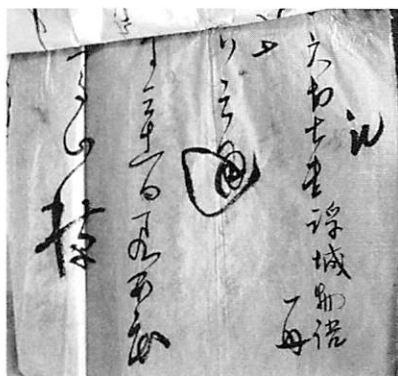
フランクリン伝

右正ニ受取候也

三月二十六日 刃代 【朱印：正七】

上

3・02・15 領收書



記
 六十七銭 浮城物語 一冊

之通

月三十一日 刃本店

高山様

3・02・16 領收書

記

一円五十五銭 論理学

冊 一部

五十九銭 進化原論 一部

十六銭五厘 亜細亜光輝 一部

此内三十銭五厘

受取

刃店

高山

3・02・17 領收書

四十銭 小説史稿

四十五銭 科学ノ原理

五月二十六日

3・02・18 領收書

記

一円七十銭 書籍代

右正ニ奉受取候也

五月二十五日 刃

3・02・19 領收書

記

二十七銭五厘 闇夜鴉 一部

七十八銭 赤穂義士実話 一部

五十四銭 埃及惨状 一部

十四銭四厘 唾の旅 一部

八十六銭四厘 平民政治 三四五六 四冊

四十四銭 新著百種 一、六、七、八、四冊

但一、六二冊返

×三円〇四銭二厘

此内五十四銭入

之通御受取候也

野崎

高山様

3・02・20 領收書

記

円四十四銭 五月二日

即

右之通

五月二日

刃

上

3-03 会計簿(明治二十四年)

【表紙】

明治二十四季／会計簿／自他案会

【本文】

3-03-01 明治二十四年改正会費收入簿

明治二十四年改正会費收入簿

一月	二月	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	
一ノ一	一ノ二十六	二ノ二十六	三ノ二十六	四ノ二十七	五ノ二十六	六ノ二十六	七ノ二十五	八ノ二十六	九ノ二十六	十ノ二十六	十一ノ二十六	十二ノ二十六 三浦武三郎
一ノ一	一ノ二十六	二ノ二十六	三ノ二十六	四ノ二十七	五ノ二十六	六ノ二十六	七ノ二十五	八ノ二十六	九ノ二十六	十ノ二十六	十一ノ二十六	十二ノ二十六 山中嵯峨之助
二ノ二十八	二ノ二十八	二ノ二十八	七ノ二十九	七ノ二十九	七ノ二十九	七ノ二十九	十ノ三十一	十ノ三十一	十ノ三十一	十ノ三十一	十ノ三十一	十ノ三十一 木村卯太郎
一ノ四	〇ノ二	四ノ十一	五ノ二十一	五ノ二十一	九ノ十一	九ノ十一	九ノ十一	九ノ十一	十ノ二十五	十二ノ九	十二ノ九	十二ノ二十四 和田慶三郎
一ノ一	三ノ二十七	四ノ六	六ノ十一	六ノ十一	八ノ三	八ノ三	十一ノ一	十一ノ一	十一ノ一	十一ノ一	十一ノ一	十一ノ一 小和田武司
一月一日	二ノ三	二ノ二十七	三ノ二十七	四ノ二十七	五ノ二十六	六ノ二十六	七ノ二十五	八ノ二十九	九ノ二十六	十二ノ六	十二ノ六	十二ノ二十六 東海武一
二ノ二十六	二ノ二十八	四ノ二	九ノ二	九ノ二	九ノ二	十一ノ三十	十一ノ三十	十一ノ三十	十一ノ三十	十一ノ三十	十一ノ三十	十一ノ三十 齋藤徹
二ノ二十七	二ノ二十七	七ノ二十六	七ノ二十六	七ノ二十六	七ノ二十六	十一ノ二十一	十一ノ二十一	十一ノ二十一	十二ノ二十七	十二ノ二十七	十二ノ二十七	十二ノ二十七 齋藤竹次郎
一ノ一	一ノ二十六	二ノ二十六	三ノ二十六	四ノ二十七	五ノ二十六	六ノ二十六	七ノ二十五	八ノ二十六	十一	十ノ二十六	十ノ二十六	十ノ二十六 棟方悌二
一ノ一	二ノ三	二ノ二十七	三ノ二十六	四ノ二十七	五ノ二十六	六ノ二十六	七ノ二十五	九ノ二十六	十ノ六	十二ノ六	十二ノ六	十二ノ二十六 金与惣之助
一ノ二十六	二ノ二十六	三ノ二十六	四ノ二十七	五ノ二十六	六ノ二十六	七ノ二十五	八ノ二十六	九ノ二十六	十ノ二十六	十二ノ二十六	十二ノ二十六	十二ノ二十四 岩庭為世
一ノ一	一ノ二十六	二ノ二十六	三ノ二十六	四ノ二十七	五ノ二十六	六ノ二十六	七ノ二十五	八ノ二十六	九ノ二十六	十二ノ六	十二ノ六	十二ノ二十六 三上徳之助
二ノ二十七	二ノ二十七	二ノ二十七	三ノ二十六	四ノ二十七	五ノ二十三	六ノ二十六	七ノ二十五	死亡				前小屋泰吉
一ノ一	二ノ三	二ノ二十七	三ノ二十六	四ノ二十七	五ノ二十三	六ノ二十六	七ノ二十五	死亡				毛内謙夫
二ノ二十七	三ノ二十六	四ノ二十七	四ノ二十七	五ノ二十六	六ノ二十六	七ノ二十五	八ノ二十	九ノ二十六	十ノ二十六	十一ノ二十六	十二ノ二十六	十二ノ二十六 齋藤典治
三ノ二十八	三ノ二十八	三ノ二十八	八ノ三十一	八ノ三十一	八ノ三十一	八ノ三十一	八ノ三十一	十二ノ一	十二ノ一	十二ノ一	十二ノ一	十二ノ一 森健枝
七ノ二十五	七ノ二十五	七ノ二十五	七ノ二十五	八ノ三十一	八ノ三十一	八ノ三十一	八ノ三十一	十二ノ一	十二ノ一	十二ノ一	十二ノ一	十二ノ一 戸寅五郎
一ノ一	一ノ二十六	二ノ二十六	〇ノ二十六	四ノ二十二	五ノ二十六	六ノ二十六	七ノ二十五	八ノ二十六	九ノ二十六	十ノ二十六	十一ノ二十六	十二ノ二十六 高山亀代作

※入金の日付に「たかやま」の朱印を捺す。冒頭枠外に「二十三年分」と記す。各会員の項の枠外に以下の事項を記載する。「十二二十七 三十銭」(斎藤竹次郎)。「除名」(前小屋泰吉)。「三ノ二十八 十銭」。「二十銭」。「十銭」(森健枝)。「□□□□」(戸寅五郎)。「外 四 二十四 十銭 入会」。「□ノ二十八 入会」(佐藤兵馬)。「三十銭」(今助次郎)。「十五銭」(相馬文太郎)。

36210

三津

那三子軍改正會費收入簿

一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
...
三浦武三郎	山中隆峯三郎	木村卯太郎	和田慶三郎	小和四武司	東海武	育藤 徹	斎藤竹次郎	金子物之助	花庭 ぬき		

- 四ノ二十七
- 四ノ二十七
- 五ノ二十六
- 六ノ二十六
- 七ノ二十五
- 八ノ二十
- 九ノ二十六
- 十ノ二十八
- 十ノ二十八
- 十ノ二十八
- 十一ノ二十六
- 十二ノ二十四
- 十三ノ二十四
- 十四ノ二十四
- 十五ノ二十四
- 十六ノ二十四
- 十七ノ二十四
- 十八ノ二十四
- 十九ノ二十四
- 二十ノ二十四
- 二十一ノ二十四
- 二十二ノ二十四
- 二十三ノ二十四
- 二十四ノ二十四
- 二十五ノ二十四
- 二十六ノ二十四
- 二十七ノ二十四
- 二十八ノ二十四
- 二十九ノ二十四
- 三十ノ二十四
- 三十一ノ二十四
- 三十二ノ二十四
- 三十三ノ二十四
- 三十四ノ二十四
- 三十五ノ二十四
- 三十六ノ二十四
- 三十七ノ二十四
- 三十八ノ二十四
- 三十九ノ二十四
- 四十ノ二十四
- 四十一ノ二十四
- 四十二ノ二十四
- 四十三ノ二十四
- 四十四ノ二十四
- 四十五ノ二十四
- 四十六ノ二十四
- 四十七ノ二十四
- 四十八ノ二十四
- 四十九ノ二十四
- 五十ノ二十四

3・03・02 日計簿

日計簿 全三十三銭一厘 前年度分

一月一日	金十銭	東海君	二ノ二十六	金十銭	三上君	〆金一円	一金十銭	毛君
"	金十銭	金	二ノ二十〇	十銭	三浦君	三ノ二十八	一金四十銭	木村君
"	金十銭	毛内	"	十銭	岩庭君	四ノ二	一金十銭	齋徹君
"	金十銭	三上	"	十銭	山中君	四ノ六	一金十銭	小和田君
"	金十銭	山中	二ノ二十七	十銭	棟方君	四ノ十	一金十銭	和田君
"	金十銭	棟方	"	一金十銭	毛内君	四ノ二十七	一金十銭	東海君
"	金十銭	高山	"	一金十銭	齋藤〇君	"	一金十銭	毛内君
"	金十銭	三浦	"	一金二十銭	金君	"	一金十銭	金君
"	金十銭	小和田	"	一金五十銭	〇〇君	"	一金三十銭	佐藤君
"	金十銭	森	"	一金十銭	齋藤〇君	"	一金二十銭	齋典君
一ノ四	金七十五銭	一戸君	一円二十銭	一金十銭	小和田君	"	一金十銭	入会金 佐藤君
一ノ一	金十銭	和田君	二十八日	一金十銭	東海君	"	一金十銭	高山君
一月二十六日	金十銭	山中君	計二月二円七十銭	一金三十銭	〇〇君	"	一金十銭	山中君
"	"	高山君	三ノ二十六	一金十銭	岩庭君	"	一金十銭	三上君
"	"	三〇君	"	一金十銭	山中君	二十八日"	一金十銭	棟方君
"	"	棟方君	"	一金十銭	三浦君	〆金二円十銭	一金十銭	岩庭君
"	"	三上君	"	一金十銭	高山君	五ノ二十一	一金二十銭	三浦君
"	"	小和田君	"	一金十銭	棟方君	五ノ二十六	一金十銭	和田君
〆二円六十八銭一厘	"	"	三ノ十八	金十銭	三上君	五ノ二十六	金十銭	山中君
二ノ二	金十銭	和田君	三ノ十八	金十銭	齋藤君	"	金十銭	〇〇(齋徹之君)
二ノ三	金十銭	東海君	三ノ二十六	金十銭	東海君	"	金十銭	棟方君
二ノ三	金十銭	毛内君	"	金十銭	齋藤典	"	金十銭	三上君
二ノ三	金十銭	金君	"	金十銭	金君	"	金十銭	岩庭君
二ノ十八	金三十銭	齋藤徹君	"	金十銭	金君	"	金十銭	岩庭君

”

金十銭

東海君

一同

高山君

〆金一円七十銭

金二十銭

齋藤君

一同

山中君

金十銭

齋藤典君

金二十銭

毛内君

同、

棟方君

金十銭

東海君

金十銭

金君

同

岩庭君

金十銭

金君

金十銭

佐藤君

金四十銭

齋竹君

合計〆二円十銭

一金十銭

佐藤君

〆一円四十銭

一金三十銭

小和田君

一金十銭

木村君

二円二十銭

金十銭

棟方君

六ノ二十一

金十銭

三上君

二円三十銭

東海君

金十銭

十ノ六

金十銭

金君

”

金十銭

高山君

八ノ十九

齋〇君

東海君

十ノ十二

金四十銭

〇〇君

”

金十銭

三浦君

八ノ二十

金十銭

〇〇君

十ノ十五

金十銭

〇〇君

金十銭

岩庭君

八ノ二十

金十銭

〇〇君

十ノ二十六

金十銭

岩庭君

金十銭

棟方君

三上君

金十銭

三上君

金十銭

三上君

金十銭

山中君

三浦君

金十銭

山中君

金十銭

棟方君

金十銭

佐藤君

三浦君

金十銭

三浦君

金十銭

三浦君

金十銭

齋典君

高山君

金十銭

高山君

金十銭

高山君

金十銭

東海君

棟方君

金十銭

棟方君

〇〇十銭

〇君

金十銭

金君

〆九十銭

小和田君

十月二十一日

〆一円二十銭也

〇〇〇〇〇〇

〆一円四十銭

金十銭

毛内君

八ノ三十一

金五十銭

木村君

十月二十二日

金十銭

東海君

金十銭

東海君

〇ノ二

金三十銭

〇〇君

”

金十銭

齋典君

金十銭

齋典君

九ノ十一

金四十銭

毛内君

”

金十銭

佐藤君

金十銭

金君

”

金十銭

三浦君

”

金十銭

金君

金十銭

佐藤君

”

金十銭

岩庭君

十月二十八日

金二十銭

今君

金十銭

三浦君

”

金十銭

山中君

”

金十五銭入金へ今君

今君

金十銭

三上君

”

金十銭

三上君

十一月一日

金四十銭

佐藤君

金十銭

三上君

”

金十銭

高山

”

金十銭

小和田君

一同、

三上君

”

金十銭

高山

”

金十銭

小和田君

〆一円八十五錢也
合計三円〇五錢也

十一月十四日 金十錢 佐藤君
十一月二十日 金三十錢 齋藤君
十一月二十六日 金十錢 三上君
金十錢 山中君
金十錢 棟方君
金十錢 岩庭君
金十錢 高山君
金十錢 三浦君
金十錢 相馬君
金十錢 東海君
金十錢 齋典君
金十錢 金君
金十錢 今君
金十五錢 入金 今君

十二月二十六日 金十錢 今君
〆一円六十五錢 金四十錢 齋藤徹君
十一月三十日 金三十錢 森君
十二月一 金十錢 和田君
十二月九 金十錢 三浦君
十二月十四 金十錢 山中君
金十錢 岩庭君
金十錢 三上君
金十錢 棟口君
金十錢 高山君

〆一円四十錢
十二月二十四日 金十錢 和田君
金十錢 今君
金十錢 金君
金十錢 東海君
金十錢 齋藤口君
金三十錢 和田君
金十錢 小和田君

十二月二十九日 金十錢 齋藤君
〆九十錢 十二月二十九日 金三十錢 齋藤君

3・03・03 購求書籍支払簿
購求書籍支払簿

書名	代価	到着 月日	支払 月日	人名
蘇丹令	二十六錢	一月二日	一月二日	刃
五大国漫遊記	三十錢	一月一日	一月二日	刃
統計年鑑	一円十五錢	二月十八日	二月十八日	刃
格朗究	十九錢	二月十八日		
平民政治	一円九十八錢 九冊			
巴波川	十一錢			
ツユコソデ	十一錢			
墨染桜	十一錢			
妾薄命	十一錢			
財政学	一円二十錢 中一冊			
三元世界周遊記	二十錢			

温知叢書 二十二錢、
百家説林 七十七錢、
路錫 十六錢、
経国論 五十五錢、
百家説林之口冊 三十八錢、
国家論 一円四十五錢
仏教序論 十錢
普通倫理学 七十錢
温知口 二 二十二錢
〃 三 三十二錢
百家説林 四 三十八錢
印度及濠州
日本人
印度奇觀
略ス

3・03・04 (月計簿)
倫理教科書 一円二十錢 十月十日 近松

月	収入高	支払高	不足高	残金
一	残り金二円 六十八錢一厘	(二十三年中) 九十九錢五厘	不足高	一円六十九 錢一厘
二	十円三十一錢 十円三十一錢	十円三十一錢		中 四十五錢
三	二円七十錢	一円六十錢一厘		一円 七十五錢
四	二円四十錢	二円〇四錢		十一錢
五	一円四十錢	一円五十一錢		〇
六	一円四十錢	一円四十錢		〇

七 二円三十銭 一円八十銭 〇 五十銭
 八 九十銭 一円四十銭 〇 〇
 九 二円二十銭 二円十六銭 一銭〇〇 四銭
 十 三円〇五銭 印印倫理二円四十銭 残分六十二銭五厘十円十四銭 〇 〇
 十一 六十五銭 二円二十五銭 二銭五厘
 十二 十円十四銭 一円四十二銭の残 一銭余五厘
 十三 四十四銭の残 九十銭 九十銭 一銭五厘
 別ノ 九十銭 九十銭 一銭五厘

※二月の項の枠外に「□収入二円〇十銭」と記す。

3・03・05 雑費仕払簿

雑費仕払簿
 一二銭 郵便料
 一金十銭 書籍簿 厚紙二十枚
 一金五銭 半紙
 一金七銭 糸一バ
 一金七銭五厘 表紙五枚
 一金二銭 半紙
 〆三十三銭五厘
 一金四銭五厘 糸
 一金十銭一銭六厘 封状
 一金二銭 半紙
 十金十銭 半紙
 〆八銭一厘
 四月十日
 一金二銭 半紙

一金二銭二厘 半紙

〆四銭二厘
 五月五日

一金一銭 〇日〇八〇〇

〆一銭

十金〇〇 表紙十〇〇

一金〇銭十銭 出版月評ハカキ

〆〇銭

一金二銭五厘 半紙二帖

一金三銭 表紙〇半紙

以上〇月分迄

一金一銭 上封二十枚

一金二銭五厘 半紙二帖

十月分 〆三銭五厘

3・03・06 (領収書)

※簿冊の末尾に貼付された紙片。

記
 一三十六銭 スタンレー 一部
 一三十銭 五大漫遊 一部
 〆六十六銭
 十二月二十四日
 右之通り正ニ受取
 □□□□店 ■ [朱印・七三郎]
 高山様

3・03・07 領収書

※印刷された受取証。簿冊の末尾に貼付。

受領証書

振出日附印…二十四年五月四日 陸奥国弘前郵

便局

証書番号…字ろ〇九五七八

金九十銭

右為替金額及其為替料トモ領取ノ証トシテ此証

書交付候也

差出人宿所氏名… ※空白。

受取人宿所氏名… ※空白。

■ [朱印・陸奥国弘前郵便局為替之章]

3.04 会計簿(明治二十五年)

【表紙】明治二十五年/会計簿/自他案会

【本文】

3.04.01 明治二十五年会費收入簿

明治二十五年会費收入簿

一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	姓名
○	一ノ二十六	二ノ二十六	二ノ二十六	四ノ三十	六ノ二	七ノ二	七ノ三十	九ノ三十	九ノ三十	十ノ三十一	十二ノ二十九	三浦武三郎
○	一ノ二十六	二ノ二十六	二ノ二十六	四ノ三十	六ノ二	七ノ二	七ノ三十	八ノ三十	九ノ三十	十ノ三十一	十二ノ二十九	山中嵯峨之助
○	一ノ二十六	二ノ二十六	二ノ二十六	四ノ三十	六ノ二	七ノ二	七ノ三十	八ノ三十	九ノ三十	十ノ三十一	十二ノ二十九	木村卯太郎
○	一ノ二十六	二ノ二十六	二ノ二十六	四ノ三十	六ノ二	七ノ二	七ノ三十	八ノ三十	九ノ三十	十ノ三十一	十二ノ二十九	和田慶二郎
○	一ノ二十六	二ノ二十六	二ノ二十六	四ノ三十	六ノ二	七ノ二	七ノ三十	八ノ三十	九ノ三十	十ノ三十一	十二ノ二十九	小和田武司
○	一ノ二十六	二ノ二十六	二ノ二十六	四ノ三十	六ノ二	七ノ二	七ノ三十	八ノ三十	九ノ三十	十ノ三十一	十二ノ二十九	東海武一
○	一ノ二十六	二ノ二十六	二ノ二十六	四ノ三十	六ノ二	七ノ二	七ノ三十	八ノ三十	九ノ三十	十ノ三十一	十二ノ二十九	齋藤徹
○	一ノ二十六	二ノ二十六	二ノ二十六	四ノ三十	六ノ二	七ノ二	七ノ三十	八ノ三十	九ノ三十	十ノ三十一	十二ノ二十九	齋藤竹次郎
○	一ノ二十六	二ノ二十六	二ノ二十六	四ノ三十	六ノ二	七ノ二	七ノ三十	八ノ三十	九ノ三十	十ノ三十一	十二ノ二十九	棟方悌二
○	一ノ二十六	二ノ二十六	二ノ二十六	四ノ三十	六ノ二	七ノ二	七ノ三十	八ノ三十	九ノ三十	十ノ三十一	十二ノ二十九	金与惣之助
○	一ノ二十六	二ノ二十六	二ノ二十六	四ノ三十	六ノ二	七ノ二	七ノ三十	八ノ三十	九ノ三十	十ノ三十一	十二ノ二十九	岩庭為世
○	一ノ二十六	二ノ二十六	二ノ二十六	四ノ三十	六ノ二	七ノ二	七ノ三十	八ノ三十	九ノ三十	十ノ三十一	十二ノ二十九	三上徳之助
○	一ノ二十六	二ノ二十六	二ノ二十六	四ノ三十	六ノ二	七ノ二	七ノ三十	八ノ三十	九ノ三十	十ノ三十一	十二ノ二十九	齋藤典治
○	一ノ二十六	二ノ二十六	二ノ二十六	四ノ三十	六ノ二	七ノ二	七ノ三十	八ノ三十	九ノ三十	十ノ三十一	十二ノ二十九	森健枝
○	一ノ二十六	二ノ二十六	二ノ二十六	四ノ三十	六ノ二	七ノ二	七ノ三十	八ノ三十	九ノ三十	十ノ三十一	十二ノ二十九	一戸寅之助
○	一ノ二十一	二ノ二十一	三ノ二十一	四ノ三十	六ノ二	七ノ二	七ノ三十	八ノ三十	九ノ三十	十ノ三十一	十二ノ二十九	高山龜代作
○	一ノ二十一	二ノ二十一	三ノ二十一	四ノ三十	六ノ二	七ノ二	七ノ三十	八ノ三十	九ノ三十	十ノ三十一	十二ノ二十九	佐藤兵馬
○	一ノ二十六	二ノ二十六	三ノ二十六	四ノ二十六	六ノ六	六ノ六	六ノ六	六ノ六	六ノ六	六ノ六	六ノ六	今助次郎
○	一ノ二十六	二ノ二十六	三ノ二十六	四ノ二十六	六ノ六	六ノ六	六ノ六	六ノ六	六ノ六	六ノ六	六ノ六	相馬久太郎
○	一ノ二十六	二ノ二十六	三ノ二十六	四ノ二十六	六ノ六	六ノ六	六ノ六	六ノ六	六ノ六	六ノ六	六ノ六	藤田未頼二
○	一ノ二十六	二ノ二十六	三ノ二十六	四ノ二十六	六ノ六	六ノ六	六ノ六	六ノ六	六ノ六	六ノ六	六ノ六	成田武衛
○	一ノ二十六	二ノ二十六	三ノ二十六	四ノ二十六	六ノ六	六ノ六	六ノ六	六ノ六	六ノ六	六ノ六	六ノ六	八戸逸太郎

※入金の日付に「たかやま」の朱印を捺す。冒頭枠外に「二十四年払分」と記し、その左、各会員の項の上方枠外に以下の書き入れあり。「十二月六ノ十五」(小和田武司)。「十一月十二月三ノ三十」(齋藤徹)。「二ノ一 三ヶ月分」(齋藤竹次郎)。「十二月七月九日」(森健枝)。「五月ヨリ」(二戸寅之助)。「入会三十銭八ノ二十七」(成田武衛)。「入会三十銭九ノ二十六」(八戸逸太郎)。

日計簿

一ノ一	金三十銭	齋藤竹君	二ノ二十七	金十銭	相馬君	六月二日	金十銭	棟方君
一ノ二十一	金二十銭	佐藤君	三ノ二十六	金十銭	高山君	〆一円十銭	金十銭	高山君
一ノ二十六	金十銭	高山		金十銭	山中君		金十銭	三上君
〃	金十銭	三浦君		金十銭	三上君		金十銭	山中君
〃	金十銭	棟方君		金十銭	三浦君		金十銭	岩庭君
〃	金十銭	三上君		金十銭	棟方君		金十銭	高山君
〃	金十銭	山中君		金十銭	岩庭君	以上五月トス	金十銭	棟方君
〃	金十銭	岩庭君		金十銭	相馬君	六ノ六	〆六十銭	
〃	金十銭	今君		金十銭	今君		金十銭	東海君
〃	金十銭	齋藤典君		金十銭	今君		金十銭	金君
〃	金二十銭	藤田君		金十銭	藤田君		金十銭	齋典君
〃	金十銭	金君		金十銭	齋藤典君		金十銭	藤田君
〃	金十銭	東海君		金十銭	東海君		金十銭	今君
〃	金十銭	相馬君		金五十銭	齋徹君		金三十銭	相馬君
〆一円八十銭				金三十銭	小和田君	六十七	金七十銭	相馬君
二ノ二	二十銭	和田君	〆二円十銭			〃	金二十銭	小和田君
二ノ十八	三十銭	小和田君	四ノ二十六	金十銭	東海君	〃	金十銭	齋典君
二ノ二十一	金四十銭	齋藤竹君		金十銭	今君		金十銭	藤田君
二ノ二十六	金十銭	山中君		金十銭	金君		金十銭	東海君
	金十銭	三上君	二九	金二十銭	和田君		金十銭	今君
	金十銭	岩庭君	四ノ三十	金十銭	三上君	七ノ二	金十銭	三上君
	金十銭	三浦君		金十銭	山中君		金十銭	三浦君
	金十銭	棟方君		金十銭	岩庭君		金十銭	山中君
	金十銭	高山君		金十銭	三浦君		金十銭	高山君

- 金十錢 岩庭君
 金十錢 棟方君
 ♪二円七十錢以上スミ
 七月二十七日 金十錢 東海君
 金十錢 齋藤君
 金十錢 今君
 金二十錢 藤田君
 七月九日 金五十錢 森健枝
 七ノ三十 金十錢 高山君
 " 金十錢 三浦君
 " 金十錢 棟方君
 七ノ三十 金十錢 三上君
 " 金十錢 岩庭君
 " 金十錢 山中君
 一円六十錢
 八ノ一 金十錢 東海君
 金十錢 藤田君
 金十錢 齋藤君
 金十錢 今君
 一金五十錢 成田君
 一金十錢 三浦君
 一金十錢 山中君
 一金十錢 棟方君
 一金十錢 岩庭君
 一金十錢 三上君
 一金十錢 高山君

 ♪一円五十錢
 九ノ十 一金三十錢 齋藤徹君
 九ノ十四 一金四十錢 森君
 右迄八月九ヶ算入セリ
 九ノ二十六 金十錢 東海君
 金十錢 藤田君
 金十錢 今君
 金十錢 齋藤君
 金十錢 八戸君
 金十錢入会金同君
 九ノ三十 一金十錢 三浦君
 一金十錢 高山君
 一金十錢 山中君
 一金十錢 三上君
 一金十錢 岩庭君
 一金十錢 棟方君
 ♪金一円二十錢
 十ノ四 一金三十錢 齋藤徹君
 十ノ二十七 一金十錢 東海君
 一金十錢 藤田君
 一金十錢 齋藤典君
 一金十錢 成田君
 一金十錢 今君
 一金十錢 八戸君
 一金十錢入会同君

 十二ノ八 一金六十錢 相馬君
 十三ノ一 一金十錢 岩庭君
 一金十錢 山中君
 一金十錢 棟方君
 一金十錢 三浦君
 一金十錢 高山君
 ♪二円二十錢
 十一ノ五 一金五十錢 木村君
 十二ノ十一 一金四十錢 齋藤竹君
 十二ノ十八 一金十錢 東海君
 一金十錢 藤田君
 一金十錢 八戸君
 一金十錢 齋藤君
 一金十錢 藤田君
 一金十錢 八戸君
 一金十錢入会八戸君
 一金十錢 三上君
 一金十錢 山中君
 一金十錢 三浦君
 一金十錢 棟方君
 一金十錢 岩庭君
 一金十錢 成田君
 ♪二円二十錢
 十二ノ六 金三十錢 小和田君
 十二ノ十二 金二十錢 齋藤君
 金三十錢 齋藤典君

3・04・03 (月計簿)

月 収入高 仕払高 不足高 残金

一	残一錢五厘	一円〇七錢	〇	七十四錢五厘
	一円八十錢	之内七錢	〇	
二	一円八十錢	一円八十六	〇	六十八錢五厘
	錢内一錢		〇	
三	二円十錢	四十三錢五厘	〇	二円三十五錢
	内二錢五厘		〇	
四	一円十錢	十錢内十錢	〇	三円三十五錢
五	六十錢	●	〇	三円九十五錢
		六十六錢五厘	〇	
六	二円七十錢	六錢五厘	〇	
		四円七十六錢	〇	二円八十二
七	一円六十錢	書二円三十三錢	〇	錢五厘
		書二円三十三錢	〇	二円五十五
八	二円四十錢	書二円四十一錢	〇	錢五厘
		雜二十錢五厘	〇	一円十四錢
九	一円二十錢	書一円八十九錢五	〇	
		厘	〇	十五錢
十	二円二十錢	書一円二十一	〇	
		錢	〇	一円二十七錢
十一	二円二十錢	雜八錢	〇	
		書一円五十二錢	〇	四十一錢五厘
十二	八十錢	五厘	〇	
		雜十二錢	〇	

3・03・04 (書籍仕払帳)

六月十三日 丈夫ノ本領 四十錢
 活氣ノ焰 二十錢
 〆六十錢

七月 閨秀美譚 十一錢
 日本漂流譚 二十五錢

〆三十六錢

八月

物理学 二冊 二円

南洋探検実記 二十二錢

明治紳士録 十一錢

〆二円三十二錢

九月

千代田大輿 上 四十六錢

明治政史 五十錢

東方策 三十一錢

西比亜鉄道論 三十七錢

海国 二冊 六十八錢

明治政史 二十五錢

相思恋愛之現象 十七錢

平の次郎 十錢

經世偉略 三十二錢

三円十六錢

内一円九十五錢支払

残り一円二十一錢

十一月三十日支払

那波翁 二十五錢 一冊
 明治政史 三冊 七十五錢
 罪卜爵 三十八錢

万国史綱 上 五十錢

具氏伝 一冊 十七錢

安政記事 二十五錢

〆二円二十錢五厘

内一円〇一錢五厘〇払

外

小公子我觀小景日本外史

徳川十五代史

※「明治政史」の枠外(上)に「〇〇〔スミカ〕」
 と附「から」具氏伝」までの枠外(上)に「十二
 月 〇〇〔スミカ〕」とそれぞれ記す。

3・04・05 雜費仕払帳

雜費仕払帳

一月

一金五錢 半紙三帖

一金二錢 新年用 はかき

〆七錢

二月

一金一錢 封状三十

〆〇錢

三月

一金三錢 小使(柳之

一金一錢 茶菓ノトキ

半紙一帖 表紙

一〆五錢五厘

四月

一金三錢五厘

一金六錢

一金五厘

〆金十錢

六月

一金二錢

一金二錢

一金二錢五厘

〆六錢五厘

七月

一金一錢五厘

一金一錢

一金一錢五厘

〆四錢

八月

一金十錢

一金二錢

一金二十二錢

〆三十四錢

九月

一金一錢

一金二錢

一金十七錢五厘

〆二十錢五厘

十月四日

糸一把

雜費

二カハ

礼状 郵税

上封

表紙

半紙一帖

書籍店 郵税

半帖一帖

小使ニ慰勞

状袋

表紙

表紙

半紙一帖二十枚

糸五把

一金五錢

一金三錢五厘

〆八錢五厘

十一月

一金五錢

一金五錢

〆八錢厘

一金三錢

一金六錢

一金五錢

〆十四錢

表紙

糸一把

表紙

すみ

□□堂 すみ

糸 二把

帳表紙

3・05 会計簿 (明治二十六年)

【表紙】

明治二十六年季／会計簿／自他菜会

【本文】

3・05・01 明治二十六年会費収入簿

明治二十六年会費収入簿

	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	
一ノ一	一ノ二十八	二ノ二十八	三ノ二十一	四ノ二十九	五ノ三十	六ノ二十九	七ノ二十九	八ノ二十九	八ノ二十九	九ノ三十	十ノ三十一	十一ノ二	三浦武三郎
一ノ一	一ノ二十八	二ノ二十八	三ノ三十一	四ノ二十九	五ノ三十	六ノ二十九	七ノ二十九	八ノ二十九	八ノ二十九	九ノ三十	十ノ三十一	十一ノ二	山中嵯峨之助
二ノ二十二	三ノ三	三ノ三	八ノ七	八ノ七	八ノ七	八ノ七	八ノ七	八ノ七	十一ノ二十七	十一ノ二十七	十一ノ二十七	十一ノ二十七	木村卯太郎
二ノ二十二	二ノ二十二	五ノ二十	五ノ二十	五ノ二十	八ノ二	八ノ二	八ノ二	八ノ二	九ノ二	九ノ二	九ノ二	九ノ二	小和田武司
一ノ一	一ノ二十六	二ノ二十五	三ノ二十五	四ノ二十六	五ノ二十六	六ノ二十六	七ノ二十六	七ノ二十八	八ノ二十九	九ノ二十七	十ノ二十七	十一ノ二十七	東海武一
四ノ四	四ノ四	四ノ四	六ノ三十	六ノ三十	八ノ三	八ノ三	八ノ三	八ノ三	十ノ二	十ノ二	十ノ二	十ノ二	齋藤徹
三ノ四	三ノ四	五ノ十五	六ノ十四	七ノ十九	七ノ十九	七ノ十九	十ノ二	十ノ二	十ノ二	十二ノ十七	十二ノ十七	十二ノ十七	齋藤竹次郎
一ノ一	一ノ二十八	二ノ二十八	三ノ三十一	四ノ二十九	五ノ三十	六ノ二十九	七ノ二十九	七ノ二十九	八ノ二十九	九ノ三十	十ノ三十一	十一ノ三十一	棟方悌二
一ノ二十八	二ノ二十八	三ノ三十一	四ノ二十九	五ノ三十	六ノ二十九	七ノ二十九	七ノ二十九	八ノ二十九	九ノ三十	十ノ三十一	十一ノ三十一	十二ノ二	岩庭為世
一ノ一	一ノ二十八	二ノ二十八	三ノ三十一	四ノ二十九	五ノ三十	六ノ二十九	七ノ二十九	七ノ二十九	八ノ二十九	九ノ三十	十ノ三十一	十一ノ三十一	三上徳之助
一ノ一	一ノ二十七	二ノ二十五	三ノ二十五	四ノ二十六	五ノ二十六	六ノ二十六	七ノ二十八	八ノ二十九	九ノ二十七	十ノ二十七	十一ノ二十七	十二ノ二十五	齋藤典治
三ノ一	三ノ一	三ノ一	七ノ三	七ノ三	七ノ三	七ノ三	十一ノ七	十一ノ七	十一ノ七	十一ノ七	十一ノ七	十一ノ七	森健枝
一ノ一	一ノ二十八	二ノ二十八	三ノ三十一	四ノ二十九	五ノ三十	六ノ二十九	七ノ二十九	七ノ二十九	八ノ二十九	九ノ三十	十ノ三十一	十一ノ三十一	高山亀代作
一ノ一	二ノ二十五	三ノ二十五	五ノ二十六	五ノ二十六	六ノ二十六	七ノ二十八	八ノ二十九	十ノ五	十ノ五	十ノ五	十ノ三十一	十ノ三十一	今助次郎
四ノ三	四ノ三	四ノ三	四ノ三	四ノ三	八ノ三	八ノ三	十一ノ十	十一ノ十	十一ノ十	十一ノ十	十一ノ十	十一ノ十	相馬文太郎
一ノ一	一ノ二十六	二ノ二十五	三ノ二十五	四ノ二十六	五ノ二十六	六ノ二十六	七ノ二十九	八ノ二十九	九ノ二十七	十ノ二十七	十一ノ二十七	十二ノ二十五	藤田未頼二
一ノ一	一ノ二十六	二ノ二十五	三ノ二十五	四ノ二十六	五ノ二十六	六ノ二十六	七ノ二十八	八ノ二十九	九ノ二十七	十ノ二十七	十一ノ二十七	十二ノ二十五	成田武衛
一ノ一	一ノ二十六	二ノ二十五	四ノ二十六	五ノ二十六	五ノ二十六	六ノ二十六	七ノ二十八	八ノ二十九	九ノ二十七	十ノ二十七	十一ノ二十七	十二ノ二十五	八戸逸太郎
一ノ一	一ノ二十六	二ノ二十五	四ノ二十六	五ノ二十六	五ノ二十六	六ノ二十六	七ノ二十八	八ノ二十九	九ノ二十七	十ノ二十七	十一ノ二十七	十二ノ二十五	三上寿吉

※入金の日付の一部に「たかやま」の朱印を捺す。各会員の項の上方格外に以下の書き入れあり。「十一 十二 一ノ一」(小和田武司)。「三ヶ月 二ノ十八」(齋藤徹)。「十二 一ノ一」(岩庭為世)。「四ヶ月 三ノ一」(森健枝)。「入会 三十銭」(三上寿吉)。

一ノ一	一金十銭	東海君	一ノ〇	一金十銭	棟方君	〃	金十銭	藤田君
〃	一金十銭	藤田君	残金合計二円九十一銭五厘	〃	〃	三ノ三十一	一金十銭	山中君
〃	一金十銭	八戸君	二円五十銭	一ノ十八	一金三十銭	齋藤徹君	〃	三浦君
〃	一金十銭	今君	二ノ二十二	一金十銭	木村君	〃	〃	高山君
〃	一金十銭	成田君	二ノ二十二	一金二十銭	小和田君	〃	〃	棟方君
〃	一金十銭	齋典君	〃	一金十銭	東海君	〃	〃	岩庭君
〃	一金二十銭	小和田君	〃	一金十銭	藤田君	〃	〃	三上君
〃	一金十銭	三上君	〃	一金十銭	今君	〃	〃	〃
〃	一金十銭	岩庭君	〃	一金十銭	八戸君	四ノ三	金五十銭	相馬君
〃	一金十銭	高山君	〃	一金十銭	成田君	四ノ四	金三十銭	齋藤君
〃	一金十銭	三浦君	〃	一金十銭	齋典君	四ノ二十六	金十銭	齋藤典君
〃	一金十銭	棟方君	〃	一金十銭	三上君	〃	金十銭	成田君
〃	一金十銭	山中君	〃	一金十銭	山中君	〃	金十銭	藤田君
〃	〃	〃	〃	一金十銭	高山君	四ノ二十九	金十銭	八戸君
〃	〃	〃	〃	一金十銭	三浦君	〃	金十銭	高山君
〃	〃	〃	〃	一金十銭	岩庭君	〃	金十銭	山中君
一ノ二十六	一金十銭	成田君	合計一円八十銭	一金十銭	棟方君	四ノ二十九	金十銭	岩庭君
〃	一金十銭	藤田君	〃	一金十銭	森君	〃	金十銭	三浦君
〃	一金十銭	齋藤君	〃	金六十銭	木村君	〃	金十銭	棟方君
〃	一金十銭	八戸君	三ノ一	金二十銭	齋藤君	金〆一円八十銭	〃	三上君
〃	一金十銭	東海君	三ノ三	金二十銭	東海君	五ノ五	一金十銭	三上君
一ノ二十八	一金十銭	三浦君	三ノ四	金二十銭	齋藤君	五ノ十三	一金十銭	齋竹君
〃	一金十銭	三上君	三ノ二十五	金十銭	東海君	五ノ二十	一金十銭	小和田君
〃	一金十銭	岩庭君	〃	金十銭	成田君	五ノ二十	一金十銭	〃
〃	一金十銭	山中君	〃	金十銭	齋典君	五ノ二十	一金十銭	〃
一ノ二十八	一金十銭	高山君	〃	金十銭	今君	五ノ二十三	一金十銭	高山君

五ノ二十六	金二十銭	今君	〆一円五十銭	金三十銭	森君	金十銭	今君
〃	金二十銭	八戸君	七ノ三	金二十銭	齋藤君(竹)	金十銭	齋典君
〃	金十銭	齋典君	七ノ十九	金十銭	東海君	金十銭	三上君
〃	金十銭	藤田君	七ノ二十八	金十銭	齋藤典君	金十銭	三浦君
〃	金十銭	成田君		金十銭	今君	金十銭	山中君
〃	金十銭	東海君		金十銭	八戸君	金十銭	高山君
五ノ三十	金十銭	三浦君		金十銭	成田君	金十銭	棟方君
〃	金十銭	岩庭君		金十銭	藤田君	金十銭	岩庭君
〃	金十銭	山中君		金十銭	三上君	金十銭	小和田君
〃	金十銭	棟方君		金十銭	山中君	金十銭	八戸君
〃	金十銭	三上君		金十銭	三浦君	金十銭	齋藤典
〆金一円九十銭				九ノ二十七		金十銭	齋藤典
六ノ十四	金十銭	齋竹君		金十銭	三上君	金十銭	成田君
六ノ二十六	金十銭	東海君		金十銭	岩庭君	金十銭	三上君
六ノ二十六	金十銭	藤田君		金十銭	高山君	〃	東海君
六ノ二十六	金十銭	今君	八ノ二	金二十銭	齋藤徹君	〃	藤田君
〃	金十銭	齋典君	八ノ二	金三十銭	小和田君	金十銭	三上君
〃	金十銭	成田君	八ノ三	金二十銭	相馬君	〃	三浦君
〃	金十銭	八戸君	八ノ七	金五十銭	木村君	〃	山中君
六ノ二十九	金十銭	山中君	〆二円九十銭	金二十銭	三上寿君	〃	棟方君
〃	金十銭	棟方君	八ノ二十九	金二十銭	同君	〃	高山君
〃	金十銭	三浦君		金五十銭	東海君	〆一円三十銭	岩庭君
〃	金十銭	岩庭君		金十銭	八戸君	〃	齋藤徹君
〃	金十銭	三上君		金十銭	藤田君	〃	齋藤竹君
〃	金十銭	高山君		金十銭	成田君	〃	今君
六ノ三十	金二十銭	齋藤徹君		金十銭		〃	

十ノ二十七 金十銭 東海君

金十銭 成田君

金十銭 齋典君

金十銭 藤田君

金十銭 三上寿君

金十銭 高山君

金十銭 山中君

金十銭 岩庭君

金十銭 三浦君

金十銭 三上君

金十銭 今君

金十銭 棟方君

一円八十銭

十一ノ七 金四十銭 森君

十一ノ十 金四十銭 相馬君

十一ノ二十五 金十銭 東海君

” 金十銭 成田君

” 金十銭 三上君

” 金十銭 齋藤君

” 金十銭 藤田君

十一ノ二十七 金四十銭 木村君

十二ノ二 金十銭 三上君

金十銭 山中君

金十銭 三浦君

金十銭 棟方君

金十銭 岩庭君

〆二円二十銭

十二ノ二 金二十銭 齋藤徹君

十二ノ十七 金二十銭 齋藤竹君

金五十銭 東海君□□□代

金六十銭 □□□

〆一円五十銭

※冒頭の枠外に「前年越四十一銭五厘」と記す。

3・05・03 購求書籍記入ノ部

購求書籍記入ノ部

番名 金額 購入ノ月日 払ノ月日

帝國史略上中 七十銭 一月一日 三月〇

大疑獄上 三十八銭五厘 一月一日 払済

荒海夷一 二十四銭 一月一日 払済

鬼奴 二十一銭五厘 一月一日 払済

胤ノ糸目 十四銭五厘 一月一日 払済

花相撲 十七銭 一月一日 払済

日本史学新説 十三銭五厘 一月一日 払済

千代田大輿下 四十銭 一月一日 払済

日本外史二 十四銭 一月十五日

警使者 三十八銭 一月十五日 一月十五日 払済

天竺徳兵衛 二十四銭 一月三十日 払済

練絹新三郎 二十銭 一月十八日 払済

日本通史上 五十銭 一月十六日

今古雅譚 二十八銭 一月十八日

相馬大作 三十銭 一月二十日 払済

〇日本外史 十四銭 二月七日

〇日本評林一 十四銭 同

墨西哥記 二十三銭 同

〇徳川十五代史三 二十三銭 同

〇明治政史七 二十五銭 二月六日 払済

〇明治政史八 二十五銭 二月六日 払済

活文学 二十八銭 二月七日 払済

〇徳川十五代史四 二十三銭 二月二十七日

〇日本外史四 十四銭 二月二十四日

桜痴放言 二十五銭 三月一日 近払済

懐旧 十八銭 三月一日 近払済

若葉 二十二銭 三月七日 払済

社会平權 三十三銭 三月七日 払済

三大航記 四十五銭 三月十二日 知

益軒十訓 〇八十銭 三月三十日 知

〇徳川十五代 二十三銭 四月九日 知

闇黒アフリカ一 十四銭 四月九日 知

破太鼓 二十一銭五厘 四月一日 払済

〇罪卜罰 三十八銭 四月一日 払済

〇大疑獄ノ二 三十八銭五厘 四月十二日 払済

〇明治政史九 二十五銭 四月一日 払済

〇徳川五 二十三銭 四月十日

宗教骸骨 十銭 四月三十日 払済

万国史綱二 五十銭 〇今泉 四月二十九日 払済

〇闇黒ノ二三三冊 二十八銭 五月二十三日

○徳川十五代ノ七二十三銭 〃 〃
 〃 〃 〃

○評林ノ二三三冊 二十八銭 〃
 〃 〃 〃

教育ト宗教 二十八銭 五月三十一日 弘濟
 〃 〃 〃

教育宗教関係 十四銭 五月三十一日 弘濟
 〃 〃 〃

耶蘇教衝突 十六銭五厘 六月一日 弘濟
 〃 〃 〃

○明治政史十 二十五銭 六月二十四日 弘濟
 〃 〃 〃

○同十一 二十五銭 〃〇玉 弘濟
 〃 〃 〃

○同十二 二十五銭 〃〇玉 弘濟
 〃 〃 〃

万国地理ノ一 五十銭 六月二十九日
 〃 〃 〃

○日本外史五六七 四十二銭 七月十四日
 〃 〃 〃

闇黒ノ四五 二十八銭 七月十四日
 〃 〃 〃

※書名の上の「〇」は枠外に記されていたもの。
 冒頭の枠外に左記の事項を記載。

未払高三円六十銭 一金一銭四厘 半紙一帖

即チ 一金二銭八厘 糸一把

那波崙二十五銭 一金一銭 半紙一帖

明治政史七十五銭 以上木用分

安政記事三十五銭 一金一銭五厘 半紙五十枚

弘濟 以上同

小公子四十銭 一金八銭 厚紙

我觀小景三十銭 一金四銭五厘 表紙

徳川十五代史一二四十二銭 以上七月

日本外史一十四銭 八月分

弘濟 九月二十七日

十月 一金三銭五厘 半紙

金二銭 糸

3・05・04 雜費支払帳

雜費支払帳 一金十銭五厘 是レハ小使へ集 雜費

一金二銭 子 總集金ノ折 新年はがき

以上十二銭五厘

一金一銭五厘 半紙一帖

一金一銭五厘 半紙一帖

一金二銭五厘 状袋

一金四銭 表紙

以上九銭五厘

三月

一月 一月 一月

一月 一月 一月

一月 一月 一月

一月 一月 一月

一月 一月 一月

一月 一月 一月

一月 一月 一月

一月 一月 一月

一月 一月 一月

一月 一月 一月

一月 一月 一月

一月 一月 一月

一月 一月 一月

一月 一月 一月

一月 一月 一月

一月 一月 一月

一月 一月 一月

一月 一月 一月

一月 一月 一月

金十銭 表紙

金十銭 綴リ糸(手数料)

金二銭 古川寿君(一) 岩庭

〆二十四銭

3・05・05 (月計簿)

月 収入高 仕払高 不足高 残金

一 四十一銭五厘 書二円十二

前年ヨリ二円 九十一銭五厘 十二銭五厘

二 二円八十銭 書一円二十八銭

三 二円十銭 雜一銭四厘

四 一円八十銭 雜一円六十銭

五 一円九十銭 書二円二十五銭

六 一円五十銭 書一円六十銭

七 二円九十銭 ザ一銀六厘

八 一円七十銭 雜一円五十銭

九 一円三十銭 一円也

十 一円九十銭 三銭五厘

十一 二円二十銭 九十九銭〇〇

十二 二円五十銭 二円五十銭今泉

〇 〇 七十銭五厘

八十銭

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

※一月の項の枠外に「残トモ、十一月の項の枠外に「二十二円十一銭五厘」と記す。

3・05・06 (購求書籍記入ノ部・その二)

※「3・05・03 購求書籍記入ノ部」の続き。

- 日本歴史評林五 十四銭 七月十五日
- 活論序論 九銭五厘 七月十一日今
- 183 山岡鉄舟 十八銭 〃泉
- 184 貧天地 十九銭 〃〃
- 俳話〔消〕 八銭 ヲ
- 185 富強策 二十銭 〃〃
- 186 東亜の大勢 三十銭 〃〃
- 187 偽哲学 十一銭 〃〃
- 188 怪男児 十七銭 〃〃
- 日本評林四 十四銭 七月十五日
- 同七 十四銭 八月二日
- 徳川十五代史十 二十三銭 八月一日
- 189 社会進化論 一円十五銭 八月三日
- 歴史評林六 十四銭 八月四日
- 徳川十五代八九 四十六銭 八月四日
- 190 春日局 十六銭 八月十五日 七日払済
- 191 世界ニ於ケル日本人 一円二十銭 八月
- 192 孔夫子 十七銭 八月
- 199 族制進化学 八十一銭 九月四日
- 193 相馬騷動 十八銭 九月十一日
- 195 四十年後日本 四十八銭 九月五日
- 196 宗教進化論 一円十五銭 九月十九日
- 日本通史ノ下 五十銭 〃
- 国地理学下 四十八銭 〃

207 倫理学 九十銭 九月二十日

12 社会ノ原理八冊 一円五十銭 十月二日 払済

1 帝国史略下 三十七銭 十月十日

1 日本戦史下 一円四十銭

3・05・07 (居所×モ)

※簿冊の末尾に墨書した紙片を挟み込む。

本郷元町二丁目六十六番

小柳方止宿

3・06 会計簿(明治二十七年)

【表紙】

明治二十七年/会計簿/自他案会

【本文】

3・06・01 自他案会会費納否明細簿

自他案会会費納否明細簿

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	
○	一ノ二十九	二ノ二十七	三ノ二十八	四ノ二十八	五ノ二十九	六ノ二十八	七ノ二十五	八ノ二十九	九ノ二十九	十ノ二十九	十一ノ二十九	上ノ二十八 三浦武三郎
○	一ノ二十九	二ノ二十七	三ノ二十八	四ノ二十八	五ノ二十八	六ノ二十八	七ノ二十五	八ノ二十九	九ノ二十九	十ノ二十七	十一ノ二十八	山中嵯峨之助
○	二ノ十六	二ノ二十七	九ノ三十	九ノ三十	九ノ三十	九ノ三十	九ノ三十	九ノ三十	九ノ三十	九ノ三十	九ノ三十	木村卯太郎
○	二ノ二	二ノ二	五ノ二十五	五ノ二十五	五ノ二十五	五ノ二十五	五ノ二十五	五ノ二十五	五ノ二十五	五ノ二十五	五ノ二十五	小和田武司
○	一ノ二十七	二ノ二十七	三ノ二十六	五ノ二	六ノ二十八	六ノ二十八	七ノ二十五	八ノ二十九	九ノ三十	十ノ二十七	十一ノ二十八	東海武一
○	四ノ十二	四ノ十二	四ノ二十八	五ノ三十	五ノ三十	五ノ三十	五ノ三十	五ノ三十	五ノ三十	五ノ三十	五ノ三十	齋藤徹
○	三ノ十九	五ノ十四	五ノ十四	五ノ十四	五ノ十四	五ノ十四	五ノ十四	五ノ十四	五ノ十四	五ノ十四	五ノ十四	齋藤竹次郎
○	一ノ二十九	二ノ二十七	三ノ二十六	五ノ二	五ノ二十八	六ノ二十八	七ノ二十五	九ノ三十	九ノ三十	十ノ二十七	十一ノ二十八	棟方悌二
○	一ノ二十九	二ノ二十七	三ノ二十八	四ノ二十八	五ノ二十八	六ノ二十八	七ノ二十五	八ノ二十九	九ノ二十九	十ノ二十九	十一ノ二十八	岩庭為世
○	一ノ二十七	二ノ二十七	三ノ二十八	四ノ二十八	五ノ二十八	六ノ二十八	七ノ二十五	八ノ二十九	九ノ二十九	十ノ二十七	十一ノ二十八	三上徳之助
○	一ノ二十七	二ノ二十七	三ノ二十六	五ノ二	五ノ二十八	六ノ二十八	七ノ二十五	八ノ二十九	九ノ二十九	十ノ二十七	十一ノ二十八	齋藤典治
○	七ノ二十三	七ノ二十三	七ノ二十三	七ノ二十三	七ノ二十三	七ノ二十三	七ノ二十三	七ノ二十三	七ノ二十三	七ノ二十三	七ノ二十三	森健枝
○	一ノ二十九	二ノ二十七	三ノ二十八	四ノ二十八	五ノ二十八	六ノ二十八	七ノ二十五	八ノ二十九	九ノ二十九	十ノ二十七	十一ノ二十八	高山亀代作
○	三ノ三十	三ノ三十	三ノ三十	十ノ二十四	十ノ二十四	十ノ二十四	十ノ二十四	十ノ二十四	十ノ二十四	十ノ二十四	十ノ二十四	今助次郎
○	四ノ二十	四ノ二十	四ノ二十	九ノ十二	九ノ十二	九ノ十二	九ノ十二	九ノ十二	九ノ十二	九ノ十二	九ノ十二	相馬文太郎
○	一ノ二十七	二ノ二十七	三ノ二十六	五ノ二	五ノ二十八	六ノ二十八	七ノ二十五	八ノ二十九	九ノ二十九	十ノ二十七	十一ノ二十八	藤田未類二
○	一ノ二十七	二ノ二十七	三ノ二十六	五ノ二	五ノ二十八	六ノ二十八	七ノ二十五	八ノ二十九	九ノ二十九	十ノ二十七	十一ノ二十八	成田武衛
○	一ノ一	十ノ一	十ノ一	十一ノ五	十一ノ五	十一ノ十	十一ノ十	十一ノ十	十一ノ十	十一ノ十	十一ノ十	八戸逸太郎
○	一ノ二十七	二ノ二十七	三ノ二十六	五ノ二	五ノ二十八	六ノ二十八	七ノ二十五	八ノ二十九	九ノ二十九	十ノ二十七	十一ノ二十八	三上寿吉
○	一ノ二十七	二ノ二十七	三ノ二十六	五ノ二	五ノ二十八	六ノ二十八	七ノ二十五	八ノ二十九	九ノ二十九	十ノ二十七	十一ノ二十八	三上敬造

※各会員の項の上方枠外に以下の記載あり。「十一」一ノ一(木村卯太郎)。「十二」四ノ十二(齋藤徹)。「十一」三ノ二十九(齋藤竹次郎)。「十一」一ノ一(八戸逸太郎)。「入会三十銭」(二戸寅之助)。「入会三十銭」(十ノ八)「二十五」(森健枝)。「十二」三ノ二十七(今助次郎)。「十二」四ノ二十(相馬文太郎)。「十一」十二(八戸逸太郎)。「入会三十銭」(十ノ八)「三上敬造」。

3・06・02 収入簿

収入簿

※冒頭の枠外に「前年迄ノ八十五銭」と記す。

一ノ一 金三十銭 八戸君
 一ノ二十二 金五十銭 小和田君
 一ノ二十九 金十銭 東海君
 金十銭 三上徳君

三ノ十七 金三十銭 森君
 三ノ十九 金三十銭 齋竹君
 三ノ二十 金十銭 東海君
 金十銭 齋典君
 金十銭 三上寿君

〽一円十銭

五ノ二

〽一円八十銭

金十銭 齋藤君

金十銭 東海君
 金十銭 齋典君
 金十銭 三上寿君

金十銭 藤田君
 金十銭 棟方君
 金十銭 成田君

金四十銭 齋竹君

金三十銭 小和田君

金十銭 棟方君

金十銭 東海君
 金十銭 三上徳君

金十銭 齋典君
 金十銭 藤田君

金十銭 成田君
 金十銭 三浦君

金十銭 三上君
 金十銭 山中君

〽一円四十銭

金二十銭 齋藤徹君

金十銭 成田君
 金十銭 東海君
 金十銭 三上徳君

〽一円九十銭
 合計二円七十五銭

三ノ三十
 四ノ十二

〽一円七十銭

金四十銭
 金三十銭
 金五十銭

金十銭 今君
 金十銭 齋徹君
 金十銭 相馬

金十銭 高山君
 金十銭 山中君
 金十銭 三上君

金十銭 三浦君
 金十銭 岩庭君

東海

藤田

齋藤

成田

三上徳

三上

山中

三浦

岩庭君

三浦君

高山君

棟方君

山中

三上君

藤田君

齋藤君

成田君

東海君

小和田君

金十銭	金十銭	金十銭	金十銭	金十銭	金十銭	金十銭	金十銭	金十銭	金十銭	金十銭	金十銭	金十銭	金十銭	金十銭	金十銭	金十銭	金十銭	金十銭	金十銭	
齋藤君	藤田君	三上君	成田君		森君	三浦君	岩庭	三上君	山中君	高山君	三上君	棟方君	成田	齋典	藤田	東海		岩庭君	高山君	
十ノ二十四日			十ノ二																	
金三十銭	金四十銭	金四十銭	金二十銭		金八十銭	金十銭	金十銭	金十銭	金二十銭	金十銭		金十銭	金十銭	金十銭	金十銭	金十銭	金十銭	金三十銭	金五十銭	金三十銭
今君	三上敬君	小和田君	八戸君		木村君	成田君	齋典君	三上君	棟方君	東海		高山君	岩庭君	山中君	三浦君	三上君	相馬君	齋竹君		
十二ノ二十	十二ノ十		一ノ三十銭		金十銭	金十銭	金十銭	金十銭	金十銭	金五十銭		金二十銭	金二十銭	金二十銭	金十銭	金十銭	金十銭	金十銭	金十銭	金十銭
齋藤君	八戸君	小和田君			岩庭君	高山君	三浦君	山中君	三上君	高等五人		八戸君	齋藤徹君	山中君	高山君			三浦君	三上君	三上君

金十銭 岩庭君
金三十銭 相馬君

3・06・03 購求書籍記入ノ部

購求書籍記入ノ部

書名	金額	購入ノ月日	払ノ月日	十五支那文明論	同	同	3・06・04 雜費支払帳
王陽明	四十三銭	一月一日	払済	十六政治及經濟	同	同	雜費支払帳
吉田松陰	四十五銭	一月二十三日	払済	十七宋學概論	二十七銭	〃	一金一銭 上封
前年カシ刃	四円〇六銭	内一円也	払済	十八權利競争論	二十七銭	〃	一金六銭 半紙四帖
前年カシ今泉	三円	内二円也 内一円也	払済	日本漂流譚	十六銭	〃	一金三銭五厘 美の紙二十四枚
新撰日本外史	五十九銭	内一円也 内一円也	払済	藩翰譜	三十銭	〃	一金三銭 表紙
八八九十外史	五十四銭	〃	払済	今世國務論	三十銭	〃	一金二銭 はがき
徳川十五代史	四十六銭	〃	払済	藩翰譜 二三	六十銭	〃	一金六銭 半切
十一十二	七十銭	〃	払済	支那彙報	四十五銭	〃	〆二十銭五厘 封状
歴史譯林八、九、十一、十二	四十五銭	〃	払済	朝鮮彙報	四十五銭	〃	一金二銭五厘 封状
帝國史略下ノ二	五厘	同	払済	鯨幾太郎	二十九銭	〃	一金三銭 半紙二月分
闇黒アフリカ	十三銭五厘	三月三十日	四月払	強者の權利	三十六銭	〃	以上三月分〆五銭五厘
懷往事談	十八銭	五月三十日	払済	西郷隆盛伝 一	三十三銭	〃	一金五銭 半紙
馬鹿超高	二十銭	〃	払済	西郷隆盛伝 二	三十三銭	〃	一金五銭 封状
排仏教	三十銭	〃	払済	めをと	十三銭五厘	〃	一金五銭 封状
盲詩人	三十一銭	〃	払済	西郷隆盛伝	三十三銭	〃	〆七月分
我國の前途	三十四銭	八月十五日	〃	憲法比較論	三十銭	〃	一金五銭 表紙
十二今世國家論	三十銭	八月二十五日	八月払済	藩翰譜	三十銭	〃	〆九月
				日本外史 十二	二十二銭	〃	一金三銭 半紙二帖
				徳川政教考二冊	五十四銭	〃	一金二銭 半切
				学教史論	四十八銭	〃	〆五銭 十月分
				日本風景論	四十八銭	〃	十二ノ十
				新小説	二十銭	〃	一金五銭 半切
				欧州新政史ノ上	三十銭	〃	一金五銭 表紙
				西郷隆盛伝 三	三十銭	〃	一金一銭 はがき
							〆五十七銭

※以下、「權利競争論」までの書名上の数字は、もと
と併外に記されていたもの。

十三 今世國務論 同
十四 新攘夷論 〃

3・06・05 (月計簿)

※冒頭枠外に「八十五銭」と記載。

収入高	仕払高	不足高	残金
一 合計二円 七十五銭	内二円七十二銭也書籍 二十銭五厘雑費	十七銭 五厘	
二 一円十銭	内一円書籍 銭五厘(前月ノ不足)	(七銭五厘不足)	
三 一円七十銭	内二円今泉 五銭五厘	五十七銭	
四 一円八十銭	内一円九十二銭五厘 書口 十三銭五厘	三十一 銭五厘	
五 二円四十銭	内二円五十銭ノザ キ 十八銭書籍	三銭五厘	
六 一円三十銭	〇	一円三十三 銭五厘	
七 二円十銭	六十九銭今泉 十三銭雑費	二円六十四 銭五厘	
八 一円也	一円五十 銭今泉	二円十四 銭五厘	
九 二円七十銭	二円今泉 六銭ザツ 九十銭 近松 十六銭 他	一円七十二 銭五厘	
十 二円十銭	三円四十六銭書 箱 五銭ザツ	八十六 銭五厘	
十一 一円三十銭	一円也書籍	一円十六 銭五厘	
十二	一円五十七銭五厘 十一銭		

3・06・06 (メモ)

※「購求書籍記入ノ部」(五ウ)と「雑費仕払帳」(六オ)の間に挟み込まれた紙あり。記載内容以下の如し。

1147
3055
6175
2165

十一月マデ十九円九銭
一三

二十二円四十五銭

四十八銭

3・07 会計簿（明治二十八年）

【表紙】

明治二十八年度ノ会計簿ノ自他楽会

【本文】

3・07・01 自他楽会会費納否明細簿

自他楽会会費納否明細簿

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二		
一ノ一	一ノ二五	二ノ二六	三ノ二七	四ノ二九	六ノ一	六ノ二八	七ノ二九	八ノ一八	九ノ二七	十ノ二八	十一ノ二四	三浦武三郎	
一ノ一	一ノ二五	二ノ二六	三ノ二七	四ノ二九	六ノ一	六ノ二八	七ノ二九	八ノ一八	九ノ二七	十ノ二八	十一ノ二四	山中嵯峨之助	
一ノ一	一ノ二五	二ノ二六	三ノ二七	四ノ二九	六ノ一	六ノ二八	七ノ二九	八ノ一八	九ノ二七	十ノ二八	十一ノ二四	木村卯太郎	
三ノ二〇	三ノ二〇	三ノ二〇	八ノ三	八ノ三	八ノ三	八ノ三	八ノ三	八ノ三	八ノ三	八ノ三	八ノ三	小和田武司	
三ノ二三	三ノ二三	三ノ二三	三ノ二三	六ノ六	六ノ六	七ノ二九	八ノ一五	九ノ二七	十ノ二六	十一ノ二六	十二ノ二五	東海武一	
一ノ一	一ノ二四	二ノ二六	三ノ二六	四ノ二六	五ノ二六	六ノ二六	七ノ二九	八ノ一五	九ノ二七	十ノ二七	十一ノ二六	十二ノ二三	齋藤徹
七ノ三一	七ノ三一	七ノ三一	十一ノ二〇	十一ノ二〇	十一ノ二〇	十一ノ二〇	十一ノ二〇	十一ノ二〇	十一ノ二〇	十一ノ二〇	十一ノ二〇	齋藤竹二郎	
三ノ二三	三ノ二三	六ノ十	六ノ十	六ノ十	七ノ一六	七ノ一六	十ノ七	十ノ七	十ノ七	十ノ七	十一ノ二六	棟方悌二	
一ノ一	一ノ二四	二ノ二六	三ノ二六	四ノ二六	五ノ二六	六ノ二六	七ノ二九	八ノ一五	九ノ二七	十ノ二七	十一ノ二六	十二ノ二三	岩庭為世
一ノ二五	二ノ二六	三ノ二七	四ノ二九	六ノ一	六ノ二八	七ノ九	八ノ一五	九ノ二七	十ノ二七	十一ノ二八	十二ノ二四	十三ノ二五	三上徳之助
一ノ一	一ノ二五	二ノ二六	三ノ二七	四ノ二九	六ノ一	七ノ十	七ノ十	七ノ十	九ノ二七	十ノ二七	十一ノ二六	十二ノ二三	齋藤典治
一ノ一	一ノ二四	二ノ二六	三ノ二六	四ノ二六	五ノ二六	六ノ二六	七ノ二九	八ノ一五	九ノ二七	十ノ二七	十一ノ二六	十二ノ二三	森健枝
一ノ一	一ノ一五	二ノ二六	三ノ二七	四ノ二九	六ノ一	六ノ二八	七ノ二九	八ノ一五	九ノ二七	十ノ二七	十一ノ二六	十二ノ二三	高山龜代作
六ノ二七	六ノ二七	八ノ六	八ノ六	八ノ六	八ノ六	十一ノ二八	十一ノ二八	十一ノ二八	十二ノ二四	十二ノ二四	十二ノ二四	十三ノ二四	今助次郎
六ノ二七	六ノ二七	六ノ二七	六ノ二七	六ノ二七	一ノ一	一ノ一	一ノ一	一ノ一	一ノ一	一ノ一	一ノ一	一ノ一	相馬文次郎
一ノ一	一ノ二四	二ノ二六	三ノ二六	四ノ二六	五ノ二六	六ノ二六	七ノ二九	八ノ一五	九ノ二七	十ノ二七	十一ノ二六	十二ノ二三	成田武衛
六ノ二七	六ノ二七	九ノ一	九ノ一	九ノ一	十二ノ二五	十二ノ二五	十二ノ二五	十二ノ二五	十二ノ二五	十二ノ二五	十二ノ二五	十二ノ二三	八戸市太郎
一ノ一	一ノ二四	二ノ二六	三ノ二六	四ノ二六	五ノ二六	六ノ二六	七ノ二九	八ノ一五	九ノ二七	十ノ二七	十一ノ二六	十二ノ二三	三上寿吉
一ノ一	一ノ二四	二ノ二六	三ノ二六	四ノ二六	五ノ二六	六ノ二六	七ノ二九	八ノ一五	九ノ二七	十ノ二七	十一ノ二六	十二ノ二三	三上敬造
一ノ一	一ノ二四	二ノ二六	三ノ二六	四ノ二六	五ノ二六	六ノ二六	七ノ二九	八ノ一五	九ノ二七	十ノ二七	十一ノ二六	十二ノ二三	

※各会員の項の枠外に以下の事項を記載。十二、三ノ二二（木村卯太郎）。二ノ三八九、七ノ三十一、十一、十二（齋藤徹）。十二、三ノ二三（齋藤竹次郎）。九十一、十一、十二（森健枝）。七、八、九、十、十一、十二、六ノ二七、十二（八戸市太郎）。四〇四、一ノ一七（今助次郎）。二ノ七八、九、三ノ二七、七、十一、六ノ二七、十二（八戸市太郎）。

3・07・02 収入簿

収入簿

一ノ一	一金七十八銭	前年繰越	二ノ三	一金三十銭	齋藤徹君	四ノ二十六	一金五十銭	高等五人
一ノ二	一金十銭	三浦君	二ノ七	一金二十銭	八戸君	四ノ二十九	一金六十銭	和徳六人
一ノ一	一金十銭	山中君		一金十銭	東海君		一円十銭	
	一金十銭	三上君		一金十銭	齋典君	七ノ二十六	一金五十銭	高等五人
	一金十銭	三上君		一金十銭	棟方君		一金六十銭	和徳六人
	一金十銭	三上君		一金十銭	成田君		一円十銭	
	一金十銭	高山君		一金十銭	三上寿君	六ノ六	一金二十銭	小和田君
	一金十銭	東海君		一金十銭	三上君	六ノ十	一金三十銭	齋藤竹君
	一金十銭	齋藤典君		一金十銭	三上敬君		一金六十銭	相馬君
	一金十銭	成田君		一金十銭	三浦君		一金十銭	東海君
	一金十銭	棟方君		一金十銭	山中君		一金十銭	棟方君
	一金十銭	三上君		一金十銭	岩庭君		一金十銭	齋藤君
一ノ十七	一金四十銭	今君		一金十銭	高山君		一金十銭	成田君
	一金十銭	三上寿君		一円六十銭	木村君		一金四十銭	今君
	一金十銭	齋藤君		一金四十銭	齋竹君		一金三十銭	八戸君
	一金十銭	成田君		一金二十銭	小和田君		一金十銭	山中君
	一金十銭	棟方君		一金二十銭	齋藤君		一金十銭	齋藤君
	一金十銭	東海君	三ノ二十七	一金二十銭	八戸君		一金十銭	三浦君
	一金十銭	高山君		一金拾銭	高山君		一金十銭	三上敬君
	一金十銭	三上敬君		一金拾銭	山中君		一円八十銭	岩庭君
	一金十銭	三上君		一金拾銭	岩庭君		一金十銭	三上君
	一金十銭	三浦君		一金拾銭	三浦君		一金二十銭	齋竹君
	一金十銭	岩庭君		一金拾銭	三上敬君	七ノ二十九	一金十銭	東海君
	一金十銭	山中君		一金拾銭	三上寿君		一金十銭	棟方君
三円二十八銭			二円四十銭					

一金十錢	小和田君	一金十錢	齋藤典君	3・07・03 購求書籍記入ノ部	購求書籍記入ノ部	一月
一金十錢	三上寿君	一金十錢	棟方君	日韓古史断	一円二十六錢	一月
一金十錢	成田君	一金十錢	三上君	西郷隆盛伝四	三十五錢	一月
一金十錢	齋典君	一金十錢	成田君	今世海軍	二十八錢	二月 弘濟
一金十錢	三浦君	一金十錢	高山君	道德大原論	一円五十錢	二月
一金十錢	三敬君	一金十錢	山中君	欧州新政史ノ三	三十錢	二月
一金十錢	高山君	一金十錢	三浦君	大奥の女中三冊	八十一錢	二月
一円四十錢	齋藤徹君	一金十錢	岩庭君	新政史二四	六十錢	
七ノ三十	齋藤徹君	一円四十錢	齋藤君	陣中日記	二十五錢	
八ノ三	木村君	一円四十錢	齋藤君	西郷ノ五	三十三錢	
八ノ六	今君	一金十錢	齋藤君	孟聖	三十錢	五月二十日 近松
一金十錢	東海君	一金十錢	東海	海賊	二十錢	
一金十錢	東海君	一金十錢	東海	日本風俗史	八十五錢	五月二十六日
一金十錢	小和田君	一金十錢	棟方			
一金十錢	成田君	一金十錢	齋典			
一金十錢	齋藤君	一金十錢	成田			
一金十錢	棟方君	一金十錢	三上			
一金十錢	三上敬君	一金十錢	小和田			
一金十錢	山中君	一金十錢	山中			
一金十錢	三上君	一金十錢	三浦			
一金十錢	三浦君	一金十錢	三上			
一金十錢	高山君	一金十錢	岩庭			
一円五十錢	齋藤君	一円五十錢	齋藤君			
二円五十錢	齋藤君	一円四十錢	齋藤君			
一金三十錢	八戸君	一金六十錢	高等六人			
一金十錢	東海君	十金五十錢	和徳五木			
一金十錢	小和田君	一金三十錢	今			

教育者ノ精神 十八銭 五月二十七日
 佐久間象山 三十六銭 六月
 海戦史 三十銭 〃
 コツサク東方侵略史二十五銭 〃
 桜廼御所上帙 三十六銭 六月
 半月城 二十七銭 六月
 ※梓外(上)に「二百六十五銭」と記す。
 大隈昔日譚 一円三十五銭 六月
 聖徳太子 三十銭 六月
 徳川光圀 二十五銭 六月
 波斯ノ旅 十八銭 七月
 日本西教史 一円四十銭 七月
 衣笠城 二十五銭 七月
 台湾陣 二十五銭 七月
 不言不語 二十五銭 七月
 国語ノため 二十二銭五厘 八月
 後ノ三日月 十八銭 八月
 日蓮記 九銭 八月
 十二時會稽曾我 九銭 八月
 関原蒼凱歌 九銭 八月
 東鑑拝賀巻 四銭五厘 八月
 古賀市 二十一銭 八月
 和田守記憶法 二円二十銭 八月
 後ノ海賊 二十七銭 八月
 日本文学集覽 二十二銭 八月
 浅田宗伯翁伝 三十六銭 九月

伏魔殿 二十五銭 九月
 近松一斑 三十五銭 十月
 瀧口入道 二十五銭 十月
 藩翰譜五六 六十銭 十一月
 露西亞帝國 三十四銭 十一月
 親鸞聖人 三十六銭 十一月
 ※梓外(上)に「口計二千円八十二銭」と記す
 梧陰存稿 六十三銭 〃
 ※梓外(上)に「弘高十六円八十八銭」と記す。
 名誉実録 一円十銭 〃
 ※梓外(上)に「未弘三円九十四銭」と記す。
 風雲漫録 〃 十二月
 日本風俗史下 〃 十二月

3・07・04 雑費支払帳
 一金六銭 半紙四帖
 一金二十銭 小使へ
 一金三銭 表紙
 一金六銭 みの表紙
 一金三銭 糸
 〆三十八銭
 一金五銭 表紙
 一金三銭 半紙
 〆八銭
 3・07・05 (月計簿)
 月 収入高 支払高 不足高 残金
 一 越高 金三円 書籍一円今泉 一円
 トモ 二十八銭 雑七十三八銭 九十二銭
 二 一円六十銭 書二円今泉 一円十四銭
 雑費八銭
 三 二円四十銭 二銭糸 三円五十二銭
 四 一円十銭 四円六十二銭
 五 一円十銭 五円七十二銭

六	二百八十錢	一別五十錢今泉 三十錢近松	三百七十二錢
七	一百四十錢	二四五十錢今泉 九錢二厘	二四五十二
八	二百五十錢	二四今泉 二十錢雜七	二四八十二
九	一百四十錢	一四五十錢 今泉	二四七十二
十	一百五十錢	一四今泉、一円 十五錢 一錢	二四一
十一	一百八十錢	六十錢近松	三八一
十二	一百四十錢	三四九十四錢今泉 雜七十錢四厘	五十七錢四厘

3,07,06 (収入×毛)

六錢	齋藤竹	
”	三浦	
”	山中	四十八錢
”	三上	
”	今	
”	岩庭	
”	相馬	
”	齋徹	
”	木村	

3108 会計簿(明治二十九年)

【表紙】明治二十九年度/会計簿/自他楽会

【本文】

3108-01 自他楽会会費納否明細簿

自他楽会会費納否明細簿

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
十二ノ二十四	一ノ二十八	二ノ二十七	三ノ二十七	五ノ三十	九ノ二十七	九ノ二十七	九ノ二十七	十二ノ二十六	十二ノ二十六	十二ノ二十六	十二ノ二十六
十二ノ二十四	一ノ二十八	二ノ二十七	三ノ二十七	四ノ三十	五ノ三十	六ノ三十	七ノ二十八	八ノ十二	九ノ二十六	十ノ三十一	十一ノ二十八
一ノ十八	七ノ十五	七ノ十五	七ノ十五	七ノ十五	七ノ十五	七ノ十五	十ノ二十九	十ノ二十九	十ノ二十九	十ノ二十九	十ノ二十九
一ノ二十五	二ノ二十六	三ノ二十六	四ノ二十五	六ノ三	六ノ二十七	七ノ二十五	八ノ八	九ノ二十八	十ノ二十六	十一ノ二十六	十二ノ二十六
十二ノ二十三	一ノ二十五	二ノ二十六	三ノ二十六	四ノ二十五	六ノ三	六ノ二十七	七ノ二十五	八ノ八	九ノ二十八	十ノ二十六	十一ノ二十六
七ノ二十八	九ノ二十七	九ノ二十七	十ノ三十	十ノ三十	十ノ三十	十二ノ九	十二ノ九	十二ノ九	十二ノ九	十二ノ九	十二ノ九
一ノ一	二ノ十二	七ノ十六	七ノ十六	七ノ十六	八ノ二十八	八ノ二十八	八ノ二十八	九ノ十	十ノ二十八	十ノ二十六	十一ノ二十六
十二ノ二十三	一ノ二十五	二ノ二十六	三ノ二十六	四ノ二十五	六ノ三	六ノ二十七	七ノ二十五	九ノ十	十ノ二十八	十ノ二十六	十一ノ二十六
一ノ二十八	二ノ二十七	三ノ二十七	四ノ三十	五ノ三十	六ノ三十	七ノ二十八	八ノ十二	九ノ二十六	十ノ三十一	十一ノ二十八	十二ノ二十六
九ノ十五	九ノ十五	九ノ十五	九ノ十五	九ノ十五	九ノ十五	九ノ十五	九ノ十五	九ノ十五	九ノ十五	九ノ十五	九ノ十五
十二ノ二十三	一ノ二十五	二ノ二十六	三ノ二十六	四ノ二十五	六ノ三	六ノ二十七	七ノ二十五	八ノ八	九ノ二十八	十ノ二十六	十一ノ二十六
六ノ二十八	九ノ二十六	九ノ二十六	九ノ二十六	九ノ二十六	十一ノ八〇	十二ノ二十六	十二ノ二十六	十二ノ二十六	十二ノ二十六	十二ノ二十六	十二ノ二十六
十二ノ二十三	一ノ二十五	二ノ二十六	三ノ二十六	四ノ二十五	六ノ三	六ノ二十七	七ノ二十五	八ノ八	九ノ二十八	十ノ二十六	十一ノ二十六
十二ノ二十四	一ノ二十八	二ノ二十七	三ノ二十七	四ノ三十	五ノ三十	六ノ三十	七ノ二十八	八ノ十二	九ノ二十六	十ノ三十一	十一ノ二十八
二ノ二十六	三ノ二十六	四ノ二十五	六ノ三	六ノ二十七	七ノ二十五	八ノ八	九ノ二十八	九ノ二十八	十ノ二十八	十一ノ二十六	十二ノ二十六
三ノ二十七	四ノ三十	五ノ三十	六ノ三十	七ノ二十八	八ノ十二	九ノ二十六	十ノ三十一	十一ノ二十八	十二ノ二十六	十三ノ二十六	十四ノ二十六

九月ヨリ入会

※各会員の項の枠外に以下の事項を記載。「一ノ十八 九ノ」 十ノ」 十一ノ」 十二(木村卯太郎)。二十九年七ノ七ノ八 九ノ 十ノ 十一ノ 十二ノ七ノ二十八(斎藤徹)。「九
用申上入会(今義勇)。「一ノ一ノ七八九十十一十二(相馬文太郎)。「二ノ二十三 十ノ二十九六ノ二十八 十一ノ十二(八戸市太郎)。「二月ヨリ入会(阿保庸雄)。「三月入会
(清野八之助)。また同じく枠外に「十二月入会/十二ノ二十六 古川君」と記す。

3,08,02 (収入簿)

一ノ一 金五十七錢四厘 前年繰越

一ノ一 金六十錢 相馬君

一ノ一 金四十錢 八戸君

一ノ一 金二十錢 齋竹君

計一円七十七錢四厘

一ノ十八 五十錢 木村君

一ノ二十二 十錢 高山君

一ノ二十五 六十錢 高等會員

一ノ二十八 五十錢 和徳會員

計一円四十七錢四厘

一円七十錢

二ノ二十三 十錢 八戸君

〃 十錢 齋藤竹君

二ノ二十六 七十錢 高等七人

〃 入会金十錢 阿保君

二ノ二十七 五十錢 和徳十一人

計一円五十錢

三ノ二十六 六十錢 高等六人

〃 十錢 阿保入会金

三ノ二十七 六十錢 和徳六人

五錢 清野入会金

三ノ二十九 十錢 高山君

計一円四十五錢

四ノ二十五 六十錢 高等六人

〃 十錢 阿保入会金

四ノ三十 五十錢

計一円二十錢

五ノ三十 五十錢

〃 十錢

計六十錢

六ノ三 六十錢

計六十錢

六ノ二十七 六十錢

六ノ二十八 三十錢

六ノ三十 五十錢

計一円四十錢

七ノ七 四十錢

七ノ十五 六十錢

七ノ十六 三十錢

七ノ二十一 二十錢

七ノ二十五 六十錢

七ノ二十八 貳十錢

七ノ二十八 五十錢

計二円八十錢

八ノ八 五十錢

八ノ十二 五十錢

八ノ二十八 三十錢

計一円三十錢

九ノ十 十錢

九ノ十五 九十錢

九ノ二十六 五十錢

和徳五人

九ノ二十六 四十錢

九ノ二十七 三十錢

〃 二十錢

九ノ二十八 七十錢

〃 三十錢

計三円四十錢

高等六人

八戸君

和徳五人

齋藤徹君

木村君

齋藤竹君

高山君

高等六人

齋藤徹

和徳五人

高等五人

和徳五人

齋藤竹次郎君

棟方君

相馬君

和徳五人

八戸

三浦君

齋藤徹君

高等七人

今義勇君入会金

高等七人

木村君

齋藤徹君

和徳五人

外二六十七錢五厘 書物箱代十五人分

計二円五十七錢五厘

十一ノ八 二十錢

十一ノ十六 二十五錢

十一ノ二十六 七十錢

十一ノ二十八 五十錢

計一円六十五錢

和徳五人

高等七人

清野君入会金

八戸君

齋藤徹君

和徳五人

三浦君

和徳五人

四錢五厘

相馬君

齋藤徹君

和徳五人

三浦君

和徳五人

齋藤徹君

和徳五人

齋藤徹君

和徳五人

齋藤徹君

和徳五人

齋藤徹君

和徳五人

齋藤徹君

和徳五人

齋藤徹君

和徳五人

齋藤徹君

和徳五人

齋藤徹君

和徳五人

齋藤徹君

和徳五人

齋藤徹君

和徳五人

齋藤徹君

※枠外に右の総計「三十六銭」を記入する。

十ノ二十六	棟方君
〃	小和田君
〃	阿保君
〃	三上君
〃	東海君
〃	成田君
〃	木村君

※枠外に棟方から木村までの総計「三十一銭五厘」を記入する。

計六十七銭五厘

高山君
八戸君
齋藤竹次郎君

3・08・04 購求書籍記入ノ部

凱旋紀念帖	一月	一円五十銭
北氷洋及アラスカ見聞録	〃	七十銭
おか目八目	〃	二十五銭
海戦日録	〃	三十六銭
桐一葉	三月	三十四銭
十九世紀史	三月	四十五銭

※枠外に「昨年買ヒ今年挿シモノノ十四銭 風雲漫録ノ一円七十銭 日本風俗史下」と記す。

故西郷大将遺書

林子平	〃	四十五銭
近世女風俗考	四月	二十銭
軍隊	同	八十五銭
佐藤信淵翁伝	〃	二十七銭
生物始原	〃	五十銭
蒲生君平	五月六日	一円三十五銭
小説家	六月八日	二十銭
伊藤仁斎	〃	三十六銭
二千五百年史	〃	二十銭
断雲流水	〃	一円五十銭
世界将来之海王	七月二十日	二十七銭
平野国臣	八月七日	二十五銭
坂本龍馬	八月二十四日	二十銭

※枠外に「近松ヨリ購入」と記す。

さんざしくれ	〃	二十八銭
平壤包圍攻撃	〃	六十四銭
婚姻進化論	九月十四日	一円六十銭
文学者となる法	九月十七日	十五銭
平賀源内	〃	二十銭
近藤重蔵	〃	二十銭
近松時代浄瑠璃	〃	四十五銭
平田篤胤	十月二十一日	二十銭
文学その折々	十一月十三日	一円
朝鮮王国	同	四十五銭
内政外交衝突史	〃	二十二銭五厘

小孩集

カント純理批判解説上巻	十一月三十日	一円十二銭五厘
昨夢紀事上巻	〃	九十銭
東西遊記 西遊ノ部	〃	四十五銭
東洋分国史上巻	〃	三十五銭
由比正雪	十二月八日	二十銭
小堀遠州	十二月十一日	二十銭
本阿弥光悦	十二月十九日	九十銭
哲学新論二冊	〃	二十銭
大塩平八郎	〃	二十銭
戦事大探偵	〃	十三銭

3・08・05 (月計簿)

月 収入高	支払高	残金
一 越金共 二円今泉へ	一 三円四十七銭四厘 四十銭雑ヒ	一円七銭四厘
二 一円五十銭 二十銭小使へ	二 一円今泉へ	三十七銭四厘
三 四十五銭 一円今泉へ	三 一円今泉へ	八十二銭四厘
四 一円二十銭	四 一円二十銭	二円二銭四厘
五 六拾銭	五 六拾銭	二円六十二銭四厘
六 二円也	六 二円也	三円九十二銭四厘
七 二円八十銭	七 二円八十銭	四円六十八銭四厘
八 一円三十銭	八 一円三十銭	四円三十八銭四厘
九 三円四十銭	九 三円四十銭	五円九十五銭四厘
十 二円五十七銭	十 二円五十七銭	七円四十六銭四厘
十一 一円	十一 一円	六円四十六銭四厘
十二 九拾銭	十二 九拾銭	四円十八銭四厘

※「支払高」と「残金」の間にもう一段を設けて
 いるが、欄名も記されず、欄も空白のままである。

3・08・06 雑費仕払帳

雑費支払ノ部	
一月	四十銭
二月	二十銭
七月	四銭
十月九日	一円
十月二十二日	十一銭
十月二十八日	五銭
十月三十一日	二十銭
十二月	二十銭

半紙	表紙
糸	状袋
小使へ手当	
状袋	
書物箱	
半紙	
半紙	
八月ノ菓子代	
炭手当	

3・09 会計簿(明治三十年)

【表紙】

明治三十年一月／会計簿／自他楽会

【本文】

3・09・01 自他楽会会費納収表

自他楽会会費納収表

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	姓名
五ノ三十一	五ノ三十一	五ノ三十一	五ノ三十一	十ノ二十四	十ノ二十四	十ノ二十四	十ノ二十四	十ノ二十四	十ノ二十四	十ノ二十四	十ノ二十四	三浦武三郎
十二ノ二十二	二ノ二十七	三ノ二十七	四ノ二十二	五ノ二十一	六ノ二十一	七ノ二十一	八ノ二十一	九ノ二十一	十ノ二十一	十ノ二十一	十ノ二十一	山中巖峨之助
六ノ十四	六ノ十四	六ノ十四	六ノ十四	六ノ十四	六ノ十四	十二ノ十	十二ノ十	十二ノ十	十二ノ十	十二ノ十	十二ノ十	木村卯太郎
一ノ二十六	二ノ二十六	三ノ二十九	四ノ二十二	五ノ二十一	六ノ二十一	七ノ二十一	八ノ二十一	九ノ二十一	十ノ二十一	十ノ二十一	十ノ二十一	小和田武司
十二ノ二十六	一ノ二十六	二ノ二十六	三ノ二十九	四ノ二十二	五ノ二十一	六ノ二十一	七ノ二十一	八ノ二十一	九ノ二十一	九ノ二十一	九ノ二十一	東海武一
六ノ四	六ノ四	六ノ二十六	六ノ二十六	七ノ二十六	七ノ二十六	十一	十一	十一	十一	十一	十一	齋藤徹
三ノ十五	五ノ二十	五ノ二十	五ノ二十	六ノ十	七ノ二十六	七ノ二十六	九ノ十五	九ノ十五	十二ノ九	十二ノ九	十二ノ九	齋藤竹次郎
十二ノ二十六	一ノ二十六	二ノ二十六	三ノ二十九	四ノ二十二	五ノ二十一	六ノ二十一	七ノ二十一	八ノ二十一	九ノ二十一	九ノ二十一	九ノ二十一	棟方梯二
二ノ十八	二ノ二十七	三ノ二十七	四ノ二十二	五ノ二十一	六ノ二十一	七ノ二十一	八ノ二十一	九ノ二十一	十ノ二十一	十一	十一	岩庭為世
三ノ二十三	五ノ二十七	五ノ二十七	五ノ二十七	七ノ二十七	七ノ二十七	七ノ二十七	十二ノ二十五	十二ノ二十五	十二ノ二十五	十二ノ二十五	十二ノ二十五	高山亀代作
一ノ二十七	二ノ二十七	三ノ二十七	四ノ二十二	五ノ二十一	六ノ二十一	七ノ二十一	八ノ二十一	九ノ二十一	十ノ二十一	十一	十一	今助次郎
十二ノ二十六	一ノ二十六	二ノ二十六	三ノ二十九	四ノ二十二	五ノ二十一	六ノ二十一	七ノ二十一	八ノ二十一	九ノ二十一	九ノ二十一	九ノ二十一	相馬文太郎
二ノ二十四	十ノ十七	十ノ十七	十ノ十七	十ノ十七	十ノ十七	十ノ十七	十ノ十七	十ノ十七	十ノ十七	十ノ十七	十ノ十七	成田武衛
十二ノ二十六	一ノ二十六	二ノ二十六	三ノ二十九	四ノ二十二	五ノ二十一	六ノ二十一	七ノ二十一	八ノ二十一	九ノ二十一	九ノ二十一	九ノ二十一	八戸逸太郎
十二ノ二十二	一ノ二十七	二ノ二十七	三ノ二十一	四ノ二十二	五ノ二十一	六ノ二十一	七ノ二十一	八ノ二十一	九ノ二十一	九ノ二十一	九ノ二十一	三上寿吉
十二ノ二十六	一ノ二十六	二ノ二十六	三ノ二十九	四ノ二十二	五ノ二十一	六ノ二十一	七ノ二十一	八ノ二十一	九ノ二十一	九ノ二十一	九ノ二十一	三上敬三
一ノ二十八	二ノ二十七	三ノ二十七	四ノ二十二	五ノ二十一	六ノ二十一	七ノ二十一	八ノ二十一	九ノ二十一	十ノ二十一	十一	十一	阿保雄雄
十二ノ二十六	二ノ二十七	三ノ二十七	四ノ二十二	五ノ二十一	六ノ二十一	七ノ二十一	八ノ二十一	九ノ二十一	十ノ二十一	十一	十一	清野八之助
十二ノ二十六	二ノ二十七	三ノ二十七	四ノ二十二	五ノ二十一	六ノ二十一	七ノ二十一	八ノ二十一	九ノ二十一	十ノ二十一	十一	十一	今義勇
二ノ二十一	二ノ二十一	五ノ八	五ノ八	五ノ八	五ノ八	五ノ八	五ノ八	五ノ八	五ノ八	五ノ八	五ノ八	古川寿平

※日付の上にそれぞれ「山中」の朱印を捺す。各会員の項の枠外に以下の事項を記す。「三ノ二十三」三ノ二十五」(高山亀代作)。「十一」十二」(相馬文太郎)。「二ノ二十四」(八戸逸太郎)。「十月入会」(齋藤常蔵)。

3・09・02 収入日計簿

収入日計簿

月日	金額	姓名						
	四円十八錢九厘	前年の繰越高						
一ノ二十六	六十錢	今ヲ除キ高等六名	五ノ二十五	三十錢	齋藤竹君	十ノ十七	四十錢	八戸君
一ノ二十七	十錢	今助次郎君	五ノ三十一	四十錢	三浦君	十ノ二十一	四十錢	今ノ外和徳四人
〃	十錢	三上敬三君		計二円四十錢		十ノ二十一	七十錢	高等七人
〃	十錢	山中君	六ノ四	十錢	阿保君	十ノ二十三	十錢	和ノ今君
一ノ二十八	十錢	清野君	〃	三十錢	齋藤徹君	十ノ二十四	四十錢	三浦君
一ノ二十九	三十錢	齋藤竹次郎君	六ノ十	十錢	齋藤竹次郎君		計二円三十五錢	
	小計一円三十錢		六ノ十三	七十錢	木村君	十一ノ五	十錢	齋藤常三
二ノ一	十錢	今義勇君	六ノ二十一	五十錢	和徳五人	〃	二十五錢	同入会金
二ノ十八	十錢	岩庭君	六ノ二十一	七十錢	高等七人	十一ノ七	六十錢	古川君
二ノ二十一	二十錢	古川君	六ノ二十六	二十錢	齋藤徹君	〃	二十錢	齋藤徹君
二ノ二十六	七十錢	高等七人		計二円六十錢		十一ノ二十	七十錢	高等七人
二ノ二十七	五十錢	和徳五人	七ノ二十一	五十錢	和徳五人	十一ノ二十一	五十錢	和徳五人
	小計一円八十錢		〃	七十錢	高等七人		計	二円三十五錢
三ノ十五	二十錢	齋藤竹次郎君	〃	二十錢	齋藤竹君	十二ノ九	二十錢	齋藤竹次郎君
三ノ二十三	三十錢	高山君	〃	二十錢	齋藤徹君	十二ノ十	六十錢	木村君
三ノ二十七	五十錢	和徳五人	〃	三十錢	高山君	〃	十錢	齋藤常三
三ノ二十九	七十錢	高等七人	〃	計一円九十錢		十二ノ二十一	十錢	山中
	計一円七十錢		八ノ二十一	七十錢	高等七人	〃	十錢	三上敬三
四ノ二十二	五十錢	和徳五人	〃	五十錢	和徳五人	〃	十錢	岩庭君
〃	七十錢	高等七人		計一円二十錢		十二ノ二十一	十錢	清野君
〃	二十錢	齋藤徹君	九ノ十五	二十錢	齋藤竹次郎君	〃	四十錢	三浦君
	計一円四十錢		九ノ二十一	七十錢	高等七人	〃	五十錢	高山君

※以下をウラに記載。

〃	七十銭	高等七人
〃	計二円九十銭	
八ノ二十一	三十五銭	高等七人
〃	二十五銭	和徳五人
九ノ二十一	三十五銭	高等七人
〃	二十五銭	和徳五人
十ノ十七	十銭	八戸君
十ノ二十一	二十銭	〇〇「和徳九」四人
〃	三十五銭	高等七人
十ノ二十三	和今君	
十ノ二十四	十銭	三浦君
十一ノ七	十五銭	古川君
〃	十五銭	斎藤徹君
十二ノ九	十五銭	斎藤竹次郎
十二ノ十	十五銭	木村君
〃	〆二円六十銭	
十月二十五日	五銭	三浦君
〃	十五銭	高山君
〃	〆二円八十銭	
三十一年二月二十六日支払		

3・09・03 支払日計簿
支払日計簿

月日	金額	理由
一月二十八日	三円六十五銭	今泉へ昨年ノ残り
〃	一円	桂華堂へ払
三月四日	一円	桂華堂へ払
三月二十八日	二十四銭	半紙〇「版之」 表紙二十枚
四月四日	二円八十三銭	今泉へ
〃	二十四銭	両面紙
五月十三日	五銭	表紙二枚
〃	〃	※「両面紙」と「表紙二枚」に「目録用」と注記。
六月一日	六銭	美濃紙表紙
六月五日	三円也	今泉へ書物代
〃十日	六十八銭	桂華堂へ書物代
七月二十一日	十二銭	半紙五帖
七月二十二日	十銭	美濃紙表紙五枚
〃	二円四十九銭	今泉へ
八月十二日	九銭	丁糸
八月十三日	十五銭	書物調時菓子
九月四日	三十四銭	近松へ書物代
九月十三日	三円也	桂華堂へ払
十月五日	二十五銭	近松へ払
十月二十六日	七銭五厘	半紙三帖
十一月二十二日	三円	今泉へ
十一月二十四日	一円八十三銭	桂華堂へ
十二月四日	六銭	丁糸
〃	二十四銭	表紙二十枚
十二月二十四日	十五銭	表具代

〃二十五日	三十銭	小使手当
※件外に「五月三十日 二十銭 近松へ払」と記載。		
3・09・04	収入支払大帳	
収入支払大帳		
月	収入高	支払高
入高	総額	毎月支
一	四円十八銭九厘	前年繰越高
二	四円十八銭九厘	四合費五円四角
三	四円十八銭九厘	四合費五円四角
四	四円十八銭九厘	四合費五円四角
五	四円十八銭九厘	四合費五円四角
六	四円十八銭九厘	四合費五円四角
七	四円十八銭九厘	四合費五円四角
八	四円十八銭九厘	四合費五円四角
九	四円十八銭九厘	四合費五円四角
十	四円十八銭九厘	四合費五円四角
十一	四円十八銭九厘	四合費五円四角
十二	四円十八銭九厘	四合費五円四角
十三	四円十八銭九厘	四合費五円四角
十四	四円十八銭九厘	四合費五円四角
十五	四円十八銭九厘	四合費五円四角
十六	四円十八銭九厘	四合費五円四角
十七	四円十八銭九厘	四合費五円四角
十八	四円十八銭九厘	四合費五円四角
十九	四円十八銭九厘	四合費五円四角
二十	四円十八銭九厘	四合費五円四角
二十一	四円十八銭九厘	四合費五円四角
二十二	四円十八銭九厘	四合費五円四角
二十三	四円十八銭九厘	四合費五円四角
二十四	四円十八銭九厘	四合費五円四角
二十五	四円十八銭九厘	四合費五円四角
二十六	四円十八銭九厘	四合費五円四角
二十七	四円十八銭九厘	四合費五円四角
二十八	四円十八銭九厘	四合費五円四角
二十九	四円十八銭九厘	四合費五円四角
三十	四円十八銭九厘	四合費五円四角
三十一	四円十八銭九厘	四合費五円四角
三十二	四円十八銭九厘	四合費五円四角
三十三	四円十八銭九厘	四合費五円四角
三十四	四円十八銭九厘	四合費五円四角
三十五	四円十八銭九厘	四合費五円四角
三十六	四円十八銭九厘	四合費五円四角
三十七	四円十八銭九厘	四合費五円四角
三十八	四円十八銭九厘	四合費五円四角
三十九	四円十八銭九厘	四合費五円四角
四十	四円十八銭九厘	四合費五円四角
四十一	四円十八銭九厘	四合費五円四角
四十二	四円十八銭九厘	四合費五円四角
四十三	四円十八銭九厘	四合費五円四角
四十四	四円十八銭九厘	四合費五円四角
四十五	四円十八銭九厘	四合費五円四角
四十六	四円十八銭九厘	四合費五円四角
四十七	四円十八銭九厘	四合費五円四角
四十八	四円十八銭九厘	四合費五円四角
四十九	四円十八銭九厘	四合費五円四角
五十	四円十八銭九厘	四合費五円四角
五十一	四円十八銭九厘	四合費五円四角
五十二	四円十八銭九厘	四合費五円四角
五十三	四円十八銭九厘	四合費五円四角
五十四	四円十八銭九厘	四合費五円四角
五十五	四円十八銭九厘	四合費五円四角
五十六	四円十八銭九厘	四合費五円四角
五十七	四円十八銭九厘	四合費五円四角
五十八	四円十八銭九厘	四合費五円四角
五十九	四円十八銭九厘	四合費五円四角
六十	四円十八銭九厘	四合費五円四角
六十一	四円十八銭九厘	四合費五円四角
六十二	四円十八銭九厘	四合費五円四角
六十三	四円十八銭九厘	四合費五円四角
六十四	四円十八銭九厘	四合費五円四角
六十五	四円十八銭九厘	四合費五円四角
六十六	四円十八銭九厘	四合費五円四角
六十七	四円十八銭九厘	四合費五円四角
六十八	四円十八銭九厘	四合費五円四角
六十九	四円十八銭九厘	四合費五円四角
七十	四円十八銭九厘	四合費五円四角
七十一	四円十八銭九厘	四合費五円四角
七十二	四円十八銭九厘	四合費五円四角
七十三	四円十八銭九厘	四合費五円四角
七十四	四円十八銭九厘	四合費五円四角
七十五	四円十八銭九厘	四合費五円四角
七十六	四円十八銭九厘	四合費五円四角
七十七	四円十八銭九厘	四合費五円四角
七十八	四円十八銭九厘	四合費五円四角
七十九	四円十八銭九厘	四合費五円四角
八十	四円十八銭九厘	四合費五円四角
八十一	四円十八銭九厘	四合費五円四角
八十二	四円十八銭九厘	四合費五円四角
八十三	四円十八銭九厘	四合費五円四角
八十四	四円十八銭九厘	四合費五円四角
八十五	四円十八銭九厘	四合費五円四角
八十六	四円十八銭九厘	四合費五円四角
八十七	四円十八銭九厘	四合費五円四角
八十八	四円十八銭九厘	四合費五円四角
八十九	四円十八銭九厘	四合費五円四角
九十	四円十八銭九厘	四合費五円四角
九十一	四円十八銭九厘	四合費五円四角
九十二	四円十八銭九厘	四合費五円四角
九十三	四円十八銭九厘	四合費五円四角
九十四	四円十八銭九厘	四合費五円四角
九十五	四円十八銭九厘	四合費五円四角
九十六	四円十八銭九厘	四合費五円四角
九十七	四円十八銭九厘	四合費五円四角
九十八	四円十八銭九厘	四合費五円四角
九十九	四円十八銭九厘	四合費五円四角
一百	四円十八銭九厘	四合費五円四角

3・09・05 購求書籍記入簿

※書名の上に購入先を示す符牒を朱で記入する。

購求書籍記入簿

書名	月日	金額	今	加藤清正	三月五日	二十錢	今	錢屋五兵衛	九月二十七日	二十四錢
支那人氣質	一月	五十四錢	桂	皇陵參拜記	三月五日	前ノ附録	今	鶏肋	九月	二十五錢
黄海大海戦上	〃	四十五錢	今	人外境上	三月十四日	二十六錢	今	真木和泉	十月五日	二十四錢
青葡萄	一月二日	二十五錢	今	国史大系一	三月二十八日	三十五錢	今	日本戦史 太廢	十月十六日	一円三十五錢
さゝ舟	〃	二十五錢	今	東洋分国史下	四月四日	九十錢	今	小山田与清	十一月八日	二十四錢
高田屋嘉兵へ	〃	十九錢	〃	昨夢紀事下	〃	二十四錢	今	津輕信明	〃	三十五錢
ペルリ	一月	十八錢	〃	新井白石	四月十八日	一	今	織田信長 後へ	十一月十二日	二十四錢
黄海大海戦下	一月十九日	三十六錢	今	明智光秀〔消〕中中	〃	二十錢	今	列国変局志	十一月二十日	六十八錢
釈元恭	〃	二十三錢	〃	前哲六無齋遺草	五月四日	二十四錢	〃	※末尾枠外に「是マテ国史大系除テ十九円九十二	〃	〃
片恋	一月二十日	二十九錢	今	明智光秀	五月二十一日	七十五錢	〃	※内払十六円六十二錢」と記す。	〃	〃
金亮吉次	一月二十日	二十一錢	今	国史大系二	五月二十六日	四十五錢	〃	〃	〃	〃
雲の袖	一月二十二日	二十四錢五厘	桂	かけ草	六月二十一日	一円八十錢	〃	〃	〃	〃
鬼あざみ	〃	二十三錢五厘	桂	先泰文学	六月二十九日	二十四錢	〃	〃	〃	〃
十文字二冊	〃	四十七錢五厘	桂	支那文学史	六月二十九日	一円四十錢	〃	〃	〃	〃
魚屋助左工門	〃	二十三錢五厘	今	政治汎論	六月三十日	二十四錢	〃	〃	〃	〃
呂宋助左工門	〃	二十三錢五厘	今	高野長英	七月五日	七十錢	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	今	渡辺華山	七月五日	四十三錢	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	今	国史大系三	七月二十七日	三十四錢	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	今	威海衛海戦記	八月二日	五十四錢	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	松菊余影	〃	二十四錢	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	文天祥	〃	六十八錢	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	人外境中下	八月十九日	二十四錢	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	水野越前	八月	六十四錢	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	国史大系四	九月一日	六十八錢	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	多情多恨	八月二十二日	二十四錢	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	織田信長前	九月十七日	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	国史大系〔消〕	〃	〃	〃	〃	〃	〃

※「片恋」から「呂宋助左工門」まで、枠外(下)に「桂華堂」と注記。

※末尾枠外に「是マテ国史大系除テ十九円九十二錢 内払十六円六十二錢」と記す。

3・10 会計簿(明治三十一年)

【表紙】

明治三十一年中 会計簿 自他案会

【本文】

3・10・01 自他案会々費納収表

自他案会々費納収表

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
四ノ二十八	四ノ二十八	四ノ二十八	四ノ二十八	七ノ二十六	七ノ二十六	七ノ二十六	七ノ二十六	七ノ二十六	七ノ二十六	七ノ二十六	七ノ二十六
二ノ二十七	五ノ二十一	五ノ二十一	五ノ二十一	九ノ二十三	九ノ二十三	九ノ二十三	十二ノ九	十二ノ九	十二ノ九	十二ノ九	十二ノ九

退会

十二ノ二十五	二ノ十四	二ノ二十三	三ノ二十一	四ノ二十二	五ノ二十四	六ノ二十一	七ノ二十一	八ノ二十二	九ノ二十一	十ノ二十一	十一ノ二十一	十二ノ二十四	東海武一
十二ノ二十五	二ノ十四	二ノ二十三	三ノ二十一	四ノ二十二	五ノ二十四	六ノ二十一	七ノ二十一	八ノ二十二	九ノ二十一	十ノ二十一	十一ノ二十一	十二ノ二十四	棟方悌二
十二ノ二十五	二ノ十四	二ノ二十三	三ノ二十一	四ノ二十二	五ノ二十四	六ノ二十一	七ノ二十一	八ノ二十二	九ノ二十一	十ノ二十一	十一ノ二十一	十二ノ二十四	成田武衛
十二ノ二十五	二ノ十四	二ノ二十三	三ノ二十一	四ノ二十二	五ノ二十四	六ノ二十一	七ノ二十一	八ノ二十二	九ノ二十一	十ノ二十一	十一ノ二十一	十二ノ二十四	小和田武司
十二ノ二十五	二ノ十四	二ノ二十三	三ノ二十一	四ノ二十二	五ノ二十四	六ノ二十一	七ノ二十一	八ノ二十二	九ノ二十一	十ノ二十一	十一ノ二十一	十二ノ二十四	三上寿吉
十二ノ二十五	二ノ十四	二ノ二十三	三ノ二十一	四ノ二十二	五ノ二十四	六ノ二十一	七ノ二十一	八ノ二十二	九ノ二十一	十ノ二十一	十一ノ二十一	十二ノ二十四	阿保虎雄
十二ノ二十五	二ノ十四	二ノ二十三	三ノ二十一	四ノ二十二	五ノ二十四	六ノ二十一	七ノ二十一	八ノ二十二	九ノ二十一	十ノ二十一	十一ノ二十一	十二ノ二十四	今義勇
七ノ八	七ノ八	七ノ八	七ノ八	七ノ八	七ノ八	七ノ八	七ノ八	七ノ八	七ノ八	七ノ八	七ノ八	七ノ八	木村卯太郎
四ノ十二	七ノ七	七ノ七	七ノ七	八ノ二十	八ノ二十	八ノ二十	十一ノ十九	十一ノ十九	十一ノ十九	十一ノ十九	十一ノ十九	十一ノ十九	齋藤竹次郎
七ノ十三	七ノ十三	七ノ十三	七ノ十三	七ノ十三	七ノ十三	七ノ十三	七ノ十三	七ノ十三	七ノ十三	七ノ十三	七ノ十三	七ノ十三	古川寿平
十二ノ二十一	十二ノ二十一	十二ノ二十一	十二ノ二十一	十二ノ二十一	十二ノ二十一	十二ノ二十一	十二ノ二十一	十二ノ二十一	十二ノ二十一	十二ノ二十一	十二ノ二十一	十二ノ二十一	齋藤徹
一月死去													今助次郎
一ノ〇	二ノ二十一	二ノ二十一	四ノ十五	四ノ十五	四ノ十五	九ノ二十一	九ノ二十一	九ノ二十一	九ノ二十一	九ノ二十一	九ノ二十一	九ノ二十一	齋藤常三
一ノ二十一	二ノ二十一	三ノ二十一	四ノ二十一	五ノ二十一	六ノ二十一	七ノ二十一	八ノ二十	九ノ二十一	十ノ二十一	十一ノ二十一	十二ノ二十一	十二ノ二十一	相馬文太郎
													岩庭為世

十二ノ二十一 一ノ二十一 二ノ二十一 三ノ二十一 四ノ二十一 五ノ二十一 六ノ二十一 七ノ二十一 八ノ二十 九ノ二十一 十ノ二十一 十一ノ二十一 三上敬三
 一ノ二十一 二ノ二十一 三ノ二十一 四ノ二十一 五ノ二十一 六ノ二十一 七ノ二十一 八ノ二十一 退 清野八之助
 三十年 一ノ二十一 二ノ二十一 三ノ二十一 四ノ二十一 五ノ二十一 六ノ二十一 七ノ二十一 八ノ二十 九ノ二十一 十ノ二十一 十一ノ二十一 山中嵯峨之助
 十二ノ二十一

※入金の日付に「山中」の朱印を捺す。除外に以下の事項を記載する。「六七八九十一十二」(八戸逸太郎)。「三ノ四ノ十二」(齋藤竹次郎)。「七ノ十三ノ十二」(古川寿平)。「三ノ八ノ九 三ノ八ノ十 三ノ二十七ノ十一 三ノ二十七ノ十二」(齋藤徹)。「十二」(今助次郎)。「除名」(相馬文太郎)。「退会」(清野八之助)。「

3・10・02 収入日計簿

収入日計簿	金額	姓名	日付	金額	姓名
3・10・02	七十銭	高等七人	二ノ二十二	七十銭	高山君
収入日計簿	十銭	計二百十銭	二ノ二十七	十銭	齋藤徹
十日	十銭	齋藤常主	三ノ四	十銭	齋藤徹
	二円八十銭	本箱代	三ノ八	二十銭	齋藤徹
	二円三十四銭四厘	繰越高	三ノ二十一	四十銭	和徳四人
一ノ一	十銭	齋藤常三	〃	七十銭	高等七人
一ノ二十一	四十銭	和徳四人	三ノ二十七	二十銭	齋藤徹
	計五百八十四銭四厘			〃	〃
	五十銭		四ノ十二	十銭	齋藤竹次郎
二ノ十四	七十銭	高等七人	四ノ十五	三十銭	齋藤常三君
二ノ二十一	四十銭	和徳四人	四ノ二十一	三十銭	和徳三人
二ノ二十一	二十銭	齋藤常三	四ノ二十二	八十銭	高等八人

七ノ二十一 八十銭 高等八人

〆貳円九十銭

八月二十日 三十銭 齋竹君

〆三十銭 和徳〇

八月二十二日 八十銭 高等八人

〆一元四十銭

九月二十一日 三十銭 和徳三人

〆七十銭 高等七人

〆五十銭 齋藤常三

〆三十銭 高山君

〆一元八十銭

十月二十一日 三十銭 和徳三人

〆六十銭 成田〇高等六人

〆九十銭

十二月二十一日 三十銭 和徳三人

〆七十銭 高等七人

〆十銭 成田武衛君

〆一元十銭

十二月九日 三十銭 高山君

〆三十銭 齋藤竹次郎君

〆三十銭 和徳三人

〆七十銭 高等七人

〆七十銭 三浦君

〆三十銭 和徳三人

〆三十銭 和徳三人

〆木十銭 高等六人

※以下の事項を続く裏面に記し、全体を抹消する。

3・10・03 支払日計簿

月日 金額 摘要

一月十日 壹円 今助次郎君へ香典

二月四日 四十銭 総会ノトキノ菓子

二月十六日 三円 今泉へ私

二月二十六日 二円八十銭 本箱代

〆二十銭 同へ会費ヨリ補助

二月二十八日 四十五銭 近松店へ

三月二十一日 二十六銭 二月記念会ノ不足へ補助

五月二十五日 三円七十七銭 今泉私

五月二十八日 六十三銭 桂〇堂へ

〆九元七十三銭

〆五元七十七銭

〆十八銭 今泉へ

〆十二元三十三円

〆三円 右国史体系ノ内

〆二十五銭 小使手当

〆二十五銭 書籍調ノ時菓子代

※二月二十六日の項の枠外に「此一ツハ臨時費故別ニ算ス即前年収入」と記す。

3・10・04 収入支払大帳

月 収入高 支払高 残金

毎月収 総額 毎月支 総額

入高 二円三十四銭 前年繰越高 二円八十四銭 一月 一元 一月八十四銭

一 五十銭 二 二円十銭 三 一元 四 一元 五 一元 六 一元十銭 七 二元 八 一元 九 一元 十 一元 十一 一元 十二 一元 十三 一元 十四 一元 十五 一元 十六 一元 十七 一元 十八 一元 十九 一元 二十 一元 二十一 一元 二十二 一元 二十三 一元 二十四 一元 二十五 一元 二十六 一元 二十七 一元 二十八 一元 二十九 一元 三十 一元

外二二円八十銭本箱代 箱トシテ前年ヨリ 総収入二二十四円 総支出二二十四円 総収入二二十四円 総支出二二十四円 残二十九銭四厘

3・10・05 購求書籍記入簿

書目 月日 金額 今沢庵全集 一月一日 三十銭 桂水川清話 一月二十一日 二十八銭 〆鎧の風 一月二十二日 三十五銭 〆上杉謙信 二十三日 二十四銭

鉄血宰相伝	〃	三十二錢五厘		
高山彦九郎	〃	二十四錢		
近南征史	二月十一日	四十五錢	国史大系 八	十一月八日
今 国史大系 五	二月十五日		東遊記	十二月九日 十八錢
今 中東戦紀本末	三月八日	一円七十四錢	古風土記逸文	十一月十四日 七十錢
国史大系 六	三月十五日			
石川文山	〃	二十四錢		
今 世界的日清戦争	四月九日	四十錢		
今 熊沢蕃山	五月二十五日	七十二錢		
〃 太田道灌	〃	二十五錢		
桂 ひとりね	七月十五日	二十三錢		
哲学大観	〃	九十錢		
陸奥宗光	〃	四十五錢		
近松世話浄瑠璃	七月十四日	五十八錢		
台湾嶋史	七月十九日	二十二錢五厘		
幕末小史 一	〃	三十錢		
金色夜叉 一	七月三十日	五十四錢		
幕末外交談	〃	壹円八錢		
幕末小史 二	九月八日	三十錢		
国史大系 七	〃			
支那文学史	五月二十三日	三十二錢		
楽天録	十月一日	四十五錢		
無名氏	十月三日	三十二錢		
日本仏教史綱 上卷	十月三日	五十錢		
世界通史	〃	一円五十五錢		
新大地誌 卷の一	〃	一円十七錢		

3・11 会計簿(明治三十三年)

【表紙】 明治三十三年/会計簿/自他業会

【本文】

3・11・01 会費納収表

会費納収表

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
五ノ二十二	五ノ二十二	五ノ二十二	五ノ二十二	五ノ二十二	五ノ二十二						三浦武三郎
十二ノ二十二	一ノ二十	二ノ二十二	三ノ二十二	四ノ二十一	六ノ八	六ノ二十一	七ノ二十三	十一ノ九	十一ノ九	十一ノ九	高山亀代作
十二ノ二十一	一ノ二十	二ノ二十二	三ノ二十二	四ノ二十一	六ノ八	六ノ二十一	七ノ二十三	十一ノ九	十一ノ九	十一ノ九	棟方悌二
五ノ十八	五ノ十八	五ノ十八	五ノ十八	五ノ十八	五ノ十八	五ノ十八				死亡	成田武衛
一ノ二十	二ノ二十二	三ノ二十二	四ノ二十一	六ノ八	六ノ二十一	七ノ二十三	十一ノ九	十一ノ九	十一ノ九	十一ノ九	小和田武司
十二ノ二十二	一ノ二十	二ノ二十二	三ノ二十二	四ノ二十一	六ノ八	六ノ二十一	七ノ二十三	十一ノ九	十一ノ九	十一ノ九	三上寿吉
十二ノ二十一	一ノ二十	二ノ二十二	三ノ二十二	四ノ二十一	六ノ八	六ノ二十一	七ノ二十三	十一ノ九	十一ノ九	十一ノ九	阿保虎雄
十二ノ二十二	一ノ二十	二ノ二十二	三ノ二十二	四ノ二十一	六ノ八	六ノ二十一	七ノ二十三	十一ノ九	十一ノ九	十一ノ九	今義勇
九ノ二十九	九ノ二十九	十一ノ十五	十一ノ十五	十一ノ十五	十一ノ十五						木村卯太郎
二ノ二十四	二ノ二十四	二ノ二十四	二ノ二十四	二ノ二十四							齋藤常三
十二ノ二十一	一ノ二十	二ノ二十二	三ノ二十	四ノ二十一	五ノ二十一	六ノ二十一	七ノ二十一	八ノ二十一	九ノ二十一	十一ノ二十一	三上敬三
十二ノ二十一	一ノ二十	二ノ二十二	三ノ二十	四ノ二十一	五ノ二十一	六ノ二十一	七ノ二十一	八ノ二十一	九ノ二十一	十一ノ二十一	三上主税
十二ノ二十一	一ノ二十	二ノ二十二	三ノ二十	四ノ二十一	五ノ二十一	六ノ二十一	七ノ二十一	八ノ二十一	九ノ二十一	十一ノ二十一	山中嵯峨之助
一ノ二十	二ノ二十一	三ノ二十	四ノ二十一	五ノ二十一	六ノ二十一	七ノ三十一	八ノ二十一	九ノ二十一	十ノ二十一	十一ノ二十一	相馬寛
一ノ二〇	二ノ二十二	四ノ二十一	六ノ三十	六ノ三十	六ノ三十	十ノ三十	十ノ三十	十ノ三十	十ノ三十	十ノ三十	佐藤勝太郎

※入金の日付に「山中」の朱印を捺す。各会員の項の枠外に以下の記載あり。
 九ノ二十一 五ノ二十二 五ノ二十二 五ノ二十二 五ノ二十二 五ノ二十二 五ノ二十二 五ノ二十二 五ノ二十二 五ノ二十二 五ノ二十二 五ノ二十二
 十二ノ二十八(高山亀代作)。五ノ十八 五ノ十八 五ノ十八 五ノ十八 五ノ十八 五ノ十八 五ノ十八 五ノ十八 五ノ十八 五ノ十八 五ノ十八 五ノ十八
 十二ノ二十八(成田武衛)。二ノ十四 三四五六七八九十一十二(木村卯太郎)。九ノ二十九 九ノ二十九 九ノ二十九 九ノ二十九 九ノ二十九 九ノ二十九 九ノ二十九 九ノ二十九 九ノ二十九 九ノ二十九 九ノ二十九 九ノ二十九
 藤徹)。

3・11・02 収入日計簿

収入日計簿

月日	金額	姓名
一月二日	四錢九厘	前年繰越
〃	十錢	佐藤君
一月十四日	一円	右入会金
一月二十日	四十錢	木村君
〃	二十五錢	和徳四人
一月二十日	六十錢	相馬入会金
〓 二円四十九錢九厘		
※ 枠外に以下の記載あり。内 二円十錢ハ会ヒ 三十五錢ハ入会金。		
二月二十一日	四十錢	和徳四人
〃	二十五錢	相馬入会金
二十二日	六十錢	高等六人
二十四日	五十錢	齋藤常三
二月二十七日	十錢	佐藤君
〃	十錢	右入会金
〓 一円九十五錢		
※ 枠外に以下の記載あり。二円六十錢ハ会ヒ 三十五錢ハ入会金。		
三月二十日	四十錢	和徳四人
二十二日	六十錢	高等六人
三ノ二十八	三十錢	高山君
〓 一円三十錢		

四ノ十一 十錢

〃 十錢

四ノ二十一 四十錢

〃 六十錢

〓 一円二十錢

五月十八日 一円

五月二十二日 四十錢

五月二十二日 一円

〓 二円四十錢

六月八日 六十錢

〃 二十一日 四十錢

〃 〃 六十錢

六ノ三十 三十錢

〃 二十錢

〓 二円十錢

七ノ二十一 四十錢

七ノ二十三 五十錢

〓 九十錢

八ノ二十一 四十錢

〓

九ノ二十一 三十錢

九ノ二十九 五十錢

〓 八十錢

十ノ二十一 三十錢

十ノ三十 五十錢

〓 八十錢

佐藤君

右入会金

和徳四人

高等六人

成田君

和徳四人

三浦君

高等六人

和徳四人

高等六人

和徳四人

高等六人

佐藤君

入会金

和徳四人分

(今ノ外) 高等五人

和徳四人

和徳三人

齋藤徹

和徳三人

和徳三人

佐藤勝君

十一ノ九 一円八十錢

〃 十錢

十一ノ十五 四十錢

十一ノ二十一 四十錢

〓 二円七十錢

十二ノ一 六十錢

十二ノ二十一 四十錢

十二ノ二十一 六十錢

〓 一円六十錢

3・11・03 支払日計簿

支払日計簿

月日	金額	摘要
一月二十日	三十錢	総会菓子
四月十四日	一錢五厘	奉書
四月二十六日	五円四十七錢五厘	今泉
五月二十一日	七十六錢	本代
七月十日	十五錢	茶話会ヒへ補助
〃 十五日	十錢	表紙
十月二十九日	一円	成田へ香典
十一月二十一日	七円	今泉へ
十二月二十四日	一円四十一錢	近松へ

3・11・04 収入支払大帳
収入支払大帳

月	収入高	仕払高	総高	総額	残金
一	四十五銭	二円四十九	三十銭	—	二円十九
二	九十五銭	四円四十四	—	—	四円四十四
三	三十一銭	五円七十四	—	—	五円四十四
四	二十銭	六円九十四	五円	五円	五円十五
五	四十銭	九円三十四	七十六銭	六円	二円七十九
六	二十銭	十一円四十四	—	—	四円八十九
七	九十銭	十二円三十四	二十五銭	六円	五円五十四
八	四十銭	十二円七十四	—	—	五円九十四
九	八十銭	十三円五十四	—	—	六円七十四
十	八十銭	十四円三十四	一円	八十銭	六円五十四
十一	七十銭	十七円四	七円	八十銭	二円二十
十二	六十銭	十八円六十四	一円	十六円	二円四十三

※五月の項の枠外に「七十六銭ハ昨年購求ノ大地誌価(一円十七銭)ヲ立替オキシヲ四十一銭ノ千山万水ト差引ノ残」と朱書。

3・11・05 購求書籍記入簿
購求書籍記入簿

書目	月日	代価
近世文学史論	一月一日	三十五銭
金色夜叉後	一月五日	三十五銭

大日本通史上	一月十八日	一円三十五銭	遠征奇談	二十六銭
古戦場	一月二十日	三十七銭	二勇少年	二十六銭
国史大系十一	一月二十二日	〇〇〇	寄贈 世界宗教一斑(遺十一)月九日	工藤寄付
古風土記	二月二十一日	八十二銭	小野小町	二十二銭
楊貴妃	三月九日	十八銭	クルーゲル	二十五銭
新建国	三月十四日	十八銭	東邦近世史	九十八銭
血涙録	〃	二十一銭	白山黒水	四十三銭
立身策	三月二十二日	三十二銭	〃	〃
桶狭間役	三月二十八日	一円	〃	〃
地理講義	〃	三十八銭	〃	〃
近世徳育史伝	四月二十二日	七十六銭五厘	〃	〃
大英国漫遊実記	五月二十三日	六十三銭	〃	〃
金剛石の原野	六月二十二日	二十五銭	〃	〃
西比利亞蒙古旅行	〃	〃	〃	〃
千島探検録	〃	十銭	〃	〃
中江藤樹	〃	三十一銭	〃	〃
龍庵遺稿二冊	〃	一円二十銭	〃	〃
英国今代史上	七月三日	二円十銭	〃	〃
支那哲学史	七月二十二日	一円八銭	〃	〃
菅公伝	七月二十七日	三十八銭	〃	〃
燕山楚水	〃	四十銭	〃	〃
熊本籠城談	七月二十九日	二十八銭	〃	〃
サハラ大砂漠	九月五日	二十五銭	〃	〃
ヒマラヤ山探検	〃	二十五銭	〃	〃
現代女気質	十月	三十一銭	〃	〃
金堀少年	〃	二十六銭	〃	〃

3-12 会計簿(明治三十四年)

【表紙】

明治三十四年／会計簿／自他業会

【本文】

3-12-01 会費納収表

会費納収表

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	
二ノ二十八	二ノ二十八											三浦武三郎 高山亀代作

十二ノ二十一	一ノ二十二	二ノ二十二	三ノ二十六	四ノ二十三	五ノ二十八	六ノ二十二	九ノ二十三	九ノ二十三	九ノ二十三	十ノ二十二	十二ノ一	東海武一
十二ノ二十一	一ノ二十二	二ノ二十二	三ノ二十六	四ノ二十三	五ノ二十八	六ノ二十二	九ノ二十三	九ノ二十三	九ノ二十三	十ノ二十二	十二ノ一	棟方悌二
一ノ二十二	二ノ二十二	三ノ二十六	四ノ二十三	五ノ二十八	六ノ二十二	九ノ二十三	九ノ二十三	九ノ二十三	十ノ二十二	十二ノ一		小和田武司
十二ノ二十一	一ノ二十二	二ノ二十二	三ノ二十六	四ノ二十三	五ノ二十八	六ノ二十二	九ノ二十三	九ノ二十三	九ノ二十三	十ノ二十二	十二ノ一	三上寿吉
十二ノ二十一	一ノ二十二	二ノ二十二	三ノ二十六	四ノ二十三	五ノ二十八	六ノ二十二	九ノ二十三	九ノ二十三	九ノ二十三	十ノ二十三	十二ノ一	阿保虎雄
一ノ二十二	二ノ二十二	三ノ二十六	四ノ二十三	五ノ二十八	六ノ二十二	九ノ二十三	九ノ二十三	九ノ二十三	十ノ二十三			今義勇
七ノ三	七ノ三	七ノ三	七ノ三	七ノ三	七ノ三	七ノ三	七ノ三	七ノ三				木村卯太郎
十二ノ二十八	〃	十二ノ二十八	十二ノ二十八	十二ノ二十八	十二ノ二十八	十二ノ二十八						齋藤徹
六ノ二十五	六ノ二十五	六ノ二十五	六ノ二十五	六ノ二十五	六ノ二十五	六ノ二十五						齋藤常三
十二ノ二十一	一ノ二十一	二ノ二十一	三ノ二十二	四ノ二十二	五ノ二十一	六ノ二十一	七ノ二十二	八ノ二十一	九ノ二十一	十ノ二十一	十二ノ一	三上敬三
十二ノ二十一	一ノ二十一	二ノ二十一	三ノ二十二	四ノ二十二	五ノ二十一	六ノ二十一	七ノ二十二	八ノ二十一	九ノ二十一	十ノ二十一	十二ノ一	三上主税
一ノ二十一	二ノ二十一	三ノ二十二	四ノ二十二	五ノ二十一	六ノ二十一	七ノ二十三	八ノ二十一	九ノ二十一	十ノ二十一	十一ノ二十一	十二ノ一	相馬寛
二ノ二十八	二ノ二十八	七ノ二十三	七ノ二十三	七ノ二十三	七ノ二十三	七ノ二十三						佐藤勝太郎
一ノ二十一	二ノ二十一	三ノ二十二	四ノ二十二	五ノ二十一	六ノ二十一	七ノ二十三	八ノ二十一	九ノ二十一	十ノ二十一	十一ノ二十一	十二ノ一	山中嵯峨之助

※入金の日付に「山中」の朱印を捺す。各会員の項の上方枠外に以下の記載あり。七八九十一(三浦武三郎)。二月ヨリ九月マテ 六月二十四日十月ヨリ(高山亀代作)。三
月十一日 一月ヨリ十二月マテ(木村卯太郎)。九月二十七日 七八九十一(齋藤徹)。六ノ二十五 六七八九十一(齋藤常三)。二ノ二十八 十二(佐藤勝太郎)。

3・12・02 収入日計簿
収入日計簿

月日 金額 姓名

十二ノ二十七日 二円四十三銭九厘 越高

十二ノ二十七日 五十銭 齋藤常三君

一ノ二十一 四十銭 和徳四人

一ノ二十二 六十銭 高等六人

三ノ十一 一円五十銭 木村卯太郎

二ノ二十一 四十銭 和徳四人

” 十銭 山中

二ノ二十二 六十銭 高等六人

二ノ二十八 八十銭 三浦君

二ノ二十八 三十銭 佐藤君

〆三円四十銭

三月二十二 四十銭 和徳四人

三ノ二十六 六十銭 高等六人

〆一円

四月二十二日 四十銭 和徳四人

” 二十三日 六十銭 高等六人

〆一円

五月二十一日 四十銭 和徳四人

” 二十八日 六十銭 高等六人

〆一円

六月二十一日 四十銭 和徳四人

六月二十二日 六十銭 高等六人

二十四日 九十銭 高山君

六月二十五日 八十銭

〆二円七十銭

七月三日 七十銭

七月二十二日 四十銭

” 二十三日 五十銭

〆一円六十銭

八月二十一日 四十銭

〆四十銭

九月二十一日 四十銭

” 二十三日 壹円八十銭

” 二十七日 六十銭

〆二円八十銭

十月二十一日 三十銭

十月二十二日 十銭

” 六十銭

〆一円

十一月二十一日 四十銭

十一月二十八日 三十銭

〆七十銭

十二月一日 五十銭

十二月二十一日 四十銭

二十八日 三十銭

〆壹円二十銭

齋藤常三君

木村君

和徳四人

佐藤君

和徳四人

和徳四人

和徳四人

高等六人

齋藤徹君

相馬ヲ除ク和徳三人

相馬

高等六人

和徳四人

齋藤徹君

今ノ外高等五人

和徳四人

齋藤徹

3・12・03 支払日計簿

支払日計簿

月日 金額 摘要

一月二十一日 三十銭 總會菓子代

二月二十三日 四円

” 二十三日 壹円四十七銭 今泉へ本代

〆五円四十七銭 近松へ本代

三月二日 三十八銭 近松へ
南海ノ風雲

四月九日 三十銭

〆 近松へ
雨夜

六月五日 二十五銭

六月十五日 五十銭

六月三十日 四円

〆 今泉へ

七月十五日 九十銭

” 二十二日 一円八十銭

〆 近松へ

十月一日 三十三銭

〆 近松

十二月十日 三十五銭

〆 近松へ

十二月二十一日 五十銭

〆 近松へ

十二月二十九日 五円

” 二十九日 二十七銭

〆 今泉へ

3・12・04 収入支払大帳

収入高		仕払高		残額
月	収入高	仕払高	総高	
一	三円九十三銭	三十銭	—	三円六十三
二	九圓(金費)	—	—	九圓
三	七円三十三銭	四十七銭	五円	四円五十六
四	八円三十三	三十八銭	六円	二円十八
五	九円三十三	三十銭	六円	二円十八
六	十円三十三	—	—	十円
七	十円三十三	—	—	十円
八	十円三十三	—	—	十円
九	十円三十三	—	—	十円
十	十円三十三	—	—	十円
十一	十円三十三	—	—	十円
十二	十円三十三	—	—	十円
合計	一四四円九十三銭	一四四円九十三銭	—	—

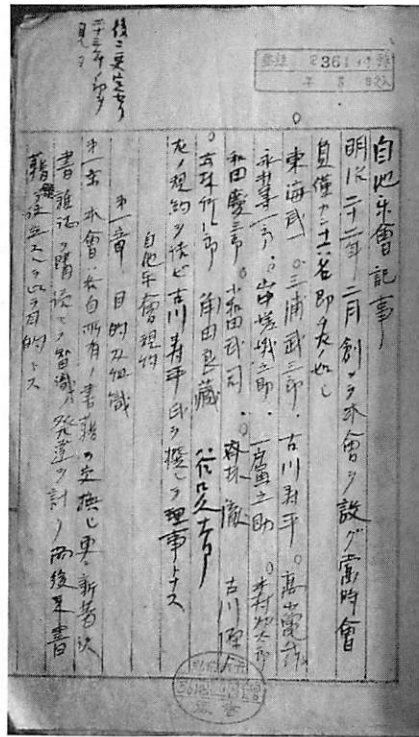
3・12・05 購求書籍記入簿

書目	月日	代価
日本陽明学派哲学	一ノ十六	一円二十六銭
社会的教育学	一ノ十六	四十八銭
漂流少年	一ノ十七日	二十六銭
決死少年	一ノ十七日	〃

伊達行朝勤王事歴 一ノ十九日 一円五十銭

近松 湖上ノ美人	二ノ一日	五十七銭
米田漫遊雜記	二ノ七	三十三銭
日本風俗	二ノ七	二十八銭
近松 朝鮮開化史	二ノ九	九十銭
海の歴史	二ノ二十八	二十五銭
殖民少年	二ノ二十八	二十六銭
近松 南洋ノ風雲	三ノ二日	三十八銭
近松 雨夜物語	三ノ十二日	三十銭
国史大系 十三	四ノ二十一日	—
航海少年	五ノ十七日	二十六銭
元禄時勢粧	〃	二十六銭
近松 カイネギ	六ノ五	二十五銭
近松 醉人ノ妻	六ノ十五	五十銭
英文学史	六ノ二十二	一円八十銭
仇浪	七月十五日	五十五銭
近松 韓退之	〃	三十五銭
国史大系 十四	七月二十二日	—
近松 一年有半	十月一日	三十三銭
〃 統一年有半	十月二十八日	三十五銭
〃 自然界現象	十二月二十八日	五十銭
日本戦史 姉川	十二月六日	一円三十五銭
侠勇少年	十二月十一日	二十七銭
航海奇譚	十二月十一日	二十二銭
統遠征奇譚	十二月十三日	二十七銭
朽木の舟	〃	二十七銭

近松 旧式唯物論 十二月二十九日 二十七銭



自他楽会記事

明治二十二年二月創メテ本會ヲ設ク 当時會員僅カ二十六名即チ左ノ如シ

- 東海武一 ○三浦武三郎 古川寿平 ○高山龟代作
- 永井善一郎 ○山中嵯峨之助 一戸寅之助 ○木村卯太郎
- 和田慶三郎 ○小和田武司 齋藤徹 古川源八
- 齋藤竹次郎 角田良蔵 谷口久太郎

左ノ規約ヲ結ビ古川寿平氏ヲ撰シテ理事トナス

自他楽会規約

第一章

第一条 本会ハ各自所有ノ書籍ヲ交換シ更ニ新著訳書雜誌ヲ購読シテ智識ノ発達ヲ計リ後來書籍館ヲ設立スルヲ以テ目的トス

第二条 本会ハ同志二十名ヲ限リテ組織ス

※後二更定セリ二十三年ノ部ヲ見ヨ(枠外)。

会名及位置

第三条 本会ハ自他楽会ト称ス

第四条 本会ハ事務所ヲ弘前植田町 番戸ニ置ク

役員及職制任期

第五条 本会ニ理事一名審査委員五名ヲ置ク

第一項 理事ハ会計及其他一切ノ庶務ヲ所理スルモノトス

第二項 理事ハ毎年末ニ於テ会計報告表ヲ造ルモノトス

第三項 審査委員ハ毎月購求ノ書籍目録ヲ制シ會員ノ決議ニ附スルモノトス

但シ議決ハ多数ヲ用ユ

第四項 理事ノ任期ハ無限

審査委員ノ任期ハ半年トス

會員及義務

第六条 本會員ハ會費トシテ各自金十錢ヲ毎月五日迄ニ 及義務トシテ各

自所蔵ヲ隨時理事ニ出スベシ

書籍購求廻覽及借用手續

第七条 書籍購求手續ハ會員ノ決議ニ依リ理事之ヲ行フ

第八条 本會員ヲ第一第二ノ二部ニ分チ適宜ニ廻覽セシム

其日數ハ理事之ヲ定ム

第九条 日數ヲ遷延スルモノハ其人ノ責任ト為シ書籍ノ廻覽ヲ後ニスルモ

ノトス

第十条 會員廻覧済ノ購求書籍及各自所蔵ノ書籍ヲ會員中殊ニ日教ヲ限り借用スルヲ得

第十一条 一人ニテ同時ニ一冊以上ヲ借用スルコト會員外ニ貸用スルヲ許サス

附則

第十二条 會員ハ毎月第一火曜日ニ集會シ購求書籍ヲ決議スルモノトス

第十三条 審査委員ハ隨時必要アル毎ニ理事之ヲ召集ス

第十四条 各自所有ノ書籍ハ必要ノ事情アルトキハ隨意取戻スコトヲ得

一規則第六条ニヨリ書籍ヲ提出セシモノ 名其冊數 冊ナリシ

一谷口久太郎氏事故ニヨリ退會ス(二月)

一三月 永井善一郎氏上京ノ為退會ス

一四月 西館徳一氏入會セリ

一五月 棟方悌二氏金与惣之助氏岩庭為世氏入會

※古川源八氏口以退會ス(粹外)

一六月 古川寿平氏任務上多忙ヲ以テ解職 高山亀代作氏ヲ後任トス

同月 事務所ヲ和徳尋常小学校ニ移ス

※六月臨時總會ニ於テ退會セシモノハ該會ニ於テ無關係ノモノトスト決議ス(粹外)

※六月角田民蔵退會(粹外)

一九月 藤田未頼二氏三上徳之助氏入會ス

一十一月 前小屋泰吉氏入會ス

一購求ノ書籍ハ三十六部 内哲学汎論一冊ハ不見

一書籍廻覧ノ度數ヲ算スルニ凡ソ四十二回ナリ コレハ一人ニテ一年

中ニ於テ四十五冊ノ書籍ヲ回覧スルモノトセバ其ノ益スル所果シテ多カリシナラン

一決議ハ別表ニ示スカ如シ

一本會ハ書籍閱覧ノ利益ノミニアラステ更ニ交友間ノ親密ナルコトハ却テ益スルカ如シ 今春五月本會示威運動會ヲ石山ニ開ク會者七八名倫

又快ヲ極ム 以テ其ノ一般ヲ知ルベシ

一貸付セシ書籍凡ソ五十部ノ多キニ至ル 以テ其ノ盛ナルヲ見ルベシ

一十二月 日會計及庶務ヲ報告ヲナス

一本年中ニ例會ヲ開ク 回ナリシ

一本年末ニ於テ現在ノ會員十八名

4・01・02 自他案會二十二年度決算書

自他案會二十二年度決算書

収入之部

一金十七円四十銭

内

一金十六円七十銭

一金七十銭

合計十七円四十銭

十一月會費

會費收入

會費未領

支払之部

一金十五円四十四銭一厘

内

一金十八銭

一金十五円十六銭

一金十銭一厘

合計十五円四十四銭一厘

書籍及雜費

印形

書籍料

新帳簿調定及口

残金之部

一金一円二十五銭九厘

会費残金

訳

一金十六円七十銭

収入会費

一金十五円四十四銭一厘

支払

差引残金一円二十五銭九厘

未払之部

一金二円五十銭

書籍費

明治二十二年十二月二十四日

理事 高山亀代作 [朱印「たかやま」]

4.01.03 自他楽会購求書籍

金額	書名	金額	書名
一金二十六銭	文覚大親進帳	一金五十四銭	動物進化論
一金四十五銭	英雄ノ肝膽	一金三十三銭	日清文明論
一金十九銭	哲學汎論	一金三十三銭	簡明論理学
一金四十四銭	教育策	一金三十三銭	薩長土肥
一金三十三銭	西洋哲學	一金三十三銭	自由略論
一金四十二銭	東洋遺稿	一金三十三銭	自由略論
一金三十三銭	文	一金三十三銭	自由略論
一金二十九銭	直税及国稅	一金三十三銭	自由略論
一金四十五銭	大政参遷史	一金三十三銭	自由略論
一金三十三銭	萬物進化新説	一金三十三銭	自由略論
一金三十三銭	萬物進化新説	一金三十三銭	自由略論

自他楽会購求書籍

金額	書名	金額	書名
一金二十八銭	文覚上人親進帳	一金二十銭	動物進化論
一金四十五銭	英雄ノ肝膽	一金三十五銭	國憲汎論
一金十九銭	哲學汎論	一金一円二十銭	日清文明論
一金五十二銭五厘	文所要論	一金四十四銭二厘	欧州大勢論
一金四十銭	教育策	一金二十二銭五厘	簡明論理学
一金三十一銭	洒落哲學	一金十銭五厘	薩長土肥
一金一円〇二銭	東洋遺稿	一金二十三銭七厘	色懺悔
一金七銭五厘	文	一金三十銭	自由略論
一金二十九銭	直税及国稅	一金八十七銭	美辭学
一金四十五銭	大政参遷史	一金十二銭	乙女心
一金二十二銭	萬物進化新説	一金十二銭	妹背貝
※以上オモテ。			
一金一円〇五銭	仏教口論	外二	
一金十銭	我国ノ内政外交	一金十八銭	印形
一金五十四銭	鴻雪録	一金十銭一厘	新帳簿用紙
一金一円二十五銭	普通心理学		
一金一円四十銭	新篇紫史		
一金十二銭	残菊		
一金十二銭	如温武雷土伝		
一金三十四銭	財政学		
一金三十銭	クラントストン伝		
一金二十九銭	ミルトン論		
一金十二銭	風流仏		
合計十五円十六銭			

4・01・04 大正六年購求書籍報告

※次の「二十三年記事」の枠外に貼付。野紙（一枚）に墨書。

大正六年購求書籍報告

- 一、鉄仮面 一冊 一円三十銭
- 一、世界三聖伝 三冊 二円八十銭
- 一、近代思想解剖 一冊 一円三十五銭
- 一、大正の青年と帝国の前途 一冊 八十銭
- 一、箏笛 一冊 一円
- 一、野球年鑑 一冊 四十銭
- 一、最新実話独探 一冊 四十銭
- 一、我発奮の動機 一冊 四十銭
- 計 十冊 八円四十五銭

右御報告申上候也

大正七年一月八日 自他楽会理事 三上敬三■（朱印）三上

4・01・05 二十三年記事

二十三年一月十四日 昨年度決算報告シ併セテ創立記念会理事慰労会ヲ開

キ茶菓ヲ喫シ福引ノ興ヲ催シ甚タ盛ナリキ 此日会者十口名ナリシ

一 一月 毛内通夫氏入会 藤田未頼二氏退会 及古川寿平氏上京ス

此月理事高山氏東京ニ赴キシヲ以テ三浦氏ニ該事務ヲ囑ス

一 二月 工藤東二郎入会 西館徳一氏札幌ニ赴ク

一 四月 斎藤典記氏入会ス 高山氏掃弘事務ヲ口ル

一 五月 伊藤直麿氏入会ス 此月清水山ニ遠行ノ催アリ会者十二名ナリ

一 十月 森健枝氏入会ス

一 十二月二十三日午後三時ヨリ臨時総会ヲ開キ書籍ヲ検査シ並ヒニ規則ヲ改正シ会計報告ヲナス

一 此日規則中遠方会員ニツキ議論沸騰セリ

一 本年中ニ於テ購求ノ書籍三十部ニシテ風流仏一冊不見

一 書籍廻覧度数太凡四十三回ニシテ之ヲ昨年ニ比シテ大差ナキハ蓋シ冊

子ノ紙数ノ多キニ因ナラン 故ニ實際ニ於テハ却テ頻繁ナルヲ覺ユ

一 本年中ニ於テ貸付□シ書籍大凡百十余部ニ涉リタルヲ以テ見レハ昨年

ニ比シテ盛大ノ兆トナス

一 書籍十六冊ノ修繕ハ和田会員ノ好意ニ依リ依托ス

※十二月二十四日伊藤直麿氏退会ス（枠外）

一 規則及会計報告左ノ如シ

一 本年十二月末ニ於テ現在会員二十二名内欠二名

一 本年中例会ヲ開クコト十回ナリ

4・01・06 自他楽会二十三年度決算書

自他楽会二十三年度決算書

収入ノ部

一金二十円也

一金一円二十五銭九厘

計二十一円二十五銭九厘

内訳

入金ノ部

入金ノ部

入金ノ部

支払ノ部

一金二十一円〇二銭八厘

内訳

一金二十円六十二銭一厘 書籍代

一金四十銭七厘 雑費

残金ノ部

一金二十三銭一厘

未納ノ部

金五十銭也

金一戸氏ノコト

明治二十三年十二月二十三日 理事 高山龟代作

4・01・07 自他楽会二十三年度決算書

自他楽会二十三年度決算書

金額	書名	金額	書名
金二円五十銭	国憲汎論残り	金一円	小楠遺稿
一金一円五十銭	埃及近世史	金四十九銭	科学ノ原理
一金六十三銭	哲学指滴	金四十銭	小説史稿
一金四十銭	平民政治二冊	金六十七銭	浮城物語
一金二十六銭	弗氏自叙伝	金一円五十五銭	婦納論理学
一金七十八銭	赤穂義士伝	金五十九銭	進化原論

一金五十四銭 埃及慘状 金十六銭五厘 亜細亜ノ光輝

金十四銭四厘 啞之旅行 金四十五銭 觀風叢話

一金八十六銭四厘 平民政治四冊 金二十七銭 経世危言

一金二十二銭 新著百種一 金十五銭 婦省

一金十六銭八厘 浩武電伝 金一円十銭 万国歴史

※以上オモテ。

一金八十銭 日本歴史 外之雑費

一金五十銭 南洋時事 金四銭七厘 半紙及印紙

一金十八銭 日曜講義 金六銭 □□□郵便料

金六十銭 出版月評 金二十五銭 表紙及糸代

一金四十三銭 仏教顕正論 金五銭 半紙

金二十六銭 德育鎮定論 〆四十銭二厘

金六十五銭 岡本子

金二十五銭 政教日記

金二十六銭 星界想像記

金一円八十五銭 日本文学史

合計二十円六十二銭一厘

4・01・08 (自他楽会規則)

第一章 目的及組織

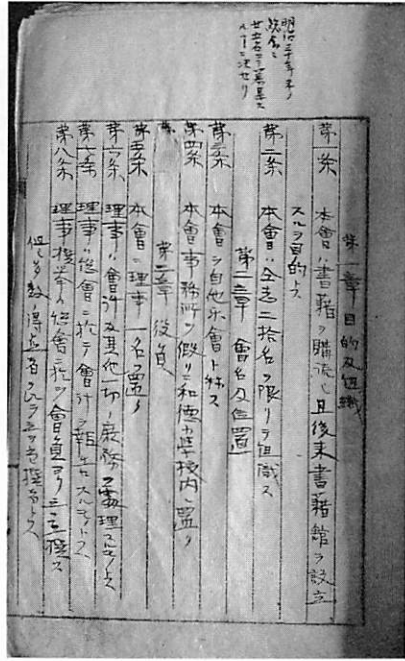
第一条 本会ハ書籍ヲ購読シ且後來書籍館ヲ設立スルヲ目的トス

第二条 本会ハ同志二十名ヲ限リテ組織ス

※明治三十年末ノ總會ニ二十五名ニテ募集スルコトニ決セリ(上欄)

第二章 会名及位置

第三条 本会ヲ自他楽会ト称ス



第四条 本会事務所ヲ仮リニ和徳小学校内ニ置ク

第三章

第五条 本会ニ理事一名ヲ置ク

第六条 理事ハ会計及其他一切ノ庶務ヲ処理スルモノトス

第七条 理事ハ總會ニ於テ会計ヲ報告スルモノトス

第八条 理事撰挙ハ總會ニ於テ會員ヨリ之ヲ互撰ス

但シ多数ノ得点者ヲ以テ之ヲ当撰者トス

第九条 役員ノ任期ハ凡テ一ケ年トス

第四章 集会

第十条 本会ノ集会ヲ總會常集会及臨時会ノ三トス

- 一 總會ハ毎年十二月之ヲ開キ会計ノ報告ヲナシ役員ヲ撰定シ書籍ヲ檢シ其他要件ヲ議定ス
- 一 常集会ハ毎月第一火曜日之ヲ開キ購求書籍ヲ議定ス
- 一 臨時会ハ理事或ハ會員三名以上ノ請求ニ依リテ之ヲ開ク

第五章 会費及書籍

第十一条 本會員ハ会費トシテ金十錢ヲ毎月五日マテニ理事ニ出スベシ

第十二条 書籍購求手續ハ會員ノ決議ニ依リ理事之ヲ行フ

第十三条 書籍廻覽手續及其日数ハ理事ノ定ムル処ニ依ル

第十四条 會員廻覽済ノ書籍ハ會員中更ニ日数ヲ限り借用スルヲ得

第十五条 一人ニテ同時ニ一部以上ヲ借用スルコト及會員外ニ貸渡スル許サズ

但シ理事ニ於テ借用人ノ申越ヲ必要ト認メ且差支ノナキ限り一定ノ時

日ヲ限りテ尚数部ヲ貸渡スヲ得

第八章 罰則

第十六条 廻覽日数ヲ遷延スルモノハ次回ノ廻覽書籍ヲ後ニスルモノトス

第十七条 会費三ヶ月以上ヲ不納シテ猶何等ノ届出ナキモノハ退会者ト見

做スベシ

但シ其届出アルモ猶三ヶ月以上ニ涉ルトキハ退会者ト見做ス

第九章 入会及退会

第十八条 入会セントスルモノノ會員二名以上ノ紹介ヲ經テ理事ニ申越スベ

シ理事ハ之レヲ會員ニ意見ニ計リ其許否ヲ計フベシ

第十九条 入会者ハ五十錢ノ入会金ヲ納ムベシ再入会ノ者ハ免除ス

但シ之ヲ六ヶ月以内ニ分納スルヲ得

第二十条 退会セントスルモノハ理事ニ届出ベシ

第十章 附則

第二十一条 本會員ヲ書籍廻覽ノ便宜ノ為甲乙ノ二部ニ分ツ

※明治三十二年ヨリ三部トス(梓外)

第二十二条 惣テ議事ハ出席□ノ多数ヲ以テ之ヲ決ス

第二十三条 此規則ハ會員ノ過半数ノ賛成ヲ得ルニ非サレバ之ヲ変更スル

コトヲ得ス

第二十四条 此規則ハ明治二十四年一月一日ヨリ実施ス

第二十五条 本会員ニシテ遠隔ノ地ニ赴キ常ニ集会シ能ハザルモノ、為ニ

本会理事ノ特ニ会員廻覧後ノ書籍ヲ一定ノ時日ヲ限リ貸渡スヲ得

但シソノ期日ニ返納セサルコト再三ニ及プトキハ会員ノ決議ニ依リ退

会セシムルコトアルベシ

4・01・09 二十四年記事

二十四年記事

二月一日ヨリ規約施行ニツキ会員ノ資格ヲ失ヒタルモノ三名

古川寿平。工藤東三郎、西館徳逸

一二月十日記念会ヲ開ク 昨年ニ比シテ更ニ一層ノ親密ヲナス

四月 佐藤兵馬入会ス

一五月 規則第十七条ニヨリ前小屋泰吉氏ヲ除名ス

※一五月大野村ニ連行ス(粹外)

一十月 臨時書籍点検ヲ行フ 不明モノ七部ナリシカ後之ヲ発見セリ

内巴波川一冊不明ナリ

※一八月会員毛内猛夫氏病死ス(粹外)

※一九月木村卯太郎君ヨリ西口青年会□□ノ申込アリ(粹外)

※十一月藤田未頼ニ再ヒ入会ス(粹外)

一此月 今助次郎氏相馬久太郎氏入会ス

一十二月二十七日総会ヲ開キ会員十一名決算ヲ報告ス 書籍ヲ点検ス○

一本年中会員除名スルモノ四名 死亡一名 入会者四名 現在二十名

一本年中書籍ヲ寄附セルモノ六部ナリキ

一本年中購求セシ書籍四十口部五十三冊ナリ 内巴波ハ不見

一書籍廻覧度数大凡七十余回 之レヲ昨年ニ比シテ三十回以上ノ多キヲ

以テ見レハ其益スル所尠カラサルヘシ

一本年中ニ於テ貸付セシ書籍大凡百八十余部 昨年ニ比シテ多シト信セ

リ 其盛大ニ至ルコト察スヘシ

一書籍八冊ヲ修繕ス

△斎藤徹君ヨリ提出ノ規則追加案ハ多数ヲ以テ否決ス

4・01・10 自他楽会会計報告

自他楽会会計報告

収入高

一金二十三円六十八銭一厘

内

一金二十三銭一厘

一金二十三円四十五銭

仕払高

一金二十三円六十六銭六厘

内

一金二十三円十三銭

一金五十三銭六厘

雑費

残金一銭五厘

未払高

一金二円十三銭四厘

外三十五銭

書籍料

維新豪傑伝

合計 二円四十八銭四厘

4・01・11 明治二十四年中自他案会購求書籍

明治二十四年中自他案会購求書籍

蘇丹令	三十六錢	朝野人物評	十八錢
格朗究	十九錢	普通教育論	九十三錢
日本経国論	九十五錢	近世名家文集	十八錢
巴波川	八錢	五大国漫遊	三十錢
つゆこそて	十二錢	平民政治	一九九十八錢
墨染桜	十二錢	ルーテル	十六錢
妾薄命	十二錢	統計年鑑	一九四十五錢
世界周遊記	二十錢	温智叢書	一九三十二錢
財政学	一円二十錢	国史眼	一円四十五錢
倫理学	七十錢	仏教活論序論	十錢
百家説林六冊	二円二十九錢	日本人	二十二錢
印度奇観	四十六錢	濠州及印度	二十八錢
啞ノ旅行	二十四錢	山吹塚	十二錢
※以上オモテ。			
日本教育論	三十九錢九厘	長者鑑	十二錢
御伽草子	三十六錢	新世帯	十二錢
大福帳	三十六錢	离レ齋	十二錢
南洋大波瀾	四十八錢	小地理学	四十八錢
戦袍日記	二十八錢	倫理教科書	一円二十錢
東方策	八十錢	維新豪傑譚	三十五錢
百家説林七八		合計	二十五円二十六錢九厘
白河翁卜徳川	三十六錢		内未払高 二円十三錢四厘
高等経済原論	一円九十六錢		外三十五錢
泰西十五決戦史	一円十錢	雑費	
		一金五十三錢六厘	

郵便料。厚紙。糸。表紙。□半紙。□諸器

文章組立法 五十五錢
文つかひ 十二錢
総合計

4・01・12 二十五年記事

- 二十五五年記事
- 一二月二十八日 本会記念会ヲ開ク 此日降雪殆二尺余而カモ会スルモノ十余名
- 一四月二十七日 古川寿平君ヨリ国文五冊寄贈セラル
- 一六月二十三日 会員金与惣之助君死亡ス
- 一八月 規則第十七条ニヨリ和田慶二郎君一戸寅之助君佐藤兵馬君ヲ除名ス
- 一八月二日 成田武衛君入会ス
- 一十月五日 八戸市太郎君入会ス
- 一 本年中購求セシ書籍四十二部五十六冊ナリ
- 但シ未タ全部トナサルモノヲモ含ム
- 一 書籍廻覧度数大凡七十余回ナリ
- 一 本年中ニ於テ貸付セシ書籍大凡百八十余部ニ至ル
- 一 書籍三十余冊修繕ス
- 一 十二月二十五日 午前総集會ヲ開キ成規ノ事項ヲ行フ 後茶菓懇親會ヲ開ク

本日不明詮議ニ付スルモノ左ノ如シ
仏教序論 国会解散云々 明治紳士録

4・01・13 (会計報告)

収入之部

一金二十円五十一銭五厘

内

一金二十円五十銭

一金一銭五厘

会費
前年度残金

仕払高

一金二十円十銭

内

一金十八円九十一銭

一金二円十九銭

書籍費 内二円四十八銭四厘前年度分
雑費

残高

一金四十一銭五厘

未納高

一金一円也

未払高

一金二円六十銭

4・01・14 明治二十五年中自他楽会購求書籍

明治二十五年中自他楽会購求書籍

百家説林九十二冊 七十七銭

読書法

十八銭

豪雄少年 五十五銭

死及死後

九銭五厘

丈夫ノ本領 四十銭

文学一斑 十八銭

活気ノ焰 二十銭

経世偉略 三十二銭

春の家漫筆 二十四銭

明治園秀美譚 十一銭

日本漂流譚 二十五銭

井筒女之助 二十四銭

開国始末 一円十五銭

神皇正統記 三冊 六十銭

※以上オモテ。

西比亜鉄道論 三十七銭

東方策ノ二 三十一銭

海国 六十八銭

平野次郎 十銭

相思恋愛の現象 十七銭

動物学 七十銭

植物学 七十銭

鉱物学 五十七銭五厘

新日本史 二冊 六十銭

開口笑話 二十四銭

東方策結論 五十七銭

新セン日本外史一冊 十四銭

徳川十五代史二冊 四十六銭

倫理摘要 三十八銭

支那開化小史 七十五銭

千代田大奥 四十六銭

明治政史二・三冊 七十五銭

奴ノ小万 二十四銭

物理学 二冊 二円

南洋探検実記 二十二銭

明治紳士録 十一銭

まほろし 十六銭

明治紳士録 九銭

那破奮物語 二十五銭

我觀小景 三十銭

小公子 四十銭

明治政史四五六 七十五銭

罪と罰 三十八銭

万国史綱 一冊 五十銭

クラツトストーン伝 十七銭五厘

安政記事 三十銭

ベ総計 十九円八十二銭五厘

内払高 十六円四十八銭

未払高 二円六十銭

4・01・15 雑費明細表

雑費明細表

- 一金五錢 はかき
- 一金十七錢五厘 半紙代
- 一金五錢 上封
- 一金十九錢 雑費
- 一金五厘 にかは
- 一金四十一錢五厘 表紙
- 一金三十錢五厘 糸代
- 〆一円十九錢

4・01・16 明治二十六年度自他楽会記事

明治二十六年度自他楽会記事

- 一 二月本会記念会ヲ開ク 此日会スルモノ十余名
- 一 八月二日書籍検閲ヲ行フ 詮義ニ口スルモノ左ノ如シ
 - 一 我国ノ内政外交 赤穂義士実話
- 一 同月三上寿吉君入会セリ
- 一 斎藤徹木村卯太郎花田大六木村良太郎四君ヨリ書籍ヲ寄贈セラル
- 一 常集会ヲ開クコト六回
- 一 規則第十六条ヨリ附ヲ課セルコト十余回
- 一 現在会員十九名
- 一 本年中購求ノ書籍五十三部九十三冊ナリ 之レヲ前年ニ比スレハ十一部三十九冊ノ増加ヲ見ル 但シ全部ニ完結セサルモノヲ含ム
- 一 書籍廻覧度数百十五回ニシテ之レ前年ニ比スレハ三十五回ノ増加ヲ見ル
- 一 本年中貸付タル書籍大凡二百八十部ニシテ前年ノ百八十部ニ対シ

百余ノ増加ヲ見ル 今其種類ニヨリ之レヲ區別セバ左ノ如シ

- 小説百三十八部 雑七十部位 伝記八部 歴史三十部
- 理九部 哲学二十九部 地理七部
- 一 書籍十部位修贖セリ
- 一 十二月二十四日午後一時ヨリ総集会ヲ開ク
- 此日会スル者十三名 又一戸寅之助君入会ヲ許諾ス
- 報告、撰拳、森君ノ事、並ニ書籍検閲ヲ終ヘテ直ニ茶菓会ヲ開キ余興トシテ多読書ヲ投票セリ 其結果別紙ニ詳ナリ

4・01・17 明治二十六年度自他楽会会計決算報告

明治二十六年度自他楽会会計決算報告

- 収入之部
 - 一金二十三円六十一錢五厘
 - 内
 - 一金四十一錢五厘 前年度繰越高
 - 一金二十三円二十錢 会費及入会ヒ
 - 仕払之部
 - 一金二十二円七十六錢五厘
 - 内
 - 一金二十二円七錢七厘 (前年度未払 二円六十錢) 書籍購入費
 - 一金六十八錢八厘 雑費
 - 残金之部
 - 一金八十五錢 来年度繰越高

未収入之分

一金一円三十銭

未払之分

一金七円六十五銭

4・01・18 明治二十六年中自他案会購求書籍

明治二十六年中自他案会購求書籍

前年度未払分 二円六十銭

帝国史略 三冊 一円〇九銭

大疑獄 二冊 七十七銭

荒海夷一 二十四銭

鬼奴 二十一銭五厘

風の糸目 十四銭五厘

花相撲 十七銭

日本史学新説 十三銭五厘

千代田大輿 下 四十銭

新日本外史 七ヨリ 八十四銭

替使者 七マテ 三十八銭

天竺徳兵衛 二十四銭

※以上オモテ。

社会平権論 三十三銭

若葉 二十二銭

世界三天航記 四十銭

練絹新三郎 二十銭

日本通史 上下 一円

今古雅譚 二十八銭

相馬大作 三十銭

日本評林 七マテ 九十八銭

墨西哥記 二十三銭

徳川十五代史 三〇十一 八十四銭

明治政史 七ヨリ 一円五十銭

活文字 二十八銭

桜痴放言 二十五銭

懐旧 十八銭

仏教活論序論 九銭五厘

山岡鉄舟伝 十八銭

貧天地探検記 十四銭

益軒十訓 八十銭

闇黒亞弗利加 二ヨリ 七十銭

破太鼓 二十一銭五厘

罪ト罰 下 三十八銭

宗教骸骨 十銭

万国史綱 五十銭

教育ト宗教 二十八銭

教育ト宗教 十四銭

耶蘇教衝突 十六銭二厘

万国地理 上下 九十八銭

※以上ウラ。

四十年後日本 四十八銭

宗教進化論 一円十五銭

倫理学 九十銭

社会ノ原理 八冊 一円五十銭

日本戦史 一円四十銭

合計二十九円七十二銭七厘

内

仕払高二十二円〇七銭七厘

未払高七円六十五銭

富強策 二十銭

東亞ノ大勢 三十銭

偽哲学 十一銭

怪男児 十七銭

社会進化論 一円十五銭

春日局 十六銭

世界ニ於ケル日本人 一円二十銭

孔夫子 十七銭

族制進化論 八十一銭

闇の世の中 十八銭

雑費明細表 一円十五銭

小金四銭 小使へ菓子

小金二銭五厘 郵便

小金五銭四厘 状袋

小金五銭四厘 半切

小金八銭 半紙

小金十八銭二厘 厚紙

小金四銭八厘 表紙

小金十銭 糸二把

綴り方手数料

合計六十八銭八厘

右御報告申上候也

明治二十六年十二月二十四日

理事 高山亀代作 ■「朱印」高山

4・01・19 (書籍貸付簿)

※半紙に墨書。漢数字はもと「正」字を用いて数えたもの。

歴史

- | | | |
|----------|---------|---------|
| 三 國史眼 | 二 鬼奴 | 二 哲学消 |
| 一 日本史綱 | 三 浮城物語 | 四 我觀小景 |
| 三 帝國史略 | 一 まほろし | 三 普通心理学 |
| 一 埃及近世史 | 一 罪と罰 | 二 仏教活論 |
| 一 日本文学史 | 一 春日局 | 一 倫理学 |
| 一 万国史綱 | 一 小公子 | 一 社会進化 |
| 一 新日本史 | 一 新べん紫史 | 一 族制 |
| 一 徳川十五代史 | 一 倫理書 | |
| 一 山岡 | | |
| 一 ふらんくりん | | |
| 一 くろんうゑる | | |
| 一 すたんれー | | |
| 三 白河楽翁 | | |
| 一 臨淵言行録 | | |

4・01・20 明治二十七年自他楽会記事

明治二十七年自他楽会記事

- 一 常集会ヲ開クコト三回 蓋シ本年中書籍ノ発兌セルモノ僅小ニシテ価値ヲ有スルコト少ナケレハ其必要ヲ見サリシニ由ル
- 一 現在ノ会員十九名
- 一 十月会員藤田未類二君上京セルヲ以テ其資格ヲ消滅セリ
- 一 十月三上敬造君ノ入会ヲ許諾ス

- 一 規則第十七条但書ニヨリ一戸寅之助君ヲ退会者ト見做セリ
- 一 本年中購求ノ書籍三十四部四十五冊ニシテ之レヲ前年度ニ比スレハ多少ノ減少アリシカ之レ見ルヘキ書籍ノ発行少キト本会経費ノ之レヲ許サムルニアリ

- 一 書籍廻覧度数ハ六十五回ナリ
- 一 本年中貸付タル書籍大凡二百四十三部ナリシ
- 一 書籍十余部修繕セリ
- 一 総会ハ十二月二十八日午後一時ヨリ開ク

4・01・21 明治二十七年自他楽会決算報告

明治二十七年自他楽会決算報告

- | | |
|------------|--------------|
| 収入之部 | 総収入高 |
| 一金二十二円〇五銭也 | |
| 内 | |
| 一金八十五銭也 | 前年度繰越金 |
| 一金二十一円二十銭也 | 二十七年収入会費及入会金 |

- | | |
|-------------|-------|
| 支出之部 | 総支出高 |
| 一金二十一円二十七銭也 | |
| 内 | |
| 一金二十円七十銭也 | 書籍購入費 |
| 一金五十七銭也 | 雑費 |

- | | |
|---------|--|
| 残金ノ部 | |
| 一金七十八銭也 | |

未収入之部

一金二円四十銭也

徳川政教考	五十四銭
学教史論	四十八銭
日本風景論	四十八銭
新小説	二十銭

4・01・22 明治二十七年中自他案会購求書籍

明治二十七年中自他案会購求書籍

前年度未払分 七円六十五銭

王陽明 四十三銭

吉田松蔭 四十五銭

新撰日本外史五冊 六十銭

徳川十五代史十二 四十六銭

歴史評林五冊 七十銭

帝国史略下二 四十五銭五厘

闇黒アフリカ六 十三銭五厘

懐往事談 十八銭

馬鹿趙高 二十銭

排仏教 二十銭

藩幹譜四冊 一円二十銭

支那彙報 四十五銭

朝鮮彙報 四十五銭

鯨幾太郎 二十九銭

強者ノ権利 三十六銭

西郷隆盛伝三冊 九十九銭

めをと 十三銭五厘

憲法比較論 三十銭

4・01・23 雜費明細表

雜費明細表

一金八銭五厘

一金十七銭

一金十一銭

一金十四銭

一金三銭

一金三銭五厘

合計五十七銭

上封袋

半紙

半切

表紙

はかき

美濃紙

4・01・24 明治二十八年自他案会決算報告
 明治二十八年自他案会決算報告

収入ノ部

一金二十二円二十八銭

内訳

一金七十八銭

一金二十二円五十銭

前年度ノ繰越高

会費収入高

支出ノ部

一金二十一円七十銭六厘

内訳

一金二十円八十三銭

書籍購求高

一金八十七銭六厘

雑費

残金ノ部

一金五十七銭四厘

未収入ノ部

一金二円三十銭

未払ノ部

一金二円六十四銭

右之通

4・01・25 明治二十八年中自他楽会購求書籍

明治二十八年中自他楽会購求書籍

日韓古史断 一円二十六銭

孟亜聖

三十銭

西郷隆盛伝四 三十五銭

海賊

二十銭

今世海軍 二十八銭

日本風俗史

八十五銭

道徳学大原論 一円五十銭

教育者ノ精神

十八銭

欧州新政史上 三十銭

佐久間象山

三十六銭

大奥の女中三冊 八十一銭

英国海戦史

三十銭

欧州新政史中下 六十銭

コサック東方侵略史

二十五銭

陣中日記 二十五銭

桜田御所上中

三十六銭

西郷隆盛伝五 三十三銭

半月城

二十七銭

※以上オモテ。

大隈伯昔日譚 一円三十五銭

日蓮記

九銭

聖徳太子 三十銭

十二時會稽曾我

九銭

徳川光国 二十五銭

関原誓凱歌

九銭

波斯ノ旅 十八銭

東鑑拜賀卷

四銭五厘

日本西教史 一円四十銭

古賀市

二十一銭

衣笠城 二十五銭

和田守記臆法

二円二十銭

台湾陣 二十五銭

後ノ海賊

二十七銭

不言不語 二十五銭

日本文学集覽

二十二銭

国語のため 二十二銭五厘

浅田宗伯翁伝

二十六銭

後の三日月 十八銭

伏魔伝

二十五銭

※以上ウラ。

近松著作一斑 三十五銭

合計

二十二円七十七銭

瀧口入道 二十五銭

内 二十二円七十七銭

藩幹譜五六 六十銭

内

露西亞帝國 三十四銭

仕払高二十円八十三銭

親鸞聖人 三十六銭

未払高一円九十四銭

梧陰存稿 六十二銭

内

名替実録 一円十銭

内

風雨漫録 十四銭

内

日本風俗史下 一円七十銭

内

北氷洋及アラスカ 七十銭

内

※「北氷洋及アラスカ」の枠外に「之ハ二十九年一月之部ニアリ」と記す。

4・01・26 雑費明細表

雜費明細表

一金十四錢四厘	半紙
一金二十八錢	表紙
一金十錢	糸
一金十五錢二厘	状袋半切
一金二十錢	小使手当
合計八十七錢六厘	

※「二十九年中庶務報告」の前にオモテに「明治二十九年末ノ報告ノ自他案會」と墨書した半紙(二つ折り)を挿入する。

4・01・27 明治二十九年中庶務報告

※以下、「明治三十年中庶務報告」まで紺色で印刷された罫紙に書かれる。

明治二十九年中庶務報告

本會々員八目下二十名ニシテ本年中退會一名入會四名ナリ

會日

本年ハ絶テ常集會ヲ開キタルコトナシ是レ集會シテ協議ヲ要スル程ノ書籍ナキニヨリテ來會セザルニ似タリ

例ニヨリ紀念會及夏季書籍ノ檢閲ヲナシタルノ外三百部ノ祝賀會ヲ舉行セリ

役員

前理事三浦君辭職セシニヨリ仮リニ山中氏ヲ以テ其職ヲ執ラシメタリ

書籍

本會所藏ノ書籍ハ三百十五部、内本年購求ノ者四十部ナリ之ヲ冊數ニスレバ四百七十三冊内本年ノ部四十六冊ナリ

本年寄贈ニカ、リシモノ二冊アリ

費用

取入二十四円八十四錢九厘 仕払二十円六十六錢ナリ

4・01・28 明治二十九年自他案會記事

明治二十九年自他案會記事

二月二十三日 例ニヨリ本會紀念會ヲ和徳小学校内ニ舉行シ会スルモノ十二名

同 阿保虎雄君本日入會セリ

三月十三日 清野八之助君入會セリ

四月 會員齋藤典治君台湾行ノ故ヲ以テ退會セリ

五月十八日 本會理事三浦武三郎君中学校へ転任ノ故ヲ以テ辭職シ山中嵯

峨之助氏ヲ以テ仮リニ理事ノ職ヲ執ラシム

八月十二日 午後一時ヨリ書籍ノ檢閲ヲナセリ

九月十日 本會所藏ノ書籍部數三百ニ至ルヲ以テ本日午後和徳小学校内ニ

於テ祝賀會ヲ舉行セリ 來會者十名飲ヲ尽シ午後九時解散セリ

九月二十八日 今義勇君入會セリ

十二月十二日 古川寿平君入會セリ

十二月十九日 今義勇君ヨリ戦後ノ日本テフ小説ヲ寄贈セリ

十二月二十六日 總會ヲ開ク來會十名 書籍ヲ調へ茶話會ヲ催セリ 理事

ハ新ニ山中嵯峨之助氏ニ依頼セリ

4・01・29 會計明細表 明治二十九年

會計明細表 明治二十九年

収入ノ部

金二十四円八十四銭九厘

内

金五十七銭四厘

前年度繰越高

金一円八十銭

前年分ノ会費

金二十円十銭

本年分ノ会費

金八十銭

明年分ノ会費

金六十七銭五厘

本箱新調費トシテ

金九十銭

入会金

支出ノ部

金二十円六十六銭

内

金十六円六十二銭

本年ノ書籍代

金一円八十四銭

昨年ノ未払書籍代

金一円

本箱代

金四十銭

小使手当

金八十銭

半紙 糸 表紙 半切 状袋ノ類

差引残金 四円十八銭九厘

未収入高 一円四十銭

未払高 三円六十五銭

収入高

金額 五十七銭四厘

内訳

支払高

金額

内訳

一月 二円九十銭

会費

二円四十銭

二円 書籍代

二月 一円五十銭

会費 内十銭ハ入会金 二円二十銭

四十銭 雑費

三月 一円四十五銭

会費 内十五銭入会金 一円

二十銭 書籍代

四月 一円二十銭

会費 内十銭入会金

一円 書籍代

五月 六十銭

会費

七十銭

七十銭

六月 二円

同

二円四銭

四銭 雑費

七月 二円八十銭

同

三円四十三銭

三円四十三銭

八月 一円三十銭

同

一円

一円 本箱

九月 三円七十六銭

会費 三十銭 入会金 三十六銭 本箱費

四円三十三銭

四円三十三銭

十月 二円二十一銭五厘

会費 三十一銭五厘 本箱金

三円二十銭

三円 書籍代

十一月 一円六十五銭

会費 二十五銭 入会金

十八円四十六銭

十八円四十六銭 書籍代

十二月 二円九十銭

会費

二円二十銭

二円二十銭 雑費

合計 八十四銭九厘

二十四円

備考 右の内 一円八十四銭は前年度の未払に係る

右差引残金四円十八銭九厘

4・01・31 明治二十九年中自他案会記入書籍

明治二十九年中自他案会記入書籍

書名 冊数 記入月日 価額

北水洋洲及アラスカ沿海見聞録 一冊 一月 七十銭

凱旋記念帖 三冊 〃 一円五十銭

4・01・30 会計一覽表 明治二十九年
会計一覽表 明治二十九年

おかめ八目	一冊	〃	二十五銭
海戦日録	一冊	〃	三十六銭
桐一葉	一冊	三月	三十四銭
十九世紀史	一冊	〃	四十五銭
故西郷大将遺言	二冊	〃	四十五銭
林子平	一冊	〃	二十銭
近世女風俗考	一冊	四月	八十五銭
軍隊	一冊	〃	二十七銭
佐藤信淵翁	一冊	〃	五十銭
生物始原	一冊	〃	一円三十五銭
蒲生君平	一冊	五月六日	二十銭
小説家	二冊	六月八日	三十六銭
伊藤仁斎	一冊	〃	二十銭
二千五百年史	一冊	〃	一円五十銭
断雲流水	一冊	〃	二十七銭
世界将来ノ海王	一冊	七月二十日	二十五銭
平野国臣	一冊	八月七日	二十銭
阪本龍馬	一冊	〃二十四日	十五銭
颯々時雨	一冊	〃	二十八銭
平壤包圍攻撃	二冊	〃	六十四銭
婚姻進化論	一冊	九月十四日	一円六十銭
文学者となるの法	一冊	〃十七日	十五銭
平賀源内	一冊	〃	二十銭
近藤重蔵	一冊	〃	附録ニ付無価 寄贈ノ部
近松時代浄瑠璃	一冊	〃	四十五銭
平田篤胤	一冊	十月二十一日	二十銭

文学その折々	一冊	十一月十三日	一円
朝鮮王国	一冊	〃	四十五銭
内政外交衝突史	一冊	〃	二十二銭五厘
小弦集	一冊	〃	二十七銭
韓岡純理批判解説	上二冊	〃三十日	一円十二銭五厘
昨夢紀事	上一冊	〃	九十銭
東西遊記	一冊	〃	四十五銭
東洋分国史	上一冊	〃	三十五銭
由比正雪	一冊	十二月八日	二十銭
小堀遠州	一冊	〃十一日	二十銭
本阿弥光悦	二冊	〃十九日	九十銭
哲学新論	一冊	〃	二十銭
大塩平八郎	一冊	〃	十三銭
戦時大探偵	一冊	〃	今義勇君ノ寄贈
戦後の日本	一冊	〃	四十八冊内二冊ハ寄贈 一冊ハ附録
合計			二十円二十七銭

4・01・32 本会書籍部類表	明治二十九年末調			
本会書籍部類表	明治二十九年末調			
部類	前年マデノ書籍部数	本年記入書籍部数	合計	詮議中ノ書籍部数
哲学及宗教	三八	三	四一	一
政治及経済	三三	一	三四	一
科学	一〇	一	一一	
歴史及伝記	六〇	二	八一	三
地理及紀行	一六	二	一八	一
文学及随筆	二二	一	二三	二

小説	六六	五	七一	四
雜著	三〇	八	三八	五
合計部数	二七五	四二	三一七	一七
右ノ冊数	四二九	四八	四七七	一七
右ノ内寄贈ニ係ルモノ				
部数	一七	二	一九	
冊数	一八	二	二〇	
未揃ノ者		四		

4・01・33 二十九年未詮儀スヘキ書籍

二十九年未詮儀スヘキ書籍

薩長土肥	一冊	排仏教	一冊
風流仏	一冊	比較憲法論	一冊
岡本子	一冊	聖徳太子三十年に発見	一冊
巴波川	一冊	露西亜帝国	同 一冊
三門世界周遊記		梧陰存稿	同 一冊
五十銭		林子平	同 一冊
今世名家文鈔			
信任投票ノ原理	一冊		
国会解散ノ準備			
明治紳士録	二冊		
大疑獄 見ヘタリ	上一冊		
闇の世の中	一冊		
懐往事談	一冊		

4・01・34 明治三十年度自他案会記事

明治三十年度自他案会記事

一月十七日 一戸寅之助氏兼テ本会ヨリ借用ノ書籍帰省(五十三)ヲ紛失セシトテ文芸倶楽部一冊ヲ以テ弁償セリ

同三十日 會員棟方悌二氏兼テ借用ノ「白河案翁ト徳川時代」ヲ紛失セシトテ近松門左衛門ヲ以テ弁償セリ

二月九日 會員棟方悌二氏ハ金ヲ紛失セシトテ紫式部一冊ヲ以テ弁償セリ 會員山中嵯峨之助氏鬼奴紛失セシトテ清少納言一冊ヲ以テ弁償セリ

※二月 紀念会ヲ開ク 二九會理事木村俊次郎來会ス(粹外)

四月六日 相馬保之進氏ヨリ台湾外記一部(三十一) 兵要録一部(五)ヲ寄贈セラレタルヲ以テ謝状ヲ送リタリ

七月五日 會員清野八之助氏金一部ヲ寄贈セリ

八月十三日 書籍大檢閲ヲ行ヘリ 來会セルハ東海武一、古川寿平、齋藤竹二郎 岩庭為世、木村卯太郎及理事山中嵯峨之助ノ六氏ナリ 此調ニヨレバ前調ヨリ以後新二行衛ノ知レザルモノナシ 此日十数部ノ破損ヲ修繕セリ

此日亦會員五名ヲ増スコト、書籍一個新調(會員ヨリ十五銭ツ、徴取スルコト)ノ件ヲ議決セリ

※八月 相馬文太郎君掘出物紛失ニツキ海嘯義捐小説ヲ以テ弁償セリ(粹外)

九月十三日 會員今義勇氏ヨリ南島探檢一部ヲ寄贈セラル

十月四日 齋藤常三氏會員トナル

十二月二十日 總會ヲ開ク 來スル者 高山 東海 木村 三上敬三 三上寿吉 岩庭 成田 山中ノ八氏ナリ 此日書籍ヲ調ヘ茶菓ヲ出セリ

相馬文太郎氏ハ昨年十月ヨリ会費モ納メサルヲ以テ規則ニヨリ除名スルコトトセリ

此日規則第二条ヲ二十五名ト改正ス

4・01・35 明治三十年中庶務報告

明治三十年中庶務報告

本年末ノ会員ハ二十一名ニシテ退会者ナク入会者一名アリシ

会日

本年ハ絶テ常集会ヲ開キタルコトナシ

例ニヨリ紀念会及夏季書籍検閲ヲナシタリ

役員

異同ナシ

書籍

本会所蔵ノ書籍ハ三百六十七部 其内本年新ニ購求ノモノ四十一部 寄贈五部ナリ 之ヲ冊数ニ計算スレハ全書籍五百五十三冊 其中本年購求ノ部ハ五十八部ナリ 但シ本年ノ部ニハ未揃ノモノアリ又昨年ノ続モアリト知ルヘシ

費用

収入高二十九円三十八銭九厘 支払高二十五円十四銭五厘 残額四円二十四銭四厘 未払六円十五銭ナリ

理事 山中嵯峨之助 ■「朱印：山中」

4・01・36 会計明細表 明治三十年度

※訂正箇所に「」の朱印を捺す。

会計明細表 明治三十年度

収入ノ部	支払ノ部
一 金二十九円三十八銭九厘	一 金二十五円十四銭五厘
二 金三十九円二十八銭九厘	
内訳	内訳
金四円十八銭九厘 前年繰越高	金三円六十五銭 昨年ノ未払い書籍代

金一円十銭 前年分ノ会費

金二十円九十銭 本年分ノ会費

金八十銭 明年分ノ会費

金五十銭 入会費

金二円八十銭 本箱新調費

以上

金十六円六十二銭 本年ノ書籍代

金三円 外二国史大系予約ノ内へ

金十九銭五厘 半紙

金六十九銭 表紙

金二十四銭 目録用両面紙

金十五銭 丁糸代

金十五銭 地図表具代

金十五銭 夏季書籍調ノトキ菓子代

金二十銭 小使手当

差引残金 五円十四銭四厘

未払高 六円十五銭 三円三十銭本代

未収入高 二円九十銭 二円八十五銭本箱代

備考 外二国史大系ノ金額アリ

4・01・37 本會書籍部類表 明治三十年末調

※紺色で印刷した野紙に記す。

本會書籍部類表	明治三十年末調	合計	詮儀中ノ部数
部類	前年マテノ部数	本年記入ノ部数	
哲学及宗教	四一	二	四一
政治及經濟	三三	二	三五
科学	一一	二	一一
歴史及伝記	八〇	二	一〇三
地理及紀行	一七	二	一九
文学及隨筆	二三	二	二五
小説	七〇	一六	八六

雜書 三八 九 四七

合計部数 三二三 五四 三六七

右ノ冊数 四七三 八〇 五五三

※本年記入ノ部ニ四部ノ弁償モ含メリ(梓外)

右ノ内寄贈ニ係ルモノ

部数 一九 五 二三

冊数 二〇 一八 三八

未揃ノ者 二 一 三

備考 本年購求ノモノニテ昨年ノ部ニ継続スルモノニ部アリ

4・01・38 (不明図書リスト)

※朱色で印刷した罫紙に記す。

本年末書籍調ノトキ新ニ見エザルモノノ左ノ如シ

社会進化論 見エタリ

宗教進化論 見エタリ

河及湖沢

4・01・39 明治三十一年度自他楽会記事

※以下、4・01・79「明治四四年会計報告」まで紺色で印刷された罫紙に記す。

明治三十一年度自他楽会記事

一月 会員相馬文太郎氏規則ニヨリ除名ス

同日 会員今助次郎君死去 本会ヨリ一円ノ香花料ヲ贈レリ

三月二十七日 本会創立第十紀念会ヲ挙行シ会場ハ和徳尋常小学校内ニシ

テ来会セシモノ高山、三浦、東海、成田、三上、寿吉、棟方、阿保、岩庭、清野、三上

敬三 齋藤常三 齋藤徹 木村 今 齋藤竹次郎 山中ノ十六氏ナリ(会費八十五)

三月 八戸逸太郎氏退会セリ

七月十二日 書籍検閲セリ 来会スルモノ木村、東海、岩庭、齋藤常三、三上

敬三、棟方、小和田、成田、山中ノ九氏ナリ

此月 元ノ会員相馬文太郎氏兼テ借用ノ本七冊紛失ノ故ヲ以テ三百諸侯ヲ

以テ弁償セリ

八月二十二日 清野八之助氏退会セリ

十二月二十六日 總會ヲ事務所ニ開ク

会員移動 除名一名 死亡一名 退会二名 現在員十七名

会日 常集会ハ開キタルコトナシ 紀念会及夏季書籍検閲各一回

ツ、

購求書籍数 三十三冊(二十九種 内未揃五種 国史大系ヲモ含ム)

寄贈書籍数 十二冊(一種)

全書籍数 三百九十五部(五百九十六冊)

費用

収入高 二十四円六十四銭四厘

未収入高 二円三十銭

支払高 二十四円三十五銭

未払高 二円五十六銭

理事 山中嵯峨之助

4・01・40 会計表 明治三十一年度

會計表 明治三十一年度

収入ノ部

一金二十四円六十四銭四厘

内訳

一金五円十四銭四厘 前年度繰越高
 一金六十銭 前年度会費
 一金十八円十銭 本年度会費
 一金八十銭 明年度会費

支払ノ部

一金二十四円三十五銭

内訳

一金三円三十銭 前年度ノ未払書籍代
 一金十二円三十一銭 本年度ノ書籍代
 一金三円 国史大系ノ内へ
 一金二円 今助次郎氏香花料
 一金九十一銭 菓子代
 一金三円 本箱代
 一金四十銭 小使手当
 十金四十口銭 雑費

差引 金二十九銭四厘残り

未払高 二円五十六銭 外二国史大系ノ残アリ

未収入高 二円三十銭

理事 山中嵯峨之助

4・01・41 本会書籍数 明治三十一年末調

本会書籍数 明治三十一年末調

部類 前年度迄ノ部数 本年度記入ノ部数 合計

哲学及宗教	四一	一	四二
政治及経済	三五		三五
科学	一一		一一
歴史及伝記	一〇三	一三	一一六
地理及紀行	一九	一	二〇

文学及隨筆

二五

三

二八

小説

八五

四

八九

雜書

四七

七

五四

合計部数

三六六

二九

三九五

※本年度記入ノ部ニ一部ノ并償モ含メリ(上欄)

右冊数

五五六

四〇

五九六

右ノ内寄贈ニ係ル者

部数

二三

一

二四

冊数

三八

一二

五〇

未揃ノモノ

二

四

六

備考 本年購求ノ者ニテ一部即チ四冊ハ前年度ニ継続ノモノハ之ヲ前年度ノ部ニ入ル

4・01・42 三十二年度末庶務報告

※訂正箇所ニ朱印を捺す。

三十二年度末庶務報告

會員移動

會員三名退会(内一名)シ一名ノ入会者アリ 現在會員十五名ナリ

会費

収入八十八円九銭四厘 支払八十八円四銭五厘 差引四銭九厘ヲ残セリ
 然レトモ猶未納会費二円六十銭ヲ徴取シ得ヘクモ未払高口「五九」円
 八十五銭五厘ニ対シテ猶三円五十銭六厘ノ不足ヲ生セリ 是レ會員ノ一顧

ヲ煩スタキコトナリ

書籍

本年中購求ノ書籍ハ三十種(三十三冊)ニシテ其價格金十五円七十四錢
(外二国)之ヲ初号ヨリ通計スレバ四百二十七部トナレリ
本年寄贈ニカ、リシ書一冊アリ

理事 山中嵯峨之助

4・01・43 三十二年中自他案會購求書籍

三十二年中自他案會購求書籍

日本陽明学 一冊

金色夜叉 卷中

山鹿素行 一冊

大石良雄 一冊

大地誌 卷二 一冊

蜀山人 一冊

伊藤東涯 一冊

大久保甲東 一冊

勝海舟 一冊

日本仏教史綱 卷ノ下

心性遺傳論 一冊

南嶋沿革史論 一冊

欧米漫遊雜記 一冊

北海道史稿 一冊

トーマス・英雄論 一冊

幕末小史 卷ノ三

日本名勝記 二冊

国史大系 卷ノ九ヨリ十マテ

審美綱領 二冊

藤田東湖伝 一冊

エミール抄 一冊

国語学小史 一冊

墨水遺稿 一冊

達磨 一冊

国文中仏教文学 一冊

にこり水 一冊

滑稽妙文集 一冊

東京風俗志 上ノ卷

森先生伝 一冊

五十家訪問録 一冊

続当世活人画 一冊

以上

計十五

三十種 三十三冊

代価十五円七十四錢

代価外二国史大系二冊分

哲学宗教

政治及經濟

科学

文学及隨筆

歴史及伝記

内三種(四冊)ハ前ノ統キ

地理及紀行

内一種(二冊)ハ前ノ統キ

一円八錢

四十五錢

七十五錢

一円三十錢

一円

二十二錢五厘

三十六錢

二十五錢

二十七錢

五十錢

九十錢

三十六錢

二十五錢

計十五

代価十五円七十四錢

代価外二国史大系二冊分

三種

四冊

一冊

一冊

五種

五冊

十二種

十三冊

三種

四冊

小説 三冊 三冊

内一種(二冊ハ前ノ続キ)

雑書 四種 四冊

4・01・44 三十三年中本会記事

三十三年中本会記事

一月十八日 会員岩庭為世氏死去セシニヨリ本会ヨリ香花料一円ヲ送り会
員亦二十二日ノ葬送ニハ会葬セリ

二月二十五日 午後三時ヨリ事務所ニ於テ例年ノ如ク第十二紀念会ヲ開キ
会スル者 東海武一 棟方悌二 三上寿吉 三上敬三 齋藤徹 阿保虎雄 齋藤常

三 小和田武司 今義勇 木村卯太郎 及理事山中嵯峨之助ノ十一名ニシテ茶菓
ノ催アリ雑話ヲナシ午後九時散会セリ

三月二十五日 菊池元衛氏ヨリ津輕信政公事蹟一冊ヲ寄贈セララル

四月十一日 会員齋藤竹次郎上京ノ為退会セリ

八月一日 三上主税氏入会セリ

同十二日 夏期書籍調ヲナセリ 来会者三上敬三 齋藤常三 三浦武三郎

東海武一 三上寿吉 木村卯太郎 理事山中嵯峨之助ノ七名ナリ

十二月一日 会員古川寿平氏不在中除名セリ

十二月二十七日 総会ヲ開ク

4・01・45 三十二年中自他案会々計報告

※訂正箇所に朱印を捺す。

三十二年中自他案会々計報告

収入之部

一金十八円九銭四厘

内

一金二十九銭四厘

一金五十銭

一金一円八十銭

一金十四円七十銭

一金八十銭

前年繰越高

入会金

前年度ノ会費

本年度ノ会費

明年度会費

支出之部

一金十七円六十四銭五厘

内

金二百五十六銭

金十一円五十八銭

金二円

金一円

金六十銭

金四十銭

差引残金四銭九厘

前年ノ残払高

本年ノ書籍分払高

国史大系ノ内へ

岩庭氏へ香典

雑費

小使へ手当

翌年度へ繰越

未収入会費 二円三十銭

未払高 四円二十五銭五厘

外ニ国史大系分ノ残

4・01・46 本会書籍数 明治三十二年末調

本会書籍数 明治三十二年末調

前年度迄ノ部数 本年度記入ノ部数

合計

哲学及宗教	四二	三	四五
政治及経済	三五		三五
科学	一一		一一
歴史及伝記	一一六	一〇	一二六
地理及紀行	二〇	二	二二
文学及隨筆	二八	五	三三
小説	八九	二	九一
雜書	五四	四	五九
合計部数	三九五	二六	四二二
右冊数	六〇二	二八	六三〇

右ノ内寄贈ニ係ル者

部数	二四	一	二五
冊数	五〇	一	五一

未揃ノモノ 六

備考 前年ヨリ継続ノモノハ其冊数ヲ前年ノ部ニ入ル

4・01・47 明治三十三年中庶務報告

※文番名の下に「山中」の朱印を捺す。

明治三十三年中庶務報告

会員移動

入会員二名死亡一名ニシテ現在会員十六名ナリ

書籍

本年中購求ノ書籍数三十四種(三十七冊) 其価格金十六円八十銭五厘(外二

国史大系二冊分) 其内前年購求ノ書籍ニ継続書冊二種(二冊)ナリ

寄贈ニカ、リシ書籍八部(十四冊)アリ

之ヲ初号ヨリ通算スルニ四百五十九号ノ多キニ至リ其冊数六百七十八冊ナリ

經費

収入金十八円六十四銭九厘 支出金十六円二十一銭 差引金二円四十三銭
九厘ノ残余金ハ之ヲ翌年經費ニ繰越スモノトス

然レトモ未納會費四円四十銭未払金六円四十三銭五厘アルヲ以テ若シ悉ク
収入アル時ハ漸ク収支ヲ償フニ足ルノミ

会日

本年度ハ一回モ集會セシコトナシ 殊ニ紀念會及夏季ノ書籍調モ都合ニヨ
リ中止セリ

4・01・48 明治三十三年中本會記事

※文番名の下に「山中」の朱印を捺す。

明治三十三年中本會記事

一月二日 相馬寛 佐藤勝三郎ノ両氏入會セリ

二月 例ニヨリ紀念會ヲ開クベキ処都合ニヨリ中止セリ

四月十三日 福士末之助氏ヨリ左ノ書籍ヲ寄贈セラレシヲ以テ謝状ヲ送り

タリ

物理学現今之進歩 一部 六冊

埤氏論理学 一部 一冊

教育精義 一部 一冊

新論 一部 二冊

心理学十回講義 一部 一冊

ラッ認識論 一部 一冊
 ド氏認識論 一部 一冊
 植物学講義 一部 一冊

六月三十日 旧会員齋藤典治氏婦省ニツキ氏ヲ招待シ茶話会ヲ開ケリ 来
 会セシモノ十二名ナリシ

九月二十日 山中理事教育会所用ノ為旅行セシヲ以テ其間四十日間会員三
 上敬三氏ニ依リニ理事事務ヲ委托セリ

十月二十九日 会員成田武衛死亡 此日葬送ノ日ニ当レルヲ以テ香花料一
 円ヲ贈呈シ尚ホ会員之ニ会葬セリ

十一月九日 工藤実氏ヨリ世界宗教一斑一冊寄贈セララル

※十二月二十七日総会ヲ開ク(上欄)

4・01・49 明治三十三年中自他業会々計報告

※文書名の下に「山中」の朱印を捺す。

明治三十三年中自他業会々計報告

収入ノ部

一金十八円六十四銭九厘

内

一金四銭九厘

前年度繰越高

一金一円

入会金

一金二円三十銭

前年度ノ会費

一金十四円七十銭

本年度ノ会費

一金六十銭

明年度ノ会費

支出ノ部

一金十六円二十一銭

内

一金四円二十五銭五厘 前年度ノ残払高

一金十円三十九銭 本年度書籍代内へ

一金一円 成田武衛へ香花料

一金四十五銭 菓子代

一金十一銭五厘 奉書及表紙

差引残金二円四十三銭九厘

未収入 四円四十銭

未払高 六円四十三銭五厘

4・01・50 三十三年中購求書籍

三十三年中購求書籍

近世文学史論 一冊 三十五銭

金色夜叉 後編 一冊 三十五銭

大日本通史 上 一冊 一円三十五銭

古戦場 一冊 三十七銭

国史大系 十一 十二 二冊 八十二銭

古風土記 一冊 十八銭

楊貴妃 一冊 十八銭

新建国 一冊 十八銭

血涙録 一冊 二十一銭

立身策 一冊 三十二銭

日本戦史 桶狭間 一冊 一円

外地理講義 一冊 三十八銭

近世德育史伝 一冊 七十六銭五厘

大英国漫遊雜記	一冊	六十三錢
金剛石の原野	一冊	二十五錢
西伯利亞旅行	一冊	〃
千島探検録	一冊	十錢
中江藤樹	一冊	三十一錢
匏庵遺稿	二冊	一円二十錢
英国今代史 上	一冊	二円十八錢
支那哲学史	一冊	一円八錢
菅公伝	一冊	三十八錢
燕山楚水	一冊	四十錢
熊本籠城談	一冊	二十八錢
サハラ大沙漠	一冊	三十五錢
ヒマラヤ山探検	一冊	三十五錢
現代女氣質	一冊	三十一錢
金堀少年	一冊	二十六錢
遠征奇談	一冊	二十六錢
二勇少年	一冊	二十六錢
小野小町	一冊	二十二錢
クルーゲル	一冊	二十五錢
東邦近世史 上	一冊	九十八錢
白山黒水	一冊	四十三錢

以上三十四種(三十七冊)代価十六円八十錢五厘 外二国史大系二冊分

4・01・51 本會書籍數
本會書籍數

部類	前年度迄ノ部數	本年度記入ノ部數	合計
哲学及宗教	四五	七	五二
政治及經濟	三五	一	三五
科学	一一	二	一三
歴史及伝記	一二六	一四	一四〇
地理及紀行	二二	四	二六
文学及隨筆	三三	二	三五
小説	九一	三	九四
雜書	五九	八	六七
合計部數	四二一	四〇	四六一
右冊數	六三三	四八	六八一
右ノ内寄贈ニカ、ル者			
部數	二五	八	三三
冊數	五一	一四	六五
未揃ノ者	六	三	九

備考 前年ヨリ継続ノ者ハ其冊ヲ前年ノ分ニ入ル

4・01・52 明治三十四年中庶務報告

※文書名の下に「山中」の朱印を捺す。

明治三十四年中庶務報告

會員移動

會員移動ナシ現在十六名ナリ

書籍

本年中購求ノ書籍數ハ三十種(三十五冊)其價格十四円八十三錢(外二国史大

系二冊分) 其内前年購求ノ書籍ニ繼續書冊一種(二冊)アリ之ヲ前年度ニ
比スレバ四種(二冊)ヲ減少シ価格一円九十七錢五厘ヲ減少セリ

此外寄贈ニカ、リシ書籍二部(二冊)アリ

之ヲ初号ヨリ通算スレバ四百九十号ノ多キニ達シ其冊数七百十八冊トナル

經費

収入金二十円七十三錢五厘 支出金二十円三十五錢 差引金三十八錢九厘
ノ殘金ハ之ヲ翌年經費ニ繰越スモノトス

而シテ未払高ハ僅ニ一円二十一錢五厘アルハ經費上割合ニ購求書籍ノ少ナ
キニ依ル(二円位)ノミナラズ雜費支出ノナキニ依レリ 然レトモ未納會
費五円アルヲ以テ悉ク収入ノ上ハ優ニ余リアリ(但シ国史大系ノ分ハ未タ七円
位ノ未払ナリ)

会日

僅ニ一回ノ紀念会ヲ開キシ外夏季、冬季ノ書籍検閲モ行ハザリシ

4・01・53 明治三十四年中本會記事

※文書名の下に「山中」の朱印を捺す。

明治三十四年中本會記事

二月十三日 會員今義勇君ヨリ北京籠城一冊寄贈セラル

同月二十六日 會員木村卯太郎君ヨリ博覽古言一冊寄贈セラル

同月二十八日 第十三回紀念会ヲ開キ三浦高山 東海 小和田今 棟方相

馬 佐藤三三上敬三三上主税山中ノ十一名來会シ午後七時散會セリ

以上ノ外記事ナシ

※文書名の下に「山中」の朱印を捺す。
明治三十四年中會計報告

収入ノ部

一金二十円七十三錢九厘

内

一金二円四十三錢九厘

一金四円十錢

一金十三円九十錢

一金三十錢

支出ノ部

一金二十円三十五錢

内

一金六円四十三錢五厘

一金十三円六十一錢五厘

一金三十錢

社会的教育学	一冊	四十八錢
漂流少年	一冊	二十六錢
決死少年	一冊	同
伊達行朝勤王事歴	三冊	一円五十錢
湖上ノ美人	一冊	五十七錢
米國漫遊雜記	一冊	三十三錢
日本風俗	一冊	二十八錢
朝鮮開化史	一冊	九十錢
海の歴史	一冊	二十五錢
殖民少年	一冊	二十六錢
南洋ノ風雲	一冊	三十八錢
雨夜物語	一冊	三十錢
國史大系 卷ノ十三 卷ノ十四	二冊	
航海少年	一冊	二十六錢
元祿時勢粧	一冊	二十六錢
カーネギー	一冊	二十五錢
醉人の妻	一冊	五十錢
英文学史	一冊	一円八十錢
仇浪	一冊	五十五錢
韓退之	一冊	三十五錢
一年有半	一冊	三十三錢
統一年有半	一冊	三十五錢
自然界ノ現象	一冊	五十錢
日本戦史 姉川役	三冊	一円三十五錢
俠勇少年	一冊	二十七錢
航海奇譚	一冊	二十二錢

統遠征奇談 一冊 二十七錢
 旧式の唯物論 一冊 二十七錢

以上三十種(三十五冊)代價十四円八十三錢 外二國史大系二冊分

4・01・56 本會書籍數 三十四年末現在

本會書籍數 三十四年末現在

部類 前年度マ テノ部數 本年度記 入ノ部數 合計

哲学及宗教 五二 七 五四

政治及經濟 三五 〃 三五

科学 一三 〃 一四

歴史及伝記 一四〇 六 一四六

地理及紀行 二六 一 二七

文学及隨筆 三五 二 三七

小説 九四 一 一〇五

雜書 六七 八 七五

合計部數 四六一 三一 四九二

右冊數 六八三 三五 七一八

右ノ内寄贈ニカ、リシ者

部數 三三 二 三五

冊數 六五 二 六七

未揃ノ者 九 〃 九

備考 前年度ヨリ継続スヘキモノハ前年度ノ分ニ入ル

4・01・57 削除書籍

※三十五年二月(梓外)

削除書籍

- 明治紳士録 一冊
- 信任投票ノ原理 一冊
- 国会解散ノ準備 一冊
- 清少納言 一冊
- 南洋大波瀾 一冊
- 無名氏 一冊
- 薩長土肥 一冊
- 排仏教 一冊
- 比較憲法論 一冊
- 新撰夷論 一冊
- 支那文明論 一冊
- 春日局 一冊
- 海賊 一冊
- 森先生ノ伝 一冊
- 梧桐存稿 一冊
- 格朗究 一冊
- 墨染桜 一冊
- 妾薄命 一冊
- 新世帯 一冊
- 山吹つか 一冊
- 巴波川 一冊
- 風流仏 一冊
- 色さんげ 一冊
- 懐往事談 一冊

森健枝失之
同
同
今助次郎失之
成田武衛失之
同
相馬文太郎失之
同
同
同
同
同

4・01・58 三十四年中不明ノ書冊

三十四年中不明ノ書冊

岡目八目

十文字

戦後の日本

欧州新政史

後海賊

修辞学〔消〕

右詮議ヲ要ス

4・01・59 明治三十五年中会計報告

明治三十五年中会計報告

収入ノ部

一金二十七円三十八銭九厘

内

一金三十八銭九厘

一金五円

一金十八円五十銭

一金三円五十銭

支出ノ部

一金二五円二十四銭

内

一金一円二十一銭五厘

一金十八円十二銭

前年度繰越高
前年度分ノ会費

本年分ノ会費
本年中ノ入会金七人分

前年購求書籍未払高

本年購求書籍支払高

一金八十銭 紀念会菓子代
 一金八十銭 小使へ
 一金十二銭五厘 茶代
 一金八銭 錠破損二付新調
 一金四円 国史大系へ
 一金十銭 半紙代
 差引残高二円十四銭九厘
 会費未収入高 五円三十銭
 右報告申上候也

理事 三上敬三■〔朱印〕

4・01・60 明治三十五年購求書籍報告

※文書名の下に朱印を捺す。

明治三十五年購求書籍報告
 家康と直弼 一冊 一円二十銭
 諺言 ” 一円
 況翁閑話 ” 二十三銭
 米俵画談 ” 五十五銭
 はな ” 一円二十五銭
 東京風俗史 ” 六十銭
 不撓少年 ” 二十七銭
 世界大地誌 ” 一円十七銭
 山地元治 ” 二十二銭
 詩聖たんで ” 七十二銭
 金色夜叉 続編 ” 四十五銭

梨壺之五歌仙 一冊 二十八銭
 加賀の千代 ” 十八銭
 楊墨哲学 ” 一円三十五銭
 新美辞学 ” 一円二十三銭
 国語学研究史 ” 三十銭
 山崎闇斎派ノ哲学 ” 六十五銭
 東関紀行 ” 三十五銭
 新社会 ” 四十五銭
 生物学現象動物編 ” 七十銭
 同 植物編 ” 六十銭
 文界大魔王 ” 三十六銭
 世界読本 ” 七十五銭
 地獄の花 ” 四十銭
 雪崩と百合 ” 十八銭
 天文講話 ” 一円
 日本古学派之哲学 ” 一円五十銭
 外国史大系へ ” 四円
 外に菅公報徳談 二十七冊 代価二十一円九十四銭
 十八銭
 三十二円十二銭

4・01・61 明治三十六年会計報告

明治三十六年会計報告
収入ノ部

一金二十四円五十五銭

内

、二円四十銭九厘

前年度ノ繰越高

、四円五十銭

前年ノ会費

、十六円二十銭

本年ノ会費

、一円五十銭

本年ノ入会費

、二十銭

明年度ノ会費

、一厘

寄附金

支出ノ部

、金二十四円四十六銭

内

、十七円八十五銭

書籍代

、五円

国史大系代

、五銭

茶代

、十五銭

人夫一人

、四十銭

小使へ慰勞

、八十五銭

紀念会及総会補助

、十六銭

半紙代

差引残高 九銭

会費未取入高 七円八十銭

4・01・62 明治三十六年中購求書籍報告

明治三十六年中購求書籍報告

田毎かゞみ

一冊

四十五銭

万国興亡史

”

一円四十銭

人類談

”

四十銭

浜子

”

四十銭

大国民

”

八十銭

倫理的宗教論批評集

”

七十二銭

即興詩人

二冊

一円二十銭

大教育学

一冊

一円五十二銭

北白川宮

”

七十五銭

支那語助辞用法

”

一円十五銭

伊太利亞史

一冊

一円六十銭

論理学

”

二円五十銭

東亞旅行談

”

一円五十銭

露西亞史

”

三十五銭

天人論

二冊

七十六銭

聖人カ盜賊カ

一冊

四十五銭

世界三聖論

”

一円二十銭

人類界三現象

”

五十五銭

仏国風俗問答

二冊

二円十六銭

小波洋行土産

一冊

一円六十銭

倫理学

一冊

五十銭

芸術篇

”

三十五銭

植物之感覺

”

三十五銭

動物社会

”

五十銭

日本の旗風

二冊

五十銭

ス 三十冊

二十四円一銭

自他業会理事 三上敬三 [朱印]

4・01・63 明治三十七年會計報告

明治三十七年會計報告

収入ノ部

一金二十八円十九銭

内

一九銭

前年ノ越高

一五円六十銭

前年ノ会費

一二二円四十銭

本年ノ会費

一十銭

明年ノ会費

支出ノ部

一金二十七円九十三銭

内

一二十六円七十三銭

書籍代

一一円

東海君ノ香花料

一二十銭

小使へ慰勞

差引残高二十六銭

会費未収入高

七円八十銭

本年

二円二十銭

昨年

右報告申上候也

自他業会理事 三上敬三

4・01・64 明治三十七年中購求書籍報告

※書名の上の「。」「と」「、」は枠外に記されたもの。

明治三十七年中購求書籍報告

。 文学研究法

六十五銭

。 果物の話

三十五銭

。 動物の共棲

三十五銭

。 植物社会

三十五銭

。 日本人種新論

六十銭

。 思出の記

五十八銭

。 二人孤児

六十八銭

。 鐘楼守

二円

。 西蔵旅行記 二冊

一円九十銭

。 戦時大観

五十四銭

。 武侠の日本

四十銭

。 英国史

一円三十三銭

。 勢力主義

四十八銭

。 マカロフ提督

二十七銭

。 巴黎の秘密

四十五銭

。 ズルエル

五十四銭

。 日本帝国海上権力史講義

二円

。 日本上古史評論

二十銭

。 国文論叢大系

二円四十銭

。 統大国民

七十二銭

。 売国奴

七十二銭

。 武侠艦隊

二十七銭

。 新造軍艦

二十七銭

近松門左衛門

七十銭

女夫波 上下

一円〇八銭

。塔中の怪

二十三銭

海底軍艦

二十七銭

沙翁物語集

六十三銭

運命観

三十二銭

オルレアンの少女

三十六銭

新曲浦島

七十七銭

社会学綱領

六十銭

海戦史

三十二銭

右報告申上候也

明治三十七年十二月三十日

理事 三上敬三

4・01・65 明治三十八年会計報告

明治三十八年会計報告

収入之部

一金三十四円十二銭五厘

内

五円八十銭

三十八年度ノ会費

七十銭

三十七年度ノ会費

二円七十二銭五厘

前年ノ繰越高

二十四円九十銭

本年ノ会費

支払之部

一金三十円六十四銭

内

二十五円六十四銭

今泉へ

四円十銭

近松へ

四十銭

小使へ

五十銭

総会菓子代

差引残高 三円四十八銭五厘

右報告申上候也

三十九年十二月二十六日

自他楽会理事 三上敬三

4・01・66 明治三十八年購求書籍報告

明治三十八年購求書籍報告

大隈伯時局談

三十銭

男気

五十八銭五厘

相思怨

六十八銭

自然美論

八十五銭

欧州近世史

二円五十銭

武士道叢書 上

五十銭

太郎ハ如何ニシテ教育スベキカ

五十四銭

やみのちから

三十二銭

万国最近史 上

一円三十銭

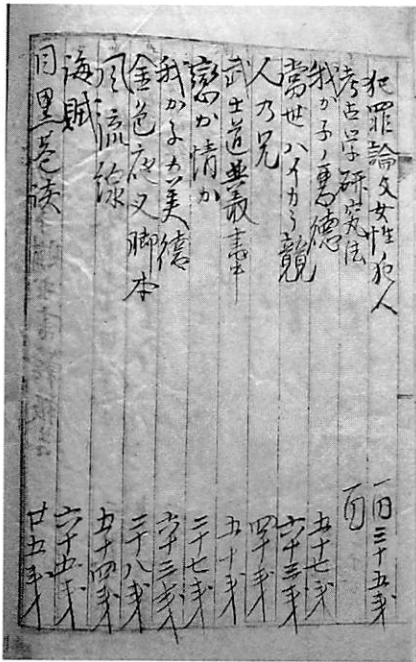
蕉風

一円三十銭

犯罪論及女性ノ犯人

一円三十五銭

考古学研究法	一円
我が子ノ悪徳	五十七銭
当世ハイカラ競	六十三銭
人乃兄	四十銭
武士道叢書 中	五十銭
恋か情か	二十七銭
我が子の美德	六十三銭
金色夜叉脚本	二十八銭
風流線	五十四銭
海賊	六十五銭
目黒巷談	二十五銭
家庭ノ頼山陽	一円五十八銭
万国最近史 中	一円五十銭
続風流線	五十四銭
二筋道	五十四銭



犯罪論及女性犯人	一円三十五銭
我が子の悪徳	五十七銭
当世ハイカラ競	六十三銭
人乃兄	四十銭
武士道叢書 中	五十銭
恋か情か	二十七銭
我が子の美德	六十三銭
金色夜叉脚本	二十八銭
風流線	五十四銭
海賊	六十五銭
目黒巷談	二十五銭
家庭ノ頼山陽	一円五十八銭
万国最近史 中	一円五十銭
続風流線	五十四銭
二筋道	五十四銭

二十七八年海戦史 上	一円七十銭
海国日本	六十五銭
台湾統治史	六十五銭
日本山水論	一円三十銭
二十七八年海戦史 下	一円七十銭
冒険奇旅行	二十三銭
進化論講話	一円二十五銭
沙翁全集	八十五銭
露子夫人	七十銭
赫映姫	八十五銭
吾輩ハ猫デアル	九十五銭
教師論	五十七銭
日本建国史	一円二十銭
合計	三十二円七十銭五厘

右報告申上候也
 明治三十八年十二月二十七日 理事 三上敬三 [朱印三上]

4・01・67 三十九年購求書籍報告	
三十九年購求書籍報告	
一、二十七八年海戦史別巻	一円七十銭
一、沙翁全集 (二)	八十銭
一、人乃兄 後編	五十銭
一、噫無情	六十五銭

一、二筋道 後編	五十四錢
一、男女と天才	六十五錢
一、日本朱子学派ノ哲学	一円五十錢
一、沙翁全集 (三)	八十錢
一、世界女性史	五十四錢
一、日本中世史	六十錢
一、噫無情 後篇	六十錢
一、肉弾	七十錢
一、プラトン	七十錢
一、麗子夫人 前後篇	一円零八錢
一、進化と人生	六十錢
一、沙翁全集 (四)	八十五錢
一、俗諺論	九十錢
一、ナポレオンが母と家庭	四十五錢
一、旅順籠城実談	四十八錢
一、祖国	五十八錢
一、基督教世界觀	一円三十錢
一、万国最近史 下	一円七十錢
舌筆録	八十五錢
耶穌基督	一円三十錢
怨	五十八錢
唾玉集	九十錢
空前絶後之疑獄	五十五錢
理想之人	六十五錢
社会心理学	八十五錢
二十世紀は兒童の世界	七十五錢

日露戦役録 八十錢

合計 三十二冊 二十五円四十五錢

右報告申上候也

明治三十九年十二月二十六日 自他業会理事 ■〔朱印三上〕

4・01・68 明治三十九年会計報告

明治三十九年会計報告

収入ノ部

一金三十四円十二錢五厘

内

一二円七十二錢五厘

前年度ヨリ繰越金

一三十一円四十錢

会費収入

支払ノ部

一金三十円六十四錢

内

一二十九円七十四錢

書籍代

一四十錢

小使慰勞

一五十錢

總會雜費

差引残高 三円四十八錢五厘

右御報告申上候也

明治三十九年十二月二十六日 理事 ■〔朱印三上〕

4・01・69 明治四十年会計報告

明治四十年会計報告

収入ノ部

一金二十二円五十八銭五厘

内訳

三円四十八銭五厘

前年度ノ越高

十九円十銭

会費

支出ノ部

一金十七円二十八銭

内

十六円十八銭

書籍代

四十銭

小使へ慰勞

二十銭

半紙代

五十銭

總會の菓子代

差引残高 金五円三十銭五厘

右御報告申上候也

明治四十年十二月二十六日 自他案会理事 三上敬三 [朱印三上]

4・01・70 明治四十年購求書籍報告

明治四十年購求書籍報告

鶉籠

一冊

一円十七銭

沙翁全集

(5)

二冊

一円七十銭

惠馬遜傑作集

一冊

五十銭

武士道叢書 下

一冊

四十八銭

中村正直伝

”

三十二銭

夢

”

七十二銭

吾輩は猫である 中下

二冊

一円八十銭

日露戦史

一冊

三十五銭

淀殿

”

六十八銭

自然之妙趣

”

三十六銭

精力増進法

”

四十五銭

捕鯨船

一冊

三十三銭

戦勝の原因

”

四十銭

棄石

”

六十六銭

小さなハート

”

六十五銭

帰郷記

”

四十銭

小さくら

”

三十銭

金剛杖

”

五十八銭

絶島軍艦

”

三十六銭

禅と武士道

”

四十銭

電力艦隊

”

四十銭

海舟言行録

”

六十銭

常識ノ修養

”

四十五銭

日本ノ将来

”

五十四銭

未来ノ大戦

”

五十四銭

憲法及行政法講義

”

一円

二十八冊

十六円十八銭

右御報告申上候也

明治四十一年十二月二十六日 自他案会理事 三上敬三 [朱印] 三上

4・01・71 明治四十一年会計報告

明治四十一年会計報告

収入ノ部

一金二十五円六十銭五厘

内

一 二十円三十銭

一 五円三十銭五厘

会費収入

前年度繰越高

支出ノ部

一金二十四円三十三銭五厘

内

一 二十二円十七銭

一 八十銭

一 十一銭五厘

一 五十五銭

一 四十銭

一 三十銭

書籍代

茶話会菓子代

破損書籍表紙代

総会ノ菓子及茶代

小使慰勞

新調目錄紙代

差引残高 一円二十七銭

右報告申上候也

明治四十一年十二月二十七日

自他案会理事 三上敬三 [朱印] 三上

追加

一円五十銭 前年会費

二円 会費

4・01・72 書籍購求報告

書籍購求報告

書名

日露海戦記

日本国道論

国民性十論

皇后陛下御聖徳

養鶏学

日本教育ノ将来

渡辺華山

外人の見たる日本

大石義雄

水野越前守

美的道徳

克己心の修養

児童精神の活ける教育法

新訳水滸伝

最新思潮講話

鉄火石火

教壇上の教師

代価

一冊

”

”

”

”

”

二冊

一冊

”

”

”

”

”

”

”

”

”

二円也

七十五銭

七十銭

四十銭

一円八十銭

二十銭

一円四十五銭

一円

一円五十銭

一円

六十銭

九十銭

七十五銭

七十七銭

一円也

六十八銭

八十五銭

大蛮勇	〃	五十錢
太郎の教師	〃	四十錢
達磨と陽明	〃	七十錢
加藤清正	〃	七十八錢
草合	〃	一円七十錢
親ごころ	〃	一円三十五錢
時間活用法	〃	五十四錢
日蓮	〃	八十五錢
ペーコン論説集	〃	一円二十錢
合計	二十七冊	二十三円三十七錢

右御報告申上候也

明治四十一年十二月二十七日 自他楽会理事 三上■〔朱印三上〕

4・01・73 明治四十二年購求書籍報告

明治四十二年購求書籍報告

書名	価格
日露新戦史	二冊 二十四錢
二宮尊徳翁 前	七十五錢
同上 後	七十二錢
偉人クローンウエル	九十錢
吉田松陰	九十五錢
人格と品位	一円三十錢
新大統領タフト	四十五錢
自習法并教授法	六十錢
怒涛	七十八錢

宮本武蔵	一円
石川五右衛門	二冊 一円二十六錢
徳川幕府時代史	會員鳴海恭介君より寄贈せらる
關東の山水	一円
蛮入境	五十錢
三四郎	一円二十錢
猛火	一円〇八錢
木村重成	八十一錢
希臘神話	一円五十錢
春汀全集	三冊 三円五十錢
相撲大全	一円 十八錢 右運賃
神通の女王	二十二錢
復讐奇談	二十二錢
青年諸君	九十錢
逆境離脱策	九十錢
歐羅巴 前	八十五錢
心理学通俗講話	三十五錢
白川楽翁	一円二十錢
鎌倉武士	一円
稲田一作	六十八錢
田舎教師	一円四十五錢
實際的教育学	一円六十錢
童謡大全	九十錢
学校論	九十錢
合計	三十七冊 三十四円八十八錢

怒涛	七十八錢
自習法并教授法	六十錢
新大統領タフト	四十五錢
人格と品位	一円三十錢
偉人クローンウエル	九十錢
吉田松陰	九十五錢
二宮尊徳翁 前	七十五錢
同上 後	七十二錢
日露新戦史	二冊 二十四錢
書名	価格
日露新戦史	二冊 二十四錢
二宮尊徳翁 前	七十五錢
同上 後	七十二錢
偉人クローンウエル	九十錢
吉田松陰	九十五錢
人格と品位	一円三十錢
新大統領タフト	四十五錢
自習法并教授法	六十錢
怒涛	七十八錢

右御報告申上候也

明治四十二年十二月二十七日 自他楽会理事 三上敬三 [朱印:三上]

4・01・74 明治四十二年会計報告

明治四十二年会計報告

収入ノ部

一金二十八円六十七銭也

内

金四円七十七銭

前年ノ繰越高

金二十三円九十銭

本年会費

支出ノ部

一金二十四円〇三銭也

内

金二十一円九十四銭

書籍代

〃九十銭

紀念祝賀会補助

〃五十銭

小使慰勞

〃六十九銭

雜費

差引残高 四円六十四銭

右御報告申上候也

明治四十二年十二月二十七日 自他楽会理事 三上敬三 [朱印:三上]

追加 七十銭 会費収入

残高 五円三十四銭

4・01・75 明治四十三年会計報告

明治四十三年会計報告

収入ノ部

一金三十一円八十四銭

内

五円三十四銭

前年繰越高

二十六円五十銭

会費

支出ノ部

一金二十七円三十二銭

内

二十六円十七銭

書籍代

五十銭

小使慰勞

五十銭

總會菓子代

十五銭

同 茶及雜費

右御報告申上候也

明治四十三年十二月二十七日 自他楽会 理事 三上敬三 [朱印:三上]

追加 二円 会費収入セリ

残 六円五十二銭

4・01・76 明治四十三年購求書籍報告

明治四十三年購求書籍報告

- 一 白川素翁 後編
- 一 岩見重太郎
- 一 関ヶ原
- 一 二宮尊徳 終編
- 一 東京裏面
- 一 明治教育思想史
- 一 四篇
- 一 南国記
- 一 児島高德
- 一 新国民ノ修養
- 一 楽天生活ノ妙味
- 一 水戸光圀
- 一 寄生木
- 一 稲田一作 後編
- 〓 十四冊

右御報告申上候也

明治四十三年十二月二十七日 理事 三上敬三 〔朱印三上〕

4・01・77 記事報告

- 記事報告
- 三月三日
- 桜田清芽君入会セリ

笹森熊司君入会セリ

四月二十二日

三浦清麿君西郡へ転職ニツキ除籍ス

四月二十二日

東海清君入会セリ

十月一日

丹代常三郎君入会セリ

現在会員二十九名

4・01・78 明治四十四年購求書籍報告

明治四十四年購求書籍報告

- 残花一輪 一冊
- 元禄快拳録 ”
- 基督抹殺論 ”
- 青年訓話 ”
- 塩原多助 前後 二冊
- 太平記 ”
- 処世訓 一冊
- 相馬大作 前後 二冊
- 人民敵 一冊
- 此の一戦 ”
- 豊臣秀吉 日吉丸 藤吉郎 二冊
- 鉄血 一冊
- 腹式呼吸法 ”

日米戦争

右御報告申上候也

明治四十四年十二月二十六日 自他楽会理事 ■〔朱印…三上〕

4・01・79 明治四十四年会計報告

明治四十四年会計報告

収入ノ部

一金二十七円〇二銭

内訳

金六円五十二銭

金二十五円五十銭

支出ノ部

一金十五円七十四銭

内訳

金十三円〇九銭

金一円

金五十銭

金八十銭

金三十銭

金五銭

前年ノ繰越高

会費

書籍代

祝宴会へ補助

小使慰勞

總會菓子代

半紙及雜費

總會茶代

差引残高 十一円二十八銭

※枠外に「二字加リ」と記し朱印を捺す。

右御報告申上候也

明治四十四年十二月二十六日

自他楽会理事 ■〔朱印…三上〕

4・01・80 大正元年会計報告

大正元年会計報告

収入ノ部

一金三十一円八十八銭

繰越及会費

※枠外に「二字改」と記し朱印を捺す。

支払ノ部

一金二十九円九十二銭

内訳

二十八円二十銭

二十銭

六十銭

五十銭

十二銭

三十銭

書籍代

木村卯太郎氏へ香典

總會ノ茶菓代

小使慰勞

半紙代

本ノ修理代

差引残高 金一円九十六銭

右御報告申上候也

大正元年十二月二十六日 自他楽会理事 三上敬三 ■〔朱印…三上〕

4・01・81 購求書籍報告

購求書籍報告

血烟

明治の二宮尊徳

剣と恋

荒尾謙介

高山彦九郎

忠魂録

震天記

藤吉郎ノ巻中

藤吉郎ノ巻後

露軍横断記

乞食の勤王

肉弾

弾痕

静坐法

兵車行

教員室

佐倉惣五郎

英雄論

旅順攻囲軍

閉塞回想談

最後の決戦

ジゴマ

家なき児

坂本龍馬

上下

愛の学校 一

澤(みを) 一

努力論 一

計 二十九冊

会員数 二十一名 (現在)

右御報告申上候也

大正元年十二月二十六日 自他業会理事 三上敬三 [朱印:三上]

4・01・82 会計報告

会計報告

収入部

一金二十四円四十六銭

内訳

金二十二円五十銭

金一元九十六銭

会費

前年の繰越

支払部

一金二十二円二十七銭

内訳

金十八円七十七銭

金二元五十銭

金五十銭

金三十銭

書籍代

書物棚

小使慰勞

総会菓子代

金二十銭

半紙及雑費

差引残高 金二円十九銭

右御報告申上候也

大正二年十二月二十五日 自他薬会理事 三上敬三 [朱印三上]

収入

追加 二円四十銭 会費

計 四円五十九銭

4・01・83 購求書籍報告

購求書籍報告

一、豊臣秀吉 筑前守 前後 二冊

一、政戦三十年 一冊

一、銃後 一冊

一、明治天皇興国史 一冊

一、リンコロン 一冊

一、古相撲評話 一冊

一、南極探検 一冊

一、乃木大将 前後 二冊

一、思ひ切た告白 一冊

一、修養坐談 一冊

一、養気鍊心 一冊

一、八十万年後 一冊

一、日蓮上人 一冊

一、免糞録 一冊

一、少年ジゴマ 一冊

合計

十七冊

右御報告申上候也

大正二年十二月二十五日 自他薬会理事 三上敬三 [朱印三上]

4・01・84 大正三年会計報告

大正三年会計報告

収入ノ部

一金十六円三十九銭

内訳

金四円五十九銭

金十一円八十銭

支払ノ部

一金十一円八十二銭

内訳

金一円九十八銭

金九円十八銭

金四十銭

金六銭

金二十銭

前年ノ繰越金

本年ノ会費

一代ノ修養代

今泉商店へ

小使手当

紙代

總會茶菓代

残高 四円五十七銭

右及御報告候也

大正三年十二月二十六日 自他楽会理事 三上■〔朱印…三上〕

追加収入

一円 会費

計 五円五十七銭

4・01・85 大正三年購求書籍報告

大正三年購求書籍報告

一 兎糞録

一 日本軍心理

一、日蓮上人

一、八十万年後の社会

一、罵倒録

一、蛙のはらわた

一、人の運

一、一代の修養

一、おぼけの正体

一 朝飯廃止ニ食論

一、世界大戦の中心人物

一 ビスマルクとドイツ帝国の建設

一、独逸及独逸人

一、独逸と次の戦争

一、独逸皇帝

一、人間生活史

以上

一、女性学 外崎日出城君の寄贈

一、^{標識}物語ロビンソンクルーソー 東海清君の寄贈

以上

右御報告申上候也

大正三年十二月二十六日 自他楽会理事 三上■〔朱印…三上〕

4・01・86 大正四年会計報告

大正四年会計報告

収入ノ部

一金十四円三十七銭

内訳

金五円五十七銭

金八円八十銭

支払ノ部

一金九円三十一銭五厘

内訳

金一円三十銭

金七円三十八銭

金六十三銭五厘

金六十三銭五厘

昨年ノ繰越高

会費収入

中畑書店へ

今泉へ

総会茶菓子及雑費

差引残高 一金五円〇五銭五厘

右及御報告候也

大正五年一月二十六日 自他業会理事 三上敬三■〔朱印：三上〕

4・01・87 購求書籍報告

購求書籍報告

一、立憲国の青年及教育者

一、立志論

一、処世講話

一、世の中

一 歳窟王

一 創造的進化

一 三叉文存

一 銀杏の葉陰

一 安価生活法

以上

右及御報告候也

大正五年一月二十六日 自他業会理事 三上敬三■〔朱印：三上〕

4・01・88 大正五年会計報告

※文書名の下に「三上」の朱印を捺す。

大正五年会計報告

収入ノ部

一金十五円七十五銭五厘

内

金五円五銭五厘

昨年度ノ繰越高

金十円七十銭

本年会費

仕払ノ部

一金十四円二十六銭五厘

内

金十四円十六銭

今泉へ書籍代

金十銭五厘

半紙代

差引残高

金一円四十九銭

右及御報告候也

大正五年十二月二十三日 自他業会理事 三上敬三

4・01・89 購求書籍報告

購求書籍報告

※文書名の下に「三上」の朱印を捺す。

一、実行論

一、西遊スケッチ

一、砲声を聞きつゝ

一、蹄響

一、教育の革新

一、講話叢書

一、死後は如何

一、半生の懺悔

一、日本征服

一、日本人の解剖

一、牛

一、文は人なり

一、後巖窟王

一、おへその宙返り

一、世界統一

右及御報告候也

大正五年十二月二十三日 自他楽会理事 三上敬三 ■ [朱印：三上]

4・01・90 大正六年会計報告

大正六年会計報告

収入ノ部

一金十二円二十九銭

内

金一円四十九銭

金十円八十銭

昨年繰越高

会費

支払ノ部

一金八円七十九銭

内

金八円四十五銭

今泉書籍店へ

金三十銭

小使手当

金四銭

紙代

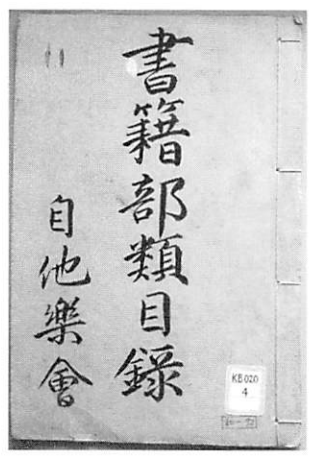
差引残金 金三円五十銭

右御報告申上候也

大正七年一月八日 自他楽会理事 三上敬三 ■ [朱印：三上]

追加 四十銭 総会菓子代

残高 三円十銭



【本文】

※紺色で刷られた罫紙を二段に区切って記載。厚紙の表紙を付す。墨書。部門ごとに罫紙をあらためて記し、それぞれの部門名の次行に「番号」「書名」と項目名を記すが、翻刻に際し「哲学及宗教」門を除き省いた。部門の末尾に増補に備え何も記さない罫紙を綴じ込んでいることがある。また、一部 書名の上に紙片を貼って訂正した箇所がある。掲げられた書籍とその番号は、四九〇番までは、ごく一部を除き「明治二十七年改正書籍目録」と同一だが、「中等新地理学 三冊／日本地理一冊」(一一一)はここに記載がない。「明治二十七年改正書籍目録」と同様、「王陽明」には番号がふられていない。四九一番以降の書は、明治三十四年末までに自他楽會に入つたものを載せた。「明治二十七年改正書籍目録」の後を受け、明治三十五年に寄贈されるかまたは購求したものを、手に入れた順に番号を与えて載せている。四九七「応用経済論」から五二二「太閤軍記朝鮮巻」までは明治三十五年三月に会を離れた東海武一から寄贈されたものを一括して掲げ、五三五「金香露」から五四六「両面鏡」までは同じく東海から同年八月に寄贈されたものである(2,01,7)。

哲学及宗教

番号	書名
三	哲学汎論
五	国家教育策
六	洒落哲学
一五	簡明論理学
二三	宗教革命論
二四	破邪活論
二六	普通心理学
三五	哲学涓滴
四八	帰納論理学
五二	経世危言
五六	日曜講義
五八	顕正活論
六〇	星界想遊記
六二	德育鎮定論
六三	政教日記
八〇	普通倫理学
八一	仏教活論序論
八八	日本教育論
八九	普通教育学
九七	倫理学教科書
一〇六	心理学
一二五	死及死後
一二六	倫理摘要
一三八	相思相愛之現象
一四八	我観小景
一七八	宗教哲学骸骨
一七九	教育卜宗教ノ衝突
一八〇	教育宗教関係論
一八一	耶穌教衝突論
一八七	排偽哲学
一八九	社会進化論
一九四	族制進化論
一九六	宗教進化論
二〇一	社会学ノ原理
二〇九	排仏教
二一七	宋学概論
二二三	道德学大原論
二九六	婚姻進化論
三〇七	韓国純理批判解説
三一二	哲学新論
三八〇	哲学大観
四〇一	心性遺伝論
四〇七	審美綱領
四〇九	エミール抄
四三〇	心理学十回講義
四三一	ラッパ氏認識論
四三三	新論
四三四	教育精義

- 四三五 埤氏論理学
- 四四五 支那哲学史
- 四五五 世界宗教一斑
- 四六〇 日本陽明学ノ哲学
- 四六一 社会的教育学
- 五〇五 論理実習
- 五〇六 心理学
- 五二八 楊墨哲学
- 五二五 巽軒講話集
- 五五五 日本古学派之哲学
- 五三一 山崎闇齋派之学説

政治及經濟

- 四 文明要論
- 七 東洋遺稿
- 九 直税及間税
- 一二 国憲汎論
- 一三 日清文明論
- 一四 欧州大勢論
- 一九 自由略論
- 二九 我国之内政外交
- 三一 财政学
- 三六 平民政治
- 五九 社会学

- 六七 金〔酒〕
- 六八 理財学講義
- 七九 日本経国論
- 九五 東方策
- 九八 高等經濟原論
- 一〇八 経国策
- 一三五 西比利亞鉄道論
- 一七二 社会平權論
- 一八五 富強策
- 一八六 東亞ノ大勢
- 二一一 我国ノ前途
- 二二二 今世国家論
- 二二三 今世国務論
- 二二四 新攘夷論
- 二二五 支那文明論
- 二二六 政治及經濟
- 二二八 權利競争論
- 二二〇 支那彙報
- 二二一 朝鮮彙報
- 二二三 強者ノ權利
- 二二五 比較憲法論
- 二三四 支那処分案
- 三〇四 内政外交衝突突史
- 三四八 政治汎論
- 三五〇 金
- 四九七 応用經濟緒論

紛失

- 四九八 応用經濟
- 四九九 考証經濟論
- 五〇〇 經濟研究法
- 五〇一 經濟学之性質
- 五〇二 實際統計学
- 五〇三 統計実習
- 五〇四 統計学
- 五〇七 财政学
- 五〇八 国債論、為替論、米国租稅論
- 五一一 憲法論
- 五一一 英国憲法
- 五一四 英国憲法史
- 五一五 仏国憲法之實際
- 五一六 政体論
- 五一七 政体論備考
- 五一八 国家学
- 五一九 國際法、行政法
- 五二〇 英国行政法
- 五二一 行政学

不見

科学

- 一〇 動物進化論
- 一一 万物退化新説
- 四五 科学ノ原理

- 四九 進化原論
- 一一〇 小地質学
- 一三一 新編物理学
- 一三九 動物学
- 一四〇 植物学
- 一四一 鉱物学
- 一五九 百工開源
- 二八五 生物始原
- 四二三 植物学講義
- 四三六 物理学現今之進歩
- 四八四 自然界之現象
- 四九五 はな
- 五三四 生物界ノ現象 植物編
- 五五九 人類談
- 五四八 理学沿革史
- 文学及隨筆
- 二〇 美辞学
- 二七 新篇紫史
- 三三 弥兒頓論
- 四六 小説史稿
- 五〇 亞細亞之光輝
- 六四 日本文学史
- 七六 温知叢書

- 七七 百家説林
- 九〇 今世名家文鈔
- 一〇〇 文章組立法
- 一一四 文学一斑
- 一一七 春廼屋漫筆
- 一六〇 修辞学
- 一六五 今古雅譚
- 一七五 益軒十訓
- 一九九 文学叢書
- 二〇五 方丈記
- 二〇七 懷往事談〔酒〕
- 二五五 国語のため
- 二六四 日本文学集覽
- 二六七 近松著作一斑
- 二七一 梧陰存稿
- 三〇〇 近松時代浄瑠璃
- 三四六 先秦文学
- 三四七 支那文学史
- 三六六 沢庵和尚全集
- 三八一 近松世話浄瑠璃
- 三八六 支那文学史
- 三九四 日本之陽明学
- 四〇二 トーマス英雄論
- 四一〇 国語学小史
- 四一三 国文中之仏教文学
- 四一五 滑稽妙文集

不見

- 四二〇 近世文学史論
- 四四三 匏庵遺稿
- 四六五 今昔湖上之美人
- 四七九 英文学史
- 四九二 調言
- 五二六 梨壺之五歌仙
- 五二九 新美辞学
- 五三〇 国語学研究史
- 五四六 パイ文界之大魔王
- 歴史及伝記
- 八 大政三遷史
- 三〇 如温武雷土
- 三二 クラントストン公伝
- 三四 埃及近世史
- 三七 富氏自叙伝
- 三八 埃及惨状
- 三九 赤穂義士実話
- 四三 小楠遺稿
- 四四 理查士浩武電
- 五四 万国歴史
- 五五 日本歴史
- 六五 蘇丹令
- 七〇 格朗究

不見

七八	路錫	二〇二	日本戦史 関ヶ原	二八四	佐藤信淵翁伝
八二	国史眼	二〇六	吉田松陰	二八六	蒲生君平
八三	印度奇観	二一〇	盲詩人	二八八	伊藤仁斎
八六	安政記事	二二九	藩幹譜	二八九	二千五百年史
九六	近松門左衛門	二二四	西郷隆盛伝	二九二	平野国臣
九九	泰西十五大決戦史	二二六	徳川政教考	二九三	阪本龍馬
一〇七	維新豪傑談	二二七	学教史論	二九八	平賀源内
一〇九	剪燈史談	二三〇	欧州新政史	二九九	近藤重蔵
一一三	臨淵言行録	二三一	日韓古史断	三〇一	平田篤胤
一一六	<small>愛蘭</small> 倭状経世偉略	二三七	孟垂聖	三〇三	朝鮮王国
一二二	開国始末	二二九	日本風俗史	三〇六	昨夢紀事
一二三	神皇正統記	二四一	佐久間象山	三〇九	東洋分国史
一二七	支那開化小史	二四二	英国海戦史	三一〇	由比正雪
一二八	明治政史	二四三	コサック東方侵略史	三一〇	小堀遠州
一四二	新日本史	二四六	大隈伯昔日譚	三一〇	本阿弥光悦
一四四	新撰日本外史	二四七	聖徳太子	三一三	大塩平八郎
一四五	徳川十五代史	二四八	徳川光国	三一四	戦時大探偵
一四六	那破崙嶋物語	二五〇	日本西教史	三二〇	高田屋嘉兵衛
一五〇	万国史綱	二六五	浅田宗伯伝	三二一	<small>開国提督</small> ペルリ
一五一	くらんとすとん伝	二六九	露西亜帝国	三二二	釈元恭
一五二	帝国史略	二七五	凱旋記念帖	三二九	柳沢吉保
一五八	日本史学新説	二七七	海戦日録	三三〇	白河素翁
一六四	日本通史	二七九	十九世紀史	六七	紫式部
一六七	日本歴史評林	二八一	林子平	一五五	清少納言
一八三	山岡鉄舟伝	二八二	近世女風俗考	三三六	加藤清正
一九二	<small>教育者として</small> 孔夫子			三三九	国史大系
				三四〇	台湾外記

不見

- 三四二 新井白石
- 三四四 明智光秀
- 三四九 高野長英
- 三五三 渡辺華山
- 三五三 文天祥
- 三五四 水野越前
- 三五七 織田信長
- 三五八 錢屋五兵衛
- 三六〇 真木和泉
- 三六一 諸葛武侯
- 三六二 日本戦史 大阪役
- 三六三 小山田与清
- 三六四 津軽信明
- 三六九 上杉謙信
- 三七〇 鉄血宰相伝
- 三七一 高山彦九郎
- 三七二 南征史
- 三七四 石川丈山
- 三七六 太田道灌
- 三七七 熊沢蕃山
- 三七八 陸奥宗光
- 三八二 台湾嶋史
- 三八三 幕末小史
- 三八五 幕末外交談
- 三八九 日本仏教史綱
- 三九〇 世界通史
- 三九五 山鹿素行
- 大石良雄

- 三九六 蜀山人
- 三九七 伊藤東涯
- 三九八 津軽信政公事蹟
- 四〇〇 勝海舟
- 四〇四 南嶋沿革史
- 四〇五 北海道史稿
- 四〇八 藤田東湖
- 四一二 達磨
- 四一七 森先生伝
- 四二一 萩野 大日本通史
- 四二四 楊貴妃
- 四二五 新建国
- 四二六 伏見血涙録 革命
- 四二八 日本戦史 桶狭間
- 四三七 近世德育史伝
- 四四二 中江藤樹
- 四四四 英国今代史
- 四四六 菅公伝
- 四四七 燕山楚水
- 四四八 熊本籠城談
- 四五六 小野小町
- 四五七 杜 統領クルーゲル
- 四五九 東邦近世史
- 四六四 伊達行朝勤王事歴
- 四六八 朝鮮開化史
- 四七四 雨夜物語

不見

- 四七七 カーネギー
- 四八一 韓退之
- 四八五 日本戦史 姉川役
- 四九一 家康と直弼
- 五〇九 上古史
- 五一〇 中古史
- 五一一 近世史
- 五二三 故陸軍中將山地元治君
- 五二四 詩聖たんで
- 五二七 加賀の千代
- 五五八 万国興亡史

地理及紀行

番号	書名	番号	書名
二五	鴻雪録	一七四	世界地理図説
四二	唾之旅行	一七五	蘭里在野記
五二	観風叢話	一八二	蘭里在野記
		二二八	日本万国図説
		二四九	蘭里在野記
		二七四	蘭里在野記
		二七六	蘭里在野記
		二七九	蘭里在野記
		二八〇	蘭里在野記
		二八二	蘭里在野記
		二八三	蘭里在野記
		二八四	蘭里在野記
		二八五	蘭里在野記
		二八六	蘭里在野記
		二八七	蘭里在野記
		二八八	蘭里在野記
		二八九	蘭里在野記
		二九〇	蘭里在野記
		二九一	蘭里在野記
		二九二	蘭里在野記
		二九三	蘭里在野記
		二九四	蘭里在野記
		二九五	蘭里在野記
		二九六	蘭里在野記
		二九七	蘭里在野記
		二九八	蘭里在野記
		二九九	蘭里在野記
		三〇〇	蘭里在野記

五三	帰省〔消〕	紛失〔梓外〕	五五一	世界読本	一〇二	山吹塚	不見
五七	南洋時事		五五三	天文講話	一〇三	長者鑑	不見
五六	五大国漫遊		五三二	東関紀行詳解	一〇四	新世帯	不見
七五	三門 ^三 世界周遊記〔消〕	紛失〔梓外〕			一〇五	離れ鴛	
八五	豪洲及印度		小説		一一〇	井筒女之助	
一一九	日本漂流譚		一	英雄之肝膽	一一〇	奴の小方	
一六八	墨西哥探検記		二	文覚上人観進帳 ^下	一一〇	まほろし	
一七四	世界三週航実記		一七	色懺悔	一一三	平野次郎	
一七七	閩黒亜弗利加		一八	海嘯義捐小説	一一四	小公子	
一八二	万国地理指要		二一	乙女心	一一七	罪と罰	
二二八	日本風景論		二二	妹背貝	一一九	大疑獄	
二四九	波斯の旅		二八	残菊	一二〇	荒海実一	
二七四	北水 ^北 洋州 ^州 及 ^及 アラスカ ^カ 沿海見聞録		二九	風流仏	一二〇	鬼奴〔消〕	
二七六	おかめ八日		四〇	松花録	一二〇	風の糸目	
一三二	南洋探検実記		四一	芳李	一二〇	花相撲	
三三四	河及湖沢		四七	浮城物語	一二〇	替使者	
三五六	南島探検		七一	巴波川	一二〇	天竺徳兵衛	
三九一	新撰大地誌		七二	つゆこそて〔消〕	一二〇	練絹新三郎	
三九二	諸國 ^諸 東遊記〔消〕		七三	墨染桜	一二〇	相馬大作	
四〇三	欧米漫遊雜記		七四	妾薄命	一二〇	若葉	
四〇六	日本名勝記		九二	大福帳	一二〇	破太鼓	
四二九	内地 ^内 地理学講義		九三	御伽草子	一二〇	怪男児	
四三八	大英国漫遊実記		九四	南洋の大波瀾	一二〇	春日局	
四四一	千嶋探検録		一〇一	文つかひ	一二〇	四十年後日本	
四五八	白山黒水				一二〇	閩の世の中	
四六六	米国漫遊雜記				一二〇	愛国偉勳	

二〇七 其囚人
 二二二 鯨幾太郎
 二二九 新小説
 二三八 海賊
 二四四 桜の御所
 二四五 半月城
 二五一 衣笠城
 二五二 台湾陣
 二五三 不言不語
 二五四 めをと
 二五六 後の三日月
 二五七 日蓮記
 二五八 十二時會稽曾我
 二五九 関原普凱歌
 二六〇 東鑑拜賀卷
 二六一 古賀市
 二六三 後の海賊
 二六六 伏魔殿
 二六八 瀧口入道
 二七〇 親鸞聖人
 二七二 名督実録
 二七八 桐一葉
 二八七 小説家
 二九一 世界将来ノ海王
 二九四 颯々時雨
 三一五 戦後の日本

不見

三一八 青葡萄
 三一九 さゝ舟
 三二三 雲の袖
 三二四 金売吉次
 三二五 鬼あざみ
 三二六 十文字
 三二七 魚屋助左衛門
 三二八 呂宋助左衛門
 五三 文芸俱樂部
 三三一 十五少年
 三三二 小弓御所
 三三三 鷺の羽風
 三三八 人外境
 三四五 かけ草
 三五五 多情多恨
 三六五 列国変局志
 三六八 鎧のかげ
 三七九 ひとりね
 三八四 金色夜叉
 三八八 無名氏
 三九九 大久保甲東
 四一四 にこり水
 四五二 金堀少年
 四五三 遠征奇談
 四五四 二勇少年
 四六二 漂流少年

※「かた恋」を抹消して記す。

不見

四六三 決志少年
 四七二 殖民少年
 四七三 南洋ノ風雲
 四七五 航海少年
 四七八 醉人の妻
 四八〇 仇浪
 四八六 侠勇少年
 四八七 航海奇談
 四八八 統遠征奇談
 四八九 朽木の舟
 四九六 不撓少年
 五二二 太閤軍記朝鮮卷
 五三五 金香露
 五三六 転宅叢談
 五三七 曼府の叛乱
 五三八 川そひ柳
 五三九 ふた夫婦
 五四一 新形時絵護護櫛
 五四二 慈善心中
 五四〇 大川物語
 五四三 蓮葉娘
 五四四 椿の花杷
 五四五 両面鏡
 五五二 地獄之花
 五五四 雪崩と百合
 五五七 田毎かゞみ

五六一 浜子

雜書

- 一六 薩長土肥
- 六一 岡本子
- 六九 統計年鑑
- 八四 日本人
- 八七 朝野人物評
- 九一 戦袍日記
- 一一一 豪勇少年
- 一一二 丈夫の本領
- 一一五 活氣之焰
- 一一八 明治園秀美談
- 一二一 信任投票の原理
- 一二一 国会解散の準備
- 一二四 読書法
- 一二九 千代田城大奥
- 一三三 明治紳士録
- 一三六 海国
- 一四三 開口笑話
- 一六九 活文字
- 一七〇 桜痴放言
- 一七一 懐旧
- 一八四 貧天地探検記
- 一九一 世界に於ける日本人

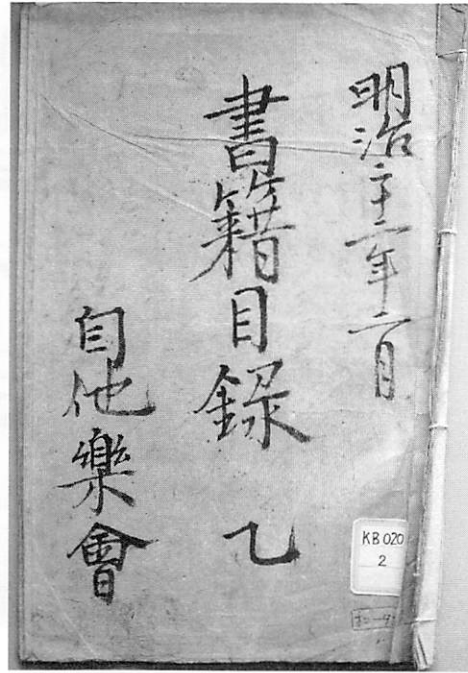
不見

- 一九八 三醉人経綸問答
- 二〇四 立身問答
- 二〇八 馬鹿趙高
- 二二二 今世海軍
- 二三五 大奥の女中
- 二六六 陣中日記
- 二四〇 教育者ノ精神
- 二六二 和田守記憶法
- 二七三 風雲漫録
- 二八〇 故西郷大将遺書
- 二八三 軍隊
- 二九〇 断髪流水
- 二九五 平壤包圍攻撃
- 二九七 文学者となるの法
- 三〇二 文学その折々
- 三〇五 小弦集
- 三〇八 標註東西遊記
- 三一六 支那人氣質
- 三一七 黄海大海戦
- 三三五 千紫万紅
- 三三七 皇陵三拝記
- 三四一 兵要録
- 三四三 六無齋遺草
- 三五〇 金〔消〕
- 三五二 威海衛海戦記
- 三五二 松菊余影
- 三五九 雞筋チキ
- 三六七 水川清話
- 三七三 中東戦紀本末
- 三七五 世界的日清戦評
- 七二 三百諸侯
- 三八七 楽天録
- 三九二 諸國東遊記
- 三九三 古風土記逸文
- 四一一 墨水遺稿
- 四一六 東京風俗志
- 四一八 五十家訪問録
- 四一九 統当世活人画
- 四二二 古戰場
- 四二三 古風土記
- 四二七 立身策
- 四三九 金剛石の原野
- 四四〇 西比利亞蒙古旅行
- 四四九 ヒマラヤ山探検
- 四五〇 サハラ大沙漠
- 四五一 現代をんな氣質
- 四六七 日本風俗
- 四六九 北京籠城
- 四七〇 博覽古言
- 四七一 海の歴史
- 四七六 元祿時勢粧
- 四八二 一年有半

- 四八三 統一年有半
- 四九〇 一年有半と旧式の唯物論
- 四九三 况翁閑話
- 四九四 米僊画談
- 五五六 神州元氣
- 五六〇 大國民
- 五四七 帝國法典
- 五四九 日本刑法
- 五五〇 治罪法

【表紙】

明治二十二年二月／書籍目録 乙／自他楽會



【本文】

※二つ折りした半紙に墨書。書籍の借用日数に関する記載は見返しにある。

一借用書籍ハ格別ノ速急ヲ要セサルヲ以テ一日平均四十Page卜定ム

著者	書名	冊数	借用日数
齋藤	愛国正義	全一冊	二日
木村	吉田松陰遊歴日記	一冊	二日
〃	文学叢書		一日
〃	三酔人経綸問答		三日

大英今代史 一冊二付五日

憲法論〔消〕 三日

上古史〔消〕 五日

中古史〔消〕 六日

論理実習〔消〕 三日

政体論〔消〕 三日

社会論 東海 三日

社会平権論 三日

惹穂氏論理学〔消〕 六日

変哲学 三日

愛国偉蹟 二日

金 四日

代議政体論〔消〕 二日

理財学講義 齋藤 二日

社会学 五日

哲学汎論〔消〕 五日

北支那戦争記 木村 三冊

国債論〔消〕 一冊 二、四日 三、四日

滑稽家列伝 渋谷水穂君 一冊

学友通信 古川寿平君 一冊

文

教育

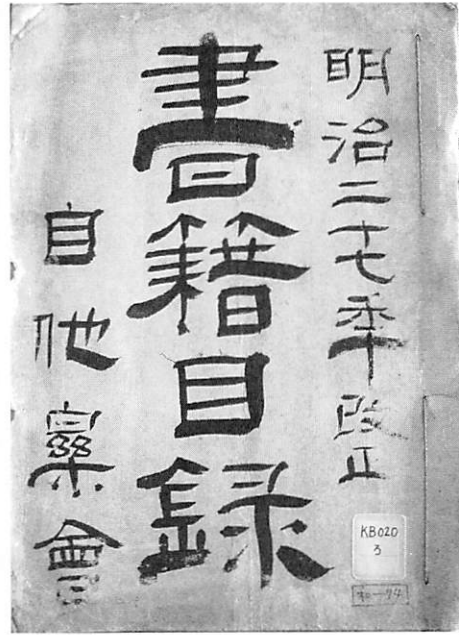
□□□□

□□□□

□□□□

【表紙】

明治二十七年改正／書籍目録／自他楽会



【本文】

※それぞれの書籍につき、「書名」「番号」「冊数」「摘要」「購入年月」「価格」の項目から成るが、翻刻に際し「摘要」の記載事項を当該書籍の次行の注に書き出した。書名上の「。」などの符丁は枠外に記されていたもの。

自他楽会書籍目録

書名	番号	冊数	購入年月	価格
○英雄之肝膽	一	一冊	明治二十二年三月	四十五銭
○文覚上人勸進帳	二	一冊	同	二十八銭

○哲学汎論	三	一冊	同	十九銭
○文明要論	四	一冊	同	五十二銭五厘
○国家教育策	五	一冊	同	四十銭
○洒落哲学	六	一冊	同	三十銭
○東洋遺稿 六号	七	一冊	同	一円〇二銭
○大政参遷史	八	一冊	同	四十五銭
○直税及間税	九	一冊	同	二十九銭
○動物進化論	一〇	一冊	同	二十銭
○万物退化新説	一一	一冊	同	二十二銭
○国憲汎論	一二	一冊	明治二十二年	三円五十銭
○日清文明論	一三	一冊	同	一円二十銭
○欧州大勢論	一四	一冊	同	四十四銭二厘
○簡明論理学	一五	一冊	同	二十二銭五厘
○薩長土肥	一六	一冊	同	十銭五厘
○色懺悔	一七	一冊	同	十二銭
○海嘯義捐小説	一八	一冊	同	十一銭七厘
※紙片を貼って書名を記す。「相馬文太郎、掘出物紛失二付報償」〔摘要〕。				
○自由略論	一九	一冊	同	三十銭
○美辞学	二〇	二冊	同	八十七銭
○乙女心	二一	一冊	同	十二銭
○妹背貝	二二	一冊	同	十二銭
○宗教革命論	二三	一冊	同	四十三銭
○破邪活論	二四	一冊	同	一円〇五銭
○我国之内政外交	二九	一冊	同	十一銭
○鴻雪録	二五	一冊	同	五十四銭
○普通心理学	二六	一冊	同	一円二十五銭

新篇紫史 二七 四冊 同 一円四十銭

○残菊 二八 一冊 同 十二銭

×風流仏 二九 一冊 同 十二月 十二銭

○如温武雷士 三〇 一冊 同 十二銭

○財政学 三一 二冊 同 三十四銭

○クラントストン公伝 三二 一冊 同 三十銭

○弥児頓論 三三 一冊 同 二十九銭

※「弥児頓伝」の「伝」を改める。

○埃及近世史 三四 一冊 明治二十三年一月 一円五十銭

○哲学涓滴 三五 一冊 同 六十三銭

○平民政治 三六 十五冊 自明治二十三年二月至明治二十四年二月 三円二十四銭四厘

※価格は「二円三十八銭」を朱で訂正。

○富氏自叙伝 三七 一冊 明治二十三年三月 二十六銭

○埃及惨状 三八 一冊 同 五十四銭

○赤穂義士実話 三九 一冊 同 七十八銭

○松花録 四〇 一冊 同 五月 十一銭

○芳李 四一 一冊 同 十一銭

○啞之旅行 四二 二冊 前編明治二十三年三月 後編明治二十四年五月 三十八銭四厘

○小楠遺稿 四三 一冊 明治二十三年三月 十六銭八厘

○理查士浩武電 四四 一冊 同 十六銭八厘

○科学ノ原理 四五 一冊 同 四十九銭

○小説史稿 四六 一冊 同 四十銭

○浮城物語 四七 一冊 同 六十七銭

○婦納論理学 四八 二冊 同 七月 一円五十五銭

○進化原論 四九 一冊 同 五十九銭

○亜細亜之光輝 五〇 一冊 同 十六銭五厘

○観風叢話 五一 一冊 同 九月 四十五銭

○経世危言 五二 一冊 同 二十七銭

○文芸倶楽部 五三 一冊 同 十五銭

※「戸寅之助君棉省紛失ニ付明治三十年一月弁償」(摘要)。「棉省」と記した上に貼り紙をして書名を「文芸倶楽部」に改める。

○万国歴史 五四 一冊 同 一円十銭

○日本歴史 五五 一冊 同 八十銭

○日曜講義 五六 一冊 同 十八銭

○南洋時事 五七 一冊 同 五十銭

○顕正活論 五八 一冊 同 四十三銭

○社会学 五九 一冊 同

※小和田武司君寄贈(摘要)

○星界想遊記 六〇 一冊 同 十二月 二十六銭

○岡本子 六一 一冊 同 六十五銭

○德育鎮定論 六二 一冊 同 二十六銭

○政教日記 六三 二冊 同 二十五銭

○日本文学史 六四 二冊 同 一円八十五銭

○蘇丹令 六五 一冊 明治二十四年一月 三十六銭

○五大国漫遊 六六 一冊 同 三十銭

○紫式部 六七 一冊 同

※紙片を貼つて書名を記す。棟方樺二君弁償(摘要)。

○理財学講義 六八 一冊 同

※寄贈(摘要)

○統計年鑑 六九 一冊 同 一円四十五銭

○格朗究 七〇 一冊 同 十九銭

。巴波川	七一	一冊	同	八十一錢
つゆこそて	七二	一冊	同	十二一錢
。墨染桜	七三	一冊	同	十二一錢
。妾薄命	七四	一冊	同	十二一錢
。五十門世界周遊記	七五	一冊	同	二十錢
。温知叢書	七六	六冊	自同三月 至明治二十四年六月	一円三十二錢
。百家説林	七七	十冊	自明治二十四年三月 至明治二十五年三月	三円八十一錢
※梓外に「二冊不見」と記す。				
。路錫	七八	一冊	同二十四年二月	十六錢
。日本経国論	七九	一冊	同	九十五錢
。普通倫理学	八〇	一冊	同三月	七十錢
。仏教活論序論	八一	一冊	同	十錢
※紛失セルヲ以テ明治二十六年九月更ニ購求(摘要)				
。国史眼	八二	七冊	同	一円四十五錢
。印度奇観	八三	一冊	同四月	四十六錢
。日本人	八四	一冊	同	二十二錢
。豪洲及印度	八五	一冊	同	二十八錢
。安政記事	八六	一冊	同二十五年十二月	三十錢
。朝野人物評	八七	二冊	明治二十四年五月	十八錢
。日本教育論	八八	一冊	明治二十四年五月	三十九錢五厘
。普通教育学	八九	一冊	同	九十三錢
。今世名家文鈔	九〇	一冊	同	十八錢
。戦袍日記	九一	一冊	同六月	二十八錢
。大福帳	九二	一冊	同	三十六錢
。御伽草子	九三	二冊	同	三十六錢
。南洋の大波瀾	九四	一冊	同七月	四十八錢

。東方策	九五	三冊		一円六十八錢
。近松門左衛門	九六	一冊	同十月	三十六錢
※紙片を貼つて書名・番号を記す。「明治三十年一月棟方君弁償」(摘要)。				
。倫理学教科書	九七	四冊	同十月	一円二十錢
。高等経済原論	九八	一冊	同	一円九十六錢
。泰西十五大決戦史	九九	三冊	同	一円十錢
。文章組立法	一〇〇	一冊	同	五十五錢
。文つかひ	一〇一	一冊	同十一月	十二錢
。山吹塚	一〇二	一冊	同	同
。長者鑑	一〇三	一冊	同	同
。新世帯	一〇四	一冊	同	同
。離れ齋	一〇五	一冊	同	同
。心理学	一〇六	二冊	同十月	同
※高山龟代作/三浦武三郎/山中嵯峨之助寄贈(摘要)				
。維新豪傑談	一〇七	一冊	同	三十五錢
。経国策	一〇八	一冊	同十一月	
※佐藤兵馬君寄贈(摘要)				
。剪燈史談	一〇九	一冊	同	
※同右(摘要)				
。小地質学	一一〇	一冊	同十二月	四十八錢
。中等新地理学三冊	一一一	四冊	明治二十五年三月	五十五錢
※三浦武三郎君弁償三十六年七月(摘要)				
。丈夫の本領	一一二	一冊	明治二十五年六月	四十錢
。臨淵言行録	一一三	一冊	同	
※浦田廣君寄贈(摘要)				
。文学一斑	一一四	一冊	同	十八錢

○活氣之焰	一一五	一冊	同	六月	二十錢
○経世偉略	一一六	一冊	同		三十二錢
○春廻屋漫筆	一一七	一冊	同	七月	二十四錢
○明治園秀美談	一一八	一冊	同	七月	十一錢
○日本漂流譚	一一九	二冊	上卷明治二十五年七月 下卷明治二十七年九月		四十一錢
○井筒女之助	一二〇	一冊	明治二十五年七月		二十四錢
○信任投票の原理 国会解散の準備	一二一	一冊	同		
※花田大六君寄贈(摘要)					
○開国始末	一二二	一冊	同		一円十五錢
○神皇正統記	一二三	三冊	同		六十錢
○読書法	一二四	一冊	同		十八錢
○死及死後	一二五	一冊	同		九錢五厘
○倫理摘要	一二六	一冊	同		三十八錢
○支那開化小史	一二七	一冊	同		七十五錢
○明治政史	一二八	十二冊	自明治二十五年八月 至明治二十六年六月		八十六錢
○千代田城大奥	一二九	二冊	上卷明治二十五年九月 下卷同二十六年一月		八十六錢
○奴の小方	一三〇	一冊	明治二十五年八月		二十四錢
○新編物理学	一三一	二冊	同	八月	二円
○南洋探検実記	一三二	一冊	同		二十二錢
※書名は「南洋の大波瀾」を朱で訂正。					
○明治紳士録	一三三	二冊	同		二十錢
○まほろし	一三四	一冊	同	九月	十六錢
○西比利亜鉄道論	一三五	一冊	同	九月	三十七錢
○海国	一三六	二冊	同		六十八錢
○平野次郎	一三七	一冊	同		十錢
○相思相愛之現象	一三八	一冊	同		十七錢

○動物学	一三九	一冊	同	十月	七十錢
○植物学	一四〇	一冊	同		七十錢
○鉱物学	一四一	一冊	同		五十七錢五厘
○新日本史	一四二	二冊	同	十月	六十一錢
○開口笑話	一四三	一冊	同		二十四錢
○新撰日本外史	一四四	十二冊	自明治二十五年十一月 至明治二十七年十月		一円六十八錢
○徳川十五代史	一四五	十二冊	自明治二十五年十一月 至明治二十七年二月		二円七十六錢
○那破斎鳴物語	一四六	一冊	明治二十五年十一月		二十五錢
○小公子	一四七	一冊	同	十一月	四十錢
○我觀小景	一四八	一冊	同		三十錢
○罪と罰	一四九	二冊	一卷明治二十五年十二月 二卷明治二十六年四月		七十六錢
○万国史綱	一五〇	二冊	自明治二十五年十二月 至明治二十六年四月		一円
○くらんとすとん伝	一五一	一冊	明治二十五年十一月		十七錢五厘
○帝国史略	一五二	四冊	明治二十六年一月		七十二錢
○大疑獄	一五三	二冊	上卷明治二十六年 一月 下卷同四月		七十七錢五厘
※価格は「三十八錢五厘」を朱で訂正。					
○荒海実一	一五四	一冊	同	一月	二十四錢
○清少納言	一五五	一冊	同		
※「明治三十年三月山中嵯峨之助弁償」と記した紙片を購入年月の項に貼る。					
○風の糸目	一五六	一冊	同		十四錢五厘
○花相撲	一五七	一冊	同		十七錢
○日本史学新説	一五八	一冊	同		十三錢五厘
○百工開源	一五九	一冊	同		
※花田大六君寄贈(摘要)					
○修辞学	一六〇	一冊	同		
※花田大六君寄贈(摘要)					

。啓使者	一六一	二冊	同	三十八錢
。天竺徳兵衛	一六二	一冊	同	二十四錢
。練絹新三郎	一六三	一冊	同	二十錢
。日本通史	一六四	二冊	同 <small>九月</small>	一円
。今古雅譚	一六五	一冊	同	三十八錢
。相馬大作	一六六	一冊	同	三十錢
。日本歴史評林	一六七	十二冊	自明治二十六年二月 至明治二十七年二月	一円六十八錢
。墨西哥探検記	一六八	一冊	明治二十六年二月	二十三錢
。活文字	一六九	一冊	同	二十八錢
。桜痴放言	一七〇	一冊	同 三月	二十五錢
。懐旧	一七一	一冊	同	十八錢
。社会平権論	一七二	一冊	同	三十三錢
。若葉	一七三	一冊	同	二十二錢
。世界三週航実記	一七四	一冊	同	四十錢
。益軒十訓	一七五	一冊	同	八十錢
。破太鼓	一七六	一冊	同 三月	二十一錢五厘
。闇黒亜弗利加	一七七	六冊	自明治二十六年三月 至明治二十七年四月	八十五錢
。宗教哲学骸骨	一七八	一冊	同 四月	十錢
。教育ト宗教ノ衝突	一七九	一冊	同 五月	二十八錢
。教育宗教關係論	一八〇	一冊	同	十四錢
。耶穌教衝突論	一八一	一冊	同 六月	十六錢二厘
。万国地理指要	一八二	二冊	卷ノ上明治二十六年 六月 卷ノ下同九月	九十八錢
。山岡鉄舟伝	一八三	一冊	明治二十六年七月	十八錢
。貧天地探検記	一八四	一冊	同	十四錢
。富強策	一八五	一冊	同	二十錢
。東亜ノ大勢	一八六	一冊	同	三十錢

。排偽哲学	一八七	一冊	同	十一錢
。快男児	一八八	一冊	同	十七錢
。社会進化論	一八九	一冊	同 八月	一円十五錢
。春日局	一九〇	一冊	同	十六錢
。世界ニ於ケル日本人	一九一	一冊	同	一円二十錢
。教育者として孔夫子	一九二	一冊	同	十七錢
。闇の世の中	一九三	一冊	同 九月	十八錢
。族制進化論	一九四	一冊	同	八十一錢
。四十年後日本	一九五	二冊	同	四十八錢
。宗教進化論	一九六	一冊	同	一円十五錢
。愛国偉績	一九七	一冊	同	
※齋藤徹君寄贈(摘要)				
。三酔人経綸問答	一九八	一冊	同	
※木村卯太郎君寄贈(摘要)				
。文学叢書	一九九	一冊	同	
※同右(摘要)				
。倫理学	二〇〇	一冊	明治二十六年九月	九十錢
。社会学ノ原理	二〇一	八冊	同 十月	一円五十錢
。日本戦史 関ヶ原	二〇二	一冊	同	一円四十錢
。其囚人	二〇三	一冊	同 十二月	
※「木村良太郎君寄贈」(摘要)。梓外に「二〇五号トセリ」と記す。				
。王陽明	一冊	同	明治二十七年一月	四十三錢
※番号欄は空欄。				
。立身問答	二〇四	一冊	同	
※花田大六君寄贈(摘要)				
。方丈記	二〇五	一冊	同	

※同右(摘要)

○吉田松陰	二〇六	一冊	明治二十七年一月	四十五錢
○懷往事談	二〇七	一冊	同 五月	十八錢
○馬鹿趙高	二〇八	一冊	同	二十錢
○排仏教	二〇九	一冊	同	二十錢
○盲詩人	二一〇	一冊	同	二十一錢
○我國ノ前途	二一一	一冊	同 八月	二十四錢五厘
○今世國家論	二一二	一冊	同	三十錢
○今世國務論	二二三	二冊	上卷明治二十七年八月 下卷明治二十七年九月	六十錢
○新攘夷論	二二四	一冊	同	三十錢
○支那文明論	二二五	一冊	同	三十錢
○政治及經濟	二二六	一冊	同	三十錢
○宋學概論	二二七	一冊	同	二十七錢
○權利競争論	二二八	一冊	同	二十七錢
○藩幹譜	二二九	六冊	自明治二十七年九月 至明治二十八年十二月	一円八十錢
○支那彙報	二二〇	一冊	明治二十七年九月	四十五錢
○朝鮮彙報	二二一	一冊	同	四十五錢
○鯨幾太郎	二二二	一冊	同	二十九錢
○強者ノ權利	二二三	一冊	同	三十六錢
○西郷隆盛伝	二二四	五冊	自明治二十七年九月 至明治二十八年五月	一円六十四錢
○比較憲法論	二二五	一冊	同 二十七年十月	三十錢
○徳川政教考	二二六	二冊	同 十一月	五十四錢
○学教史論	二二七	一冊	同	四十八錢
○日本風景論	二二八	一冊	同	四十八錢
○新小説	二二九	一冊	同	二十錢
○欧州新政史	二三〇	四冊	自明治二十七年十一月 至同二十八年三月	一円二十錢

○日韓古史断	二三一	一冊	明治二十八年一月	一円二十六錢
○今世海軍	二三二	一冊	同 二月	二十八錢
○道徳学大原論	二三三	一冊	同	一円五十錢
○支那処分案	二三四	一冊	同	
※花田大六君寄贈(摘要)				
○大奥の女中	二三五	三冊	同	八十一錢
○陣中日記	二三六	一冊	同	二十五錢
○孟垂聖	二三七	一冊	同 五月	三十錢
○海賊	二三八	一冊	同	二十錢
○日本風俗史	二三九	二冊	上卷明治二十八年 下卷同	二円五十五錢
○教育者ノ精神	二四〇	一冊	同 五月	十八錢
○佐久間象山	二四一	一冊	同 六月	三十六錢
○英国海戦史	二四二	一冊	同	三十錢
○コサック東方侵略史	二四三	一冊	同	二十五錢
○桜の御所	二四四	二冊	同	三十六錢
○半月城	二四五	一冊	同	二十七錢
○大隈伯昔日譚	二四六	一冊	同	一円三十五錢
○聖徳太子	二四七	一冊	同	三十錢
○徳川光国	二四八	一冊	同	二十五錢
○波斯の旅	二四九	一冊	同 七月	十八錢
○日本西教史	二五〇	二冊	同	一円四十錢
○衣笠城	二五一	一冊	同	二十五錢
○台湾陣	二五二	一冊	同	二十五錢
○不言不語	二五三	一冊	同	二十五錢
○めをと	二五四	一冊	同 九月	十三錢五厘
○国語のため	二五五	一冊	同 八月	二十三錢五厘

。後の三日月	二五六	一冊	同	十八錢
。日蓮記	二五七	一冊	同	九錢
。十二時會稽曾我	二五八	一冊	同	九錢
。関原誓凱歌	二五九	一冊	同	九錢
。東鑑拜賀卷	二六〇	一冊	同	四錢五厘
。古賀市	二六一	一冊	同	二十一錢
。和田守記憶法	二六二	一冊	同	二円二十錢
。後の海賊	二六三	一冊	同	二十七錢
。日本文学集覽	二六四	一冊	同	二十二錢
。浅田宗伯伝	二六五	三冊	同	三十六錢
。伏魔殿	二六六	一冊	同	二十五錢
。近松著作一斑	二六七	一冊	同	三十五錢
。瀧口入道	二六八	一冊	同	二十五錢
。露西亞帝國	二六九	一冊	同	三十四錢
。親鸞聖人	二七〇	一冊	同	三十六錢
。梧陰存稿	二七一	二冊	同	六十三錢
。名譽実録	二七二	二冊	同	一円十錢
。風雲漫録	二七三	一冊	同	十四錢
。北水洋州及 アラスカ 沿海見聞録	二七四	一冊	明治二十九年二月	七十錢
。凱旋紀念帖	二七五	一冊	同	一円五十錢
。おかぬ八目	二七六	一冊	同	二十五錢
。海戦日録	二七七	一冊	同	三十六錢
。桐一葉	二七八	一冊	同	三十八錢
。十九世紀史	二七九	一冊	同	四十五錢
。故西郷大将遺書	二八〇	二冊	同	四十五錢
。林子平	二八一	一冊	同	二十錢

。近世女風俗考	二八二	一冊	同	四月	八十五錢
。軍隊	二八三	一冊	同		二十七錢
。佐藤信淵翁伝	二八四	一冊	同		五十錢
。生物始原	二八五	一冊	同		一円三十五錢
。蒲生君平	二八六	一冊	同	五月	二十錢
。小説家	二八七	一冊	同	六月	三十六錢
。伊藤仁齋	二八八	一冊	同		二十錢
。二千五百年史	二八九	一冊	同		一円五十錢
。断雲流水	二九〇	一冊	同		二十七錢
。世界将来ノ海王	二九一	一冊	同	七月	二十五錢
。平野国臣	二九二	一冊	同	八月	二十錢
。阪本龍馬	二九三	一冊	同		十五錢
。颯々時雨	二九四	一冊	同		二十八錢
。平壤包圍攻撃	二九五	二冊	同		六十四錢
。婚姻進化論	二九六	一冊	同	九月	一円六十錢
。文学者となる法	二九七	一冊	同		十五錢
。平賀源内	二九八	一冊	同		二十錢
。近藤重蔵	二九九	一冊	同		
。近松時代浄瑠璃	三〇〇	一冊	同		四十五錢
。平田篤胤	三〇一	一冊	同	十月	二十錢
。文学その折々	三〇二	一冊	同	十一月	一円
。朝鮮王国	三〇三	一冊	同		四十五錢
。内政外交衝突史	三〇四	一冊	同		二十二錢
。小弦集	三〇五	一冊	同		二十七錢
。昨夢記事	三〇六	二冊	同		一円八十錢

上巻同二十九年十一月
下巻同三十年四月

○韓國純理批判解説 三〇七 上一冊 明治二十九年一月三十日 一円十錢五厘
 ○標柱東西遊記 三〇八 一冊 西遊記二十九 四十五錢

※西遊記ノ三也／東遊記八三九二号(摘要)

○東洋分国史 三〇九 二冊 上卷同二十九年十一月 下卷同三十年四月 七十錢

○由比正雪 三一〇 一冊 同 十二月 二十錢

○小堀遠州 三一〇 一冊 同 二十錢

○本阿弥光悦 三一一 一冊 同 二十錢

○哲学新論 三一二 二冊 同 九十錢

○大塩平八郎 三二三 一冊 同 二十錢

○戦事大探偵 三三四 一冊 同 十三錢

○戦後の日本 三三五 一冊 同 三十錢

※今義勇君寄贈(摘要)

○支那人氣質 三三六 一冊 明治三十年一月 五十四錢

○黄海大海戦 三三七 二冊 同 八十一錢

○青葡萄 三三八 一冊 同 二十五錢

○さゝ舟 三三九 一冊 同 二十五錢

○高田屋嘉兵衛 三三〇 一冊 同 十九錢

○四開提督ペルリ 三三一 一冊 同 十八錢

○釈元恭 三三二 一冊 同 一月 二十三錢

○雲の袖 三三三 一冊 同 二十四錢五厘

○金売吉次 三三四 一冊 同 二十一錢

○鬼あざみ 三三五 一冊 同 二十三錢五厘

○十文字 三三六 一冊 同 四十七錢五厘

○魚屋助左衛門 三三七 一冊 同 二十三錢五厘

○呂宋助左衛門 三三八 一冊 同 二十三錢五厘

○柳沢吉保 三三九 一冊 同 十九錢

○白川楽翁 三三〇 一冊 同 十九錢

○十五少年 三三一 一冊 同 二月 三十二錢

○小弓御所 三三二 一冊 同 二十五錢

○鷲の羽風 三三三 一冊 同 三十二錢

○河及湖沢 三三四 一冊 同 十九錢五厘

○千紫万紅 三三五 一冊 同 三月 二十七錢

○加藤清正 三三六 一冊 同 二十錢

○皇陵参拝記 三三七 一冊 同

※加藤清正ノ附録(摘要)

○人外境 三三八 一冊 自同三月十四日 至同八月十九日 七十六錢

○国史大系 三三九 冊 自同三月 月至同

○台湾外記 三四〇 十二冊 同 四月

※相馬保之進君寄贈(摘要)

○兵要録 三四一 五冊 同

※同右(摘要)

○新井白石 三四二 一冊 同 二十四錢

○前哲六無齋遺事 三四三 一冊 同 五月 二十錢

○明智光秀 三四四 一冊 同 二十四錢

○かけ草 三四五 一冊 同 六月 七十五錢

○支那文先秦文学 支那文先秦文学 学史稿 三四六 一冊 同 四十五錢

○支那文学史 三四七 一冊 同 一円八十錢

○政治汎論 三四八 一冊 同 一円四十錢

○高野長英 高野長英 渡辺華山 三四九 一冊 同 七月 二十四錢

○金 三五〇 一冊 同

※清野八之助君寄贈(摘要)

○威海衛海戦記 三五一 一冊 同 八月二日 七十錢

○松菊余影 三五二 一冊 同 四十三錢

○文天祥	三五三	一冊	同	三十四錢
○水野越前	三五四	一冊	同	二十四錢
○多情多恨	三五五	一冊	同 二十一日	六十八錢
○南島探險	三五六	一冊	同 九月十三日	
※今義勇君寄贈(摘要)				
○織田信長	三五七	二冊	前編同十七日 後編同十一月十二日	四十八錢
○錢屋五兵衛	三五八	一冊	同 九月二十七日	二十四錢
○雞肋	三五九	一冊	同	二十五錢
○真木和泉	三六〇	一冊	同 十月五日	二十四錢
○諸葛武侯	三六一	一冊	同	三十五錢
○日本戰史 大阪役	三六二	三冊	同 十六日	一円三十五錢
○小山田与清	三六三	一冊	同 十一月八日	二十四錢
○津輕信明	三六四	一冊	同	三十五錢
○列國變局志 付地圖二葉	三六五	一冊	同 二十日	六十八錢
○沢庵和尚全集	三六六	一冊	明治三十二年二月二日	三十錢
○氷川清話	三六七	一冊	同 二十一日	二十八錢
○鎧のかげ	三六八	一冊	同 二十二日	三十五錢
○上杉謙信	三六九	一冊	同 二十三日	二十四錢
○鉄血宰相伝	三七〇	一冊	同	三十一錢五厘
○高山彦九郎	三七一	一冊	同	二十四錢
○南征史	三七二	一冊	同 二月十一日	四十五錢
○中東戦紀本末	三七三	一冊	同 三月八日	一円七十四錢
○石川丈山	三七四	一冊	同 十五日	二十四錢
○世界的日清戦評	三七五	一冊	同 四月九日	四十錢
○太田道灌	三七六	一冊	同 五月二十五日	二十五錢
○熊沢蕃山	三七七	一冊	同	七十二錢

陸奥宗光	三七八	一冊	同 七月十五日	四十五錢
※次の「ひとりね」と合わせ書名を記した紙片を貼る。				
ひとりね	三七九	一冊	同	二十三錢
○哲学大観	三八〇	一冊	同	九十錢
○近松世話浄瑠璃	三八一	一冊	同	五十八錢
○台湾嶋史	三八二	一冊	同 十九日	二十二錢五厘
○幕末小史	三八三	三冊	自明治三十一年七月十九日	
○金色夜叉	三八四		自明治三十一年七月三十日	
○幕末外交談	三八五	一冊	同 七月三十日	一円八錢
○支那文学史	三八六	一冊	同 九月二十三日	三十二錢
○楽天録	三八七	一冊	同 十月一日	四十五錢
○無名氏	三八八	一冊	同 三日	三十二錢
○日本仏教史綱	三八九	一冊	上巻明治三十一年十月三日 下巻同三十一年六月十六日	一円十三錢
○世界通史	三九〇	一冊	明治三十一年十月三日	一円五十三錢
○新大地誌	三九一		自明治三十一年十月三日	
○遊園東遊記	三九二	一冊	明治三十一年十二月九日	十八錢
○古風士記逸文	三九三	一冊	同 十四日	七十錢
○日本之陽明学	三九四	一冊	同三十二年一月五日	四十八錢
○山鹿素行	三九五	一冊	同 二十四日	二十二錢五厘
○大石良雄	三九六	一冊	同 二月二十三日	二十二錢五厘
○蜀山人	三九七	一冊	同	二十二錢五厘
○伊藤東涯	三九八	一冊	同 三月二十五日	
○津縣信政公事蹟	三九九	一冊	同 四月二十九日	三十五錢
※菊池元衛氏寄贈(摘要)				
○勝海舟	四〇〇	一冊	同 六月十日	四十五錢
○心性遺伝論	四〇一	一冊	同 十六日	七十二錢

トーマス英雄論 カールエル	四〇二	一冊	同	二十七日	五十七錢	日本戦史 桶狭間役	四二八	二冊	同	二十八日	一円
○欧米漫遊雜記	四〇三	一冊	同	七月十八日	四十一錢	○内地地理学講義	四二九	一冊	同		三十八錢
○南嶋沿革史論	四〇四	一冊	同		三十六錢	○心理学十回講義	四三〇	一冊	同	四月十三日	
○日韓交渉北海道史稿	四〇五	一冊	同	十九日	五十錢	※福士末之助君寄贈(摘要)。					
日本名勝記	四〇六	二冊	上卷明治三十二年八月 二十三日 下卷同十月十四日		一円八錢	○ラッ認識論	四三一	一冊	同		
○審美綱領	四〇七	二冊	同	七日	一円八錢	※「同」(摘要)。以下、物理学現今之進歩まで摘要欄に「同」と記し、福士の寄贈であることを示す。					
○藤田東湖	四〇八	一冊	同	十月十九日	四十五錢	植物学講義	四二三	一冊	同		
エミール抄	四〇九	一冊	同	二十三日	七十五錢	○新論	四三三	二冊	同		
国語学小史	四一〇	一冊	同	二十五日	一円三十錢	○教育精義	四三四	一冊	同		
○墨水遺稿	四一一	一冊	同	十一月二日	一円	○坪氏論理学	四三五	一冊	同		
○達磨	四一二	一冊	同		二十二錢五厘	物理学現今之進歩	四三六	一冊	同		
国文中の仏教文学	四一三	一冊	同	六日	三十六錢	○近世德育史伝	四三七	一冊	同	二十六日	七十六錢五厘
にこり水	四一四	一冊	同	十四日	二十五錢	大英国漫遊実記	四三八	一冊	同	五月二十二日	六十三錢
滑稽妙文集	四一五	一冊	同		二十七錢	○金剛石の原野	四三九	一冊	同	六月二十二日	二十五錢
○東京風俗志	四一六	二冊	上卷明治三十二年十二月十四日			○西比利亞蒙古古旅行	四四〇	一冊	同		二十五錢
○森先生伝	四一七	一冊	明治三十二年 十一月二十三日		九十錢	千嶋探検録	四四一	一冊	同		十錢
○五十家訪問録	四一八	一冊	同	十二月二日	三十六錢	中江藤樹	四四二	一冊	同		三十一錢
続当世活人画	四一九	一冊	同		二十五錢	○抱庵遺稿	四四三	二冊	同		一円二十錢
○近世文学史論	四二〇	一冊	明治三十三年一月一日		三十五錢	○英国今代史	四四四	一冊	上ノ卷明治三十三年七月三日		
大日本通史	四二一		上卷明治三十三年一月十八日			○支那哲学史	四四五	一冊	同	二十五日	一円八錢
古戦場	四二二	一冊	同	一月二十日	三十七錢	○菅公伝	四四六	一冊	同	二十七日	三十八錢
○評注古風土記	四二三	一冊	同	二月二十一日	八十二錢	○燕山楚水	四四七	一冊	同		四十錢
楊貴妃	四二四	一冊	同	三月九日	十八錢	熊本籠城談	四四八	一冊	同	二十九日	二十八錢
○新建国	四二五	一冊	同	十四日	十八錢	○ヒマラヤ山探検	四四九	一冊	同	九月五日	二十五錢
○伏見血涙録	四二六	一冊	同		二十一錢	サハラ大沙漠	四五〇	一冊	同		二十五錢
○立身策	四二七	一冊	同	二十四日	三十二錢						

現代をんな氣質	四五二	一冊	同	十月二十三日	三十一錢
○金福少年	四五二	一冊	同		二十六錢
遠征奇談	四五三	一冊	同		二十六錢
○二勇少年	四五四	一冊	同		二十六錢
世界宗教一斑	四五五	一冊	同	十一月九日	
※工藤実君寄贈(摘要)					
○小野小町	四五六	一冊	同	十四日	二十二錢
○ <small>世同大</small> クルーゲル	四五七	一冊	同	十二月十五日	二十五錢
白山黒水	四五八	一冊	同		四十三錢
東邦近世史	四五九	一冊	上卷	同三十三年十二月十五日	
○日本陽明学派之哲学	四六〇	一冊	明治三十四年二月十六日	一円二十六錢	
社会的教育学	四六一	一冊	同		四十八錢
世界冒險譚 漂流少年	四六二	一冊	同	十七日	二十六錢
○同 決志少年	四六三	一冊	同		二十六錢
伊達行朝勤王事歴	四六四	三冊	同	十九日	一円五十錢
今様長歌 湖上之美人	四六五	一冊	同	二月一日	五十七錢
○米國漫遊雜記	四六六	一冊	同	七日	三十三錢
日本風俗	四六七	一冊	同		二十八錢
○朝鮮開化史	四六八	一冊	同	九日	九十錢
○北京籠城	四六九	一冊	同	十三日	
※今義勇君寄贈(摘要)					
博覽古言	四七〇	一冊	同	二十六日	
※木村卯太郎君寄贈(摘要)					
○海の歴史	四七一	一冊	同	二十八日	二十五錢
○世界冒險譚 殖民少年	四七二	一冊	同		二十六錢
南洋之風雲	四七三	一冊	同	三月二日	三十八錢

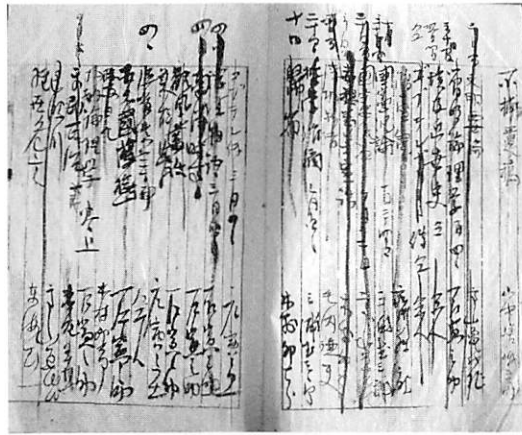
○ペリリ渡雨夜物語	四七四	一冊	同	三月十二日	三十錢
○ <small>世同大</small> 航海少年	四七五	一冊	同	五月十七日	二十六錢
元禄時勢粧	四七六	一冊	同		二十六錢
○カーネギー	四七七	一冊	同	六月五日	二十五錢
醉人の妻	四七八	一冊	同	十五日	五十錢
英文学史	四七九	一冊	同	二十二日	一円八十錢
仇浪	四八〇	一冊	同	七月十五日	五十五錢
○韓退之	四八一	一冊	同		三十五錢
一年有半	四八二	一冊	同	十月一日	三十三錢
統一有半	四八三	一冊	同	二十八日	三十五錢
自然界之現象	四八四	一冊	同	十一月二十八日	五十錢
○日本戦史 姉川役	四八五	三冊	同	十二月六日	一円三十五錢
○世界冒險譚 快勇少年	四八六	一冊	同	十二月十二日	二十七錢
○航海奇談	四八七	一冊	同		二十二錢
○世界冒險譚 統遠征奇談	四八八	一冊	同	十三日	二十七錢
○同 朽木の舟	四八九	一冊	同		二十七錢
一年有半と旧式の唯物論	四九〇	一冊	同	二十九日	二十七錢

6・01 書籍貸付簿（明治二十四年一月）

【表紙】

明治二十四季一月／書籍貸付簿／自他楽会

【本文】



十五日〇 小説史稿 明治二十四年一月一日借用

二十日マデ 普通心理学 一月一日借用 棟方悌二

二十日マデ 進化原論 一月一日借用 毛内謙夫

動物進化論 〃 同人

動物進化論 〃 同人

※毛内が借りた右の三冊の借用日時の記事の上に「たかやま」の朱印を捺す。

小楠遺稿 山中嵯峨之助

文明要論 高山亀代作

簡明論理学 一月四日 一戸寅之助

埃及近世史 同人

ゴブデン 同人

鴻雪録 齋藤徹

国憲汎論 一月二十四日 三浦武三郎

国憲汎論 二月〇二日 高山亀代作

赤穂義士実話 木村卯〇

浮城物語 毛内謙夫

哲学涓滴 三月四日 三浦武三郎

帰省 〃 木村卯太郎

コブデン伝 三月四日 一戸寅之助

浮城物語 三月四日 一戸寅之助

南洋時事 一戸寅之助

觀風叢話 一戸寅之助

美辞学 一戸寅之助

政教日記 木村卯太郎

簡明論理学卷上 一戸寅之助

四月二十五日 平民政治 〇〇

巴波川 高山亀代作

経世危言 東海武一

美辞学 佐藤兵馬

堀出もの 〃

芳李 〃

いもせ貝 〃

英雄ノ肝膽 齋藤徹

南洋時事 佐藤兵馬

蘇丹令 岩庭為世

埃及近世史 〇〇〇之助

富氏自叙伝 齋藤徹

文覚上人親進帳 棟方悌二

文明要論 棟方悌二

国家教育策 齋藤徹

色懺悔 齋藤徹

乙女心 〃

如温武雷土 齋藤徹

日本歴史 棟方悌二

顕正活論 一戸寅之助

德育鎮定論 棟方悌二

妾薄命 一戸寅之助

政教日記 一戸寅之助

借用スルモノハ此ノ帳簿ニ月日書名姓名期限ヲ記入スベシ

※右の事項を見返しに記す。以下、書名はほとんどすべてタテの線で消されている。書名の上の日数及び符丁は枠外に記載。

弥兎頓論 明治二十四年 東海武一 美辞学
〇〇〇借用

二十日マデ 大政三遷史 一月一日借用 齋藤典治

入	國憲汎論	六月一日	同	入	婦省	〇月十日入三醉人経輪問答一冊	〇〇〇世界週遊記	東海武一
入	浮城物語	〇〇	〇〇	入	〇月十日入三醉人経輪問答一冊	温智叢書	〇〇〇	
入	簡明論理学	東海武一	〇〇		重紐亜ノ光輝一冊	百家説林 一三	〇〇〇	棟方悌二
入	蘇丹令	毛内〇〇	〇〇		日本文学史一冊	〇〇〇問答	〇〇〇	
入	万国史要	一戸寅之助	〇〇		百家説林一冊	〇〇〇問答	〇〇〇	
入	平民政治 第四	岩庭為世	〇〇		日本人	〇〇〇問答	〇〇〇	
〇四月間	義士実話一冊	三上徳之助	〇〇		九月二日	文覚	〇〇〇	
十日間	小説史稿一冊	三上徳之助	〇〇		新編紫史	文覚	〇〇〇	
十日間	入 婦省	岩庭為世	〇〇		返納	文覚	〇〇〇	
十日間	岡本子	一戸寅之助	〇〇		〇山金 フランクリン伝	文覚	〇〇〇	
十月四日上納	クローンウエル	同人	〇〇		新著百種妾薄命クラ	文覚	〇〇〇	
三日間	入 進化原論	同人	〇〇		トストン伝 星界想遊記	文覚	〇〇〇	
入	小楠遺稿	一戸寅之助	〇〇		統計表一冊	文覚	〇〇〇	
入	論理学	東海武一	〇〇		九月九日	文覚	〇〇〇	
入	経世危言	東海武一	〇〇		文覚上人勸進帳	文覚	〇〇〇	
入	欧州大勢論	一戸寅之助	〇〇		文明要論	文覚	〇〇〇	
入	妾薄命	佐藤兵馬	〇〇		国家教育策	文覚	〇〇〇	
入	乙女心	岩庭為世	〇〇		動物進化論	文覚	〇〇〇	
入	普通論理学	一戸庸之助	〇〇		動物進化論	文覚	〇〇〇	
入	朝野人物評二	齋藤徹	〇〇		十月四日返納	文覚	〇〇〇	
入	自由略論	高山亀代作	〇〇		動物進化論	文覚	〇〇〇	
入	財政学	岩庭為世	〇〇		返納	文覚	〇〇〇	
入	直税及間税	右同人	〇〇		小楠遺稿	文覚	〇〇〇	
入	科学ノ原理	〇〇〇〇〇〇	〇〇		浮城物語	文覚	〇〇〇	
入	〇〇文明論	棟方悌二	〇〇		十月五日返納入進化原論	文覚	〇〇〇	
					十月〇日返納入開国始末	文覚	〇〇〇	
					顕正活論	文覚	〇〇〇	
					〇德育鎮定論	文覚	〇〇〇	
					日本文学史 下	文覚	〇〇〇	
					蘇丹令	文覚	〇〇〇	
					巴波川	文覚	〇〇〇	
					妾薄命	文覚	〇〇〇	

○ 百家説林 ○二五

一戸 普通倫理学

□ 国史眼

一戸 印度奇観

廻り 日本教育論

小 今世名家文鈔

齋 大英今代史

昨年中ノモノ

代議政体論 齋藤竹次郎

破邪活論 森健枝

風流仏 不明

武雷土 一戸寅之助

フランクリン 東海武一

美辞学 //

大英今代史 齋藤徹

浮城物語 木村卯太郎

6・02 書籍貸付簿(明治二十四年)

【表紙】

明治二十四年／書籍貸付簿／自他業会

【本文】

6・02・01 書籍貸付簿

※會員ごとに罫紙一丁を充てる。書名の上に付記した「入」は返納の符丁。

三浦武三郎

書籍名 冊数 借用月日 返却月日

入 経世危言〔酒〕 一冊 十月十七日 十月三十一日

入 仏教活論本論破邪ノ部 一冊 十月二十五日 十一月十日

入 大福帳〔酒〕 一冊

入 浮城物語〔酒〕 一冊

山中嵯峨之助

入 進化原論 一冊 十月十七日 十月三十一日

入 宗教革命論 一冊 // 十月二十五日返し

※返却日は「//」の上に朱書したもの。

入 政教日記 上下二冊 // //

統計年鑑 一冊 十月十九日

蘇丹令 一冊 十一月十四日

齋藤竹二郎

※「三浦武三郎」の丁のウラに記載。

いもせ貝

松花録

新世帯

さむ菊

すみ染桜

木村卯太郎

※記載なし。

和田慶三郎

入 唾ノ旅行□ノ一冊 十月十五日

亜細亜ノ光輝 一冊 十二月九日

浮城物語 一冊 十二月二十四日

小和田武司

文学史 卷之上下 二冊

東海武一

美辞学〔酒〕 前一冊 十月 十二月二十四日返却 二冊 十一月六日

印度奇観 一冊 十一月六日

文学叢書 一冊 十二月二十六日

三河世界周遊記 一冊

齋藤徹

如温武雷土

大英今代史

普通心理学 一冊 十月六日

入 德育鎮定論 一冊 同 十二月五日
入 日本歴史 一冊 同 十二月十四日

入 小説史稿〔消〕 一冊 同 十二月十四日
入 南洋ノ大波瀾 一冊 同 十二月十四日

日本歴史

大福帳 一冊 十月二十日 十一月十日

入 温知叢書 一冊 二十四年十二月三日 十二月二十日

佐藤兵馬

浮城物語 一冊 同 同

入 御伽草子 二冊 同上 十二月二十日

入 哲学涓滴 完

姜薄命 一冊 同 同

入 埃及近世史

朝野人物評 二冊 十二月十二日

齋藤典治

入 フランクリン伝

唾之旅行 二冊 同 十

入 蘇丹令 四冊 十一月二日

ミルトン伝訳

入 南洋時事 一冊 同 十二月五日

新編紫史 四冊 大政三遷史 一冊 十一月二日

東洋遺稿〔消〕

棟方悌二

簡明論理学 一冊 十月二十日

森健枝

美辞学 後二冊 十一月一日

入 仏教活論 二冊 十一月二日

日清文明論〔消〕

入 赤穂義士実話〔消〕 一冊 十一月十五日

入 百家説林五 一冊 十二月二日

平民政治 六七

金与惣之助

万国歴史 一冊 二十四年十月六日

入 印度奇観〔消〕 一冊 十一月二日

科学ノ原理

婦納法論理学 上下 同上

入 普通論理学 一冊 同上

小説史稿

岩庭為世

財政学 一ノ巻及 七中巻

入 顕正活論 一冊 十一月十二日返納

高山亀代作

平民政治 一冊

入 浮城物語〔消〕 一冊 十月十九日返納

入 濠州及印度

国家教育策 一冊

入 科学ノ原理 一冊 十一月二十日返納

入 仏教活論序論〔消〕 二冊 十一月二日

今世名家文鈔 一冊

入 小楠遺稿 一冊 十一月二日返納

入 国史眼 卷之一 十一月二日

三上徳之助

入 赤穂義士実話〔消〕

入 直税及間税 一冊 十月十九日返納

入 哲学涓滴 十一月四日

入 日本入 十二月九日

今助次郎

※「冊数」の欄にも書名を記しており、「国史眼」と同じ行の上には「哲学涓滴」がある。返納日はいずれともとれる。

入 南洋時事 一冊 十月十二日
入 嘔之旅行 前編 同
動物進化論 一冊 十月十五日

退化新説 一冊 十一月十七日
進化原論 一冊 十二月十四日

相馬文太郎

入 温知叢書 一三三六
入 百家説林 一三三三
大福帳 一冊 十二月二十七日

十二月二十
日返却

つゆ小袖

芳李

長者鑑

文使

妾薄命

藤田未類二

愛国偉蹟

赤穂義士

グラットストン

コブテン

フランクリン

路錫

クロンウエル

二十六日借シ

同

、

、

、

6・02・02 (借用証)

※三上徳之助の丁と齋藤典治の丁との間に挟み込まれた紙片。墨書。

記

□□論

温知叢書 一冊

御伽草子 前後二冊

右正三拝借□候也

二十四年十二月三日

□□町

齋藤典

三上徳之助様

6・03 書籍貸付簿(明治二十五年)

【表紙】

明治二十五年改正／書籍貸付簿／自他業会

【本文】

6・03・01 書籍貸付簿

※会員ごとに罫紙一丁を充てる。書名の上に付記した「入」は返納の符丁。

三浦武三郎

入 仏教活論 破邪

入 芳李〔消〕

入 つゆこそて〔消〕

入 山吹塚〔消〕

入 新世帯〔消〕

入 文覚上人観進帳〔消〕

入 倫理学教科書 四卷

入 帰納法論理学 上下二冊

入 金

入 洒落哲学

入 神皇正統記

入 松花録〔消〕

入 いろ懺悔〔消〕

入 さむ菊〔消〕

入 芳李〔消〕

入 文つかひ〔消〕

入 すみ染桜〔消〕

新世帯

入 大福帳

入 南洋ノ大波瀾

※末尾余白に左記の書き入れあり。

四 哲学

十三 小説

一金

山中嵯峨之助

入 統計年鑑

入 日本教育論〔道〕

入 蘇丹令

残菊〔道〕

入 妹背貝 四月二十五日納

入 色さんげ 六月二十八日納

入 普通教育学

入 埃及近世史〔道〕 八月十二日納

入 日清文明論 九月二日

入 小地質学 九月十六日納

入 南洋時事

入 平民政治 三冊 九月九日借

※借用日時の上に「九月十九日」と朱書。

入 平民政治 四〇

入 千代田大奥

※末尾余白に左記の書き入れあり。

一 統計

二 哲学

一 政治

二 歴史

一 雑

四 小説

一 伝記

一 理科

木村卯太郎

入 新著百種 第十二号 第十五号

入 色懺悔

入 掘出もの

入 乙女心

※「新著百種」から「乙女心」まで、「四月二十八日返納」と注記。

入 臨淵言行録

入 文明要論

※末尾余白に「四 小説」と書き入れる。

和田慶二郎

入 濠州及印度

入 南洋時事

入 文覚上人勸進帳

※ここまでの三部に「二月十四日」と注記する。

入 妾薄命

※余白に「二 小説／＼紀行」と書き入れる。

入 妾薄命

小和田武司

入 文学史 一冊

入 日本歴史 一冊

入 百家説林 卷之七 一冊

入 国文 一冊〔道〕綴

入 美辞学 上一冊

入 百家説林 卷之六

入 新篇紫史

入 小説史稿

※余白に左記の書き入れあり。

五 文学

一 歴史

一 雑文

東海武一

文学史一冊〔道〕

美辞学〔道〕

世界周遊記

文章組立法〔道〕

明治園秀美談〔道〕

臨淵言行録〔道〕

死及死後〔道〕

倫理摘要

※余白に左記の書き入れあり。

倫理摘要

※余白に左記の書き入れあり。

- 四 文学
- 二 哲学
- 二 雑
- 一 紀行

齋藤徹

- 入 如温武雷士
- 入 啞ノ旅行〔消〕
- 入 普通倫理学
- 入 朝野人物評〔消〕 三月二十三日返納
- 岡本子 四月二十日借用

○ 自由略論 九月十五日借用

- 泰西十五大決戦史 上中下三冊 十二月三十日借用
- ※余白に左記の書き入れあり。
- 二 伝 一 紀行 二 哲学
- 一 歴 一 政治 一 雑

齋藤竹次郎

- ※全面に大きく「入」を書く。
- 入 埃及近世史 六月返済
- 東洋遺稿〔消〕 上
- 宗教革命論〔消〕
- 御伽草子〔消〕 〇冊
- 入 科学原理〔消〕
- 入 経世危言〔消〕

- 入 東方策 以上三冊六月十五日借用
- 入 戦袍日記 六月返済
- 入 山吹塚〔消〕
- 入 大福帳 六月二十日返済

一 雑

- 一 歴史
- 二 政治
- 一 科学
- 一 文学
- 三 小説

棟方悌二

- 入 普通論理学〔消〕 一冊
- 入 泰西十五大決戦史 下 一冊
- 入 日本人
- 入 百家説林 二三四
- 入 美辞学 前編 一冊
- 入 万国歴史 一冊
- 入 ルーテル 一冊
- 入 朝野人物評 二冊
- 入 濠洲及印度 一冊
- 入 大福帳 一冊
- 入 戦袍日記 一冊
- 入 百家説林 八 一冊
- ※余白に左記の書き入れあり。

一 雑

- 一 歴史
- 二 政治
- 一 科学
- 一 文学
- 三 小説

岩庭為世

- 入 国家教育策
- 入 財政学〔消〕
- 入 今世名家文鈔〔消〕
- 入 埃及惨状〔消〕
- 入 高等経済原論〔消〕
- ※余白に左記の書き入れあり。
- 一 哲学
- 一 経済
- 一 文学
- 一 政治
- 一 歴史

三上徳之助

- 入 南洋大波瀾〔消〕
- ノ 薩長土肥 九月十三日
- 入 奴之小万〔消〕
- 入 春の家漫筆〔消〕
- 入 まほろし〔消〕

※余白に左記の書き入れあり。

四 小説

一 雑

齋藤典治

入 大政参選史

入 新篇紫史

入 普通心理学

入 日本教育論 九月二日

入 万国歴史 十月二十六日

入 普通教育学

支那開化小史〔消〕

※余白に左記の書き入れあり。

三 歴史

一 文学

三 哲学

森健枝

百家説林 六一冊

一戸寅之助

直税及間税〔消〕

万国歴史〔消〕

日本歴史〔消〕

婦省

軍人精神叢談

入 戦袍日記〔消〕

入 埃及惨状

入 国史眼ノ一二

入 国憲汎論〔消〕

入 平民政治 一三三ノ一冊版

入 □□□〔消〕

入 美辞学 上〔消〕

入 大福帳〔消〕

※余白に左記の書き入れあり。

一 文学

二 政治

四 歴史

高山亀代作

入 哲学涓滴〔消〕

入 普通心理学〔消〕

入 心理学講義

入 普通□□学〔消〕

入 □□□□〔消〕

入 德育鎮定論〔消〕

入 □□□□〔消〕

入 □□□□〔消〕

入 文覚上人勸進帳〔消〕

入 経世偉略〔消〕

入 顕正活論〔消〕

入 都の花 三冊

入 小楠遺稿〔消〕

入 戦袍日記〔消〕

入 国史眼〔消〕 三冊

入 東方策〔消〕

入 弥児頓□〔消〕 一冊

入 南洋大波瀾〔消〕

入 □□□□□〔消〕 一冊

入 読書法

佐藤兵馬

入 埃及近世史〔消〕

入 科学原理

入 平民政治〔消〕

入 顕正活論〔消〕

入 ミルトン論

入 倫理学ノ四

入 小楠遺稿

八戸市太郎

※佐藤兵馬の丁のウラに記す。書名等の記載なし。

今助次郎

入 動物進化論

入 万物退化新説

入 進化原論

入 五大国漫遊

入 鴻雪録
入 観風叢話

※余白に左記の書き入れあり。

- 三 理科
- 三 紀行

相馬文太郎

美辞学〔酒〕

入 百家説林 卷ノ一 一冊
入 御伽草子 前後 二冊
入 小説史稿 一冊
入 すみ染桜 一冊
入 松花録 一冊
入 残菊 一冊
文学一斑

百家説林 八 一冊

※余白に左記の書き入れあり。

- 三 文学
- 二 小説
- 一 雑

藤田未類二

入 斎氏自叙伝
入 路錫〔酒〕
入 クラットストーン
入 格武電

入 クロンウエル〔酒〕
ウクトル ユウゴ

入 丈夫ノ本領

赤穂義士実話

※余白に左記の書き入れあり。

- 六 伝記
- 一 雑

成田武衛

入 朝野人物評 一冊 十月十四日

入 ミルトン論 〃 〃

長者鑑〔酒〕

○ イロサンゲ〔酒〕

○ 残菊〔酒〕

○ 芳李〔酒〕

○ 松花録〔酒〕

○ 露小袖〔酒〕

○ 乙女心〔酒〕

○ 掘出物〔酒〕

※余白に左記の書き入れあり。

- 一 雑
- 八 小説
- 一 文学

※鉛筆で書かれた左の借用証を末尾に綴じ込む。

国会解散之準備

右正三拝借仕候也

明治二十五年七月二十四日 齋藤徹

附言

書籍借覽簿へ登録之規則ニ〇〔候カ〕得共該簿

冊何分不相見受ニ付乍変則別記之通証書差入候

間右御了承相成度候

〇日

理事殿

6・03・02 (借用証)

6.04 書籍貸付簿(明治二十六年)

【表紙】

明治二十六年改正／書籍貸付簿／自他楽会

【本文】

※會員ごとに算紙二丁を充てる。書名の上に付記した「入」は返納の符丁。

三浦武三郎

入 南洋大波瀾

入 大福帳【消】

入 日本漂流譚【消】

普通倫理学

入 芳李【消】

入 文明要論

入 松花録【消】

入 温知叢書【消】第一第二二冊

入 文覚上人勸進帳【消】

入 浮城物語【消】

入 離れ鴛【消】

入 風糸目【消】

入 さん菊【消】

入 平野次郎【消】

入 春の家漫筆【消】

入 山吹塚【消】

入 百家説林第六【消】

入 新撰日本外史【消】卷ノ一

入 小楠遺稿

入 長者鑑【消】

入 大疑獄【消】

入 いもせ貝【消】

豪雄少年

浮城物語

入 印度奇観【消】

入 丈夫ノ本領

入 進化原論

山中嵯峨之助

統計年鑑

入 高等経済原論 五月六日納

入 百工源開 一月十二日納

入 鴻雪録 四月十日納

入 心理学 井上円了著

入 戦袍日記 三月二十日上納

入 日本経国論 三月十八日上納

入 井筒女之助 三月一日上納

入 浮城物語

入 奴の小方 三月二十九日上納

ナ入 経世危言 三月九日 五月六日納

〃入 洒落哲学 〃 〃

〃入 変態学 〃 五月六日納

ヤキ 海国 九月二十八日上納

入 愛国偉勲 四月二十三日納

入 万国漫遊

□ 鬼奴

明治閣秀美譚

入 維新豪傑譚 七月十七日納

イ入 戦袍日記 十二月二十一日

ハ入 芳李

キ九 若葉

入 破太鼓【消】

入 まほろし

入 井筒女之助

入 平野次郎

益軒十訓

心理学

木村卯太郎

入 明治政史三冊

○ 東洋遺稿二冊

入 英雄之肝胆

入 埃及惨状

小和田武司

小説史稿

○ 文章組立法

鉞物学

日本史学新説

剪燈史談

百家説林一二
帝国史略二冊

東海武一

入 國文

入 明治閣秀美譚

入 倫理摘要

入 蘇丹令

入 国文沿革修辭学諸家論文 一冊

入 死及死後

入 奴之小万

三冊
五冊
三冊
世界周遊記〔消〕

彌兒頓論 九月二十七日借用

闇黒アフリカ 上冊 十月三十一日

我觀小景 一冊 十二月七日

齋藤徹

入 如温武雷土

入 普通倫理学

入 岡本子

入 自由略論

入 泰西十五大決戦史 三冊

入 相思恋愛之現象 一冊

入 開国始末

入 財政学 五月十四日借用

日本漂流譚〔消〕

岡上

入 読書法

入 懐旧〔消〕

入 小公子

千代田大輿下卷〔消〕上納

花相撲〔消〕

天竺徳兵衛〔消〕

まほろし〔消〕

練絹新三郎〔消〕

入 千代田大輿 上巻

入 妹背貝

入 すみ染桜

入 文覚上人勸進帳

入 松花録

入 大福帳

入 桜痴放言

齋藤竹次郎

入 ミルトン論〔消〕

入 印度奇観〔消〕

入 臨淵言行録〔消〕

入 財政学〔消〕

入 高等経済原論

入 あら海夷一〔消〕

入 妹背貝〔消〕

入 色さんけ

入 残菊〔消〕

五月十六日借用

五月二十四日

同上

同上

六月四日借用 上納

同上 上納

同上 上納

同上

入 新日本史 上中

入 文学一斑

棟方悌二

入 日本文学史 二冊

入 大英今代史

入 山吹塚

入 経世偉略

金

白川楽翁公ト其時代

入 日清文明論 全二冊

入 東方策 初編一冊

入 弥兒頓論 一冊

入 南洋探検実記

入 懐旧

入 地質学

入 井筒女之助

入 若葉

入 妹背貝

入 平の次郎

入 平の次郎

入 我觀小景

入 小公子

入 千代田城の大輿 二

入 維新豪傑譚

入 今古雅譚 一

国史眼 三二冊

日本歴史評林二三四五 五冊

入 路錫 一冊

岩庭為世

入 国家教育策

入 日本漂流記 一冊

○ 觀風叢話 一冊

○ 活文字 一冊

入 古今雅譚 一冊

入 都の花〔消〕 全二冊

三上徳之助

入 井筒女之助〔消〕 ”

入 桜痴放言 ”

入 まぼろし ”

入 若葉 ”

入 平野次郎 ”

入 破太鼓 ”

入 奴の小まん ”

入 天竺徳兵衛 ”

入 薩長土肥 ”

入 鬼奴 ”

入 相馬大作〔消〕 ヨ

入 荒海実一 ”

○ 懐旧 ”

入 この眼 ”

○ 大疑獄 二冊

入 天竺徳兵衛 ”

○ 怪男児 ”

入 練絹新三郎 ”

入 四十年之日本上

入 替使者二冊 ”

斎藤典治

入 普通心理学

入 日本歴史

万国歴史

入 普通教育学〔消〕

入 支那開化小史

入 大政三遷史

入 万国史綱 上

森健枝

※記載なし。

高山亀代作

入 国史眼

入 新撰日本外史、一二三

入 経世危言

入 文学一斑

入 神皇正統記

入 開口笑語一冊

東方策〔消〕

入 掘出もの

入 まほろし

入 つゆこそで

入 文つかひ

入 めかけ薄命

入 すみ染桜

入 いろ懺悔

入 小公子

入 丈夫の本領

入 平の次郎

入 天竺徳兵衛〔消〕

入 我観小景

入 御伽草子

倫理摘要

宗教骸骨

百家説林 一三六ノ三冊十月七日 四五、七九十、

日本通史ノ上冊

入 □□□□ 十一月十七日

今古雅譚 一冊十二月一日

今助次郎

入 浮城物語

南洋の大波瀾

濠洲及印度

科学の原理

井筒女之助〔消〕

入 百家説林〔消〕 四五七ノ主冊 入

入 東方策〔消〕 一之三冊入

○ 奴の小方

入 我観小景 二冊

物理学 全二冊

唾ノ旅行 二冊

五大国漫遊 一冊

鴻雪録 一冊

八戸逸太郎

倫理学教科書 四冊

徳川十五代ノ三 一冊

相馬久太郎

入 文学一斑〔消〕

入 百家説林 一八九十四冊 (一九一三冊入) 八冊

入 明治政史一ヨリ四マデ四冊 五ヨリ八四冊

入 文つかひ

入 掘出しもの

入 いろせんげ

格朗空

入 大福帳

山吹塚

妾薄命

新世帯

つゆ小袖

入 開口笑話

入 井筒女之助

藤田未類二

入 宗教革命論

入 仏教活論 破邪ノ部 顕世ノ部

入 亜細亞ノ光

入 帰納法論理学

入 哲学指南

美辞学

成田武衛

進化原論

入 残菊

入 堀出物

入 色サンゲ

動物進化論

動物退化新説

入 唾之旅行〔消〕

入 墨染桜〔消〕

入 南洋探検実記〔消〕

入 維新豪傑譚

入 日本教育論〔消〕

入 観風叢話〔消〕

入 南洋大波瀾

入 凧ノ糸目

動物学

植物学

新撰日本外史

荒海実一

三上寿吉

入 南洋探検実記

入 日本漂流譚

山中嵯峨之助

十一月三十日

乙め心

離レ鶯

残菊

凧ノ糸目

入 三酔人経綸問答

入 破太鼓〔消〕

入 平民政治

入 教育宗教関係論 一冊

入 都の花 三冊

入 替使者 二冊

入 万国史綱下一冊

入 普通教育学二冊

入 残菊 一冊

山岡鉄舟伝
宗教革命論
富強策

一戸寅之助

○ 婦省
心理学

入 東方策 三

入 直税及間税

入 まほろし

軍人精神叢話〔消〕

平野次郎

泰西十五大決戦史〔消〕 上中下三冊

入 活気之焰〔消〕 一冊

入 西比利亞鉄道論

○ 読書法〔消〕 一冊

○ 国憲汎論

あら海実一

○ 罪卜罰

入 新日本史

小公子〔消〕

入 井筒女之助

入 南洋探検実記

入 楓の糸目

入 相馬大作

長者鑑〔消〕

文つかひ

離れ齋

入 臨淵言行録

花相撲〔消〕

入 日本漂流譚

婦省

※左記の事項を記した紙片が簿冊に挟まれている。

本口〔郷カ〕元町

六十六番

小柳方止

6・05 書籍貸附簿(明治二十七年)

【表紙】

明治二十七年一月／書籍貸付簿／自他乗会

【本文】

※会員ごとに罫紙一丁を充てる。書名の上に付記した「人」は返納の符丁。

三浦武三郎

○ 妾薄命○

入 浮城物語

入 佛教活論 破邪ノ部

入 社会平等論

入 普通倫理学

入 読書法〔消〕

入 死及死後〔消〕

入 小説史稿

入 進化原論

入 文学一斑 一冊

入 百家説林 三冊

入 文学叢書 一冊

入 奴ノ小万

山中嵯峨之助

入 貝原益軒十訓 十二月二十四日

入 心理学

入 万国歴史

” ” 八月十日納

- 入 明治閣秀美譚 ”
- 入 統計年鑑 ”
- 鬼奴
- 入 大疑獄 十二月三十日 四月五日納
- 入 戦袍日記 全二冊 六月十九日納
- 入 開国始末 全二冊 同上
- 小地質学 二月二日
- 入 四十年後日本 前篇 二月二十日
- 入 外史 十二冊 三月二十一日納
- 入 大福帳 十一月三十一日納
- 入 長者鑑
- 入 文つかひ
- 入 懐旧
- 入 小公子
- 入 若葉
- 入 罪と罰 六月十一日納
- 入 日本通史 上冊 四月四日
- 入 大疑獄
- 入 南洋大波瀾
- 入 桜痴放言
- 入 万国史綱 下二冊
- 入 明治 一、二、三冊
- 入 懐旧
- 入 長者鑑
- 入 天竺徳兵衛
- 入 維新豪傑譚
- 入 小公子
- 入 花相撲
- 入 快男子
- 入 相思恋愛之現象
- 入 百家説林卷十
- 木村卯太郎
- 世界三週実航記
- 入 小公子
- 入 婦納法論理学
- 入 経世危言
- 小和田武司
- 文章組立法
- 鉞物学
- 入 日本史学新説
- 入 剪燈史談
- 百家説林ノ二
- 帝国史略 三冊
- 御伽草子
- 東海武一
- 入 日本文学史 上下
- 我観小景
- 入 みるゝ論
- 入 哲学涓滴
- 入 彌見頓伝
- 入 三内 五十銭 世界周遊記
- 修辭学
- 入 南洋の大波瀾
- 入 唾之旅行後篇
- 入 読書法
- 入 練絹新三郎
- 斎藤徹
- 一、新日本史 上中二冊
- 一、活文字
- 一、日本歴史
- 一、印度奇観
- 一、荒海実一
- 一、安政記事
- 一、相馬大作
- 一、徳川十五代史 一、二、三、三冊
- 万国歴史 全七二冊
- 入 千代田大輿
- 入 まほろし
- 入 凧ノ糸目
- 入 花相撲
- 入 大福帳
- 日本経国論
- 東方策 二、三、

普通倫理学

齋藤竹次郎

其囚人

立身問答

替使者

棟方悌二

全

国史眼〔消〕

日本歴史評林 十二冊 一ヨリ五冊上納

白河楽翁ト徳川時代

練網新三郎〔消〕

破太鼓〔消〕

大政三選史

相思恋愛之現象〔消〕

日本通史 下

支那帝國開化小史

文学一斑〔消〕

植物学〔消〕

動物学〔消〕

開国始末

岩庭為世

入 松花録

入 まぼろし

入 桜痴放言

入 山岡鉄舟伝

入 ナポレオン嶋物語

入 東方策 第一篇

入 練網新三郎

入 小楠遺稿

入 名家文鈔

入 我国の内政及外交

入 四十年後日本 二冊

入 日本戦史 補付

入 乙女心 一冊

入 若葉 一冊

三上徳之助

入 四十年後日本 上(下)

入 小公子

入 倫理教科書

入 王陽明

齋藤典治

入 国史眼

入 神皇正統記

入 万国史綱ノ上

森健枝

※記載なし。

高山亀代作

入 仏教活論序論

入 顕正活論

入 百家説林 十四五七九十六 卅十

入 倫理摘要

入 御伽草子

入 明治政史 三四五六

○ 国文

入 参十年後日本

入 倫理教科書 一二

入 小楠遺稿〔消〕

入 温知叢書 四五六三冊 一二三

入 日本通史

入 □□□□

入 徳川十五代史 木きり十五迄 十一十二

入 蘇丹令

入 文覚上人勸進帳

入 今世名家文鈔

入 観風叢話

○ 新編紫史 四冊

入 宗教革命論

入 排偽哲学論

入 教育ト宗教ノ衝突

入 德育鎮定論

入 簡明論理学

○ 哲学汎論

- 入 山岡鉄舟伝
- 入 千代田大輿
- 入 春のや漫筆
- 入 新撰日本外史 六七
- 入 海国 二冊
- 入 美辞学 二冊
- 入格武電
- 入武雷土
- 入理查土
- 入臨淵言行録

- 今助次郎
- 入 鴻雪録
- 入 豪州及印度
- 科学ノ元理
- 入 奴の小方
- 物理学
- 啞ノ旅行 上
- 五大国漫遊
- 泰西十五大決戦史 上中下三冊

- 相馬久太郎
- 百家説林ノ八 一冊
- 入 掘出もの
- 格朗究ゴランキウ
- つゆ小袖

- 妾薄命
- 新世帯
- 色懺悔
- さむ菊
- 芳李
- 妹背貝
- すみそめ桜
- 破太鼓

- 藤田未類二
- 入 普通心理学
- 高等経済原論 成田
- 入 維新豪傑伝
- 入 美辞学
- 入 帰納法論理学
- 入 剪燈史談
- 入 具氏伝
- 入 クラットストン 二部
- 入 丈夫の本領
- 入 戦袍日記
- 入 路錫
- 入 フランクリン
- 入 フライト
- 入 格武電
- 入 活気ノ焰

- 成田武衛
- 入 普通教育学
- 日清文明論○
- 入 動物進化論〔消〕
- 入 宗教進化論
- 入 万物退化新論〔消〕
- 入 万国地理指要 上下二冊
- 入 墨西哥探検実記
- 入 若葉〔消〕
- 入 快男子〔消〕
- 入 まほろし〔消〕
- 入 日本漂流譚
- 入 井筒女之助
- 入 赤穂義士実話〔消〕
- 入 南洋時事〔消〕
- 入 国家教育策〔消〕
- 入 政教日記〔消〕
- 南洋探検実記○
- 入 天竺徳兵衛
- 入 相馬大作〔消〕
- 入 植物学〔消〕
- 入 動物学〔消〕
- 入 死及死後〔消〕
- 入 鴻雪録
- 入 豪州及印度〔消〕
- 入 耶蘇教衝突論〔消〕

入 教育宗教関係論〔消〕

八戸逸太郎

※記載なし。

三上徳之助

入 読書法

入 英雄之肝膽 上編二冊

入 山岡鉄舟伝

入 日本教育論

入 埃及惨状

日本文学史

入 大疑獄 二冊

入 まぼろし 一冊

入 離れ鴛 一冊

三上寿吉

※記載なし。

一戸寅之助

罪卜罰

入 世界ニ於ケル日本人

帰省

史学新説 三冊

入 山岡鉄舟伝

日本教育新論 十三冊

入 宗教革命論

入 富強策

入 具氏伝

入 海国

入 万国史綱 上ノ一

入 明治四十年之日本

入 貧天地探検記

入 東方策

入 相思恋愛之現象

6・06 書籍貸付簿(明治二十八年)

【表紙】

明治二十八年度／書籍貸付簿／自他楽会

【本文】

※会員ごとに罫紙一丁を充てる。書名の上に付記した「入」は返納の符丁。

三浦武三郎

入 豪雄少年 一冊

入 仏教活論 二冊

入 文学一班 一冊

入 社会平権論 一冊

入 社会進化論 一冊

入 族制進化論 一冊

入 美辞学 二冊

入 平野次郎〔消〕 十冊

入 ミルトン論

入 其囚人

入 大疑獄

入 西郷隆盛伝〔消〕 十五冊 主冊

入 政治及経済

入 其囚人〔消〕

入 半月城〔消〕

山中嵯峨之助

入 貝原益軒十訓

- 心理学 入
 明治園秀美譚 入 八月九日納
 小地質学 入
 万国史綱 下二冊 十二月二十九日納
 明治政史 二二二冊 入
 懐旧 入
 怪男子 入
 天竺徳兵衛 入
 鯨幾太郎 入
 四十年前ノ日本 入
 めをと 入
 春の家漫筆 入
 園秀美譚 入
 日本戦史 四冊 入
 練絹新三郎 全二冊 入
 鴻雪録 入
 西郷隆盛伝 五一冊 入
- 木村卯太郎
 世界三週実記 入
 日本通史 上下二冊 入
 万国史綱 下一冊 入
 倫理学元良氏 一冊 入
 世界ニ於ケル日本人 入
 徳川政教考 入
 大奥ノ女中〔消〕 入
- 権利競争論 入
 強者ノ権利 入
 小和田武司 入
 文章組立法 入
 鉱物学 入
 宙家 入
 帝国史略 三冊 入
 御伽草子 入
- 東海武一
 百家説林 入
 維新豪傑談 十一月十五日 入
 いろ懺悔 ” 入
 怪男児 ” 〇 入
 吉田松蔭 ” ” 入
 松花録 入
 大福帳 入
 妹背貝 入
 長者鑑 入
 芳李 入
 十二月五日借用
- 齋藤徹
 新日本史 上中二冊 入
 活文字 入
 日本通史 入
- 印度奇観 入
 荒海実一 一月二十二日返納 入
 安政記事 入
 徳川十五代史 一、二、七、一月二十二日返納 入
 万国歴史 入
 日本経国論 入
 我国ノ前途 入
 東方策 二二三 入
 修辞学 入
 普通心理学 入
 明治政史 一、二、三、四、五、五冊 入
 千代田城大奥 二冊 一
 山岡鉄舟伝 〇〇 七月二日 入
 日本風景論 入
 西郷隆盛伝 一、二、三 入
 大政三遷史〔消〕 生キ 入
 練絹新三郎 入
 大疑獄 入
- 齋藤竹次郎
 支那開化小史〔消〕 入
 其囚人 六月十一日返納 入
 立身問答 入
 醫使者 六月十一日前稿返上 入
 経済原論 入

棟方悌二

入 白河楽翁公と其時代 一

入 金 一

入 日本歴史評林 二、三

入 大疑獄 二、三

入 百〇説林〔消〕 七

入 王陽明

入 支那彙報

西郷隆盛 五冊

新日本史 二冊

岩庭為世

入 井筒女之助 一冊

入 日本漂流譚 卷之一 一冊

入 国家教育策 一冊

入 朝野人物評 一冊

入 戦袍日記 一冊

入 天竺徳兵衛 一冊

入 西郷隆盛ノ伝 三四 五冊

三上徳之助

入 海賊〔消〕

入 大奥の女中

齋藤典治

入 支那開化小史

国史眼

当〇行

普通教育学

入 万国史綱

森健枝

支那文明論

今世国家論

新攘夷論

高山亀代作

〇 倫理摘要

入 平野次郎

入 倫理教科書

入 大福帳

入 普通倫理学 一月一日納

〇 哲学涓滴

入 鴻雪録

入 哲学汎論

入 松花録

入 普通教育学〔消〕

入 啞の旅行

入 宋学概論

入 日本人

入 孔夫子

入 国憲汎論

入 我観小景

入 吉田松陰

〇 日本風景論

〇 今古雅談

〇 今世名家文鈔

入 世界ニ於ケル日本人

〇 丈夫之本領 一冊

〇 罪卜罰

〇 大奥の女中 三冊

〇 若葉 一冊

〇 日本人

〇 維新豪傑談

〇 益軒十訓

〇 方丈記

今助次郎

物理学

啞ノ旅行 上

五大国漫遊

泰西十五史戦史

科学ノ原理

入 奴の小万〔消〕

万国地理指要

相馬文次郎

- 入 色懺悔
- 入 掘出もの
- 入 芳李
- 入 百家説林ノ八冊
- 入 つゆ小袖
- 入 妾薄命
- 入 新世帯
- 入 さむ菊
- 入 妹背貝
- 入 すみ染桜
- 入 破□□
- 岩 宗教進化論
- 入 成田武衛
 - 入 浮城物語
 - 入 南洋探検実記
 - 入 日清文明論
 - 入 今世国家論
 - 入 今世国務論
 - 入 朝鮮彙報
 - 入 世界ニ於ケル日本人
 - 入 我観小景
 - 入 鯨幾太郎
 - 入 台湾陣
 - 入 明治四十年ノ日本
 - 入 破太鼓
- 入 星界想遊記
- 入 立身問答
- 入 剪燈史談
- 入 明治園秀美譚
- 入 宋学概論
- 入 日本通史 上下二冊
- 入 八戸市太郎
 - ※記載なし。
- 入 三上寿吉
 - 入 婦納法論理学 二冊
 - 入 万国史綱 上二冊
 - 入 新撰日本外史 十二冊
 - 入 普通倫理学
 - 入 替使者
 - 入 荒海実一
- 入 三上敬三
 - 倫理学
 - 日本文学史 二冊
 - 小楠遺稿〔消〕
 - 若葉 一冊
 - 赤穂義士実話 一冊
 - 奴ノ小万 一冊
 - スタンレー 一冊
- 入 都ノ花 一冊
- 入 経済原論 〃 斎竹行キ
- 入 藩翰譜 三四 二冊
- 入 徳川十五代史 一二三四 四冊
- 入 其囚人 一冊
- 入 日本漂流史 卷之二 一冊
- 入 桜痴放言
- 入 小公子
- 入 鯨幾太郎〔消〕

6・07 書籍貸付簿（明治二十九年）

【表紙】

明治二十九年／書籍貸付簿／自他楽会

【本文】

※会員ごとに罫紙一丁を充てる。書名の上に付記した「入」は返納の符丁。

三浦武三郎

○ 豪雄少年

入 東方策

入 佐久間象山 三冊 入

入 支那処分案 一冊

入 国語のため 一冊

入 教育ト宗教ノ衝突

入 排偽哲学論

入 耶蘇教衝突論

○ 欧州新政史 四冊

入 芳李

入 風ノ糸目

入 快男児

入 離れ齋

入 天竺徳兵衛

入 平野次郎

入 赤穂義士実話

、○ 王陽明

、 日本文学史 二冊

、 支那開化小史

、 奴ノ小万

入 海賊 八月十主冊

入 後の海賊 八月十七日

入 コサツク兵【消】 八月十七日

、 衣笠城【消】

、 倫理学 元良

、 権利競争論

山中嵯峨之助

○ 心理学講義

○ 小地質学

鬼奴

入 桜の御所 二月十二日 三月六日入り

入 衣笠城

入 風雲漫録

入 論理学 全二冊

入 明治四十年後の日本 二冊

入 色懺悔 一冊

入 南洋の大波瀾 一冊

入 泰西十五大決戦史 三冊

入 心理学【消】

木 孟亜聖【消】 一

木 南洋の大波瀾 一

木 日蓮記 一

木 親鸞聖人 一

木入 孔夫子 一

木入 日本風景論 一

木□ 十二時曾我

海戦日録

、 後の海賊

亀入 古今雅談

入 漂流譚

木村卯太郎

○ 世界三週実記

入 徳川政教考

入 強者の権利

入 権利競争論

入 めをど

入 おかめ八目

入 浅田宗伯伝

入 百家説林

入 馬鹿趙高

入 東洋遺稿

小和田武司

※全面に大きく×と墨書して消す。

、○ 帝国史略

、○ 新編日本ガイシ 六月六日

入○ 風俗史 上編

、 大奥の女中

、 国史眼 一三六七

東海武一

明治二十八年十二月二十六日借用本

入 観風叢話

、 長者鑑〔消〕

、 離れ齋〔消〕

、 妹背貝〔消〕

○入、吉田松陰

、 乙女心〔消〕

、 快男児〔消〕

二月二日借用

入 其囚人

花相撲〔消〕

関原菅凱歌〔消〕

入 日蓮記

平野次郎〔消〕

入 破太鼓

入 凧の糸目〔消〕

入 半月城

相馬大作〔消〕

入 まほろし

入 奴の小万

入 文学集覽

齋藤徹

、○ 印度奇観

、○ 千代田城大奥

○入 関原菅凱歌

入 日本通史 二冊

入 普通教育学

入 日本歴史

入 大政三遷史

入 普通倫理学

入 万国史綱

入 関ヶ原菅凱歌

入 コサック東方侵略史〔消〕 一冊

入 桜の御所 下巻一冊

入 大福帳

入 族制進化論 五月²⁷?

入 花相撲

入 立身問答 六月二十七日

入 七月十二日日本文学史 上下

、 今世海軍 一冊

、 直税及間税

、 神皇正統記 三冊

、 普通倫理学

、 普通心理学

、 普通教育学

、 後の海賊〔消〕

齋藤竹次郎

入 経済原論〔消〕

、 万物退化新説

、 朝野人物評

、 財政学中巻 一冊

、 支那処分案

以上八月十二日借用

、 日本通史(中等教育) 二冊

、 財政学一冊

、 万国史綱(同上) 二冊

、 日本歴史(天野著) 一冊

、 経済原論 一冊

以上八月二十八日借用

棟方悌二

入 東海君へ西郷隆盛 五冊

○入 新日本史 二冊

入 徳川光国

、○ 美辞学

入 近松著作一斑

、○ 金

○入 修辞学

、○ 白河楽翁公ト徳川時代

、○ 国史眼 四五

入 快男児〔消〕

入 替使者

、 □□□〔消〕

- 、○ 日本歴史評林
- 入 懐旧
- 入 日韓古史断
- 入 □□□□〔消〕
- 入 天竺徳兵エ
- 入 □身問答〔消〕
- 入 鴻雪録
- 、 南洋探検実記
- 、 濠洲及印度
- 入 波斯の旅
- 、 墨西哥探検実記
- 入 南洋時事
- 入 妹背貝
- 入 闇黒亜弗利加
- 入 蘇丹令
- 入 コサツク東方侵略史
- 、 泰西十五決戦史
- 、○ 浮城物語
- 入 觀風叢話
- 入 英国海戦史
- 入 維新豪傑談
- 入 陣中日記
- 入 啞ノ旅行 後篇
- 入 政教日記
- 入 武雷土
- 入 格武伝
- 、 具氏伝
- 入 今古雅譚
- 入 文明要論
- 、 社会進化論
- 、 新編紫史
- 、 日本風景論
- 岩庭為世
- 入 国家教育学
- 入 西比利亜鉄道論
- 入 万国地理摘要
- 、 国字教育策
- 入 ミルトン
- 、 富強策
- 、 古賀市
- 、 桜の御所 上下
- 、 井筒女之助
- 、 荒海夷一
- 、 練絹新三郎
- 齋藤典治
- 入 普通教育学
- 高山亀代作
- 入 倫理摘要
- 入 哲学涓滴
- 入 日本風景論
- 入 今古雅談
- 入 丈夫之本領
- 入 罪卜罰 二冊内一ノ巻入り
- 入 大輿之女中 三冊
- 入 日本人
- 入 維新豪傑譚
- 入 益軒十訓
- 入 方丈記
- 入 普通心理学
- 入 さん菊
- 入 南洋の大波瀾
- 入 啞ノ旅行後編
- 入 小公子
- 入 日本漂流譚 上下二冊
- 入 明治閨秀美譚
- 入 我觀小景
- 入 四十後ノ日本 上下二冊
- 入 桜痴放言
- 入 東鑑拝賀卷〔消〕
- 入 古賀市
- 、○ 不言不語
- 入 新編紫史
- 入 百家説林ノ一
- 入 日本戦史 四冊
- 入 相馬大作 一冊

入 小楠遺稿

入 日本風俗史ノ一

入 文章組立法

入 孟聖聖

入 若紫

、 哲学消滴

、 方丈記

、 日本人

、 宋学概論

、 丈夫之本領

、 德育鎮定論

、 我觀小景

、 文学一斑

、 益軒十訓

、 仏教活論序論

、 梧陰存稿 卷ノ二

※梓外に以下の書を記載する。

、 百家説林 六七九十 四冊

、 徳川光圀

、 剪燈史談

、 経国策

、 佐久間象山

、 族制進化論

、 宗教進化論

、 活文字 一冊

、 徳川政教考 二冊

文学叢書 一冊

藩翰譜 六冊

今助次郎

、上○唾之旅行

、○科学之原理

、○五大国漫遊

、○新編物理学

、○万国地理指要

、○動物学

、○植物学

、○鉱物学

、○天野万国歴史

○△直税及間税

△ 桜痴放言

△ まほろし

相馬久太郎

○ 堀出物

、○格郎究

、○露小袖

、○墨染桜

、○妾薄命

、○百家説林 八

、○山吹塚

、○新世帯

○入 宗教進化論

今義弟

西郷隆盛〔消〕 十一

成田武衛

入 神皇正統記 三冊

西郷隆盛伝

入 支那開化小史 一冊

替使者

入 いろざんげ〔消〕

入 松花録

入 明治四十年後ノ日本〔消〕 十

入 練絹新三郎

入 陣中日記

入 荒海実一

入 海賊

入 三酔人経緯問答

入 教育者之精神

入 十二時會稽曾我

入 戦袍日記

入 天竺徳兵工

入 世界ニ於ケル日本人

入 大福帳

入 風雲漫録

入 新日本史 上中 二冊

- 入 德育鎮定論
 入 明治政史 十二冊
 入 国語ノタメ 一冊
 入 山岡鉄舟伝 一冊
 入 観風叢話 ”
 八戸逸太郎
 ※記載なし。
 三上寿吉
 入 戦袍日記
 入 世界ニ於ケル日本人
 入 倫理教科書 四冊
 入 赤穂義士実記
 入 東方策
 、 なほれおん鳥物語
 入 四十年後ノ日本
 入 罪と罰
 三上敬三
 入 鯨幾太郎
 入 元良 倫理学
 入 日本文学史 二冊
 入 新編紫史 四冊
 入 台湾陣
 入 後三日月
 蘇丹令
 、 桐の一片 一冊
 、 和田守ノ記憶法
 、 文章組立法
 、 日本戦史
 、 おかめ八目 一冊
 一戸寅之助
 、 掃省
 入 瀧口入道
 阿保帛雄
 入 維新豪傑談 一冊
 入 盲詩人 一冊 十二月二日迄
 入 英国海戦史 一冊 ”
 、 快男児 ” ”
 入 天竺徳兵衛 ”
 入 相馬大作 ”
 入 国憲汎論 一冊
 今義勇
 入 海国 二冊
 入 西郷隆盛 一二二冊
 入 平野次郎
 入 波斯之旅 一
 入 海賊
 まほろし
 入 半月城
 入 大政三遷史 一
 入 万国史 一
 入 瀧口入道 一
 入 衣笠城 一
 入 破太鼓 一
 森健枝
 、○ 春日局
 、○ 新撰夷論
 、○ 支那文明論
 清野八之助
 入 相馬大作
 入 古今名譽実録
 入 古今雅譚
 入 桜痴放言
 入 蘇口礼
 入 立身問答
 入 海賊及後ノ海賊
 入 破太鼓
 入 日本漂流譚
 入 瀧口入道
 入 戦袍日記
 入 半月城

- 入 松花録
- 入 徳川政教考
- 入 いろ懺悔
- 入 其囚人
- 入 離れ齋
- 入 大疑獄後編
- 入 啞之旅行
- 入 貧天地饑寒窟
- 入 明治園秀美談
- 入 天竺徳兵衛
- 入 断雲流水
- 入 ※以下の書目を欄外に記す。
- 入 新小説
- 入 後ノ三日月
- 入 鯨幾太郎
- 入 台湾陣
- 入 ※以下、ウラ見返しのメモ。
- 清野八郎
- 入 臨淵言行録〔消〕
- 入 活氣之焰〔消〕
- 入 剪燈史談
- 入 活文字〔消〕 十冊
- 入 桜の御所〔消〕
- 入 衣笠城〔消〕 十冊
- 入 浅田宗伯翁伝〔消〕

- 入 御伽草子〔消〕
- 万口 二冊
- 入 朝野人物評〔消〕
- 相馬大作
- 入 山岡鐵舟伝〔消〕
- 古今雅談〔消〕
- 入 簡明論理学〔消〕

6-08 書籍貸付簿（明治三十年）
 【表紙】
 明治三十年一月／書籍貸付簿／自他衆会

【本文】

※会員一名につき野紙一丁を充て、各丁二段に記載する。会員の氏名はオモテ左下に記す。新入会員である齋藤常蔵の貸出記録を八戸逸太郎のウラに記載する。

三浦武三郎

第一号

- 豪雄少年
- 入 欧洲新政史
- 入 王陽明
- 入 日本文学史
- 入 奴ノ小万
- 入 倫理学
- 入 権利競争論
- 入 日本風俗史 下
- 入 動物学
- 入 植物学
- 入 万国地理摘要
- 入 日本風景論
- 入 新篇小地質学

山中嵯峨之助

第二号

- 入 十九世紀史
- 入 心理学講義
- 入 小地質学
- 入 鬼奴〔消〕
- 入 後の三日月〔消〕
- 木入 口述記
- 入 十二時曾我会稽
- 入 海戦日録
- 入 小説家
- 入 後ノ海賊
- 入 将来海王
- 入 進化原論
- 入 進化新説
- 成入 桜の御所
- 入 大政三遷史
- 入 平壤包圍攻撃
- 上田入 觀風叢話
- 入 鴻雪録
- 入 五大国漫遊
- 入 日本史学新説
- 〔補之〕入 強者ノ権利
- 木良入 魚屋
- 入 呂宋
- 入 金壳
- 助入 漂流譚

成田

- 半月城
- 衣笠城
- 入 稗元恭
- 入 十文字〔消〕
- 鬼薙〔消〕
- 平壤包圍攻撃
- 荒海
- 入 記憶法
- 入 小弓御所
- 上田入 国務論
- 入 政治及經濟
- 入 国字論
- 入 色懺悔
- 入 後ノ三日月
- 入 衣笠城
- 入 青葡萄
- 入 鷺の羽風
- 木○ 四十年後日本
- 小弓御所
- おかめ八目
- 十文字
- 成入 呂宋助左エ門
- 棟 其囚人
- 花 断雲流水
- 入 平賀源内
- 入 □□学

入 □□□卷

木村卯太郎

第三号

- 世界三周実記
- 入 東洋遺稿
- 入 国憲汎論
- 入 閨秀美譚
- 徳川十五代史 主篇四卷 五ヘンヨリ四冊
- 入 練絹新三郎
- 入 文芸倶楽部
- 入 和田守記憶法
- 小和田武司 第四号
- 入 今古雅譚
- 入 修辞学
- 入 読書法
- 国史眼 五冊
- 帝国史略
- 入 大奥ノ女中
- 新編日本外史
- 入 浮城物語
- 東海武一

※ほとんどの書名にタテの消線を入れる。

第五号

四十年後の日本 前編

滝口入道

衣笠城

○男○「怪男児カ」

世界将来の海王

台湾陣

新小説

平野次郎

天竺徳兵衛

小公子

若葉

海賊

後ノ三日月

維新豪傑談

明治閨秀美譚

関ヶ原蒼凱歌

春ノ家漫筆

桜痴放言

東鑑拝賀卷

花相撲

凧ノ糸目

馬鹿趙高

赤穂義士実話

懐旧

離崙

入

大福帳

松花録

芳李

乙女心

文覚上人

色懺悔

妹背貝

文つかひ

長者鑑

開口小話

其囚人

おかめ八目

戦袍日記

陣中日記

古賀市

めをと

コサアク兵

日蓮記

罪卜罰 前後

英雄ノ肝胆

御伽草子 二卷

半月城

鯨幾太郎

サンザ時雨

名誉実録 下

相馬大作

○入

北氷洋見聞録

入 平壤攻撃

○入 十五少年

入 東洋分国史 上

○ 二千五百年史

斎藤徹

第六号

○ 印度奇観

入 千代田城大奥

入 今世海軍

入 神皇正統記

入 普通心理学

入 直税間税

入 普通倫理学

入 普通教育学

入 日本歴史

斎藤竹次郎

第七号

入 万物退化新説

入 朝野人物評

入 財政学 土冊

入 支那処分案

入 日本通史

入 万物史綱

中田 日本歴史〔消〕

入 経済原論

入 孟垂聖

入 王陽明

入 我観小景

入 □□□一冊返却

入 小紋集

入 サ、舟

入 伏魔殿

以上六冊八月十三日借用

岩庭為世

第八号

入 国家教育策

入 富強策

入 古賀市

入 桜の御所

入 井筒女之助

入 荒海実一

入 練絹新三郎

入 南洋大波瀾

入 小説家

入 人外境

○入 凱旋記念帳

○入 国家教育策

○入 我国の前途

○ 権利競争論
○ 富強策

高山龜代作

第九号

入 百家説林 六七九十

入 徳川光国

入 剪燈史談

入 経国策

入 佐久間象山

入 活文字

入 徳川政教考

入 文学叢書

入 藩翰譜 六冊

入 哲学涓滴

入 日本人

入 丈夫の本領

入 我観小景

※「我観小景」の枠外に「三月二十八日納」と記す。

○入 益軒十訓 八月十四日納

○ 不言不語

入 方丈記

入 宋学概論 三月十八日

入 徳育鎮定論

入 文学一斑

入 仏教活論序論
入 梧陰存稿 一三

入 岡本子

○ 台湾外記 十二冊

○入 天竺徳兵衛 一冊

○入 半月城 一冊

○入 奴の小万 一冊

入 岡本子 一冊

入 今世名家文鈔 一冊

入 美辞学 二冊後

入 浅田宗伯翁伝 一冊

入 名誉実録 四冊

入 徳川政教考 上下二巻

入 世界ニ於ル日本人

今助次郎

第十号

入 唾ノ旅行 一

入 科学ノ原理

入 五大国漫遊

入 新編物理学

入 万国地理指要

入 動物学

入 植物学

入 鉱物学

入 天野万国歴史

入 波斯之旅
入 鴻雪録
入 觀風叢話

修辭学

イキ 海賊〔消〕

後ノ海賊〔消〕

小説家

相馬文太郎

第十一号

掘出物

格朗究

露小袖

墨染桜

妾薄命

百科説林 八

山吹塚

新世帯

成田武衛

第十二号

入 英国海戦史

入 相馬大作

入 孔夫子

入 替使者 二冊

入 名誉実録 下一冊

入 軍隊

入 コサック東方侵略史

○入 梧陰存稿 二ノ巻

入 日本風景論

入 都ノ花 三部

入 皇陵参拝記

入 十九世紀史

八戸逸太郎

第十三号

※記載なし。

齋藤常蔵

入 近松著作一斑 上一冊

入 小説史稿 一冊

入 近松門左エ門 一冊

○入 日本文学史 上一冊

三上寿吉

第十四号

入 ナボレオン島物語

入 南洋乃大波瀾

入 相馬大作

入 桐一葉

入 滝口入道

入 花相撲

入 まぼろし

入 新小説

三上敬三

第十五号

入 桐一葉

入 記憶法

入 文章組立法

入 日本戦史 岡ヲ除キ

入 おかめ八目

入 益軒十訓

入 南洋探検実記

入 罪卜爵

入 台湾陣

入 破太鼓

入 井筒女之助

入 文学者となる法

文章組立法

紫式部

阿保虎雄

第十六号

入 其囚人

入 コサック兵

入 破太鼓

入 陣中日記

闇黒亜弗利加 三冊
浮城物語

清野八之助

第十七号

入 風俗史 上
入 古賀市
入 文学叢書
入 練絹新三郎
入 荒海実一
入 井筒女之助
入 唾之旅行 上下二冊
入 都の花 三冊
入 桜の御所 一冊
入 百家説林 一二三三冊
入 方丈記 一冊
入 美辞学 二冊
入 日蓮記 一冊
入 奴ノ小方
入 百家説林 三冊
入 大疑獄 上下二冊
入 二千五百年史 二冊
○入 今古雅譚
入 赤穂義士実話 一
入 温知叢書 二冊
○入 百家説林 二冊

入 平野次郎 一冊
入 関原誉凱歌 一冊
入 百家説林 一二三三冊
入 温知叢書 五六二冊

今義勇

入 鷺之羽風 一冊
入 東鑑拜賀卷 一冊
入 金売吉次 一冊
入 文芸倶楽部 一冊
入 鬼薨 一冊
入 親鸞聖人 一冊

第十八号

入 まほろし
入 日本漂流譚 二冊
入 闇黒亜弗利加 一二三三冊
入 凱旋紀念帖 三冊
入 徳川十五代史 九十二十二四冊
入 二千五百年史〔消〕
新撰日本外史〔消〕
入 台湾陣
入 陣中日記
入 古賀市
入 後の三日月
入 鯨幾太郎
入 風俗史 上

風俗史 二冊
朝鮮彙報 一
世界海王 一
英雄ノ肝胆

古川寿平

大疑獄 二
千代田城大奥 二
古川寿平
第十九号

入 さんさすぐれ 一冊
入 半月城 一冊
入 鯨幾太郎 一冊
入 綿納論理学 二冊
入 簡明論理学
入 滝口入道 一冊
入 若葉 一冊
入 小公子 一冊
入 半月城 一冊
入 おか目八目
入 罪と罰 二冊
入 海賊 一冊
入 鯨幾太郎
入 新篇物理学 二冊
入 鷺之羽風 一冊
入 其ノ囚人 一冊
入 雲之袖 一冊

- 入 大疑獄 九月四日
 入 經濟原論
 入 雲之袖
 入 古賀市
 入 平賀源内
 入 平田篤胤
 入 小堀遠州
 入 魚屋助左工門
 入 戦後之日本
 入 世界将来海王
 入 懷旧 一冊
 入 天竺徳兵衛 一冊
 入 御伽草子
 入 大塩平八郎
 入 練絹新三郎
 入 由比正雪
 入 高田屋嘉兵衛
 棟方悌二
 第二十号
 入 美辞学
 入 金
 入 白河楽翁公ト徳川時代
 ○ 日本歴史評林
 入 南洋探検実記
 入 濠州及印度
 入 墨西哥探検実記
 入 泰西十五大決戦史
 入 浮城物語
 入 新編紫史
 入 日本風景論
 入 具氏伝
 ○ 具公伝
 入 東方策 一
 入 名譽実録 上
 ○ 国史眼 四五
 入 世界ニ於ケル日本人
 入 山岡鉄舟
 入 万国地理指要
 入 盲詩人
 入 ミルトン論
 入 天野万国歴史
 入 赤穂義士実録
 入 新日本史 中
 入 相馬大作
 ○ 徳川光国
 入 海賊
 ○ 佐久間象山
 入 後の海賊
 ○ 大奥の女中
 入 さ、舟
 ○ 関原戦史
 入 文章組立法
 ○ 万国史綱
 入 軍隊
 入 藩翰譜
 入 海戦日録
 入 桜の御所
 十二時
 朝鮮王国
 欧州新政史
 徳川十五代史 一ヨリ四迄
 丈夫の本領
 ※以下、ウラ見返しに記載。
 森健枝
 春日局
 新攘夷論
 支那文明論
 一戸寅之助
 入 帰省
 入 文芸倶楽部ニテ弁償セリ
 入 伊藤仁斎
 入 台湾陣
 入 雲の袖
 入 戦後の日本〔消〕
 入 日本通史

入
金売吉次
小説家
鯨幾太郎

6・09 書籍貸付簿(明治三十一年)
【表紙】
明治三十一年／書籍貸付簿／自他楽会

【本文】

※会員一名につき罫紙一丁を充て、二段に記載。
会員の氏名はそれぞれの丁のオモテ左下隅に記す。
返却の符丁を「入」で示す。

三浦武三郎

剛雄少年

小地質学

日本風景論

世界ニ於ケル日本人

日本史学新説

日韓古史断

大政三遷史

新日本史 二〇

日本歴史

山中嵯峨之助

木入 四十年後之日本

入 小弓御所

入 十文字

入 岡目八目

入 其囚人

口入 断雲流水

平壤攻撃
黄海海戦

口入 後ノ三日月

入 奴の小万

入 半月城

入 荒海夷一

入 古賀市

入 雲の袖

台湾陣

十五少年

戦後の日本

十文字

岡目八目

入 赤穂義士

入 奴ノ小万

入 まぼろし

入 衣笠城

口口 名譽実録

木村卯太郎

徳川十五代史 五六七八

世界三周航海実記

小和田武司

国史眼 五冊

新撰日本外史

- 入 帝国史略
- 入 浮城物語
- 入 天竺徳兵衛
- 入 陣中日記
- 入 半月城
- 入 鯨幾太郎
- 新編物理学 二冊
- 動物学
- 三百諸侯 十二冊
- 益軒十訓
- 日本通史 二冊
- 万国地理摘要 二冊
- 濠洲及印度
- 波斯ノ旅
- 佐藤信淵ノ伝
- 闇黒亜米利加 六
- 百家説林
- 東海武一
- 春日つほね〔消〕 三十年十二月二十五日
- さんざ時雨〔消〕
- 二千五百年〔消〕
- 鷺乃羽風〔消〕 十月十四日
- 十九世期史 七月十二日
- 相思恋愛ノ現象 〃
- 懐旧 〃
- 入 經世危言
- 入 かげ草
- 〃
- 〃
- 齋藤徹
- 印度奇観 三十年七月二十二日
- 支那人気質
- 財政学
- 入 十二時曾我物語
- 入 日蓮記
- 入 多情多恨
- 齋藤竹三郎
- ※記載なし。
- 岩庭為世
- 我国の前途
- 国家教育策
- 權利競争論
- 富強策
- 花田入 万国歴史 天野
- 〃入 東洋分国史 上二冊
- 〃入 泰西十五代史 三冊
- 入 鬼薔
- 入 魚屋助左衛門
- 入 □□子 上下
- 入 雲の袖 一
- 入 □□ 中下
- 入 多情多恨
- 入 鷺羽風
- 入 さんざしくれ
- 植物学
- 高山亀代作
- 孟亜聖 七ノ十一冊
- 入 西郷遺言 一冊七ノ十二冊
- 入 不語不言 七ノ十二冊
- 入 台湾外記 七ノ十二冊
- 入 美辞学 一冊
- 入 死及死後 七ノ十一冊
- 入 普通心理学 一冊
- 岡本氏 一冊
- 入 釈元恭 一冊
- 入 孔夫子 一冊
- 入 伊藤仁斎 七ノ十一冊
- 入 前哲六無齋遺草 七ノ十一冊
- 支那文学史
- 先秦文学
- 孟亜聖
- 今助次郎
- 入 修辞学
- 入 小説家

入 海賊
後の海賊

成田武衛

入 懐旧

入 今世名家文鈔

入 戦袍日記

入 伏魔殿

入 唾ノ旅行

入 桐一葉

入 人外境 上一冊

入 二千五百年史

入 断雲流水

入 先秦文学

入 海嘯義捐小説

入 浅田宗伯伝

入 欧洲新政史

入 大隈昔日譚

入 提督彼理

入 海戦日録

入 吉田松陰

入 悟陰存稿 二

八戸逸太郎

※記載なし。

三上寿吉

凱旋記念帳 三冊

入 北氷洋及アラスカ沿海見聞録

入 都の花

万国歴史 天野著

入 加藤清正

入 泰西十五大決戦 三冊

入 南洋探検実記

入 平野国臣

入 平賀源内

入 大塩平八郎

入 松花録

入 御伽草子 二冊

入 妹背貝

阿保虎雄

入 閩墨阿非利加 前三冊

入 浮城物語

三上敬三

紫式部

文章組立法〔消〕

入 文学者トナルノ法

入 益軒十訓

入 大塩平八郎 釜薙

入 平賀源内 釜薙

入 由井正雪

入 近藤重蔵

釜薙入 コサアク兵

入 河及湖沢

入 離れ鴛

入 衣笠城

入 まぼろし

入 金売吉次

入 凧の糸目

入 替使者 二冊

入 快男児

入 桜の御所

入 奴の小万

金売吉次

若葉

井筒女之助

鴻雪録

練絹新三郎

西郷隆盛 五冊

東方策 三冊

国史大系 一ヨリ三マデ

南島探検

清野八之助

入 さゝ舟

入 积元恭

柳

入 滝口入道
 入 相馬大作
 入 名誉実録
 入 戦事大探偵
 入 魚屋助左衛門
 入 若葉
 入 大福帳
 今義勇
 日本風俗史 二冊
 朝鮮彙報
 世界将来ノ海王
 英雄ノ肝胆
 大疑獄 二冊
 千代田ノ大奥 二冊
 古川寿平
 御伽草子
 大福帳 一
 戦事大探偵 一
 平野国臣 一
 陣中日記 一
 後の三月 一
 日清事件新小説 一
 若葉 一
 荒海夷 一

入 軍隊 一
 入 快男児 一
 入 小弦集 一
 入 小説花相撲 一
 入 日蓮記 一
 入 台湾陣 一
 入 維新豪傑談 一
 入 関原奮凱歌 一
 入 桜廼御所 上下 二冊
 入 古今名誉実録 一、二、三、四 四冊
 入 練絹新三郎 一
 入 闇黒亜弗利加 一、二、三 二冊
 入 日本漂流譚 二冊
 棟方悌二
 日本歴史評林 十二冊
 国史眼 四五 二冊
 万国史綱〔消〕
 徳川光圀〔消〕
 佐久間象山〔消〕
 大奥の女中 三冊
 関ヶ原戦史〔消〕
 徳川十五代史〔消〕 一ヨリ四迄
 丈夫の本領
 海戦日録〔消〕
 曾我十二時〔消〕

入 桜之御所〔消〕
 入 朝鮮王国
 入 欧洲新政史〔消〕
 入 開国始末 一
 入 安政紀事〔消〕
 入 大隈伯昔日譚〔消〕
 入 提督彼理〔消〕
 入 高田屋嘉兵衛〔消〕
 入 平田篤胤〔消〕
 入 白河楽翁 一
 入 吉田松陰〔消〕
 入 林子平〔消〕
 入 蒲生君平〔消〕
 入 西郷隆盛伝 全
 入 昨夢記事 上
 入 近松時代浄瑠璃 一
 入 安政記事
 入 植物学
 入 文学者となる法
 入 小弦集
 入 今古雅談
 入 欧洲新政史
 入 さゝ舟
 入 雲の袖
 新編紫史
 方丈記

斎藤常三

小説史稿〔消〕

入 近松門左衛門

文学史 上二冊

入 普通心理学

入 貧天地探検記

入 美辞学 前後二冊

入 おかめ八目 一冊

入 国語のため 一冊

入 日本文学集覧 一冊

入 修辞学 一冊

入 魚屋助左衛門 一冊

入 其囚人 一冊

入 古賀市 一冊

入 奴の小万 一冊

入 多情多恨 一冊

入 鬼あざみ 一冊

入 生物始原

相馬文太郎

掘出しもの〔消〕

露小袖

墨染桜

山吹塚

新世帯

コロノウエル

百家説林 八一冊

※以下、最終丁ウラに記載。会員名を記さない。

入 日本通史

入 鯨幾太郎

入 金売吉次

入 雲ノ袖

入 十五少年

入 海嘯小説

入 陣中日記

入 小弓御所

入 十文字

入 魚屋助左衛門

呂末助左衛門

破太鼓

入 軍隊

6・10 書籍貸付簿（明治三十二年）

【表紙】

明治三十二年／書籍貸付簿／自他楽会

【本文】

※会員一名につき罫紙一丁を充て、二段に記載。会員の氏名はそれぞれの丁のオモテ左下隅に記す。

三浦武三郎

豪雄少年

小地質学

世界ニ於ケル日本人

日本風景論

日本史学新説

日韓古史断

大政三遷史

新日本史 二巻

合本歴史

河及湖沢

露西亜帝国

朝鮮王国

支那彙報

コサック東方侵略史

北氷洋及アラスカ沿海見聞録

高山龜代作

普通心理学 一冊

岡本 一冊
孔夫子 一冊

支那文学史 大 一冊

先秦文学 一冊

孟聖 一冊

フランクリン自叙伝 一冊

徳川政教考

沢庵全集

園秀美譚

陸奥宗光

伊藤仁斎

諸葛武侯

上杉謙信

蜀山人

断雲流水

蕃山

立身問答

高山彦九郎

東海武一

かけ草

棟方悌二

丈夫の本領

大奥の女中

近松時代浄瑠璃

文学者となる法

新編紫史

方丈記

人外境

東洋分国史

支那開化小史

万国史綱

学教史論

世界通史

支那文学史

国史大系 一二

近松世話浄瑠璃

波斯之旅

蘇丹令

列国変局志

阿保虎雄

颯々時雨

小和田武司

三百諸侯 十二冊

益訓十軒〔消〕下上

日本通史 二冊

万国地理指要 二冊

濠洲及印度

波斯之旅

闇黒亜米利加 六

新撰日本外史〔消〕十二

浮城物語

帝国史略〔消〕

新編物理学〔消〕二

動物学〔消〕

国史眼五

百家説林 九

織田信長 二

国史大系 卷ノ五卷ノ七 二冊

金色夜叉 二冊

鬼薙

桜ノ御所

多情多恨

□□学

成田武衛

大隈伯昔日譚

提督彼理

梧桐存稿 二

小弦集

十九世紀史

千紫万紅

三上寿吉

凱旋紀念帖

天野万国歴史
二千五百年史

文学史 上一冊
美辞学 後冊

※記載なし。

今義勇

入 日本風俗史 上冊 下二冊

入 岩庭為世
入 我国の前途

朝鮮叢報

入 桜の御所

入 国家教育策

世界将米の海王

入 多情多恨

入 権利競争論

英雄の肝胆

入 小弓御所

入 富強策

千代田城の大奥

入 唾の旅行 後

入 鷺の羽風

名誉実録 四冊入二冊

入 吉田松陰

入 さんさすくれ
植物学

南洋探検記

入 氷洋及アラシカ見聞録

三上敬三

木村卯太郎

入 半月城

入 奴の小刀

世界三周航海実記

入 ひとりね

入 金売吉次

植物学

入 紫式部

入 若葉

万国史綱

入 天竺徳兵衛

入 井筒女之助

日本文学史 下

入 颯々時雨

入 鴻雪録

日本西教史 上冊 下二冊

入 世界通史

入 練絹新三郎

日本西教史 下

入 維新豪傑談

入 西郷隆盛 五冊

印度奇観

入 氷川清話

入 東方策 三冊

齋藤徹

入 平野国臣

入 国史大系 一ヨリ三マデ

財政学

入 古川寿平

入 南島探検

齋藤常三

※記載なし。

入 山中嵯峨之助

□入 平壤包圍攻撃

入 海戦日録

齋藤竹次郎

入 黄海大海戦
木 台湾陣

十五少年

戦後の日本

十文字

岡目八目

佐入 名誉実録

二入 欧洲新政史

木村 入 ひとりね

入 平壤攻撃

黄海海戦

入 さゝ舟

多情多恨

金色夜叉

成田入 多情多情

入 後の海賊

当世女風俗考

岩庭 神皇正統記

加藤清正

成田入 奈破崙物語

入 鷺の羽風

三上主税

入 青葡萄

入 無名氏

入 唾之旅行

入 替使者 前後共

入 大疑獄 上下共

入 桐一葉

入 古賀一

入 雲の袖

入 井筒女之助

入 世界変局志

入 金色夜叉

入 日本仏教史綱

入 小公子

入 めおと

入 文天祥

※以下、ウラ見返しに記載。

海賊 今助治郎

一戸 呂宋助左衛門

破太鼓

6・11 書籍貸付簿（明治三十三年）

【表紙】

明治三十三年中／書籍貸付簿／自他業会

【本文】

※会員ごとに罫紙一丁を充て、二段に記載。会員の氏名はそれぞれの丁のオモテの左下隅に記す。返却の符丁を「入」で示す。

三浦武三郎

豪雄少年

小地質学

世界ニ於ケル日本人

日本風景論

日本史学新説

日韓古史断

大政三遷史

新日本史二

河及湖沢

露西亜帝国

朝鮮王国

支那彙報

コサツク東方侵略史

北米洋、治海見聞録
アラスカ

豪州及印度

朝鮮彙報

大地誌二

高山龜代作

入 普通心理学

岡本子

支那文学史

先秦文学

徳川政教考

入 閨秀美譚

入 陸奥宗光

入 熊沢蕃山

立身問答

入 高山彦九郎

入 文天祥

入 日本漂流譚二

入 今古雅譚一

修辭学一

南洲手抄二

不言不語

東海武一

かげ草

那翁島物語

入 小公子

棟方悌二

丈夫ノ本領

近松時代浄瑠璃

新編紫史

方丈記

〔東洋分国史

支那開化小史

万国史綱

学教史論

入 替使者

風俗史 上一冊

十九世史

諸葛武侯

高等經濟原論

国史眼 二冊

阿保虎雄

入 颯々時雨

小和田武司

三百諸侯 十二冊

新撰日本外史

日本通史

帝国史略

国史眼 五

入 百家説林 九

益軒十訓〔消〕

織田信長 二

入 国史大系 五七 二冊

入 閣黒亜弗利加

入 万国地理指要

多情多恨〔消〕

入 物理学

入 动物学

成田武衛

入 大隈伯昔日譚

入 提督ヘルリ

梧陰存稿二冊

入 小弦集

入 千紫万紅

森先生ノ伝

三上寿吉

入 天野万国歴史

入 二千五百年史

入 明治四十年ノ日本二

入 荒海実一

入 小説家

入 十二時會稽曾我

入 戦争大探偵

入 桐一葉

入 桐一葉

○入 半月城

入 幻影

入 井筒女之助

入 鷺ノ羽風

入 其囚人

入 伏魔殿

入 関原誉凱歌

○入 桜ノ御所二

入 大疑獄二

○ 天竺徳兵衛

入 さゝ舟

入 鯨幾太郎

今義勇

入 世界之海王一

名誉実録二

風俗史下

入 金壳吉次

入 雲の袖

入 後の三日月

入 若葉

入 練絹新三郎

入 鬼薊

入 古賀市

入 さんさしくれ

入 奴の小万

木村卯太郎

世界三周航海実記

日本西教史下

斎藤徹

印度奇観

入 財政学一冊

斎藤常三

入 文学史上二冊

入 日本文学集覧一

入 吉田松陰

入 奴ノ小万

入 益軒十訓

入 元良ノ倫理学

入 死及死後

入 臨淵言行録

入 人外境 三冊

三上敬三

入 東方策三冊

入 西郷隆盛五冊

入 黄海海戦〔消〕上冊

入 威海衛海戦一冊

入 相馬大作

入 衣笠城

入 小弓御所

入 平壤包圍攻撃 上下二冊

入 日本戦史 大坂役二冊
入 浮城物語

三上主税

入 日本仏教史綱

入 文学者となる法

入 日本仏教史綱(2)

入 認識論

入 心理学十回講義

入 熊沢蕃山 富田

山中嵯峨之助

入 台湾陣

入 十五少年

戦後日本

十文字

岡目八目

入 黄海海戦

入 多情多恨

入 金色夜叉

入 神皇正統記

入 加藤清正

入 女風俗考

台湾島史〔消〕

千代田大奥〔消〕

入 桜の御所 五月六日入

入 古賀市
入 其囚人

千代田城大奥

※「台湾陣」から「金色夜叉」まで、二段に記して、上に「木」と記す。同じく「神皇正統記」から「千代田城大奥」まで、二段に記して、それぞれの行の上に氏名（またはその一字）を記しているが、「古賀市」の上の「成田」以外は、抹消されていたりして判読できない。

相馬寛

入 教育精義一

入 新井白石一

入 山岡鉄舟伝一

入 青葡萄一

入 金一

入 明治園秀美譚一

佐藤勝三郎

※記載なし。

※左記の事項をウラ見返しに記載。

一戸 呂宋助左衛門

今世国字編

破太鼓

文学史下

今 海賊

6・12 書籍貸付簿

【表紙】

明治三十四年中／書籍貸付簿／自他楽会

【本文】

※会員一名につき罫紙一丁を充て、二段に記載。会員の氏名はそれぞれの丁のオモテ左下隅に記す。「入」は返納の符丁。

三浦武三郎

豪雄少年

小地質学

世界ニ於ケル日本人

日本風景論

日本史学新説

日韓古史断

大政三遷史

新日本史二

河及湖沢

露西亞帝國

朝鮮王国

支那彙報

コサツク東方侵略史

北太平洋 アラスカ 沿海見聞録

豪州及印度

朝鮮彙報

大地誌二

闇黒亜弗利加六冊

高山亀代作

岡本子

支那文学史

先秦文学

徳川政教考

立身問答

修辞学

南州手抄

不言不語

哲学涓滴

国語学小史

支那開化小史一

幕末小史三

神皇正統記

日本文学史下

日本文学集覧全

東海武一

入 かげ草

入 那破翁島物語

入 ひとり寐

入 雲の袖

入 さゝ船

入 欧米漫遊雑記

※粹外に「三十三年十二月二十七日」と記載。

列国変局史ノ図

棟方悌二

阿保虎雄

軍隊 一
新小説 一
大久保東甲

入 丈夫ノ木領

偉人史叢

山鹿素行
大石良雄

入 近松時代浄瑠璃

花相撲

木村卯太郎

入 新編紫史

津軽信明公

世界三周航海実記
日本西教史 下

入 方丈記

入 東洋分国史

小和田武司

物理学

入 支那開化小史

三百諸侯 十二冊
新撰日本外史

植物学講義

入 万国史綱

日本通史

入 学教史論

帝国史略

斎藤徹

入 風俗史 上二冊

国史眼 上冊

印度奇観

入 十九世史

織田信長 二冊

入 諸葛武侯

支那文学史

斎藤常三

入 高等経済原論

東洋分国史

入 多情多恨
文学史 上

入 国史眼 二冊

王陽明

金色夜叉

入 支那文学史

文天祥

入 文学集覧

入 世話浄瑠璃

三上寿吉

入 強者ノ権利

入 歴史評林

天竺徳兵衛

入 道徳学大原論

入 スタンレイ

凱旋記念帖 十一月十五日

入 社会進化論

入 威海衛海戦記

大英国漫遊実記

入 元良ノ倫理学

入 今古雅譚

今義勇

入 貧天地飢寒窟探険記

入 益軒十訓

日本風俗史 下

入 懐中日記

入 国文中の仏教文学

今義勇

入 十五大決戦史

入 日本文学史 上

今義勇

入 近世女風俗考

今義勇

入 十五大決戦史

三上敬三

入 黄海大海戦

入 教育精義 (中村君へ)

古今雅談 (中村君へ)

高等経済原論 一冊

三上主税

日本仏教史綱 [消] 十冊

認識論 [消]

二千五百年史 [消]

金色夜叉 [消]

替使者 [消] 十冊

罪と罰 [消] 十冊

凱旋紀念帖 [消] 十冊

桜廼御所 [消] 十冊

衣笠城 [消] 十冊

鷺之羽風 [消] 一冊

鎧のかぜ [消] 十冊

名譽実録 [消]

欧洲新政史 [消] 四冊

藩翰譜 [消] 六冊

世界通史 [消]

文学者となる法 [消]

人外境 [消] 三冊

桐一葉 [消] 一冊

半月城 [消]

心理学十回講義 [消]

普通心理学 [消]

心理学 [消]

近松世話浄瑠璃 一冊

近松時代浄瑠璃 一冊

山中嵯峨之助

木入 戦後日本

木入 十文字

〇〇人 岡目八目

〇〇人 千代田城大奥

〇〇人 進化原論

成田入 替使者

〇〇〇〇人 昨夢記事 下冊

〇〇〇〇人 神皇正統記

〃 動物学

斎藤〇〇郎 名譽実録 四冊

成田入 まほろし

〇〇〇〇人 大奥女中

相馬寛

世界歴史 万国

富蘭克利自叙伝 一冊

小公子 一冊

滝口入道 一冊

明治閣秀美譚 一冊

世界宗教一斑 一冊

練絹新三郎 一冊

東京風俗史 一冊

佐藤勝三郎

※記載なし。

古川武英

大奥の女中 (三)

木村忠吉

威海衛海戦記 二月二十二日

※左記の事項をウラ見返しに記載。

成田武衛 悟陰存稿 二冊 森先生ノ伝

一戸 呂宋助左門 入 今世国家論

破太鼓 入 文学史 下

今 海賊

8・01 自他楽会雑書類

【本文】

8・01・01 (書籍検閲表)

※罫紙(二枚)に鉛筆で書く(一部墨書)。

花

航海少年 [消]

中江藤樹

白山黒水 [消]

自然界ノ現象 [消]

相文
○格郎究 △岡目八目

日本通史 [消] △十文字

△欧州新政史 △戦後ノ日本

○清少納言

○森先生

○薩長土肥 ○無名氏 伏見革命 [消]

△後海賊 ○色サンケ

○山吹塚 ○風流仏 二十三年□□

○新世帯 ○巴波川 〃

○南洋大ハラン ○墨染桜

○春日局 ○妾薄命

破邪活論 [消] 排仏教 哲学□□ [消] 新論 [消]

支那哲学史 [消] 世界宗教一斑 [消] 文明要論 [消]

新攘夷論 支那文明論 支那イ報 [消]

朝鮮イ報 [消] 比較憲法論 進化原論 [消]

小物質学 [消] 新編物理学 [消] 動物学 [消]

植物学□□ [消] □□学 [消] 日本文学史 [消]

修辞学 懷往事談 梧陰存稿

近松時代浄瑠璃 [消] □□□□ [消] 支那文学史 [消]

小楠遺稿 [消] 新篇紫史 [消] 英雄論

□□□□史 [消] □□□ [消] 滑稽妙文集 [消]
近世□□□□ [消] □□□□ [消] 大政三遷史 [消]

※梓外(右)に、左記の事項を記載。

明治紳士録

○修□□□

※梓外(上)に左の事項を記載。

○排仏教

□新攘夷論

○支那文明論

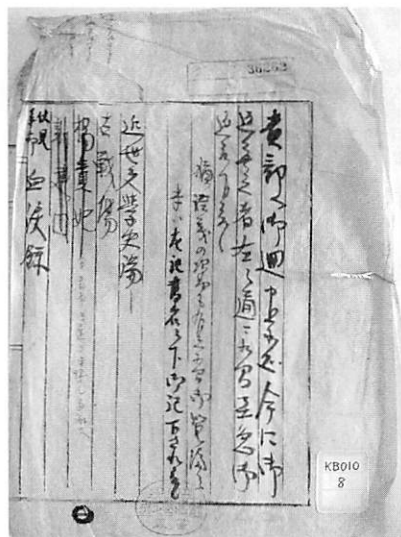
○比較憲法論

△修辞学

○懷往事談

○波瀾

8・01・02 (書籍返却督促)



※罫紙（二枚）に墨及び鉛筆で書き、仮綴りする。

貴部へ御廻申上候処今に御返□無之者左之通に候間至急御返被下度し
猶詮義の次第も有之候間御覽濟之本は左記書名之下御記下され度し

近世文学史論

古戦場

楊貴妃〔消〕

今□勇御遅ク申訳ナシ多謝ス

新建国〔消〕

伏見
革命血涙録

德育史伝

中江藤樹

千嶋探検録

支那哲学史

ヒマラヤ山探検

サハラ大沙漠

現代女氣質〔消〕

遠征奇談 右同断

クルーゲル

白山黒水 佐藤

東邦近世史

社会的教育学

漂流少年

伊達行朝勤王事歴

湖上之美人

日本風俗 右同断

朝鮮開化史 永山君棟方君ヨリ借用ノ筈

海ノ歴史

雨夜物語

航海少年〔消〕

英文学史 今義勇御遅リ申訳ナシ多謝ス

一年有半

統一年有半 今義勇御遅リ申訳ナシ多謝ス

日本戦史 姉川役〔消〕

航海奇談 今義勇申訳ナシ多謝ス

旧式之唯物論 三上

大久保甲東

滑稽妙文集

南洋之風雲ハ今義勇ノ元ヘ参リ居ク右何レモ一両日中本部マテ御届申上□幾

重ニモ御詫申上候多謝

猶亦左ノ本御持□之方ハ御知ラセ被下度シ

岡目八目 十文字

欧州新政史 戦後の日本

後海賊 修辞学〔消〕 高山

8・01・03 新書籍

※罫紙（一枚）に鉛筆書き。明治四十二年のものか。

記

新書籍

すていし

一冊

外人の観たる日本

白川楽翁

真田幸村

宮本武蔵

復讐奇談

神通の女王

童謡大全

春汀全集

鎌倉武士

新大統領

学校論

田舎教師

心理学講義

偉人クローンウエル

十五

8・01・04 (書籍一覽)

※罫紙(一枚)のウラに墨書。

四十年

鶉籠 淀殿 自然之妙趣

□名 小さなハート 電力艦隊

理想之人 二十世紀は児童の世界

四十一年

婦郷記 禅と武士道、国民性十論

外人の観たる日本、親ごころ

児童精神の活ける教育法

四十二年

鉄火石火 二宮 尊徳 金次郎

8・01・05 (書籍返却督促)

※罫紙(一枚)に墨書。枠外(右)に「至急御返を乞ふ」、枠外(上)に「御覽済の方は上欄に御記名を乞ふ」とそれぞれ記載。

左記之本至急御廻達を願度し尤も御覽中の者ならば詮義調の上更に差上申べく候

英雄論 木村君より廻初ム

日本名勝記 ■「朱印…三上」 三上主税君ヨリ廻始ム

藤田東湖伝 [消] 三上敬三君ヨリ廻始ム

菅公伝 ■「朱印…相馬」 ■「朱印…三上」 三上主税君ヨリ始ム

二勇少年 木村君ヨリ始ム

小野小町 ■「朱印…相馬」 斎藤常三君ヨリ始ム

元禄時代粧 ■「朱印…三上」 三上主税君ヨリ始ム

仇浪 ■「朱印…相馬」 相馬君ヨリ始ム ※枠外(上)に「木村氏ニ廻セリ」。

韓退之 斎藤君ヨリ始ム

自然界の現象 ■「朱印」 ■「朱印」 同 ※枠外(上)に「今日木村□」(鉛筆書)。

醉人の妻 ■「朱印」 ■「朱印」 三上敬三君ヨリ始ム ※上枠外に「木村氏ニ廻セリ」。

統遠征奇譚 同

右ノ外左ノ本御持参ならば御知らせ被下度し

岡目八目 十文字

欧州新政史 戦後の日本

後海賊 修辞学〔消〕

※「日本名勝記」「二勇士」「小野小町」「元禄時代粧」「自然界の現象」「続遠征奇譚」の枠外〔上〕に朱印を捺すが、判読できず。

8・01・06 (書籍寄贈願)

※「青森県立第一高等女学校」の罫紙(右半分を切ったもの)に墨書。

拝啓別冊自他案会ニテ購求不相成候ハ、寄附致度候間□然御□斗有之度若

シ購入済ニ候ハ、乍御手数□返戻被下度願上候

十一月十五日

山中理事殿

8・01・07 (書籍検閲表)

※罫紙(二枚)に墨書。不明図書のリストか。

風流仏

巴波川

墨染桜

姜薄命

山吹塚

新世帯

薩長土肥

信任投票ノ原理

明治紳士録

後ノ海賊

春日局

新攘夷論

排仏教

比較憲法論

懐往事談

8・01・08 (会費納入簿(明治四十年度))

※罫紙(二枚)に墨書。

明治四十年度 三十銭□□

三月二月 一月 十月 九月 八月 七月 六月 五月 四月

四十四銭	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	木村
三十六銭	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	三上
三十二銭	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	相馬
二十八銭	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	福士
二十八銭	入	未入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	外崎
二十八銭	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	齋藤
二十銭	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	直山
十八銭	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	齋武
三十二銭	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	葛西〔消〕
十八銭	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	釜池
十四銭	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	竹中

三〇三六〇三六六五五三六四三六六四三六六〇三五三三六六三六六

8・01・09 (書籍一覽)

※罫紙(一枚)に鉛筆書き及び墨書。

- 浩武電〔消〕 日本歴史〔消〕 ○格郎究 路錫〔消〕
- 傑伝〔消〕 略則□□□〔消〕 支那開化小史〔消〕
- 新日本史〔消〕 万国史略〔消〕 日本史学新説〔消〕
- 日本通史〔消〕 □□□□ 教育者孔夫子〔消〕
- 徳川政教考〔消〕 ○欧州新政史 日韓古史断〔消〕
- 上日本風俗史〔消〕 コサック東方侵略史〔消〕
- 日本西教史下〔消〕
- 白河楽翁〔消〕 ○清少納言 織田信長〔消〕
- 幕末小史〔消〕 □□□□〔消〕 ○森先生伝
- 日本通史〔消〕 □□□□〔消〕 新□国〔消〕 ○伏見革命
- 近世徳育史伝〔消〕 ○中江藤樹〔消〕 ○万国□□□史〔消〕
- 〔消〕 ○□□□□〔消〕 ○クルーゲル〔消〕 ○東邦近世史〔消〕
- 濠州及印度〔消〕 世界三週航実記〔消〕 闇黒亜フリ加〔消〕
- 日本風景論〔消〕 おかめ八目〔消〕 南洋探検実記〔消〕
- 日本名勝記〔消〕
- 千島探検録〔消〕 色サンゲ 残菊〔消〕
- 風流仏 ○巴波川 ○墨染桜 ○妾薄命
- 南洋大波ラン ○山吹塚 ○新世帯 ○小公子〔消〕
- 破太鼓〔消〕 ○春日局 ○闇の世中〔消〕 新小説〔消〕
- 海賊〔消〕 不言不語〔消〕 ○後の海賊 瀧口入道〔消〕
- 〔消〕 戦後の日本〔消〕 十文字〔消〕 呂宋□左衛門〔消〕
- 〔消〕 一人□〔消〕 金□夜シヤ〔消〕 ○無名氏 大久保甲東〔消〕
- 薩長土肥 岡本子〔消〕 □□□□〔消〕 千代田城大興〔消〕
- 世界ニ於ケル日本人〔消〕 立身問答〔消〕 陣中日記〔消〕 □□〔消〕

東京風〔消〕 ○古戦場〔消〕

※上方の枠外に左記の事項を記載。

- 戦後の日本
- 十文字
- 岡目八目

8・01・10 (会費納入届)

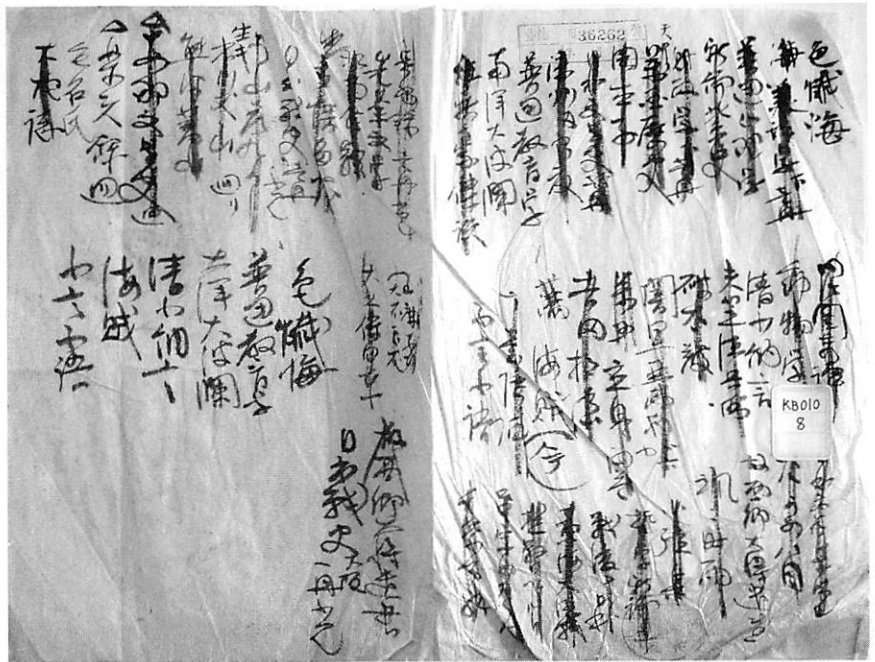
※「埼玉実業新報原稿用紙」に墨書。

- 拝復毎度御手数を煩はす汗顔の至□□□□御立替願置し分金七十□銭及他に
- 七十銭計一円五十銭御廻申□□□□斗願上候 一銭は御寄附□□
- 八月二十日 棟方悌二
- 三上大兄

8・01・11 (書籍一覽)

※半紙に墨書。

- 色懺悔 明治閣秀譚〔消〕 □□文学集覧〔消〕
- 美辞学〔消〕 下□冊 動物学〔消〕 おかめ八目〔消〕
- 普通心理学〔消〕 清少納言 故西郷大将遺書
- 新編紫史〔消〕 天竺徳兵衛〔消〕
- 財政学〔消〕 下□冊 破太鼓〔消〕 颯々時雨〔消〕
- 天野万国歴史〔消〕 闇黒亜弗利加六〔消〕 小弦集〔消〕
- 岡本子〔消〕 万□〔消〕 立身四□〔消〕 哲学新編〔消〕
- 日本文学史〔消〕 □冊 吉田松陰〔消〕 戦後ノ日本〔消〕
- 濠州□印度〔消〕 藩〔消〕 海賊(今) 黄海大海戦〔消〕



普通教育学 提督ヘルリ「消」
 南洋大波瀾 □□□□「消」 呂宋助左衛門「消」
 維新豪傑談「消」 不言不語 千紫万紅「消」
 □□錄「消」 一冊不見 山鹿素行「消」
 大石□□ 入故西郷大将遺書

先秦□学「消」 大久保甲東「消」 日本戦史 大坂一冊不見
 松菊余□「消」 生多情多恨「消」 色懺悔
 日本戦史 一冊不見 高山彦九郎「消」 普通教育学
 生 石川丈山「消」 廻り 南洋大波瀾
 熊沢蕃山「消」 清少納言
 △支那文学史「消」 廻
 △棄天録 廻 海賊
 無名氏 不言不語
 大地誌「消」

8・01・12 (書籍貸付簿)

※半紙に墨書。

清少納言 三十年九月
高等

水野越前「消」

戦史「消」大阪 斎藤竹 (内二冊)

鎧のかせ 和

南征史 斎藤常三

石川丈山 斎常

入 近松世話浄るり 斎竹 今

幕末小史 一 山中

同 二 山中

国史大系 七 岩庭

支那文学史 □三上

楽天録 今

風土記 山中

大地誌 一

8・01・13 (書籍回覧簿)

※野紙(四丁)に墨書し仮綴りする。書名の上の
符丁等は枠外に記す。

別紙書籍御持□の方は書名の下へ御記名□成下

□願上候

一月十六日 自他楽会理事

各諸君

○ 英国開戦史

○ 清少納言

○ 普通教育学

○ 支那文明論

○ 支那文学史

○ 近松世話浄瑠璃。

○ 日本歴史評林

○ スタンレー

○ クロンウエル

○ 千嶋探検録「消」

○ 色懺悔

○ 南洋大波瀾

○ 無名氏

廻覧中ノ書籍

見 幕末小史 三

棟 世界通史

見 山鹿素行 大石良雄

見 エミール抄

小和田 支那哲学史

見 心性遺伝論

見 審美綱領

見 世界宗教一斑

見 藤田東湖

見 達磨

見 大日本通史

見 楊貴妃

見 新建国

見 血涙録

見 桶狭間戦史

棟 近世德育史伝

棟 中江藤樹

見 菅公伝

見 燕山楚水「消」 十八日廻□

見 小野小町

見 熊本籠城談

見 クルーゲル

見 支那近世史

見 英雄論

見 国語学小史

見 国文中仏教文学

見 滑稽妙文集

見 匏庵遺稿

見 白山墨水

見 日本名勝記

見 内外地理学講義

見 大英国漫遊雜記

見 鎧の風

見 大久保甲東

見 濁り水

見 墨水遺稿

相 東京風俗志

見 五十家訪問録

見 統当世話人画

見 古戦場

見 立身策

見 金剛石ノ原野

見 西比利亞蒙古旅行

見 ヒマラヤ山探検

見 サハラ大沙漠

見 現代女氣質

見 遊征奇談

棟 二勇少年

見 金掘少年

8・01・14 (請求書(今泉))

※以下、8・01・31まで、「書店の書籍納品簿十七通」とボールペンで書かれたメモとともに紐で一括りにされている。

一六円六十一銭 □□

六月二十日

入五円 受取

七月三日

一七十二銭 尊徳 后 一

八月

一一円五十銭 希臘神話一

×三円八十三銭

右之通

第七日 今泉

自他案会御中

※「今泉」の横に、「正ニ請取候也(二十一日)」と鉛筆で書き、「□生田」の朱印を捺す。

8・01・15 (領収書)

記

七月二十二日

一八十五銭

×

8・01・16 (領収書)

入一円二十銭 お伽代

入一円六十二銭 少、世代

、八十一銭 少、世 8 | 16 ×九

、五十四銭 〃 1 | 6 ×六

、四十五銭 日、少 2 | 6 ×五

、九十一銭 お伽文庫 1 | 7 ×七

差引十一銭過金

右之通り

※左端がもぎれて失われている。

8・01・17 (領収書)

記

一八銭 □系一〇

右通り代金

正受取也

四月二十五日 〆五〇■「朱印…今五ノ陸奥ノ弘前市ノ和徳町ノ山口」

三上様

三上様

※和徳小学校宛の左記の領収書が混じる。

三月〇〇日

一五銭 高等小学画学 女子一、一

四月二日

一四円十銭 高等女学校 一年〇〇

〃三日

一三十銭。図画1、一

〃十四日

一六十五銭 ピンポンボール一打

×五円十銭

右之通正ニ受取候也

第四月二十二日 今泉

和徳

三上様

8・01・18 (領収書(今泉))

記

一十五円二十七銭 一月

二月二十一日

入六円受取

二月三日

一 二円 渋柿叢書一

一 八十銭 関ヶ原一

二月二日

一 七十二銭 二宮 後一

二月九日

一 一円五十 やとり木一

一 十四円二十九銭

右之通

二十二日 今泉

自他菜会御中

8・01・19 (領収書(野崎))



※活版印刷の用紙(弘前野崎活版所印刷)に墨書。

証

一金一円八十四銭

新著百種
外三部代

右代金正三奉請取候也

明治二十二年十月六日 青森県弘前市大字土手町

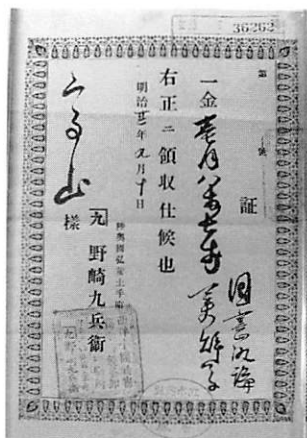
西洋小間物筆墨紙
書籍洋販宇治路茶

卸商 野崎九兵衛

■「朱印」蓬萊□□/丸 陸奥

弘前土手町 野崎九兵衛商店

8・01・20 (領収書(野崎))



第 号

証

※活版印刷の用紙に墨書。

一金一円八十七銭
右正三領取仕候也
明治廿年九月十日

野崎九兵衛

一金一円八十七銭

国憲汎論
美辞学

右正に領取仕候也

明治二十二年九月十日

陸奥国弘前土手町

丸 野崎九兵衛

■「朱印」西洋小間物書籍宇治製

茶卸商活版印刷所/陸奥津軽弘前土手町 丸野崎九兵衛

高山様

8・01・21 (領収書(角三))

※以降、8・01・23まで、罫紙を小さく切った同種の紙片に墨書。

記

十九銭 汎論 一部

右之通御請取候也

三月十二日

上 角三

8・01・22 (領収書(宮本商店))

記

一五十二銭五厘

文明要論 一冊

一四十銭

教育策 一冊

一三十一銭

洒落哲学 一冊

一一円二銭

東洋遺稿 一冊

一 二円二十五銭五厘

右之通受候也

四月〇日

目

古川様

8・01・23 (領収書(宮本商店))

記

一五十五銭 英雄ノ肝膽 一

教育論 一

右正に請取候也

三月十日

目 [朱印・目/木綿□□□/弘前百石町]

東海様

※「教育論」の上に「二十八銭 文覚上人觀進くわんしん帳」と書き入れる。

8・01・24 (領収書(宮本商店))

記

一三十銭 グラッドストーン公伝 一部

一二十九銭 弥兒頓論 一部

一三十四銭 財政学 一部

一十二銭 如温武雷土伝 一部

×一円五銭

右之通に御受取也

十月〇八日

目

高山様

8・01・25 (領収書(今泉))

記

一三円五十銭 春汀全集 揃三冊

予約金

第一卷七月二十〇

一十八銭 右送料半額

×三円六十八銭

右之通

〇〇日 今泉

自他楽会御中

8・01・26 (領収書(今泉))

記

一六十銭 自修法教授法 一

一四十五銭 タフト 一

一五十銭 蛮人境 一

一七十八銭 怒涛 一

一円 宮本武蔵 一

一円 関東山水 一

一円二十銭 三四郎

六月〇日

一円八銭 猛火 一

×六円二十一銭

右之通

二十六日 今泉

自他楽会御中

8・01・27 (領収書(今泉))

記

七月二十日

一円 相撲大鑑 一

八月五日

一二十二銭 復讐奇談 一

〃 一二十二銭 神通女王 一

×一円四十四銭

右之通り

十八日 今泉

自他楽会御中

8・01・28 (領収書(野崎))

記

一円二十五銭 心理学 一部

一五十四銭 鴻雪録 一部

×一円七十九銭

右之通正ニ受取申候也

十一月十四日 刃

高山様

8・01・29 (領収書(今泉))

記

一七円三十二銭 十日

入一円 十月二十一日受取

十月二十〇日

一 一円 鎌倉武士 一

〃

一六十八銭 稲田一作 一

十一月五日

一 一円四十五銭 田舎教師 一

〃十一日

一 一円〇十銭 實際的教育学 一

〆十一円五銭

右之通

〇十一日 今泉

自他楽会御中

8・01・30 (領収書(今泉))

記

五月七日

一 五十銭 大蛮勇 一

同日

一 四十銭 太郎の教師 一

〆九十銭

右之通

二十九日 今泉

自他楽会御中

8・01・31 (領収書(今泉本店))

※ペン書き。

記

一 二十銭 少〇女〇56〇

一 十銭 少、女〇友〇一

〆三十銭

右之通正ニ受取候也

四月二十二日 今泉本店

和小 三上様

8・02 (青森県知事感謝状)

自他楽会理事

三上敬三

青森県弘前市立弘前図書館へ英雄之肝膽外
四百四十一種寄附候段奇特ニ付為其賞木杯一組
下賜候事

明治四十四年六月十三日

青森県知事從四位勲三等武田千代三郎

